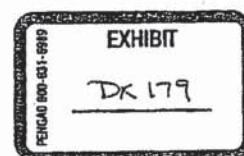


先物／オプション売買システム
取引用端末操作要領

東京証券取引所
業務システム部

TDA 1003
CBM of U.S. Pat. No. 7,533,056

TSE000000647



目次

第1章 システムの概要	1- 1
1-1 システム構成図	1- 1
1-2 システムの運用時間	1- 2
1-3 旧端末との間の運用上の制限	1- 3
第2章 端末システム構成機器について	2- 1
2-1 端末システム構成の概要	2- 1
2-2 端末サーバ	2- 3
2-3 クライアント	2- 5
2-4 プリンタ	2-12
2-5 レシートプリンタ	2-16
2-6 回線切替装置	2-17
第3章 基本操作方法について	3- 1
3-1 メニュー項目の選択	3- 1
3-2 操作対象ウィンドウの指定操作	3- 4
3-3 ウィンドウの移動操作	3- 5
3-4 マウスのダブルクリック	3- 6
3-5 マウスの右クリックによるショートカットメニューの表示	3- 7
3-6 「送信 (Enter)」キー押下時の動作	3- 8
3-7 ウィンドウの閉じ方	3- 9
第4章 取引商品について	4- 1
4-1 債券先物市場	4- 2
4-2 債券先物オプション市場	4- 5
4-3 指数先物市場	4- 6
4-4 指数オプション市場	4- 9
4-5 株券オプション市場	4-10
第5章 画面構成について	5- 1
5-1 メインウィンドウ	5- 1
5-2 各種入力ウィンドウ	5- 8
5-3 各種問合せ応答ウィンドウ	5-14

第6章 端末利用にあたってのユーザ設定について	6- 1
6-1 板/気配画面の付帯情報重複の設定	6- 1
6-2 板画面の備後表示方法の設定	6- 3
6-3 注文入力ウィンドウの形状設定	6- 5
6-4 注文入力時の管理項目（自己・委託の別）の自動設定	6- 7
6-5 新規注文入力時の入力限度数値の設定	6- 9
6-6 注文・約定関係通知の出力先プリンタの設定	6-11
6-7 建玉残高通知等の一方送信通知の出力先プリンタの設定	6-16
6-8 注文・約定関係通知の出力先仮想サーバの設定	6-19
6-8 ページプリンタの通知出カタイミングの設定	6-22
6-9 通知表示エリアへの通知到着時のブザー音発音の設定	6-24
6-10 マウスの動作設定	6-25
第7章 板/気配情報の問合せについて	7- 1
7-1 ページ登録	7- 1
7-2 分割形態	7-13
7-3 板画面	7-17
7-4 気配画面	7-27
第8章 通知表示エリアについて	8- 1
8-1 通知表示エリアの構成	8- 1
8-2 通知表示エリアへの表示方法	8- 3
8-3 通知表示エリアへの表示通知	8- 5
8-4 通知表示エリアからの訂正注文の入力	8-12
第9章 注文入力について	9- 1
9-1 注文入力ウィンドウの表示	9- 1
9-2 新規注文入力	9- 2
9-3 売・買一括注文入力	9-16
9-4 訂正（取消・変更）注文入力	9-23
9-5 一括取消指示	9-36
第10章 問合せについて	10- 1
10-1 問合せ機能	10- 1
10-2 板明細問合せ	10- 5
10-3 自社有効注文一覧（時刻順）問合せ	10- 8
10-4 注文約定履歴問合せ	10-11
10-5 注文成立状況問合せ	10-15

10-6	約定状況問合せ	10-18
10-7	多量約定情報一覧問合せ	10-22
10-8	約定記録問合せ	10-24
10-9	清算値段一覧問合せ	10-26
10-10	証拠金算定基準値段一覧問合せ	10-27
10-11	注意情報問合せ	10-29
10-12	清算情報問合せ	10-30
第 11 章	転売・買戻数量等の入力について	11- 1
11-1	転売・買戻数量等入力の概要	11- 1
11-2	転売・買戻数量等入力時の留意点	11- 2
11-3	先物取引の転売・買戻入力	11- 7
11-4	オプション取引の転売・買戻/権利行使入力	11- 9
11-5	対応オプション取引の権利行使に伴う先物の転売・買戻入力	11-12
11-6	転売・買戻等入力終了指示	11-14
11-7	委託分取引証拠金算定基準建残入力	11-15
11-8	委託分取引証拠金算定基準建残入力終了指示	11-15
第 12 章	建玉残高等の問合せについて	12- 1
12-1	先物取引の「建玉残高表(自社)」	12- 1
12-2	オプション取引の「建玉残高表(自社)」	12- 3
12-3	先物取引の「建玉残高表」	12- 6
12-4	オプション取引の「建玉残高表」	12- 8
第 13 章	通知について	13- 1
13-1	出力通知の種類	13- 1
13-2	通知出力先について	13- 2
13-3	通知通符について	13- 4
13-4	注文入力にかかる通知	13- 5
13-5	取引状況にかかる通知	13-27
13-6	転売・買戻/権利行使入力にかかる通知	13-36
13-7	割当通知	13-46
13-8	建玉残高にかかる通知	13-47
13-9	取引証拠金算定基準建玉残高にかかる通知	13-55
13-10	最終清算指致(SQ)メッセージ	13-55
第 14 章	運用機能について	14- 1
14-1	最終通番照会	14- 1

目次

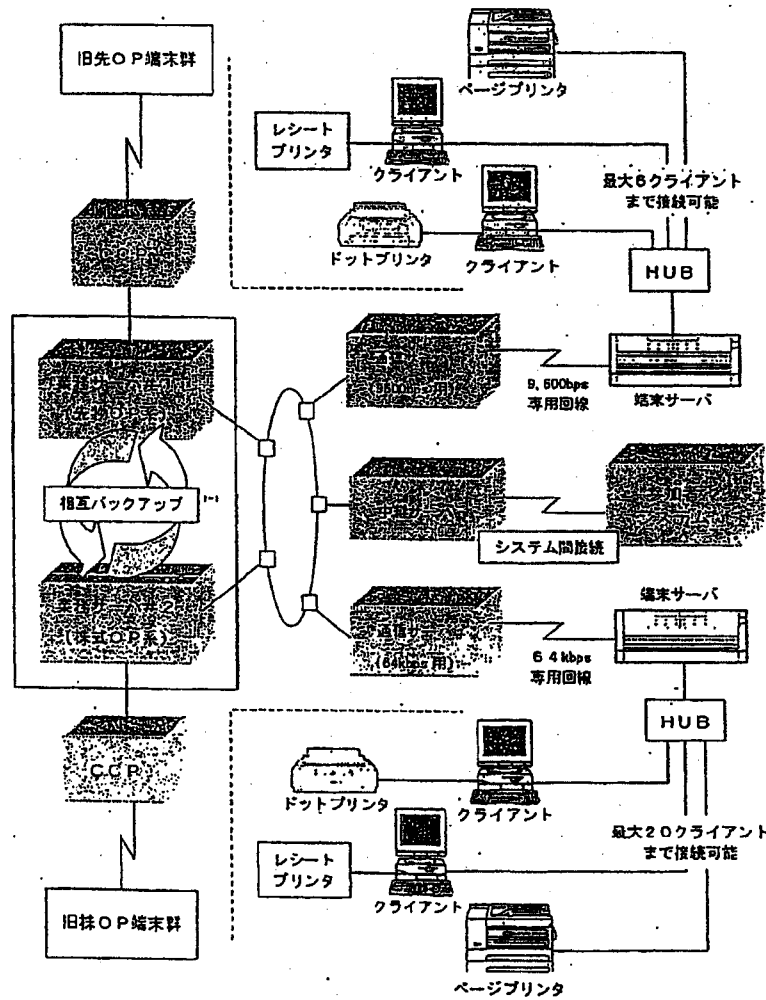
14-2	再送要求/中止	14- 5
14-3	代行指示/解除	14- 7
14-4	通知検索	14- 9
14-6	通知印刷	14-13
14-7	通知強制印刷	14-17
14-8	通知クリア	14-18
第 15 章 障害時の対応について		15- 1
15-1	取引用端末装置の障害	15- 1
15-2	通信回線の障害	15- 4
15-3	中央システム障害	15- 4
15-4	障害回復時の運用	15- 5
15-5	障害時端末の利用	15- 6
15-6	端末システムの障害メッセージ	15- 7
15-7	自社調達端末の障害時の取扱い	15- 8

- 〈付録 1〉 エラーメッセージ一覧
- 〈付録 2〉 自動設定ページの銘柄登録パターン
- 〈付録 3〉 パスワード機能について (選択機能)
- 〈付録 4〉 システム関連電話番号

1998年8月
東京証券取引所
業務システム部

第1章 システムの概要

1-1 システム構成図



1-1 業務サーバ#1と#2は、相互に障害監視を行っており、一方の業務サーバの障害時には、もう一方の業務サーバに切替処理(約1分間)が行われ、障害中の業務サーバの業務の引継ぎを行います。

1-2 システムの運用時間

	運用時間			
	共通	債券先物・債券先物OP	指数先物・指数OP・株券OP	
	オンライン開始			
8:10	オンライン 板/気配情報問合せ その他中央システム問合せ			
8:20			先物対応証券 買戻入力受付	
8:30		前場注文入力受付	先物連玉集計	前場注文入力受付
9:00		前場立会		前場立会
11:00			※平日立会の場合は 11時10分まで	
12:05				
12:30		後場注文入力受付	後場立会	後場注文入力受付
15:00				
15:10			証券・買戻/ 権利行使入力受付	証券・買戻/ 権利行使入力受付
16:30			連玉集計・OP抽選処理	
16:45			連玉集計・OP抽選処理	
17:45	オンライン終了			

※ 端末サーバ内の通知情報から応答情報を生成する問合せ等については、中央システムの運用時間に関係なく、翌日のオンライン開始時に通知情報がクリアされるまで問合せ可能です。

1-3 旧端末との間の運用上の制限

本システムにおいては、稼働から当分の間、本端末（システム間接続における仮想サーバ含む）と旧先物・オプション売買システム用入力端末（以下、「旧先OP端末」といいます。）又は旧株価指数オプション売買システム用入力端末（注文・約定中継の仮想端末含む）（以下、「旧株OP端末」といいます。）が併存して注文入力等に使用されることとなります。

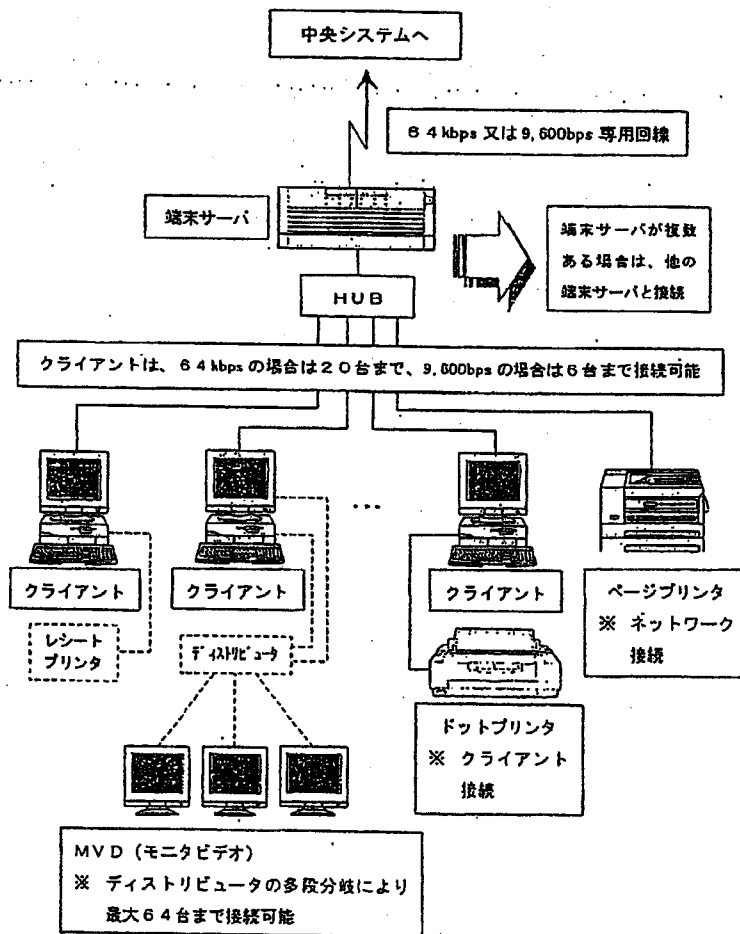
ただし、本端末（旧端末）からの旧端末（本端末）を指定しての運用指示等については、以下のとおりシステム上制限がありますので、制限事項をご留意のうえ、操作を行って下さい。

A	本端末		旧先OP端末	旧株OP端末
	旧先OP端末	旧株OP端末	本端末	
① 「B」から入力した注文の「A」からの注文訂正（取消・変更）	○	○	○	○
② 「B」を指定しての「A」からの一括取消指示	○	×	○	×
		※自社会体指定での一括取消指示は可能です。		
③ 端末番号指定可能な注文関係の問合せにおいて、「B」を指定しての「A」からの問合せ	○	×	○	×
④ 「B」を指定しての「A」からの最終通番照会指示	○	○	×	×
⑤ 「A」から「B」への通知出力の代行指示	×	×	×	×
⑥ 「B」への出力通知の「A」への再送指示	◆ 旧端末指定での本端末への再送指示はできません。 ◆ ただし、旧端末への出力通知については、データサーバに送信・格納されますので、通知印刷指示により本端末のプリンタに出力できます。		自社通番での再送指示時のみ、本端末への出力通知についても、旧端末へ再送できます。	
⑦ 「B」を指定しての「A」からの通知検索・印刷	○	×	—	—

第2章 端末システム構成機器について

2-1 端末システム構成の概要

2-1-1 端末システム構成図



2-1-2 端末構成機器

先物/オプション売買システムの端末システム（旧端末は除く）は以下の機器で構成されています。

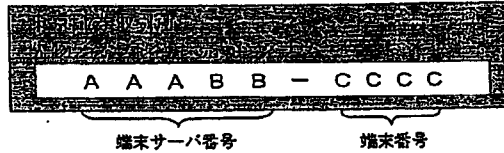
構成機器	種別	用途
端末サーバ	基本構成機器	中央システムとの専用回線を介したデータの送受信、配下の端末制御及び通知情報検索等を行います。
クライアント	基本構成機器	注文入力及び板等の各種問合せに使用します。
プリンタ	基本構成機器	各種通知出力及び画面印刷出力に使用します。
レシートプリンタ	選択機器	注文受付通知、約定成立通知等の注文等の入力にかかる通知出力に使用します。
モニタビデオ	選択機器	接続先のクライアントの表示中の画面情報を表示します。
回線切替装置	選択機器	専用回線障害時に公衆回線にバックアップ切替を行います。

※ その他の構成機器として「ディスプレイ・ターミナル」（端末サーバの保守用機器）、「HUB」（LAN橋梁用の機器）があります。

2-1-3 端末番号

取引用端末装置の各機器には、当該機器の番号を記入した「黄色」のシールを貼付しています。

また、クライアントの画面上部（タイトルバー）に「端末サーバ番号+クライアント番号」を表示します。



番号	番号の意味
A	201~399、701~899 各参加者に割り当てられた番号
B	01~ 各参加者内での一連番号
C	1001~ クライアント（入力端末） ※各参加者内での一連番号
	2001~ プリンタ（ページプリンタ、ドットプリンタ） ※ 当該プリンタの制御クライアントの端末番号+1000
	3001~ レシートプリンタ ※ 当該プリンタの接続クライアントの端末番号+2000
	（参考） 90xx~ 仮想クライアント（仮想入力端末） ²⁾ ※ 下2桁（xx）は仮想サーバ番号の下2桁と同じです。

²⁾ 仮想クライアント（仮想入力端末）は、システム間接続において参加システムに実装される各仮想サーバに対応する疑似端末で、各種問合せにおいて対応する仮想サーバを示します。

2-2 端末サーバ

端末サーバは、専用回線を介して中央システムと接続し、中央システムとの各種データの送受信及び配下に接続するクライアントの制御等を行う端末システムの中核をなす機器です。

また、端末サーバは、中央システムから送信される全通知を、内部の通知格納ファイルに格納・保持しますので、当該通知情報の検索や印刷出力を行うことができます。

○ 「14-4 通知検索」、「14-5 通知印刷」

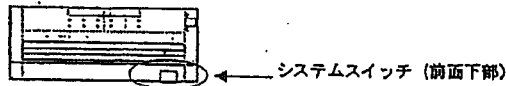
さらに、一部問合せについては、格納・保持されている通知情報を検索することにより、問合せ応答を行います。

○ 「10-1-2 端末サーバ（データサーバ）問合せ機能」

2-2-1 端末サーバの起動・終了操作

端末サーバ前面にある「システムスイッチ」の押下により端末サーバの起動/停止を行って下さい。

また、端末サーバ背面にある「電源スイッチ」については、通常は「ON」状態のままにしておいて下さい。



◆ 端末サーバの起動（システム起動）

端末サーバ本体前面のシステムスイッチを押下する。
→ ランプ（緑）が点灯し、数分でシステムが起動します。

◆ 端末サーバの停止（システムの停止）

端末サーバ本体前面のシステムスイッチを押下する。
→ ランプ（赤）が点灯し、数分でシステムが停止します。



- ◆ ディスク等の障害発生要因となる可能性があるため、24時間起動を避け、業務終了後はシステムを停止してください。
- ◆ 電源スイッチの「OFF」を行う場合には、必ずシステムスイッチが「OFF」状態であることを確認してください。
- ◆ システムスイッチが「ON」状態のまま電源スイッチの「OFF」を行うと、端末サーバのシステムを破壊する恐れがあります。

2-2-2 ディスプレイ・ターミナルの起動・終了操作

端末サーバには、保守用の機器として「ディスプレイ・ターミナル」が接続されています。

ディスプレイ・ターミナルは、ディスプレイの側面にある電源スイッチの「ON」/「OFF」により起動/停止を行ってください。

なお、本機器は保守用の機器のため、注文入力等には使用できません。



本ディスプレイには、障害発生時に障害の内容を示すメッセージが表示されま
す。

本メッセージは、障害の原因調査に必要となるため、端末サーバ本体起動中は、
本ディスプレイも起動させてください。

※ 障害発生後にディスプレイを起動しても、障害メッセージは確認できませ
ん。

2-3 クライアント

クライアントは、各種注文入力、転売・頁戻り/権利行使入力、各種問合せ入力、各種業務運用指示及び振情報等の問合せ応答情報の表示等を行う機能及びプリンタの制御機能を有しています。

クライアントの操作は「キーボード」又は「マウス」を用いて行います。

2-3-1 キーボードレイアウト

クライアントは専用キーボード又は汎用キーボードのどちらからでも操作できます。

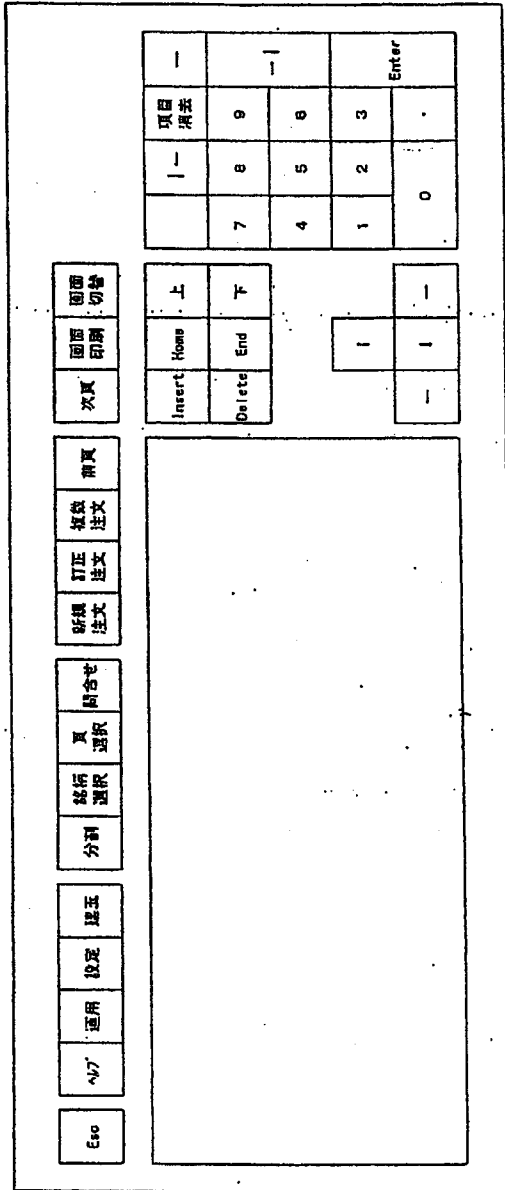
※ 専用キーボードと汎用キーボードを切り替える場合は、キーボード種別の設定の変更が必要です。設定変更が必要な場合には、本所にお申し出下さい。

2-3-1.1 専用キーボード

ヘルプ	運用	設定	建玉						分割	銘柄 選択	頁 選択	問合せ	画面 切替
閉じる											有効 注文1	注文 履歴	振明細

Esc	Tab	Insert	上	下	前頁	次頁	項目 消去	—	新規注文
Home	End	Delete	スペース		7	8	9		訂正注文
Shift		Back Space	—	—	4	5	6		振数注文
Ctrl	画面 印刷				1	2	3		
Alt		—		—	0	000		—	送信

2-3-1.2 汎用キーボード



2-3-1.3 業務関係キーの種類と機能

専用キーボード	汎用キーボード	機能
新規注文	新規注文	新規注文入力ウィンドウを表示します。
訂正注文	訂正注文	訂正注文入力ウィンドウを表示します。
複数注文	複数注文	複数注文選択メニューリストを表示します。
運用	運用	運用機能選択メニューリストを表示します。
設定	設定	設定機能選択メニューリストを表示します。
建玉	建玉	建玉関連機能選択メニューリストを表示します。
分割	分割	板/気配情報エリアの分割形態選択メニューリストを表示します。
銘柄選択	銘柄選択	銘柄選択を行うための市場選択メニューリストを表示します。
頁選択	頁選択	頁選択指示入力ウィンドウを表示します。
問合せ	問合せ	問合せ機能選択メニューリストを表示します。
板明細	—	板明細問合せのショートカットキー
注文履歴	—	注文約定履歴問合せのショートカットキー
有効注文1	—	自社有効注文(受付時刻順) 問合せのショートカットキー
前頁	前頁	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 板/気配画面及び頁登録ウィンドウにおいて頁登録情報の前頁分を表示します。 ◆ 問合せ応答情報のうち、「前頁あり」の情報について前頁分の問合せを行います。
次頁	次頁	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 板/気配画面及び頁登録ウィンドウにおいて頁登録情報の次頁分を表示します。 ◆ 問合せ応答情報のうち、「次頁あり」の情報について次頁分の問合せを行います。
上	上	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 板情報を一定幅以上にスクロールします。 ◆ 気配画面を登録銘柄番号に沿って、一定銘柄数分上にスクロールします。 ◆ スクロール可能な問合せ応答情報を一定件数上にスクロールします。
下	下	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 板情報を一定幅以上にスクロールします。 ◆ 気配画面を登録銘柄番号に沿って、一定銘柄数分下にスクロールします。 ◆ スクロール可能な問合せ応答情報を一定件数上にスクロールします。
Home	Home	スクロールした板画面及び通知表示エリアを元の位置に戻します。

専用キーボード	汎用キーボード	機能
←	→	<ul style="list-style-type: none"> ◆ メインウィンドウ及び問合せ応答ウィンドウにおいて前の操作対象エリアへ移動します。 ◆ 入力ウィンドウにおいてカーソルを前の入力欄（エリア）に移動します。
←	→	<ul style="list-style-type: none"> ◆ メインウィンドウ及び問合せ応答ウィンドウにおいて次の操作対象エリアへ移動します。 ◆ 入力ウィンドウにおいてカーソルを次の入力欄（エリア）に移動します。
・ ・←→	・ ・←→	各ウィンドウに表示するカーソルを上下左右に移動します。
項目消去	項目消去	入力欄の入力内容を消去します。
各数字キー	各数字キー	入力欄に数値を表示します。
-(マイナス)	-(マイナス)	入力欄に「-」（マイナス符号）を表示します。 ※ スプレッド取引において、マイナス値段入力時に値段の先頭に「-」（マイナス）を入力します。
		社内番号入力欄にスペースを示す「・」を表示します。
画面切替	画面切替	各ウィンドウ間でフォーカスを切り替えます。
送信	Enter	入力内容の送信処理を行います。
Esc	Esc	<ul style="list-style-type: none"> ◆ フォーカスのあるメインウィンドウ以外のウィンドウを消去します。 ◆ キー押下により表示したメニューリストを消去します。
閉じる	-	フォーカスのあるメインウィンドウ以外のウィンドウを消去します。
画面印刷	画面印刷	画面表示情報をプリンタに印刷出力します。
ヘルプ	ヘルプ	オンラインヘルプウィンドウを表示します。
Ctrl+項目消去	Ctrl+項目消去	端末リセット処理を行います。
Shift+↑	Shift+↑	画面面上のカーソルを指値エリアから成行エリアに移動します。

2-3-2 クライアントの起動・終了操作

クライアントは、システム装置前面にある「システムスイッチ」及びディスプレイ装置の「電源スイッチ」（電源スイッチの位置はディスプレイの種類によって異なります。）の「ON」/「OFF」により、起動/停止を行ってください。

なお、クライアントを停止する場合は、必ず「電源OFF指示」を行った後に電源切断操作を行ってください。

また、システム装置背面にある「電源スイッチ」については、通常は「ON」状態のままにしておいてください。

2-3-2.1 クライアントの起動

システム装置前面のシステムスイッチ及びディスプレイの電源スイッチを
 押下する。
 → OS及び端末プログラムが起動後、初期業務画面が表示されます。

① クライアントのシステム装置前面のシステムスイッチ及びディスプレイの電源スイッチを押下して、電源をONにします。

② OSの起動画面表示後、端末プログラムが起動し、下記の初期画面が表示されます。



③ その後、しばらくすると初期業務画面（メインウィンドウ）を表示しますので、業務開始可能となります。なお、端末立上げ時の初期業務画面では、必ず登録頁情報の「1ページ」目の登録番号「1」の銘柄を先順に2分割画面を表示します。

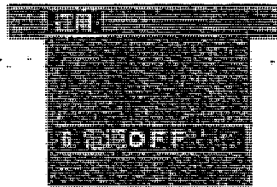
東証 先物 ...		1ページ	
ヘルプ 運用 ...		新規注文 ...	
01 長国 012		02 TOPIX 012	

2-3-2.2 クライアントの停止

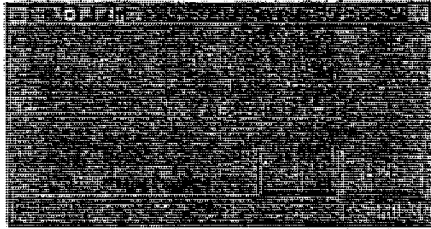
電源OFF指示を行う。

- ディスプレイ上で「電源を切断しても安全です。」のメッセージ確認後、システム装置前面のシステムスイッチ及びディスプレイの電源スイッチを押下して電源を切断します。

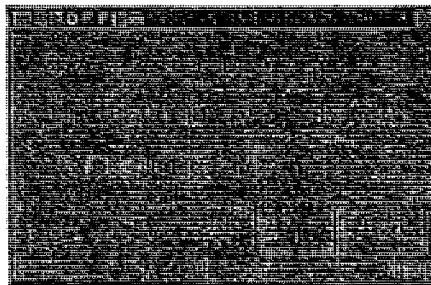
- ① メニューバーの「運用」→「電源OFF」を選択します。



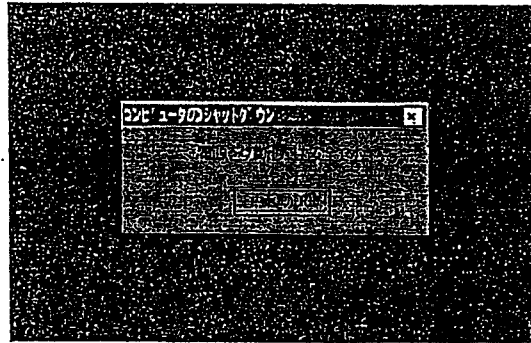
- ② 電源OFF指示ウィンドウ表示後、「送信」を行います。



なお、当該指示クライアントがプリンタ制御クライアントの場合は、続いて下記の確認ウィンドウが表示されますので、「送信」を行います。



- ③ しばらくすると、ディスプレイ上に「電源を切断しても安全です。」のメッセージが表示されますので、当該メッセージを確認後、システム装置前面のシステムスイッチ及びディスプレイの電源スイッチを押下して、電源を切断してください。



- ◆ クライアントの停止（システム装置の電源切断）を行う場合には、必ず「電源OFF指示」を行った後に、ディスプレイに表示される「電源を切断しても安全です。」のメッセージを確認してから行って下さい。
 - ※ 当該メッセージ表示前に電源の切断を行うと、クライアントのOS等のシステムを破壊する恐れがあります。
- ◆ ディスク等の障害発生要因となる可能性があるため、24時間起動を避け、業務終了後はシステムを停止してください。

2-4 プリンタ

プリンタは、各種通知、メッセージ及び画面情報の印刷出力に使用します。

プリンタにはページプリンタとドットプリンタの2種類がありますが、出力方法及び接続形態が異なるだけで出力内容は同じです。

ただし、ページプリンタ、ドットプリンタともに1台につき1台の「プリンタ制御クライアント」が必要となっていますので、最大設置可能台数はクライアントの設置台数に限定されます。



クライアントの停止（システム装置の電源切断）を行うと、当該クライアントが制御しているプリンタへの出力も停止します。

なお、電源の「ON」/「OFF」等の操作方法については、プリンタ付属のマニュアルを参照ください。

◆ 各種通知については、以下の通知種別ごとに出力するプリンタをユーザ側で設定します。

- ◇ 「注文受付等通知」¹⁾
- ◇ 「約定成立等通知」¹⁾
- ◇ 「転売・買戻/権利行使等通知」¹⁾
- ◇ 「約定状況プリント」
- ◇ 「ストップ値注文リスト」
- ◇ 「大口対当銘柄リスト」
- ◇ 「建玉残高通知」
- ◇ 「建玉残高通知（自社）」
- ◇ 「取引証拠金算定基礎建玉残高通知（自社）」（当分の間、出力しません。）
- ◇ 「割当通知」

※ 各種通知は、出力先プリンタを設定しないことにより出力をしないようにすることもできます。

- ⇒ 「6-6 注文・約定関係通知の出力先プリンタの設定」
- ⇒ 「6-7 建玉残高通知等の一方送信通知の出力先プリンタの設定」

¹⁾ 「注文受付通知」、「エラー通知」

²⁾ 「約定成立通知」、「取消結果通知」、「変更結果通知」、「失効注文通知」

³⁾ 「転売・買戻入力結果通知」（訂正・無効含む）、「転売・買戻/権利行使入力結果通知」（訂正・無効含む）

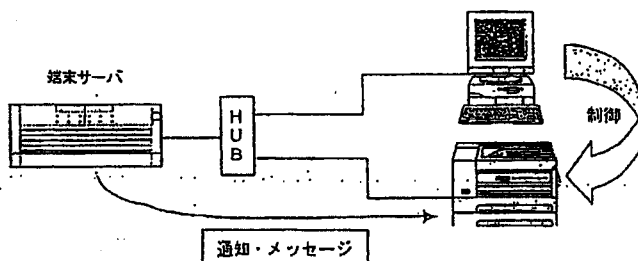
「転売・買戻（オプション取引権利行使分）入力結果通知」（訂正・無効含む）

「委託分取引証拠金算定基礎建玉残高通知」（訂正・無効含む）（当分の間、出力しません。）

2-4-1 ページプリンタ

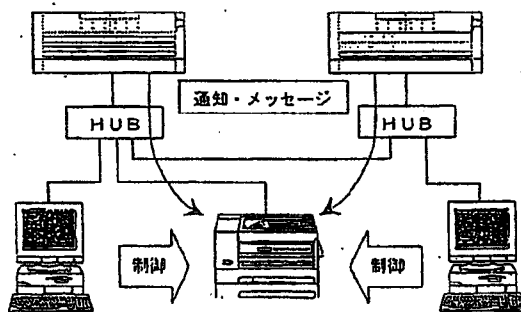
2-4-1.1 接続形態

ネットワーク接続となりますが、制御はクライアントが行います。



また、ネットワーク接続のため、1台のページプリンタを複数の端末サーバで共有することができます。

ただし、その場合には、共有している各端末サーバごとに、当該端末サーバ配下の1台のクライアントをプリンタ制御クライアントとする必要があります。



◆ 複数端末サーバでページプリンタを共有する場合の注意点
 ネットワーク接続のページプリンタを複数の端末サーバで共有している場合、通知のプリンタへの出力は端末サーバ単位に行われます。
 したがって、実際に中央システムから送られた順序が逆転してプリンタに出力される場合があります。

2-4-1.2 通知の出力方法

通知の出力タイミングとして、「一定時間（3分）経過時又は一定件数の通知が溜まった時点」、「各立会終了時」又は「当日立会終了時」のいずれかを選択することができます。

⇒ 「6-9 ページプリンタの通知出力タイミングの設定」

2-4-1.3 通知の強制出力

ページプリンタは、リアルタイムで通知の出力を行わないため、出力タイミングが到来するまで、通知は出力されずに、出力待ちの状態となっています。

そこで、出力待ちとなっている通知を指示により強制的に排出させることができます。

⇒ 「14-6 通知強制印刷」



◆ プリンタ障害

ネットワーク接続のページプリンタは、用紙切れや障害が発生した場合でも、クライアント上には、障害発生メッセージが表示されませんので、プリンタの状態には常に注意を払って下さい。

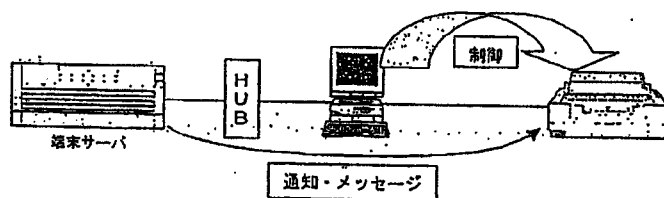
用紙切れの等の障害中に発生した通知情報は、滞留状態となっておりますので、回復後に出力を再開します。

ただし、タイミングによっては、一部通知情報が消失する可能性がありますので、その場合には、通知印刷により再出力を行って下さい。

2-4-2 ドットプリンタ

2-4-2.1 接続形態

クライアント接続となり、プリンタの制御も接続元のクライアントが行います。
ただし、ページプリンタとは異なり、複数サーバ間での共有は行えません。



2-4-2.2 通知の出力方法

すべての通知をリアルタイムで出力します。

◆ **プリンタ障害**

クライアント接続のドットプリンタは、用紙切れや障害が発生した場合には、接続元（制御元）のクライアント上に、障害発生メッセージが表示されますので、回復操作を行って下さい。

用紙切れの等の障害の場合は、回復後に、クライアント上のメッセージが消失され、出力を再開します。

ただし、タイミングによっては、一部通知情報が消失する可能性がありますので、その場合には、通知印刷により再出力を行って下さい。

2-5 レシートプリンタ


プリンタには、ページ/ドットプリンタの他に、選択装置として、クライアント接続となる小型のレシートプリンタがあります。

ただし、レシートプリンタは、入力等にかかる各種通知の出力に限定されます。

2-5-1 接続形態

クライアント接続となり、プリンタの制御も接続元のクライアントが行い、ドットプリンタと同様、複数サーバ間での共有は行えません。

また、1台につき1台の制御クライアントが必要となっていますので、最大設置可能台数はクライアントの設置台数に限定されます。(ただし、1台のクライアントが、ページ/ドットプリンタとレシートプリンタを同時に制御することは可能です。)

 クライアントの停止 (システム装置の電源切断) を行くと、当該クライアントが制御しているレシートプリンタへの出力も停止します。

なお、電源の「ON」/「OFF」等の操作方法については、搬入時に添付されていたプリンタ付属のマニュアルを参照ください。

2-5-2 出力通知


レシートプリンタは、以下の通知をリアルタイムで出力します。

- ◆ 「注文受付等通知」
- ◆ 「約定成立等通知」
- ◆ 「販売・買戻等通知」
- ◆ 「特別清算指数 (SQ) メッセージ」

※ 特別清算指数 (SQ) メッセージ以外の通知については、入力端末ごとに各通知出力先プリンタを設定することができます。また、出力先プリンタを設定しないことにより出力をしないようにすることもできます。

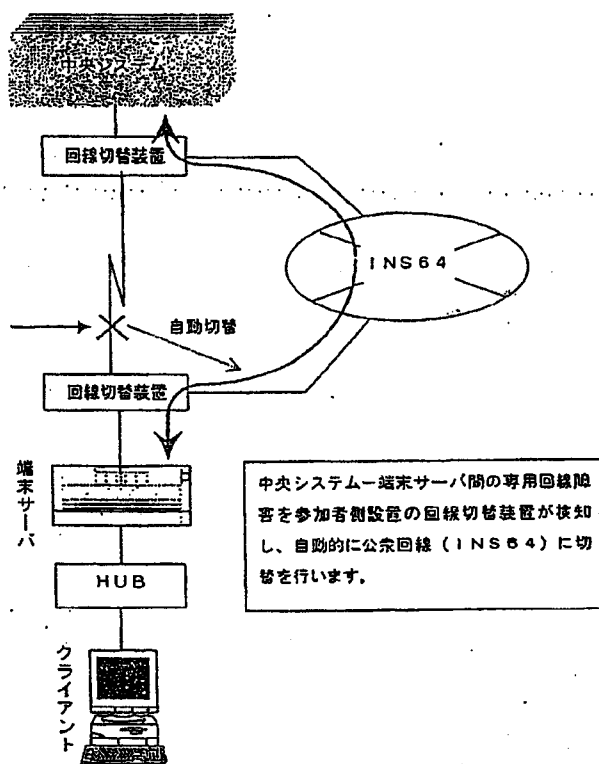
※ 当該レシートプリンタが接続するクライアントと同一の端末サーバ配下の入力端末にのみ当該レシートプリンタを通知の出力先として設定することができます。

⇒ 「6-6 注文・約定関係通知の出力先プリンタの設定」

 **プリンタ障害**
レシートページプリンタは、用紙切れや障害等が発生した場合でも、クライアント上には、障害発生メッセージが表示されず、かつ、障害中に発生した通知は、その時点で消失してしまいますので、レシートプリンタの状態には、常に注意を払って下さい。

2-6 回線切替装置

選択機能として、「回線切替装置」を利用して、専用回線障害時のバックアップとして公衆回線（INS 64）に切替処理を行う機能があります。



専用回線障害が回復した場合には、端末サーバの再立上げ時又は翌日のオンライン開始時に、再び専用回線に接続します。

また、回線切替装置に対する手動操作によっても、切替可能です。

※ 手動操作方法については、回線切替装置付属のマニュアルを参照ください。

※ 公衆回線が「非常に」混雑している場合には、切替えができない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

第3章 基本操作方法について

クライアントの基本的な操作は Windows パソコンとほぼ同様です。

なお、入力等の一部の操作を除いてマウス及びキーボードの双方からほぼ同様な操作を行うことができます。

3-1 メニュー項目の選択

各機能を選択するには、各ウィンドウのメニューバー項目又はメニューバー項目から表示されるメニューリストの表示・選択操作を行います。

各ウィンドウのメニューバー項目の選択は、「マウスによるクリックで選択する方法」と「キーボード上の各項目に対応するキーを押下する方法」があります。

※ なお、以降、「メニューバー項目の選択を行う」といった場合は、「マウスのクリックによる選択」と「キーボード上の各項目に対応するキー押下による選択」の双方のことを指します。

メニューバー項目から表示したメニューリスト項目のうち、右側に「▶」が表示されている項目には、サブメニューがあり、当該項目を選択することでサブメニューリストが表示されます。



メニューリスト選択時の注意事項

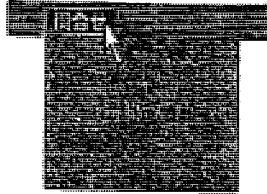
- ◆ メニューリスト（メインウィンドウ以外のウィンドウにおいて表示しているメニューリスト含む）及びショートカットメニューを表示させた状態では、画面上の情報の更新処理が停止し、リストを消去した時点で情報の更新処理を再開する仕組みとなっていますので、抵/気配画面についても、リスト表示中は自動更新が停止しているかのように見えますのでご注意ください。
- ◆ また、長時間表示させたままの状態を放置しておくと、端末障害となる可能性がありますので、ご注意下さい。

3-1-1. マウスによる操作

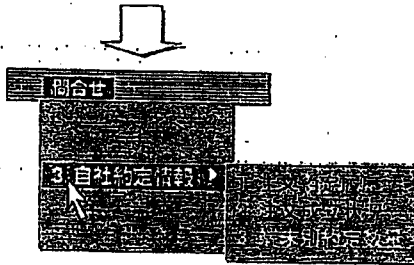
メニューバー又はメニューリストの各項目の「クリック」等により選択します。

(例)

- ① メニューバーのメニュー項目の「問合せ」をクリックにより選択すると、問合せ機能の選択メニューが表示されます。



- ② 「自社約定情報」を選択すると、自社約定情報のサブメニューが表示され、サブメニューの中から項目を選択するとウィンドウが表示されます。

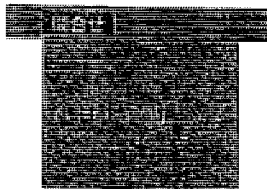


3-1-2 キーボードからの操作

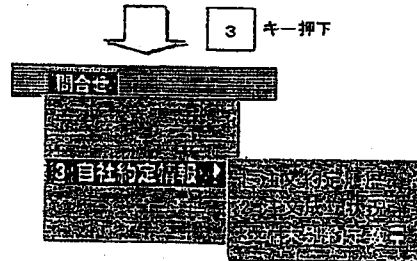
キーボード上の各「メニュー項目に対応するキー」を押下することにより選択します。また、メニューバー項目の選択により表示されるメニューリスト及びサブメニューリスト内の項目は、各項目の「先頭の数字キー」を押下することで選択できます。

(例)


- ① キーボード上の「問合せ」キーを押下することにより、問合せ機能の選択メニューが表示されます。



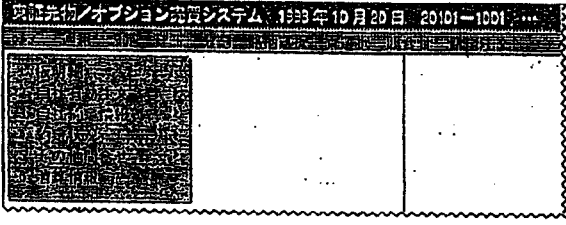
- ② 「自社約定情報」の先頭の数字の「3」のキーを押下することにより、自社約定情報のサブメニューが表示され、サブメニューの中から項目を選択（項目の先頭の数字キーの押下）するとウィンドウが表示されます。



※ メニューリスト項目の選択は、矢印キーでカーソルを項目に合わせて「送信 (Enter)」キーの押下でも可能です。また、メニューリストの項目からサブメニューを表示させる場合は、矢印キーでカーソルを項目に合わせて「←」キーの押下でも可能です。

 マウスのクリックによる選択ではなく、各メニュー項目に対応するキーを押下した場合には、メニューリストは各メニューバー項目の下ではなく、実際には以下のように「常に左上隅」に表示されます。

(例) 「問合せ」キー押下時



The screenshot shows a window titled '項目名/オプション定義システム' with a date '1999年10月20日' and a version number '20101-1001'. The main area is divided into three columns. A menu list is displayed in the top-left corner of the window, listing various options.

3-2 操作対象ウィンドウの指定操作

複数のウィンドウを表示している場合、操作対象とするウィンドウを指定した後、入力等の操作を行います。

操作対象となっているウィンドウのことを制御権（以下、「フォーカス」といいます。）のあるウィンドウといい、フォーカスを複数ウィンドウ間で移動させることで、操作対象ウィンドウを切り替えます。

なお、フォーカスのあるウィンドウは、タイトルバーが「青色」になっており、当該ウィンドウが操作対象であることを示します。

3-2-1 マウスによる操作

操作対象としたいウィンドウを「クリック」することで当該ウィンドウにフォーカスが移動します。

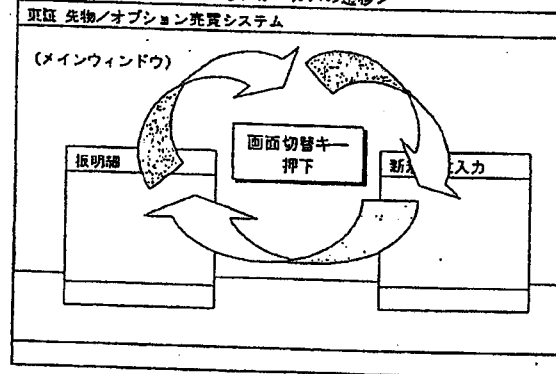
3-2-2 キーボードからの操作

キーボードからは

- ◆ 「画面切替」キーの押下

により、表示しているウィンドウ間で順番にフォーカスが移動します。

<「画面切替」キー押下によるフォーカスの遷移>



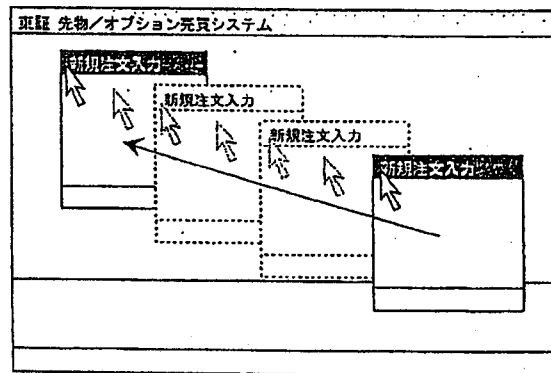
- ※ 「Alt」 + 「Tab」キーの押下でも、フォーカスの移動はできます。
- ※ 「ヘルプウィンドウ」へは、「画面切替キー」によりフォーカス移動できません。「Alt」 + 「Tab」キーの押下でフォーカスを移動させてください。
- ※ 「マウス設定ウィンドウ」は、フォーカスが他のウィンドウへ移動した場合、「メインウィンドウ」の後ろに隠れてしまい、「画面切替キー」や「Alt」 + 「Tab」キーの押下でも再表示できません。再表示させる場合は、もう一度表示操作を行って下さい。

3-3 ウィンドウの移動操作

メインウィンドウ以外の各種入力・問合せ応答ウィンドウは、初期表示時は必ず決まった位置に表示されますが、表示中であれば移動することができます。

3-3-1 マウスによる操作

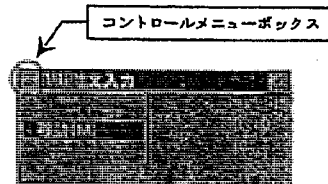
移動したいウィンドウのタイトルバーにマウスのポインタを合わせて移動先の位置までドラッグ（マウスの左ボタンを押し続けたままポインタを移動させること）することでウィンドウを移動します。



3-3-2 キーボードからの操作

キーボードからの操作のみでもウィンドウを移動することができます。

- ① 「Alt+スペース」キーを押下することで、各ウィンドウのコントロールメニューボックスからメニューリストを表示させます。
※ マウスでコントロールメニューボックスをクリックすることでもメニューリストを表示します。



- ② メニューリストから「移動」を選択して「送信 (Enter)」キーを押下します。
- ③ 移動先の場所まで「矢印キー」で移動させて、「送信 (Enter)」キーを押下することで位置を決定します。

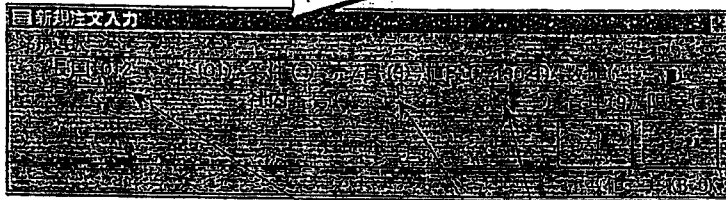
3-4 マウスのダブルクリック

マウスのダブルクリック（マウスの左ボタンを連続して押下すること）により、いくつかの操作を簡略化しています。

- ◆ 板/気配画面上の特定のエリアのダブルクリック
 - 新規注文入力ウィンドウを表示し、ダブルクリック位置の「銘柄名」、「売/買」、「値段」等を自動設定します。
- ◆ 通知表示エリアのダブルクリック
 - 訂正注文入力ウィンドウを表示し、ダブルクリック位置の通知情報から「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。
- ◆ 注文関係の問合せ応答ウィンドウのダブルクリック
 - 訂正注文入力ウィンドウを表示し、ダブルクリック位置の問合せ応答された注文情報から「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。
- ◆ 転売・買戻入力ウィンドウ等の応答表示欄のダブルクリック
 - 転売・買戻数量等入力エリアに、ダブルクリック位置の応答情報から「限月等」及び「自己・委託の別」を自動設定します。

<ダブルクリック位置による自動設定例>

ザラ 01	長国 012	基	13296				
K13320 (13:17)				▲	H	▼	前後場
10		51 成		15	0	13291	
		成行	10	1		(9:05)	
9	171	2209	OVER			H	13320
			13022				13374
10			130				
			13				



ダブルクリックした位置の情報が自動設定されます。

なお、マウスのダブルクリックの間隔を調整することもできます。

⇒ 「6-11 マウスの動作設定」

3-5 マウスの右クリックによるショートカットメニューの表示

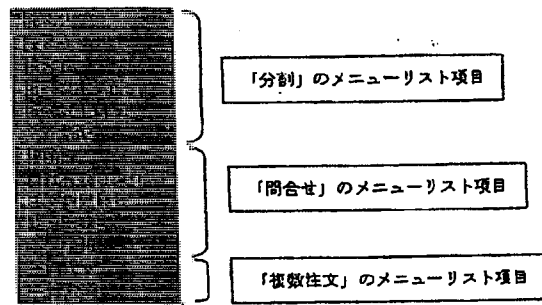
特定のエリアにマウスのポインタを合わせて、マウスの右ボタンを押すこと（右クリック）で表示されるショートカットメニューの中からメニューバーの各項目を選択することにより表示されるメニューリスト内のいくつかの項目を直接選択することができます。

右クリックによるショートカットメニューから項目を選択するには、右ボタンを押したまま、表示されるショートカットメニューの選択したい項目の位置で離します。

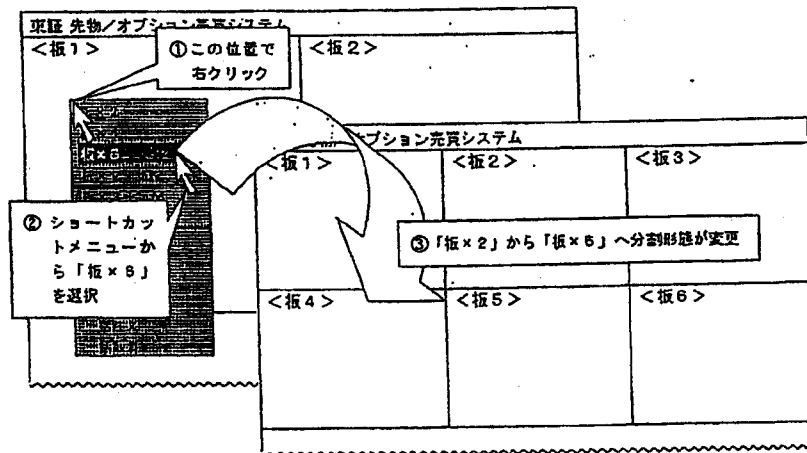
なお、マウスの右ボタンの機能を左ボタンの機能と入れ替えることもできます。

⇒ 「6-11 マウスの動作設定」

メインウィンドウの板/気配画面の特定位置において、右クリックを行うことにより表示されるショートカットメニューから以下の項目を選択することができます。



<右クリックによるショートカットメニューからの選択例>



3-6 「送信 (Enter)」キー押下時の動作

各ウィンドウにフォーカスがある場合に「送信 (Enter)」キーの押下より、各ウィンドウにあるボタンをマウスでクリックしたことと同じ動作となります。

「送信 (Enter)」キー押下時の動作は、カーソルの位置によって異なります。

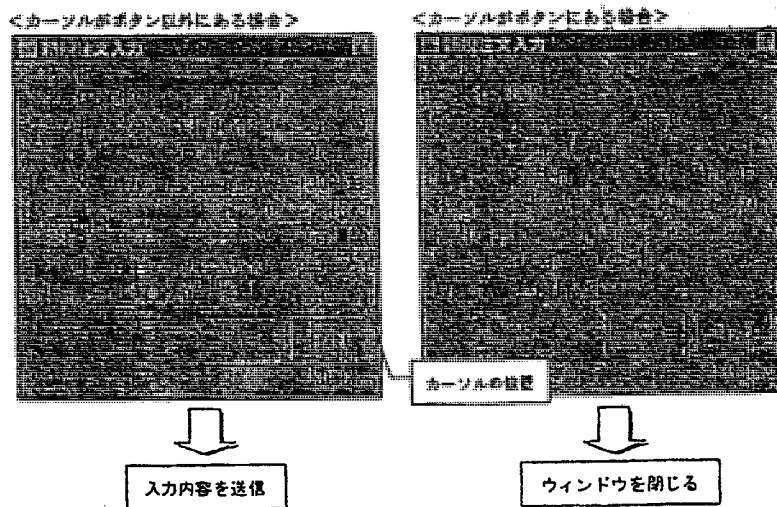
3-6-1 ボタン以外にカーソルがある場合

ボタン以外に入力欄等にカーソルがあるときに、「送信 (Enter)」キーの押下を行った場合には、当該ウィンドウにおいてあらかじめ決められたボタンの選択動作となります。

- ◆ 「送信」ボタンのある入力ウィンドウ
→ 「送信」ボタンの選択動作となり、入力内容の送信処理を行います。
- ◆ 「更新」ボタンのある問合せ応答ウィンドウ
→ 「更新」ボタンの選択動作となり、応答情報の更新 (再) 問合せ処理を行います。
- ◆ 「閉じる」ボタンしかないウィンドウ
→ 「閉じる」ボタンの選択動作となり、当該ウィンドウを閉じます。

3-6-2 ボタンにカーソルがある場合

ボタンにカーソルがある場合 (ボタンの項目名が点線で囲まれている状態) に、「送信 (Enter)」キーの押下を行った場合には、当該ボタンの選択動作となります。

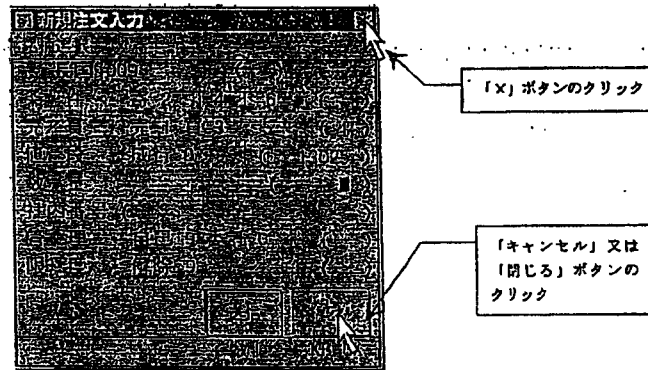


3-7 ウィンドウの閉じ方

メインウィンドウ以外の各種入力・問合せ応答ウィンドウを表示後、以下の操作で当該ウィンドウを閉じます。

3-7-1 マウスによる操作

ウィンドウ下部に表示している「キャンセル」又は「閉じる」ボタン又はタイトルバーの右端にある「X」ボタンをクリックします。



3-7-2 キーボードからの操作

- ◆ 「Esc」キー又は「閉じる」キーの押下により、押下時にフォーカスのあるウィンドウを閉じます。

第4章 取引商品について

先物/オプション売買システムにおいては、以下の商品特性の異なる5つの市場の取引を行います。

- ◆ 債券先物市場 債券先物市場には以下の商品（証券種別）があります。
 - ◇ 長国先物取引
 - ◇ 中国先物取引
 - ◇ 超長先物取引
 - ◇ T B先物取引
 - ◇ 長国先物スプレッド取引（平成10年11月取引開始予定）

- ◆ 債券先物オプション市場 債券先物オプション市場には、以下の商品（証券種別）があります。
 - ◇ 長国先物オプション取引

- ◆ 指数先物市場 指数先物市場には、以下の商品（証券種別）があります。
 - ◇ T O P I X先物取引
 - ◇ 電気機器株価指数先物取引
 - ◇ 輸送機器株価指数先物取引
 - ◇ 銀行株価指数先物取引
 - ◇ T O P I X先物スプレッド取引

- ◆ 指数オプション市場 指数オプション市場には、以下の商品（証券種別）があります。
 - ◇ T O P I Xオプション取引

- ◆ 株券オプション市場 株券オプション市場には、以下の商品（証券種別）があります。
 - ◇ 30原株を対象としたそれぞれの株券オプション取引

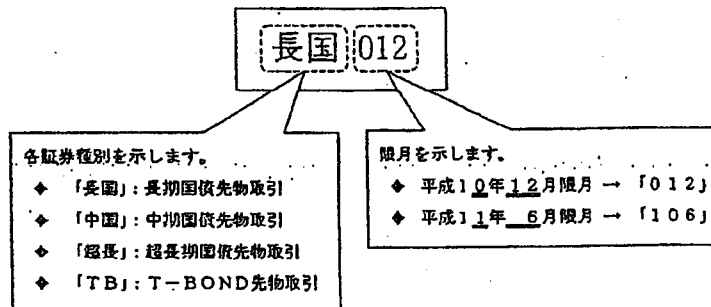
※各特別参加者はそれぞれの資格に応じた市場のみが取引できます。

上記の各市場は、値段の表示・入力単位等がそれぞれ異なる場合があります。
 本誌では、取引を行うにあたって必要な点について、各市場によって異なる部分を中心に示します。

4-1 債券先物市場

4-1-1 長国・中国・超長・TB先物取引

4-1-1.1 銘柄名



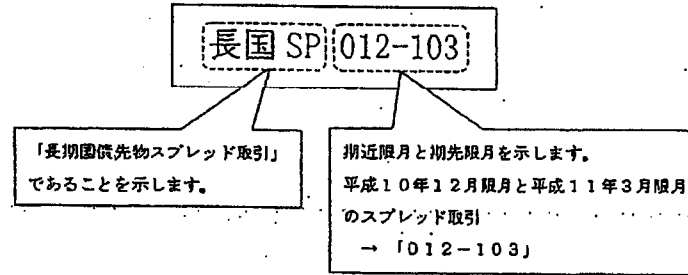
4-1-1.2 値段の表示・入力単位銘柄名

- ◆ 長国先物取引 : 「1銭」単位
- ◆ 中国先物取引 : 「1銭」単位
- ◆ 超長先物取引 : 「1銭」単位
- ◆ T-BOND先物取引: 「1/32ポイント」単位

※ なお、T-BOND先物取引は、平成11年6月限月以降、当分の間、新規限月の設定は行いません。

4-1-2 長国先物スプレッド取引（平成10年11月取引開始予定）

4-1-2.1 銘柄名



4-1-2.2 長国先物スプレッド取引における「売」「買」の意味銘柄名

- ◆ 「売」：期近限月の売り、期先限月の買い
- ◆ 「買」：期近限月の買い、期先限月の売り

4-1-2.3 値段の表示・入力単位

- ◆ 期近限月の値段から期先限月値段を差し引いて得た値段（スプレッド値段）を、「1銭」単位で表示・入力を行います。
- ◆ 長国先物スプレッド取引は、ゼロ・マイナス値段での入力を可能とするため、スプレッド値段が「0銭」となる場合は、「0」で、マイナス値段となる場合は、マイナス符号「-」を付加して、表示・入力を行います。
 - ◇ スプレッド値段が「10銭」 → 表示：「010」 ・ 入力：「10」
 - ◇ スプレッド値段が「0銭」 → 表示：「000」 ・ 入力：「0」
 - ◇ スプレッド値段が「-10銭」 → 表示：「-010」 ・ 入力：「-10」
- ◆ また、長国先物スプレッド取引においては、「成行注文」の入力は、制度上、不可となっています。したがって、注文値段として「0」を指定した場合には、上記のように「0銭」として扱います。

4-1-2.4 注文受付開始

長国先物スプレッド取引は、始値決定時の振寄せによる取引がなく、スプレッド取引対象の基準限月の始値決定後から注文受付を開始します。

また、終値決定時の振寄せによる取引もありません。

したがって、ザラバのみの取引となっており、ザラバでの最初の約定が始値、最後の約定が終値となります。

4-1-2.5 執行条件の付加

長国先物スプレッド取引には、上記のように、始値決定時及び終値決定時の板寄せによる取引がありませんので、「寄り条件(2)」、「引け条件(4)」、「不成条件(6)」は付加できません。

4-1-2.6 約定成立処理方法

長国先物スプレッド取引においては、約定成立方法として、いわゆる「L I F F E方式」を採用しています。

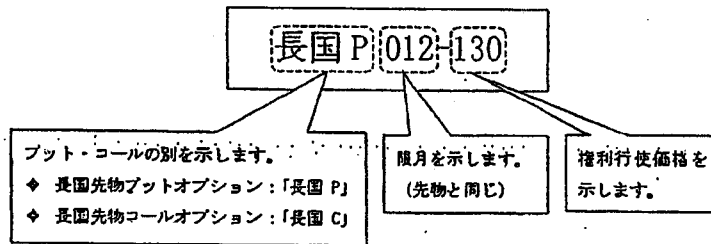
したがって、スプレッド注文自体は、スプレッドの板に登録されますが、スプレッド対象の個別限月の板状況がより有利なスプレッドである場合は、その時点でスプレッド注文は個別限月の板に登録され、個別限月の板上で約定処理されます。

なお、詳しくは、東証「債券部 債券総務課」又は「債券部 債券先物・オプション業務室」にお問合せ下さい。

4-2 債券先物オプション市場

4-2-1 長国先物オプション取引

4-2-1.1 銘柄名



4-2-1.2 値段の表示・入力単位銘柄名

- ◆ 「1銭」単位 → 表示例：「001」・入力例：「1」

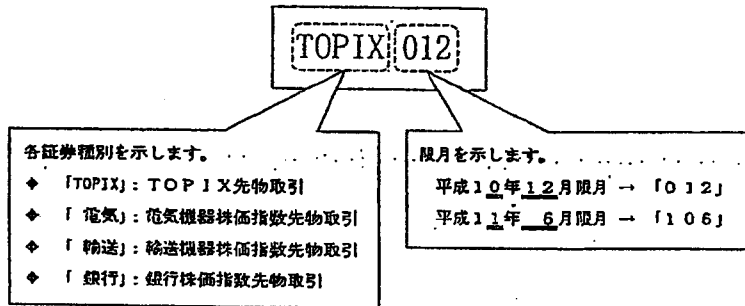
4-2-1.3 権利行使方法

- ◆ 取引期間中は、いつでも権利行使することができます。(アメリカンタイプ)
- ◆ イン・ザ・マネー、アウト・オブ・ザ・マネーにかかわらず、すべての権利行使価格において、権利行使数量を入力することにより、権利行使を行うことができます。
- ◆ また、権利行使最終日においては、イン・ザ・マネーの権利行使価格においては、「自動権利行使制度」が適用されています。
 - ⇒ 「11-2-3.2 長国先物オプション取引における権利行使最終日の自動権利行使制度」

4-3 指数先物市場

4-3-1 TOPIX・電気・輸送・銀行先物取引

4-3-1.1 銘柄名

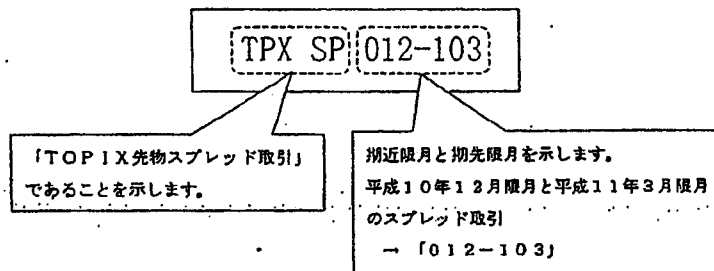


4-3-1.2 値段の表示・入力単位

- ◆ TOPIX先物取引：「0.5ポイント」単位
- ◆ 電気先物取引：「0.5ポイント」単位
- ◆ 輸送先物取引：「0.5ポイント」単位
- ◆ 銀行先物取引：「0.1ポイント」単位

4-3-2 TOPIX先物スプレッド取引

4-3-2.1 銘柄名



4-3-2.2 TOPIX先物スプレッド取引における「売」・「買」の意味

- ◆ 「売」：期近限月の買い、期先限月の売り
- ◆ 「買」：期近限月の売り、期先限月の買い

4-3-2.3 ゼロ・マイナス値段対応（平成10年11月予定）前での値段の表示・入力単位

- ◆ 先物/オプション売買システム稼働から当分の間（平成10年11月まで（予定））は、現在と同様に、期先限月の値段から期近限月値段を差し引いて得た値段（スプレッド値段）を、0.0ポイントを「1000」として「0.5ポイント」刻みで表示・入力を行います。
 - ◇ スプレッド値段が「0.5ポイント」 → 「1005」
 - ◇ スプレッド値段が「0.0ポイント」 → 「1000」
 - ◇ スプレッド値段が「-0.5ポイント」 → 「995」
- ◆ また、TOPIX先物スプレッド取引においては、「成行注文」の入力は、制度上、不可となっています。したがって、注文値段として「0」を指定した場合には、成行注文とみなし、エラー注文となります。

4-3-2.4 ゼロ・マイナス値段対応（平成10年11月予定）後での値段の表示・入力単位

- ◆ 期近限月の値段から期先限月値段を差し引いて得た値段（スプレッド値段）を、「0.5ポイント」単位で表示・入力を行います。
- ◆ ゼロ・マイナス値段対応後は、ゼロ及びマイナス値段での入力を可能となるため、スプレッド値段が「0.0ポイント」となる場合は、「0」で、マイナス値段となる場合は、マイナス符号「-」を付加して、表示・入力を行います。
 - ◇ スプレッド値段が「0.5ポイント」 → 表示：「05」・入力：「5」
 - ◇ スプレッド値段が「0.0ポイント」 → 表示：「00」・入力：「0」
 - ◇ スプレッド値段が「-0.5ポイント」 → 表示：「-05」・入力：「-5」

第4章 取引商品について

- ◆ また、TOPIX先物スプレッド取引においては、「成行注文」の入力は、制度上、不可となっています。したがって、注文値段として「0」を指定した場合には、上記のように「0.0ポイント」として扱います。

4-3-2.5 執行条件の付加

TOPIX先物スプレッド取引では、上記のように、「成行注文」の指定はできませんので、「不成条件(6)」は付加できません。

4-3-2.6 約定成立処理方法

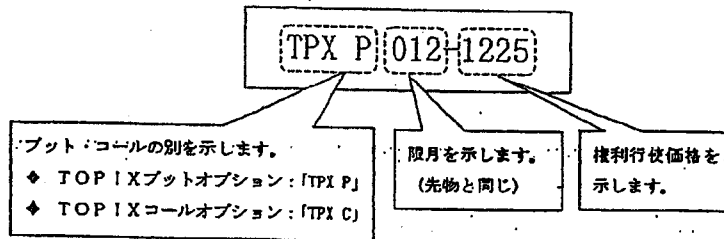
TOPIX先物スプレッド取引においては、約定成立方法として、いわゆる「別板方式」を採用しています。

したがって、スプレッド注文は、スプレッドの板に登録され、スプレッド対象の個別限月の板状況とは関係なく、スプレッド板上で約定処理されます。

4-4 指数オプション市場

4-4-1 TOPIXオプション取引

4-4-1.1 銘柄名



4-4-1.2 値段の表示・入力単位

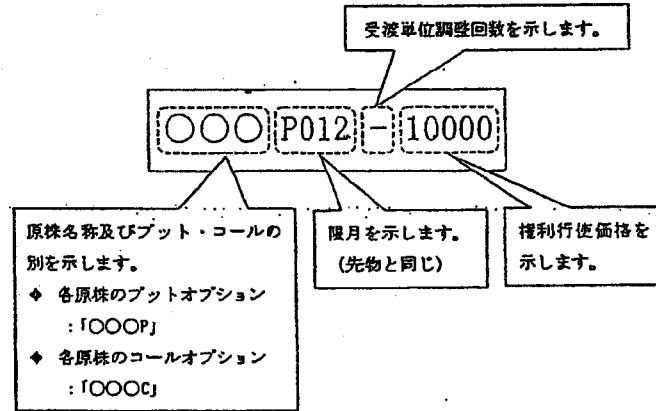
- ◆ 「0.5ポイント」単位 → 表示例：「05」・入力例：「5」

4-4-1.3 権利行使方法

- ◆ 権利行使最終日（取引最終日の翌日）のみ権利行使することができます。（ヨーロピアンタイプ）
- ◆ イン・ザ・マネー以外の権利行使価格については、権利行使を行うことができません。
- ◆ また、権利行使最終日においては、最終清算指数より定幅（0.3ポイント）イン・ザ・マネーの権利行使価格においては、「自動権利行使制度」が適用されています。
 - 「11-2-3.3 TOPIXオプション取引における権利行使最終日の自動権利行使制度」

4-5 株券オプション市場

4-5-1 銘柄名



4-5-1.1 原株名称

各株券オプションの原株名の略称を表示します。

※旧株OP端末とは、略称が異なる原株があります。

<例> 「新日鉄」→ 旧株OP端末 : 「新鉄」

本端末 : 「新日鉄」

4-5-1.2 受渡単位調整回数⁴⁾

原株に株式分割等が発生し、当該原株を対象としている株券オプション銘柄のうち、受渡単位が調整された銘柄について、受渡単位の調整回数を英大文字で示します。

- ◆ 「-」: 受渡単位の調整のない銘柄 (受渡単位が原株の売買単位と同じ銘柄)
- ◆ 「A」: 株式分割等により受渡単位が1回調整された銘柄
- ◆ 「B」: 株式分割等により受渡単位が2回調整された銘柄
- ◆ 「J」: 株式分割等により受渡単位が9回調整された銘柄

⁴⁾ 受渡単位の調整のない銘柄とは、受渡単位が原株の売買単位と同じ銘柄のことをいい、受渡単位の調整回数n回の銘柄とは、原株の株式分割等により、受渡単位がn回調整されたことによって、受渡単位が原株と異なる銘柄のことをいいます。

4-5-1.3 権利行使価格

新端末においては、下表のとおり、権利行使価格水準による桁落し方法にしたがって、1～5桁の権利行使価格を表示します。

※ 旧株OP端末とは、桁落しの方法が異なります。

権利行使価格水準	桁落し	表示・入力例	
		実際の 権利行使価格	表示・入力上の 権利行使価格
～ 10万円未満	全桁表示	12,000円	12000
10万円以上 ～ 100万円未満	下2桁落し	120,000円	120
100万円以上 ～ 1,000万円未満	下2桁落し	1,200,000円	1200
1,000万円以上 ～	下3桁落し	12,000,000円	120000

4-5-2 値段

4-5-2.1 値段の刻み

下表のとおり、原株の当日の下限制限値段の水準により決定される刻みで表示します。

原株の当日の下限制限値段	値段の刻み
～ 2,000円未満	50銭
2,000円以上 ～ 3,000円未満	2円50銭
3,000円以上 ～ 3万円未満	5円
3万円以上 ～ 5万円未満	25円
5万円以上 10万円未満	50円
10万円以上 100万円未満	500円
100万円以上	5,000円

4-5-2.2 値段の表示・入力単位

原株の売買単位に応じて、10銭単位又は10円単位で表示します。

- ◆ 原株の売買単位が1株以外：10銭単位
- ◆ 原株の売買単位が1株：10円単位

<表示時の例>

実際の値段	値段の表示	
	原株の売買単位が 「1株以外」の銘柄	原株の売買単位が 「1株」の銘柄
50 銭	05 (入力時は「5」)	—
5 円	50	—
50 円	500	5
500 円	5000	50
5,000 円	50000	500
50,000 円	500000	5000
500,000 円	5000000	50000

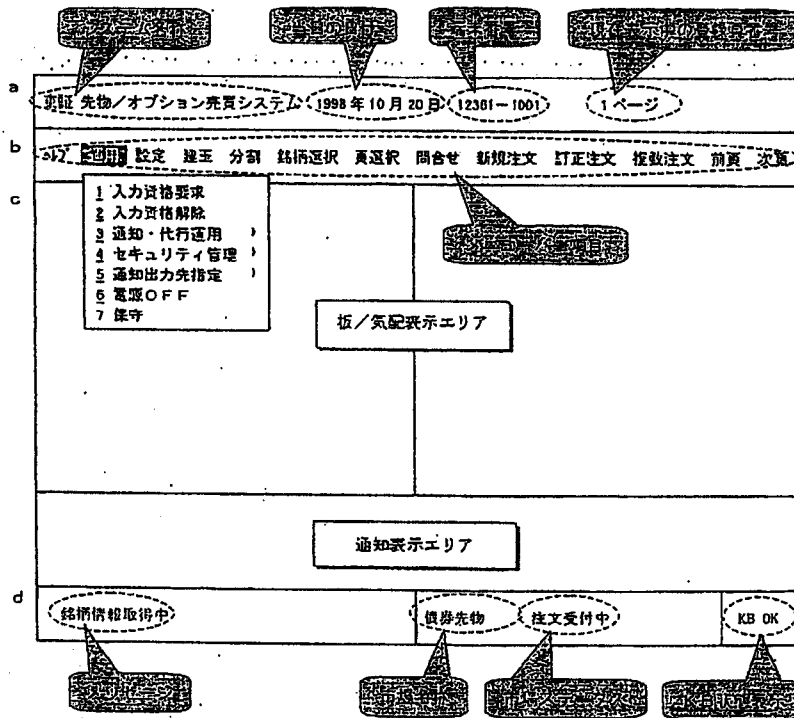
4-5-3 権利行使方法

- ◆ 権利行使最終日（取引最終日）のみ権利行使することができます。（ヨーロピアンタイプ）
- ◆ イン・ザ・マネー、アウト・オブ・ザ・マネーにかかわらず、すべての権利行使価格において、権利行使数量を入力することにより、権利行使を行うことができます。

第5章 画面構成について

ディスプレイ上に表示される業務画面は、①メインウィンドウ、②各種入力ウィンドウ、③各種問合せ応答ウィンドウで構成されます。

5-1 メインウィンドウ



○ タイトルバー

- ◆ システム名称 「東証 先物/オプション売買システム」を表示します。
- ◆ 当日日付 当日の日付を表示します。
 - ※ 利用可能な全市場がオフライン時には表示されません。
 - ※ テスト時等には、テストで使用する日付を表示する場合があります。
- ◆ 端末番号 当該クライアントの端末番号を表示します。
- ◆ 表示中の登録頁番号 現在表示中の板/気配情報登録頁番号を表示します。

○ メニューバー

- ◆ メニュー項目 各機能を選択するメニュー項目を表示します。
各項目を選択することで、各項目の機能を選択するメニューが表示されます。
 - ◇ ヘルプ : オンラインヘルプウィンドウを表示します。
 - ◇ 運用 : 運用機能選択メニューを表示します。
 - ◇ 設定 : 設定機能選択メニューを表示します。
 - ◇ 建玉 : 建玉関連機能選択メニューを表示します。
 - ◇ 分割 : 板/気配情報表示エリア分割形態選択メニューを表示します。
 - ◇ 銘柄選択 : 銘柄の属する市場選択メニューを表示します。
 - ◇ 頁選択 : 頁選択ウィンドウを表示します。
 - ◇ 問合せ : 問合せ機能選択メニューを表示します。
 - ◇ 新規注文 : 新規注文入力ウィンドウを表示します。
 - ◇ 訂正注文 : 訂正注文入力ウィンドウを表示します。
 - ◇ 複数注文 : 複数注文入力機能選択メニューを表示します。
 - ◇ 前頁 : 表示中の板/気配情報を1ページ前の登録頁に変更します。
 - ◇ 次頁 : 表示中の板/気配情報を1ページ後の登録頁に変更します。

○ 情報表示エリア

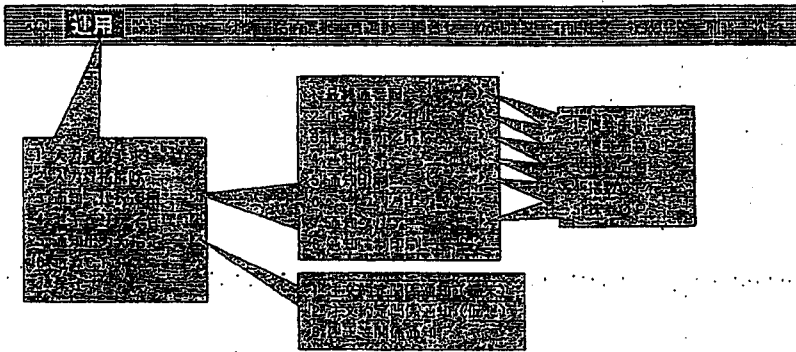
- ◆ 板/気配表示エリア 板情報及び気配情報を表示します。
 - 「第7章 板/気配情報の問合せについて」
- ◆ 通知表示エリア 当該クライアントから入力した注文にかかる通知情報等を表示します。
また、通知表示エリアは、「直近通知表示エリア」と「通知スクロールエリア」に分割されています。
 - 「第8章 通知表示エリアについて」

d ステータス表示エリア

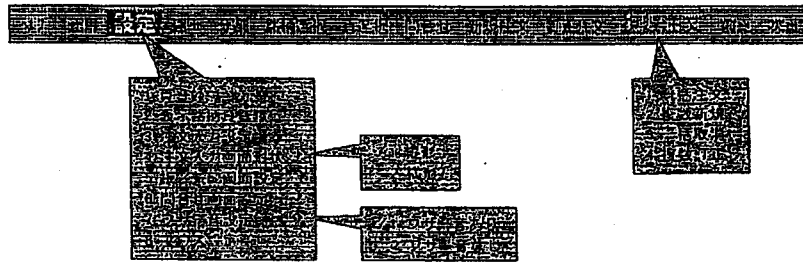
- ◆ メッセージ 各種メッセージを表示します。
- ◆ 市場名及び市場ステータス 当該クライアントが利用可能な市場名及び当該市場の現在のステータス情報を表示します。
表示部分をクリックすることで、各市場を循環表示します。
 - ◇ オフライン : オフライン状態を示します。
 - ◇ オンライン : オンライン開始を示します。
 - ◇ 注文受付中 : 注文受付中であることを示します。
 - ◇ 立会中 : 立会中であることを示します。
 - ◇ 注文受付終了 : 注文受付の終了を示します。
 - ◇ 転売・買戻等受付中 : 転売・買戻等入力が受付中であることを示します。
 - ◇ 転売・買戻受付終了 : 転売・買戻入力の受付終了を示します。
 - ◇ 建玉集計完了 : 建玉集計の完了を示します。
 - ◇ 抽選完了 : 抽選処理の完了を示します。
(オプション市場のみ)
 - ◇ オンライン終了 : オンラインの終了を示します。
 - ◇ 立会停止中 : 障害等により立会停止中であることを示します。
- ◆ KB状態表示 当該クライアントの操作可否についての状態を表示します。
 - ◇ KB OK : 操作可能状態であることを示します。
 - ◇ KB NG : 問合せ処理中等により操作不可の状態を示します。

第5章 画面構成について

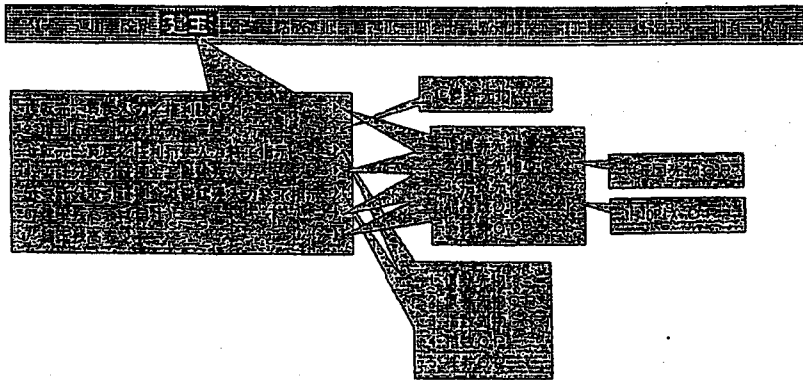
《メニューリスト一覧》

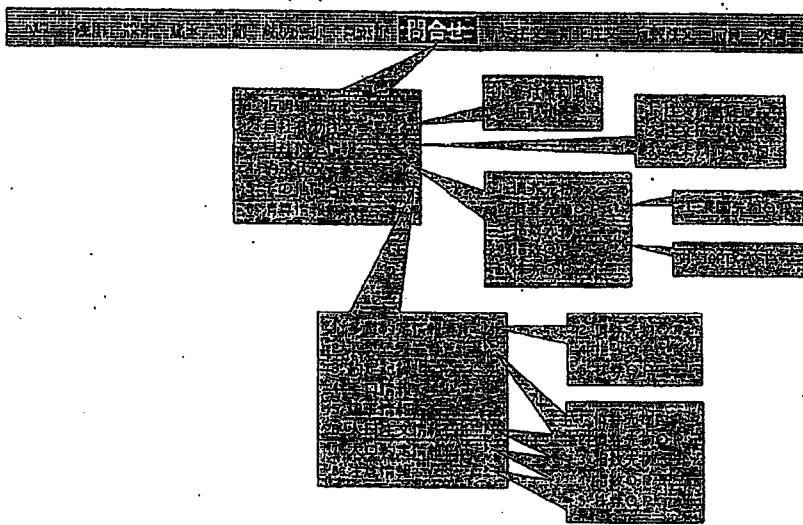
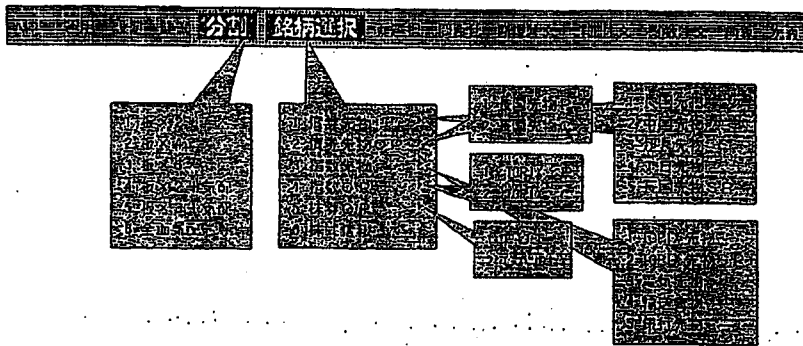


※ 「セキュリティ管理」は当初は選択できません。



※ 「問合せ画面設定」は当初は選択できません。





- ※ 「その他問合せ」中の「手口情報」、「大口注文情報」及び「大口約定情報」は、市場ごとにその選択可否が異なります。
- ※ 「自社有効注文一覧」中の「板形式」、「自社約定情報」中の「端末別約定数量」及び「その他問合せ」中の「連玉情報」は当初は選択できません。

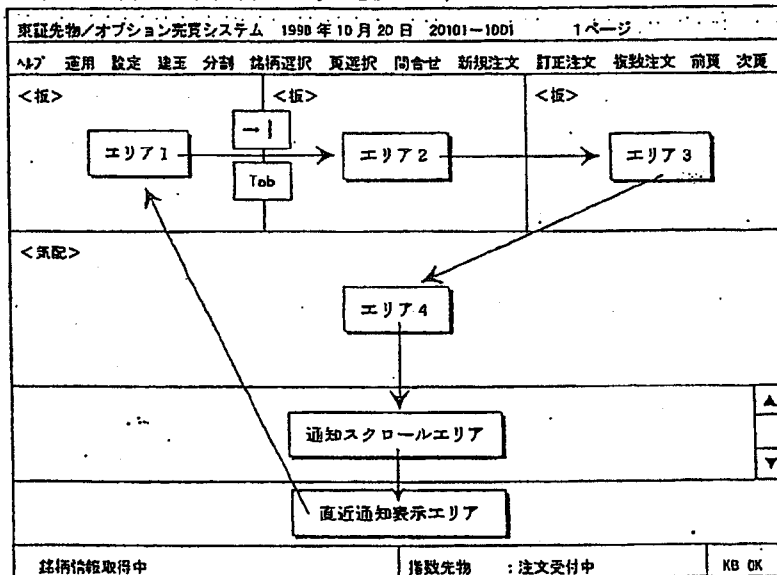
5-1-1 メインウィンドウ内の操作対象エリアの指定

メインウィンドウ内の情報表示エリア（板/気配表示エリア+通知表示エリア）のうち、板/気配表示エリアについては2～6つのエリアに、通知表示エリアについては2つのエリアに分割されます。

板/気配表示エリア及び通知表示エリア合わせて4～8つのエリアのうち1つのエリアを「操作対象エリア」として指定することによって、当該エリアへの操作が可能となります。

「操作対象エリア」は、メインウィンドウにフォーカスがある場合に、「タブ」キーの押下により次のエリアに移動します。また「バックタブ」キーの押下により、前のエリアに移動します。

<タブキー押下時の「操作対象エリア」の遷移例>



5-1-2 操作対象エリアであることの表示

各エリアは、操作対象エリアである場合には、以下のようにカーソルの表示等により、当該エリアが操作対象エリアであることを示します。

ただし、通知スクロールエリアは、OSの制約上、操作対象エリアでない場合でもカーソルを表示します。

◆ 板画面

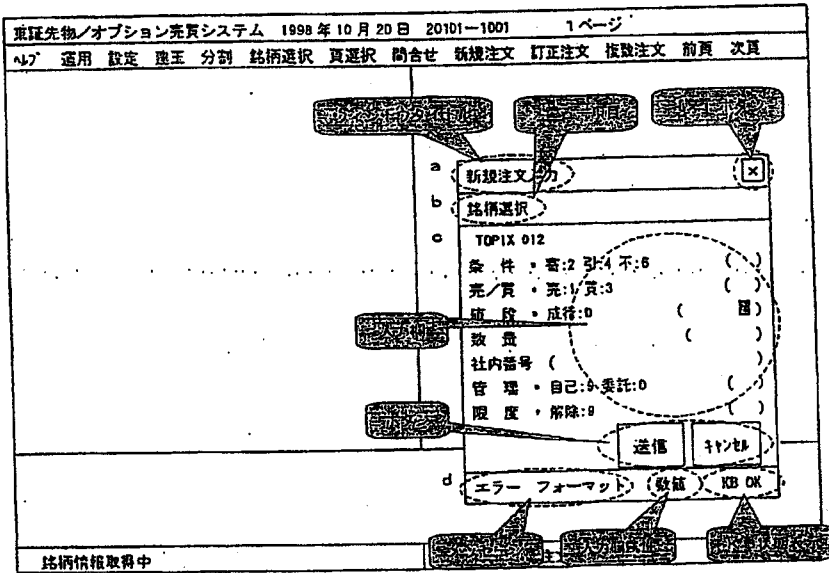
◆ 気配画面

	▲ ▼	売気配(A)		買気配(B)	
		数量	値段	値段	数量
01 JOP1X-012		5	13005	13000	10
02 JOP1X-103		6	13100	13055	2
03 TOP1X-108					
04 TOP1X-109					

◆ 画面通知表示エリア

新規	長国 012	売引	成行	10	9:01(245/)	委
新規	長国 012	売	13020	10	9:15(301/)	自
約定	長国 012	売	13020	2(残 0)	9:15(301/)	自
約定	長国 012	買	13015	5	9:20(358/)	自
新規	長国 012	売引	成行	10	9:38(448/)	委

5-2 各種入力ウィンドウ



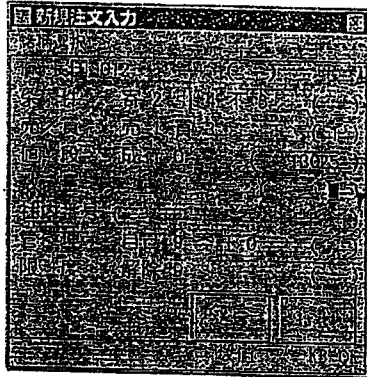
- a タイトルバー
 - ◆ ウィンドウタイトル 各種入力ウィンドウのタイトルを表示します。
 - ◆ 「×」ボタン ウィンドウを閉じるための「×」ボタンを表示します。

- b メニューバー（一部ウィンドウのみ）
 - ◆ メニュー項目 「銘柄選択」等の機能を選択するメニュー項目を表示します。

- c 入力エリア
 - ◆ 入力欄 入力を行う際に必要なデータを入力します。
 - ◆ ボタン
 - 「送信」ボタン：入力内容を送信します。
 - 「キャンセル」ボタン：入力内容を無効としてウィンドウを閉じます。

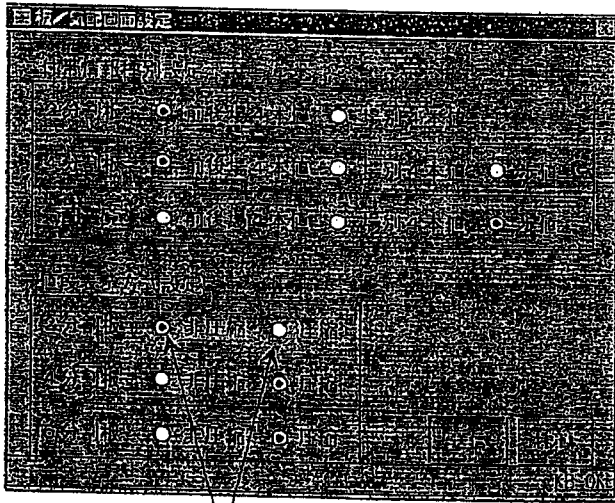
- d ステータスエリア
 - ◆ メッセージ エラーメッセージ等を表示します。
 - ◆ 入力欄属性 カーソルのある入力欄の属性を表示します。
 - ◆ KB状態表示 メインウィンドウと同様に、当該クライアントの操作可否についての状態を表示します。

各種入力ウィンドウにおいて、新規注文等を入力する場合には、入力ウィンドウ表示後、各入力欄に必要なデータを入力します。データの入力操作はキーボードからのみ可能です。



入力欄
各データの入力欄を「()」で表示します。
各入力欄にキーボードのテンキー等の押下によりデータを入力します。


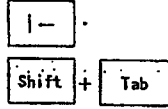
カーソル
カーソルを各入力欄に移動・表示させることで、当該入力欄へ入力可能な状態となります。



ラジオボタン
問合せ毎の入力条件の択一選択を行う場合に使用しています。
カーソルをタブキーでそれぞれのラジオボタンエリアに移動させて矢印キーで選択するか、マウスのクリックで選択します。
選択状態となった項目はラジオボタンが選択状態 (●) となり、項目名が点線で囲まれます。

5-2-1 「カーソル」の移動方法

カーソルは「タブ」キーの押下により次の入力欄等に移動します。また「バックタブ」キーの押下により、前の入力欄等に移動します。

	押下キー	機能
「タブ」キー	 Tab	カーソルを次の入力欄等に移動させます。
「バックタブ」キー		カーソルを前の入力欄等に移動させます。

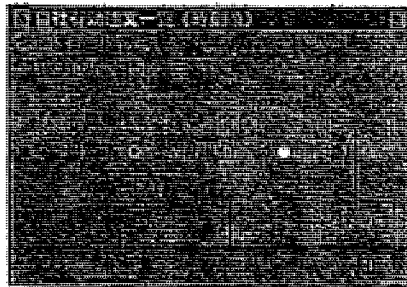
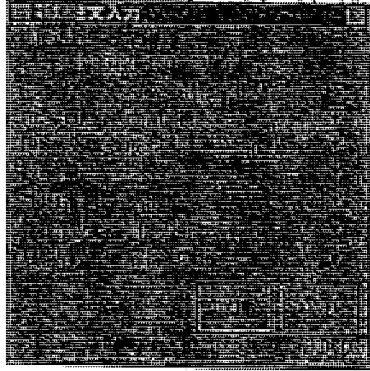
また、移動させたい入力欄をマウスでクリックすることでも、当該入力欄にカーソルが移動します。

5-2-2 「カーソル」の移動順序

カーソルは、「タブ」キー等の押下により、入力欄だけでなく、以下の例のように「送信」・「キャンセル」ボタンやラジオボタンエリアにも移動します。

「送信」・「キャンセル」ボタンやラジオボタンにカーソルがある場合は、項目名が点線で囲まれます。

<「タブ」キー押下時の移動順序例>



「バックタブ」キー押下時には、上記とは逆の移動順序となります。

5-2-3 入力対象銘柄の変更

銘柄単位に入力を行う入力ウィンドウにおいては、当該入力ウィンドウ表示後に以下の方法で入力対象銘柄を変更することができます。

なお、入力ウィンドウにおいて入力対象銘柄を変更した場合には、入力済み項目は消去されます。

5-2-3.1 再度、入力ウィンドウの表示操作を行うことによる変更

入力ウィンドウ表示後、再度、当該入力ウィンドウの表示操作を行うことで、表示操作時に設定する銘柄名に変更します。

<例：新規注文入力ウィンドウ>

- ◆ 板/気配画面の特定のエリアを再度マウスでダブルクリックする。
- 再度ダブルクリックした位置の銘柄名を設定します。

5-2-3.2 銘柄登録番号入力欄への入力による変更

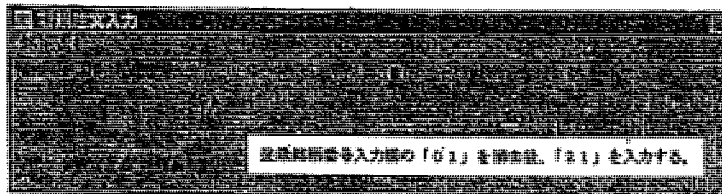
入力ウィンドウのうち各注文入力ウィンドウには、登録銘柄番号入力欄があり、当該「登録銘柄番号入力欄」に「01」～「24」の中の登録銘柄番号を入力する。

- その時点で表示中の板/気配画面の登録ページ中の入力した登録銘柄番号に対応する銘柄名が設定されます。

<登録銘柄番号入力による銘柄名の変更例>

現在表示中の板/気配画面の登録ページにおいて以下の銘柄が登録されている場合。

「01」：長国012、「21」：TOPIX012

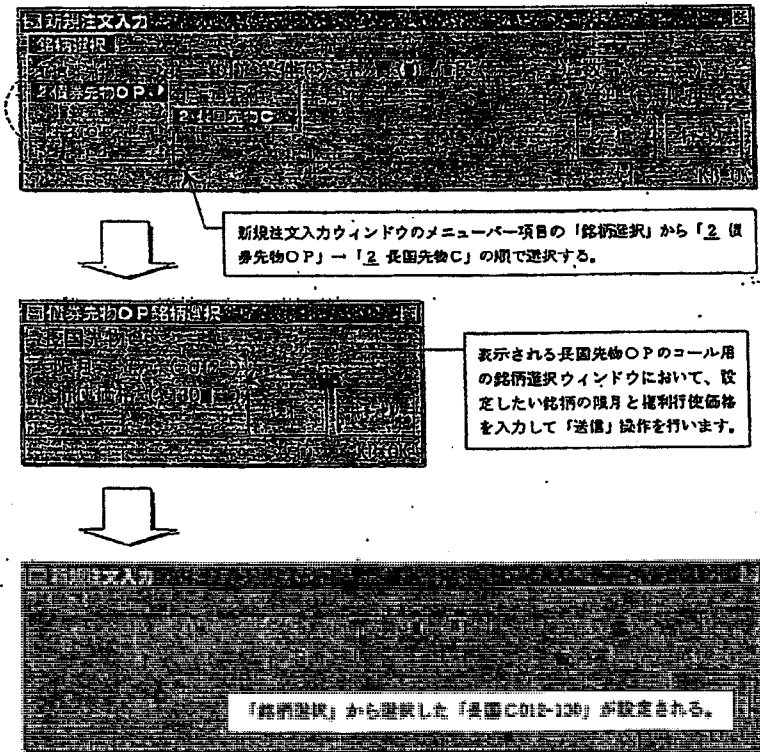


5-2-3.3 入力ウィンドウのメニューバー項目の「銘柄選択」からの選択による変更

銘柄単位に入力を行う各注文入力ウィンドウ及び各問合せ入力ウィンドウ等には、当該入力ウィンドウにメニューバーがあり、そのメニューバー項目の「銘柄選択」から銘柄を選択することにより当該入力ウィンドウに対して銘柄名の変更・設定ができます。

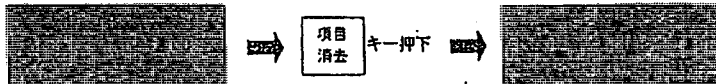
- ① マウス又はキーボードで、新規注文入力ウィンドウのメニューバー項目の「銘柄選択」を選択します。
- ② 市場選択を行うメニューリストから設定したい銘柄の属する市場を選択します。
- ③ 選択した市場から表示される証券種別を選択するサブメニューリストから設定したい銘柄の属する証券種別を選択します。
- ④ 表示される銘柄選択ウィンドウに限月等を入力して「送信」操作を行うことで、当該入力ウィンドウに選択した銘柄名が設定されます。

<「銘柄選択」による銘柄名の変更例：長国 C012-130へ変更例>



5-2-4 入力内容の消去

「項目消去」キーを押下することにより、カーソルのある入力欄の入力内容を消去します。



また、「BackSpace」キー又は「Delete」キーの押下でも、項目の消去を行うことができます。

5-2-5 入力内容の送信

入力内容を送信する場合は、各入力欄に必要なデータを入力後、「送信」操作を行います。

5-2-5.1 マウスによる操作

各入力ウィンドウ下部にある「送信」ボタンをクリックします。

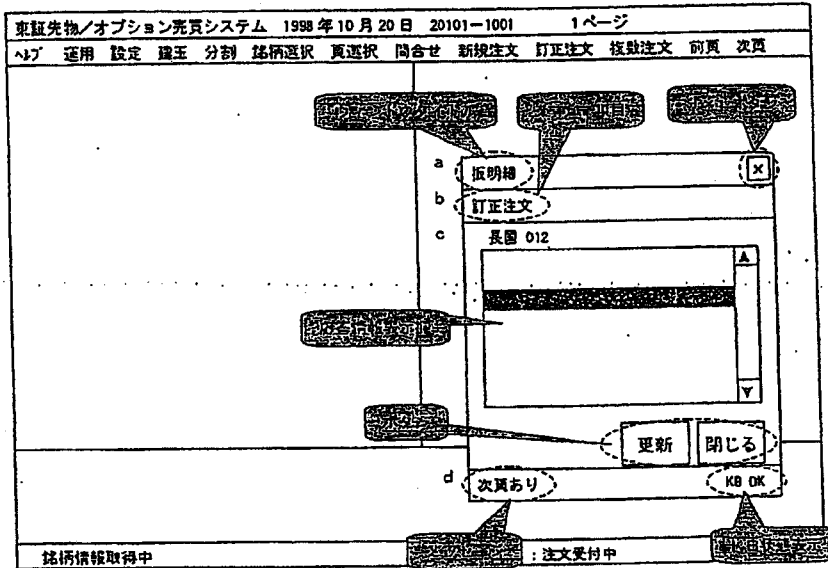
5-2-5.2 キーボードからの操作

◆ 「送信 (Enter)」キーの押下

により、入力内容を送信します。

ただし、カーソルが「キャンセル」ボタンにある場合に「送信 (Enter)」キーを押下すると、入力内容を無効とし、当該ウィンドウを閉じます。

5-3 各種問合せ応答ウィンドウ



a タイトルバー

- ◆ ウィンドウタイトル 各種問合せ応答ウィンドウのタイトルを表示します。
- ◆ 「×」ボタン ウィンドウを閉じるための「×」ボタンを表示します。

b メニューバー (一部ウィンドウのみ)

- ◆ メニュー項目 「訂正注文」等の機能を選択するメニュー項目を表示します。

c 応答情報表示エリア

- ◆ 応答情報表示欄 問合せ応答情報を表示します。
基本的にスクロール操作によって、表示情報を上下します。
- ◆ ボタン
 - 「更新」ボタン: 応答情報を最新情報に更新します。
(一部ウィンドウのみ)
 - 「閉じる」ボタン: ウィンドウを閉じます

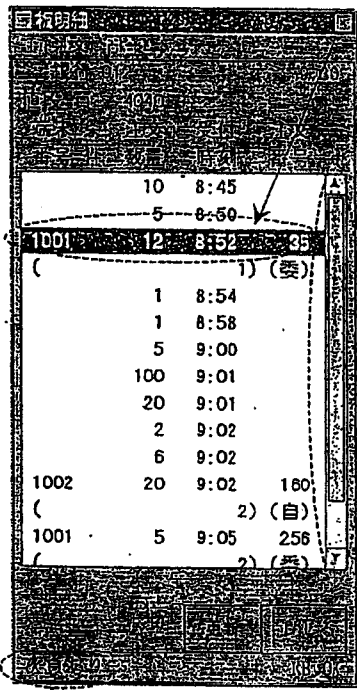
d ステータスエリア

- ◆ メッセージ メッセージを表示します。
- ◆ KB状態表示 メインウィンドウと同様に、当該クライアントの操作可否についての状態を表示します。

各種問合せ応答ウィンドウにおいては、一部を除いて応答情報はスクロール可能なエリアに表示していますので、応答情報が応答情報表示エリア内で表示しきれない場合には、スクロールを行うことにより全情報の表示ができます。

スクロール可能なエリアは背景色が「白色」となっています。

スクロールエリアは、マウス及びキーボードの双方からスクロールを行うことが可能です。



カーソル
スクロールエリア内のカーソルを矢印キーで上下させることで、上下に応答情報をスクロールして表示します。
また、マウスの場合、スクロールエリア内のカーソルをドラッグすることでスクロールできます。

スクロールバー
マウスでスクロールバーの上下にある「▲」又は「▼」ボタンをクリックすることで応答情報を上下にスクロールして表示します。
また、スクロールバー内のつまみをマウスのポイントでつかんで移動させることでもスクロール可能です。
※なお、表示情報が応答表示欄の表示可能件数より少ない場合には、スクロールバーの操作は行えませんので、「前頁」情報がある場合は、矢印キーによるカーソルの移動か、又は「上」キー押下で問合せ下さい。

「上」「下」キー
また、キーボード上の「上」「下」キーを押下することで、応答情報を複数行スクロールして表示することが可能です。

「次頁有り」・「前頁有り」・「前頁/次頁有り」メッセージ
問合せ応答情報量が多い場合に、1回の問合せで全情報を取得できない場合があります。その場合には、「次頁有り」のメッセージを表示して未表示情報が存在することを示します。
また、問合せの種類によって、「次頁あり」の他に「前頁あり」、「前頁/次頁あり」のメッセージを表示することもあります。
⇒ 「5-3-4 未表示情報の問合せ」

送玉残高表等の一部の問合せ応答ウィンドウにおいては、タブリストを使って同一市場内の異なる証券種別や同一証券種別内の異なる限月についての情報の問合せを簡便に行えるようにしています。

103	120000	110000	10000
106	1000	800	200
109	0	0	0
112	0	0	0
203	0	0	0

タブコントロール
 タブリストの項目が表示しきれない場合には、タブコントロールのボタンをクリックすることによって、タブリストが左右にスクロールし、すべてのタブリスト項目を表示することが可能です。

タブリスト
 送玉残高表等を問合せ後、同一市場内の異なる証券種別や同一証券種別内の異なる限月をタブリスト上に表示し、問合せを行いたい証券種別等を選択することにより、当該証券種別等にかかる応答情報を表示します。
 タブはマウスの場合はクリックすることで行えます。
 キー操作の場合は、カーソルをタブリストに移動させ（タブリストにカーソルがある場合には、項目名が点線で見えます。）、目的のタブを矢印キーで選択します。

012	120000	110000	10000
103	1000	800	200

012	10	10	0
103	0	0	0

「長国先物」の情報表示時に、矢印キー等で「超長先物」のタブを選択することで、超長先物の情報が応答表示されます。

5-3-1 「カーソル」の移動方法

問合せ応答ウィンドウにおいても、入力ウィンドウと同様にカーソルが存在し、「タブ」キーの押下により次のエリア等に移動します。また「バックタブ」キーの押下により、前のエリア等に移動します。

また、移動させたい入力欄をマウスでクリックすることでも、当該エリア等にカーソルが移動します。

5-3-2 「カーソル」の移動順序

カーソルは、「タブ」キー等の押下により、以下の例のように応答情報を表示する「スクロールエリア」、「タブリスト」及び「更新」・「閉じる」ボタンやラジオボタンエリアに移動します。

「タブリスト」及び「送信」・「閉じる」ボタンやラジオボタンにカーソルがある場合は、項目名が点線で囲まれます。

Item ID	Count	Time	Other
10		8:45	
5		8:50	
1001	12	8:52	35
(1) (受)
1		8:54	
1		8:58	
5		9:00	
100		9:01	
20		9:01	
2		9:02	
6		9:02	
1002	20	9:02	160
(2) (自)
1001	5	9:05	268
(2) (受)

Item ID	Value 1	Value 2	Value 3
012	120000	110000	10000
103	1000	800	200
106	0	0	0
109	0	0	0
112	0	0	0

5-3-3 応答情報の最新状態への更新

問合せ応答情報のうち、時間の経過とともに情報内容が変化するものについては、以下の操作で応答情報を最新情報へ更新することができます。

5-3-3.1 マウスによる操作

各問合せ応答ウィンドウ下部にある「更新」ボタンをクリックします。

5-3-3.2 キーボードからの操作

◆ 「送信 (Enter)」キーの押下

により、最新情報を問い合わせます。

ただし、カーソルが「閉じる」ボタンにある場合に「送信 (Enter)」キーを押下すると、当該ウィンドウを閉じます。

5-3-4 未表示情報の問合せ

問合せの種類によっては、1回の問合せで全情報を取得できない場合があります。

その場合には、「次頁あり」等のメッセージを表示し、未表示情報があることを示します。

◆ 「次頁あり」

◇ 最初の問合せ応答時に表示しきれない情報が存在する場合には表示します。

◇ 次頁情報は、「次頁」キーの押下か、又は表示されている情報をスクロールして表示可能情報の最下段の情報を表示させ、さらに下方向にスクロール操作を行うことにより問合せることができます。

◆ 「前頁あり」

◇ 次頁情報を問合せた場合に、前頁情報が存在することを示す意味で表示します。

◇ 前頁情報は、「前頁」キーの押下か、又は表示されている情報をスクロールして表示可能情報の最上段の情報を表示させ、さらに上方向にスクロール操作を行うことにより問合せることができます。

◆ 「前頁/次頁あり」

◇ 次頁情報を問い合わせた場合に、さらに表示しきれない未表示情報が存在する場合には、前頁情報が存在することを示すことと合わせて、さらに次頁情報が存在することを示す意味で表示します。

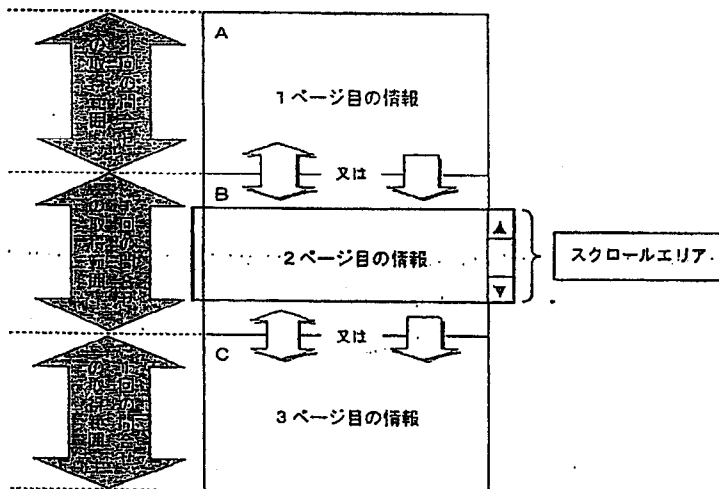


問合せの種類によって、中央システムが問合せ応答を行うものは「次頁あり」のみを表示し、端末サーバが問合せ応答を行うものは「次頁あり」、「前頁あり」、「前頁/次頁あり」のすべてを表示します。

◆ 「次頁あり」のみを表示する問合せ（「前頁」問合せはできません。）
「振明細」

◆ 「次頁あり」、「前頁あり」、「前頁/次頁あり」を表示する問合せ
「自社有効注文一覧（時刻順）」、「注文約定履歴」、「通知検索」

※頁単位での問合せ（問合せ応答情報取得）例



	中央システム問合せ応答	端末サーバ問合せ応答
	板明細	自社有効注文一覧（時刻順） 注文約定履歴 通知検索
1 ページ目を表示中	「次頁あり」 ※次頁情報問合せ可能	「次頁あり」 ※次頁情報問合せ可能
2 ページ目を表示中	「次頁あり」 ※次頁情報問合せ可能 ※前頁情報問合せ不可	「前頁／次頁あり」 ※前頁／次頁情報とも問合せ可能
3 ページ目を表示中	メッセージ非表示 ※前頁情報問合せ不可	「前頁あり」 ※前頁情報問合せ可能

Building up 449

500000

第6章 端末利用にあたってのユーザ設定項目について

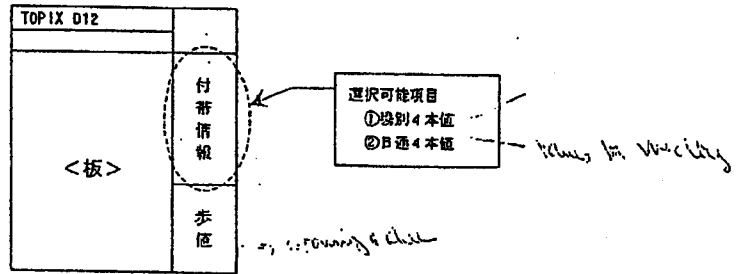
新端末システムにおいては、いくつかのユーザ設定項目があり、クライアントごとに設定できますので、必要に応じて設定を行ってください。

6-1 板／気配情報の付帯情報種別の設定

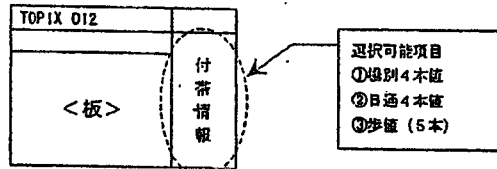
2分割サイズの板画面、4分割サイズの板画面及び気配一覧画面に付帯情報として表示する4本値や歩値の種別を設定することができます。

6-1-1 付帯情報の種別 *付帯情報*

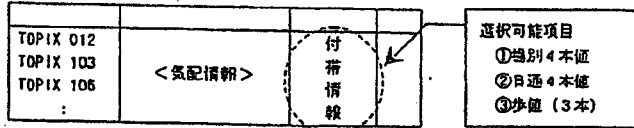
◆ 2分割サイズ板画面



◆ 4分割サイズ板画面



◆ 気配一覧画面



6-1-2 設定方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「設定」→「5 板/気配画面設定」の順で選択します。
- ② 「板/気配画面設定指示入力ウィンドウ」の「付帯情報種別設定欄」で、各画面ごとに設定したい付帯情報種別のラジオボタンを選択します。
- ③ 「送信」操作を行うことで、付帯情報種別の設定を行います。



各画面ごとに、設定したい付帯情報種別をラジオボタンの選択により指定します。

6-2 板画面の値段表示方法の設定

2分割サイズ板画面、4分割サイズ板画面及び6分割サイズ板画面ごとに、板情報の値段表示方式として、「非圧縮方式」又は「圧縮方式」を選択することができます。

6-2-1 値段表示方式の種別

◆ 非圧縮方式

当該値段における注文の有無等にかかわらず、板上のすべての値段を表示する方式です。

◆ 圧縮方式

板上の値段のうち、以下の条件を満たす値段のみを表示する方式です。

- ◇ 注文の存在する値段
- ◇ 直近約定値段（当日の基準値段含む）
- ◇ 気配表示値段
- ◇ 対当値段

<非圧縮値段表示方式>

ザラ02		基 004	
▲	H	▼	
成行			
引成			
OVER			
3	5	007	
		006	
		005	
		004	10 4
		003	
		002	150 3
		001	
UNDER			

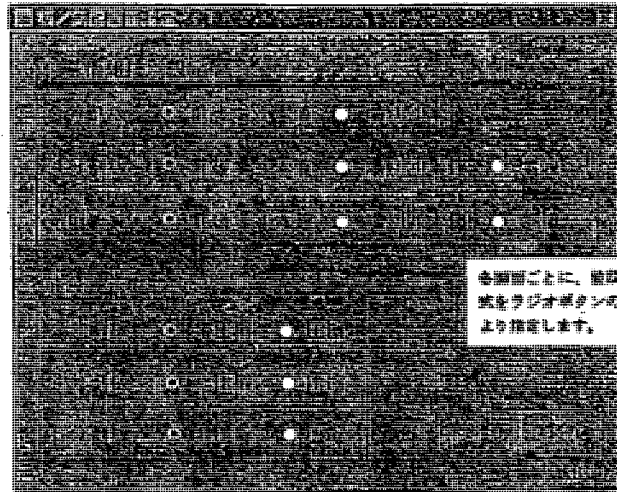


<圧縮値段表示方式>

ザラ02		基 004	
▲	H	▼	
成行			
引成			
OVER			
3	5	007	
		004	10 4
		002	150 3
UNDER			

6-2-2 設定方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「設定」→「5 板/気配画面設定」の順で選択します。
- ② 「板/気配画面設定指示入力ウィンドウ」の「値段表示方式設定欄」で、各サイズの板画面ごとに設定したい値段表示方式のラジオボタンを選択します。
- ③ 「送信」操作を行うことで、板画面の値段表示形式の設定を行います。



6-3 注文入力用ウィンドウの形状設定

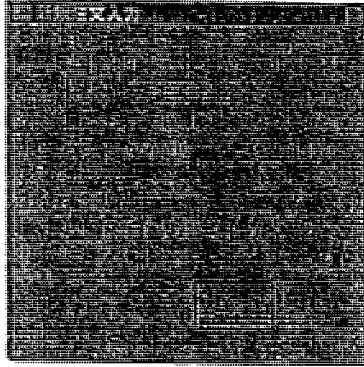
注文入力ウィンドウについては、その形状を「縦形」と「横形」から選択できます。

6-3-1 形状種別設定可能な注文入力ウィンドウ付帯情報の種別

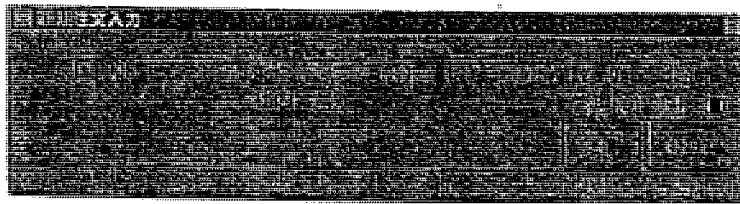
形状が選択できる入力ウィンドウは以下の3つの入力ウィンドウです。

- ◆ 新規注文入力ウィンドウ
- ◆ 一括注文入力ウィンドウ
- ◆ 訂正注文入力ウィンドウ

<例：縦形新規注文入力ウィンドウ>

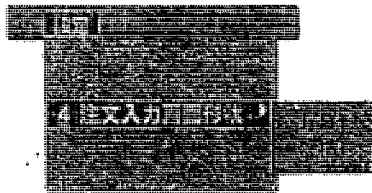


<例：横形新規注文入力ウィンドウ>



6-3-2 設定方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「設定」→「4 注文入力画面形状」の順で選択します。
- ② 「注文入力画面形状」のサブメニューリストから「1 縦形」又は「2 横形」のどちらかを選択します。



- ※ 現在選択されている方の項目の先頭には、「✓」が付加されて、当該項目が選択状態であることを示します。
- ※ 形状の選択できる注文入力ウィンドウ表示中に当該操作を行った場合には、操作終了時点での入力項目を引き継ぎ、ウィンドウの形状を変更します。

6-4 注文入力時の管理項目（自己・委託の別）の自動設定

本システムにおいては、新規注文入力時に管理項目への自己・委託の別の指定が必須となります。
 新規注文入力を行う際に、自己注文又は委託注文のいずれかのみを入力することがあらかじめ決まっている場合には、管理項目の自動設定操作を行うことにより、新規注文入力ウィンドウ表示時に管理項目入力欄に、「9」（自己注文）又は「0」（委託注文）が自動的に設定されます。

6-4-1 管理項目（自己・委託の別）の自動設定対象ウィンドウ

以下の2つの注文入力ウィンドウについて、管理項目へ自己・委託の別を自動的に設定ができます。

- ◆ 新規注文入力ウィンドウ
- ◆ 複数新規注文入力ウィンドウ

<例>

①管理項目入力欄へ「自己（9）」の自動設定を指示



②「新規注文入力ウィンドウ」表示操作



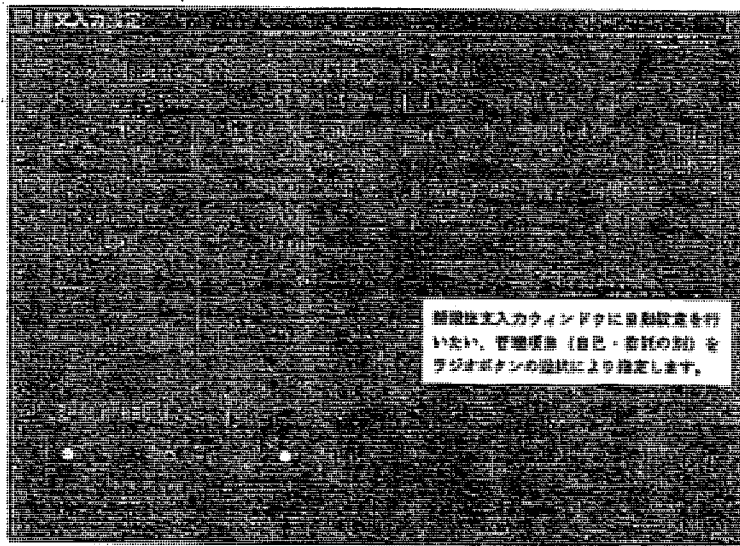
自己注文を示す「9」が管理項目入力欄に自動設定されます。



- ◆ 管理項目の自動設定指示操作を行った場合には、指示操作後に行った新規注文入力ウィンドウの表示操作時から反映されます。
- ◆ 管理項目の自動設定を行っている場合には、新規注文の「送信」操作後も管理項目についてはクリアされません。
- ◆ なお、管理項目入力欄は、自動設定された場合でも上書きできます。

6-4-2 設定方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「設定」→「3 注文入力設定」の順で選択します。
- ② 「注文入力設定指示入力ウィンドウ」の「管理項目自動設定欄」で、管理項目に自動設定を行う内容のラジオボタンを選択します。
- ③ 「送信」操作を行うことで、注文入力ウィンドウに自動設定する自己・委託の別の設定を行います。



6-5 新規注文入力時の入力限度数量の設定

新規注文入力を行う際に、注文数量の誤入力による誤発注等を防止するため、注文入力限度数量をあらかじめ設定することができます。

注文入力限度数量は、市場ごとに設定でき、当該市場に属する銘柄に対して設定された注文入力限度数量を超えた数量を入力し、「送信」操作を行った場合には、エラーとなります。

6-5-1 注文入力限度数量の設定

以下の3つの入力ウィンドウからの新規注文入力時に設定された入力限度数量によりチェックが行われます。

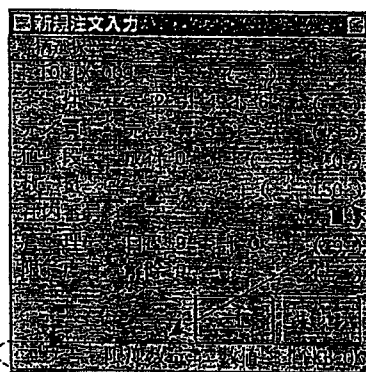
- ◆ 新規注文入力ウィンドウ
- ◆ 複数新規注文入力ウィンドウ
- ◆ 一括注文入力ウィンドウ

<例>

① 指数先物市場の銘柄に対する注文入力限度数量を「100」に設定



② 「新規注文入力ウィンドウ」の注文数量入力欄に「150」を入力して送信



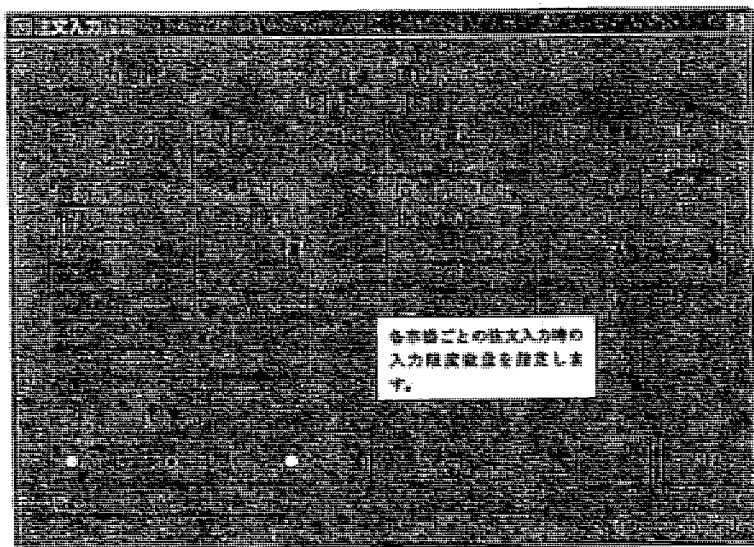
注文入力数量が入力限度数量を超えているため、当該新規注文入力はエラーとなり、「エラー 限度数量」が表示されます。



- ◆ 限度解除入力欄に「9」を入力することにより、注文入力限度数量を設定している場合でも、当該限度数量を超えて注文入力を行うことが可能です。
- ◆ 入力限度数量設定操作後、次の新規注文入力時から当該設定数量とのチェックを行います。


6-5-2 設定方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「設定」→「3 注文入力設定」の順で選択します。
- ② 「注文入力設定指示入力カウインドウ」の「注文入力限度数量設定欄」の各市場に対応する「限度数量」入力欄に入力限度数量として設定する数値を入力します。
- ③ 「送信」操作を行うことで、入力限度数量の設定を行います。



6-5-3 入力限度数量の解除

設定している入力限度数量の設定を解除する場合（新規注文入力時に注文数量の入力限度数量チェックを行わない。）には、「注文入力設定指示入力カウインドウ」の「注文入力限度数量設定欄」の各市場に対応する「限度数量」入力欄の設定数値を項目消去にてクリアのうえ「送信」操作を行います。

 入力限度数量の設定は、クライアント内に格納されていますので、クライアントのハードディスク障害等の場合には、当該情報は消去されてしまいます。その場合、障害回復後に再度登録作業が必要です。

※なお、入力限度数量設定と同じ欄にある「注文入力警告価格」については、当初は設定できません。

6-6 注文・約定関係通知の出力先プリンタの設定

端末での設定で、端末からの入力にかかる通知の出力先プリンタを設定することができます。

6-6-1 通知出力先プリンタの設定

入力にかかる各種通知の出力先プリンタ（ページ/ドットプリンタ及びレシートプリンタ）を「各入力端末単位」かつ「通知種別単位」に設定できます。

◆ 通知種別

- ◇ 注文受付等通知
 - 「注文受付通知」・「エラー通知」
 - ◇ 約定成立等通知
 - 「約定成立通知」・「取消結果通知」・「変更結果通知」・「失効注文通知」
 - ◇ 転売・買戻/権利行使等通知
 - 「転売・買戻入力結果通知」(訂正・無効通知含む)
 - 「転売・買戻/権利行使入力結果通知」(訂正・無効通知含む)
 - 「転売・買戻(オプション取引権利行使分)入力結果通知」(訂正・無効通知含む)
 - 「委託分取引証拠金算定基礎建没入力結果通知」(訂正・無効通知含む)
 - ※証拠金登入れ日時等の短縮化が実施されるまでの間は出力されません。
- ☞ 「第13章 通知について」

◆ 指示操作を行っている端末と同一端末サーバ配下の端末についてのみ設定できます。

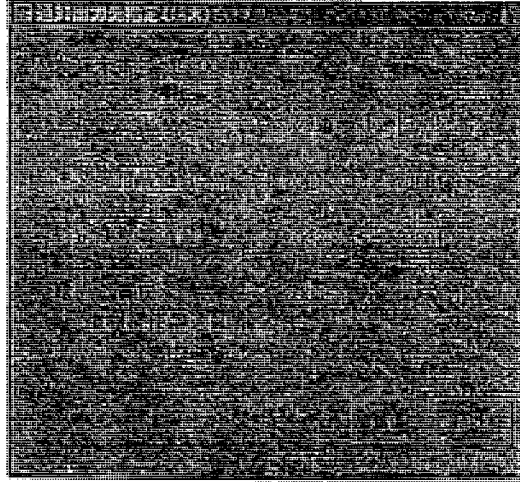
◆ 通知出力先として設定できるプリンタは、プリンタの種類により異なります。

- ◇ ページプリンタ : 「入力端末と同一の端末サーバ配下のページプリンタ」又は「当該端末サーバが共有しているページプリンタ」を設定できます。
- ◇ ドットプリンタ : 「入力端末と同一の端末サーバ配下のドットプリンタ」のみを設定できます。
 - ※ 同一通知に対しては、ページ/ドットプリンタのいずれかのみ設定できます。
- ◇ レシートプリンタ : 「入力端末と同一の端末サーバ配下のレシートプリンタ」のみを設定できます。

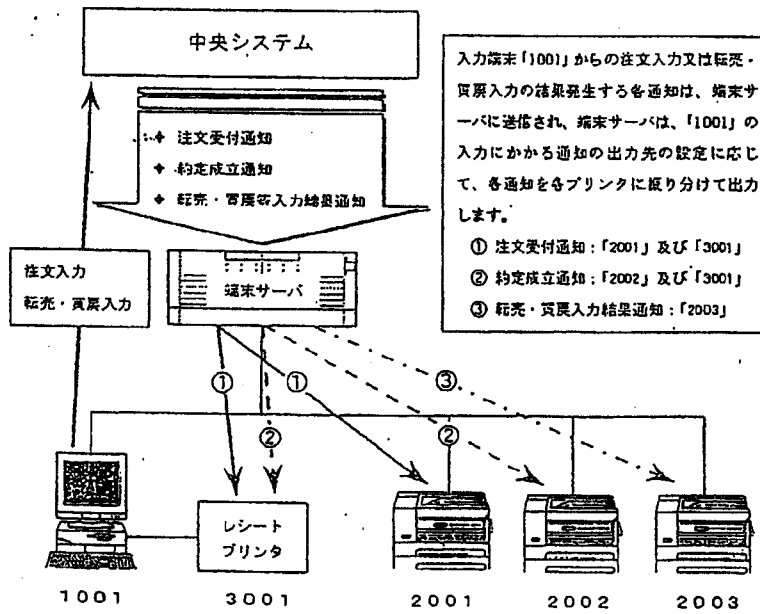


通知出力先指定は端末サーバ配下の最も若い番号のクライアントのみから指示操作可能とする設定としております。
※設定を変更したい場合には、本所までお申し出下さい。

<通知出力先プリンタへの出力例>

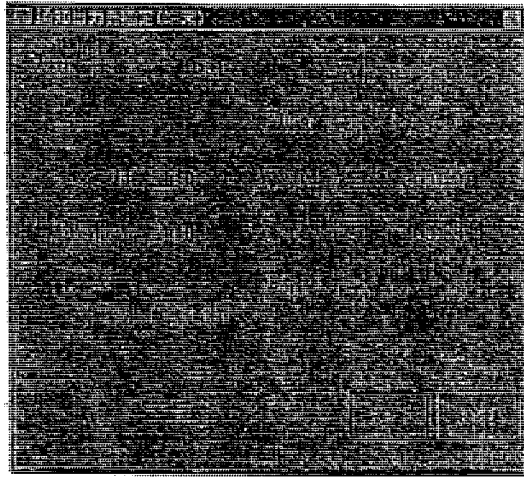


上記の設定の場合、通知の出力先は以下のようになります。



6-6-2 設定方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「5. 通知出力先指定」→「1. 注文約定関係通知 (端末)」の順で選択します。
- ② 「通知出力先指定 (端末) 指示入力ウィンドウ」が表示され、「カーソル」が「入力端末番号」入力欄に表示されますので、通知出力先を設定したい入力端末番号を入力することにより、当該入力端末番号の現在の通知出力先プリンタの設定状態が表示されます。
- ③ 設定を変更したい通知出力先の「プリンタ番号」入力欄に「カーソル」を移動させて、(すでに設定済みの場合は当該項目を消去して、) プリンタ番号を入力します。
- ④ 「送信」操作を行うことで、指定した入力端末についての通知出力先の設定が行われます。



- ⑤ 続いて他の入力端末の通知出力先プリンタの設定を行う場合は、「入力端末番号」入力欄を消去して、新たに入力端末番号を入力し、再度同様の操作を行います。



- ◆ 通知出力先プリンタを設定しないと当該入力端末にかかる通知はプリンタに出力されません。
- ◆ 通知出力先プリンタの設定を行った場合、その時点でプリンタに未出力の通知が存在する場合、未出力分が設定したプリンタに出力されます。
- ◆ ページプリンタの出力タイミングは、「ページプリンタ出力設定」で指定したタイミングで出力されます。

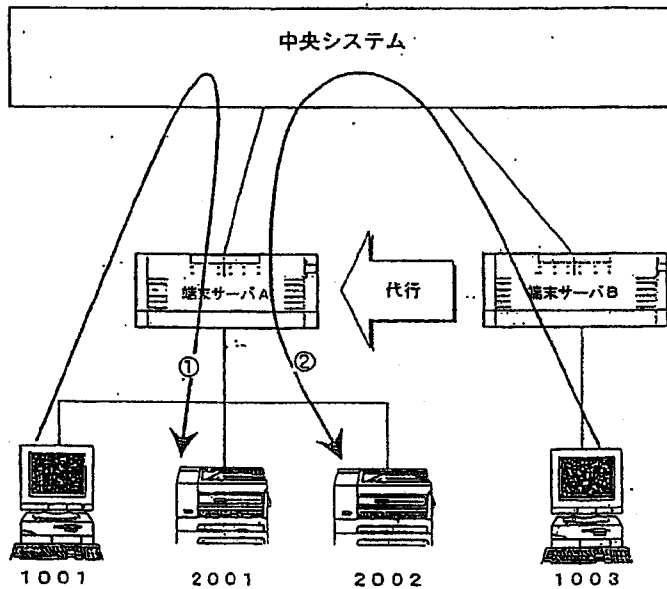
⇒ 「6-9 ページプリンタ出力設定」

6-6-3 通知出力先プリンタ設定の解除

「通知出力先指定 (端末) 指示入力ウィンドウ」の「通知出力先プリンタ番号」入力欄を項目消去にてクリアのうえ「送信」操作を行います。

6-6-4 入力端末番号「0000」での通知出力先プリンタの設定

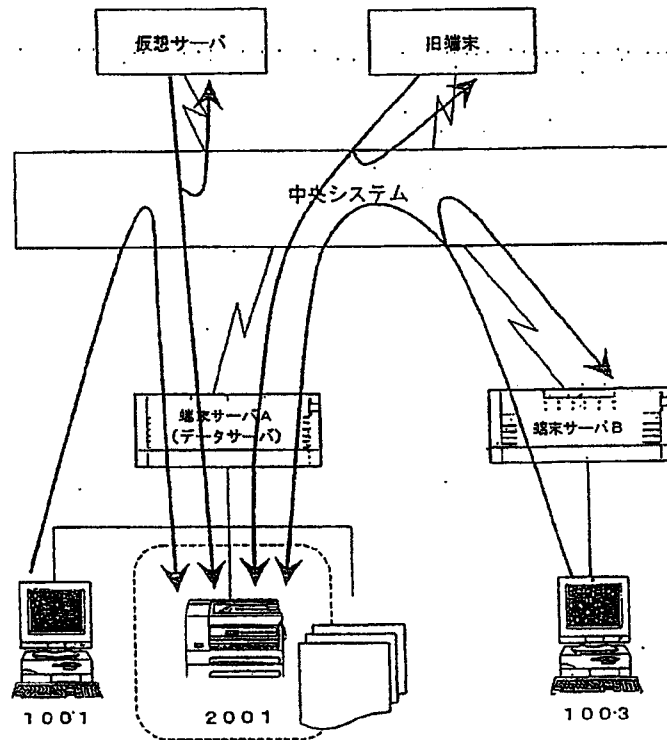
入力端末番号として「0000」を指定して通知出力先プリンタの設定を行うことにより、当該指示端末の属する端末サーバ以外のサーバ (仮想サーバ (システム間接続) 及び旧端末含む) の配下の端末から入力された注文等にかかる通知が当該端末サーバに送信されてきた場合 (指示クライアントの属する端末サーバがデータサーバの場合又は他のサーバから当該端末サーバに代行指示がなされている場合) に、設定した通知出力先プリンタに当該通知を出力します。



- ① 端末サーバA配下のクライアント<1001>から入力された注文等にかかる通知は、入力端末番号「1001」の通知出力先プリンタとして設定されているプリンタ<2001>に出力されます。
- ② 端末サーバBから端末サーバAに通知出力が代行されている場合に、端末サーバB配下のクライアント<1003>から入力された注文等にかかる通知は、まず、代行先の端末サーバAに送信された後、端末サーバAにおいて入力端末番号「0000」の通知出力先プリンタとして設定されたプリンタ<2002>へ出力されます。

前ページの図において、端末サーバAが「データサーバ」である場合、「端末サーバB」の配下のクライアント<1003>から入力された注文等にかかる通知は、入力元の「端末サーバB」に送信されるとともに、データサーバである「端末サーバA」にも送信され、「端末サーバA」において入力端末番号「0000」の通知出力先プリンタとして設定されたプリンタ<2002>へ出力されます。

したがって、この機能を利用すると、自社の注文等の入力にかかる全通知をデータサーバ配下のプリンタにまとめて出力させることもできます。



- ◆ 端末サーバAがデータサーバの場合、端末サーバA配下のクライアント<1001>の通知出力先をプリンタ<2001>に設定し、端末サーバAにおける入力端末番号「0000」の通知出力先もプリンタ<2002>と設定することにより、自社のすべての入力単位（端末サーバA・B、仮想サーバ及び旧端末）からの注文入力等にかかる通知をプリンタ<2001>に1台にまとめて出力することができます。

6-7 建玉残高通知等の一方送信通知の出力先プリンタの設定

端末の設定で、建玉残高通知等の市場ごとに参加者単位に1つ中央システムから一方送信される通知の出力先プリンタを設定することができます。

ただし、中央システムから一方送信される通知は、各参加者の市場ごとの「データサーバ」に出力しますので、当該通知出力先の設定は、データサーバ配下のクライアントからの指示のみ有効となります。

6-7-1 通知出力先プリンタの設定

中央システムからの一方送信される各種通知の出力先プリンタ（ページ/ドットプリンタ）を「市場単位」かつ「通知種別単位」に設定できます。

◆ 通知種別

◇ 約定状況プリント

◇ ストップ値注文リスト

※当日終値が制限値段で決定する場合に、ストップ配分処理を行う市場について出力します。

◇ 大口対当銘柄リスト

◇ 建玉残高通知

◇ 建玉残高通知（自社）

◇ 取引証拠金算定基礎建玉残高通知（自社）

※証拠金差入れ日時等の短縮化が実施されるまでの間は出力されません。

◇ 割当通知

⇒ 「第13章 通知について」

◆ 通知出力先プリンタとして、設定できるプリンタは、以下のようにプリンタの種類により異なります。

◇ ページプリンタ : 「代表サーバ配下のページプリンタ」又は「代表サーバが共有しているページプリンタ」を設定できます。

◇ ドットプリンタ : 「代表サーバ配下のドットプリンタ」のみを設定できます。

※ 同一通知に対しては、ページ/ドットプリンタのいずれかのみ設定できます。

◆ 通知のプリンタへの出力処理方法は「注文・約定関係通知」の場合と同じです。




一方送信通知の出力先指定はデータサーバ配下の最も若い番号のクライアントのみから指示操作可能とする設定としています。

※当該設定は変更可能ですので、変更したい場合には、本所までお申し出下さい。


6-7-2 設定方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「5 通知出力先指定」→「3 建玉等関係通知」の順で選択します。
- ② 「通知出力先指定指示入力ウィンドウ」が表示され、最初は当該代表サーバの先頭の利用可能市場のタブが表示されますので、設定したい市場のタブを選択します。
- ③ 選択した市場のタブを表示すると、当該市場の一方送信通知の現在の出力先プリンタの設定状態が表示され、「カーソル」が「約定状況プリント」の「出力先プリンタ番号」入力欄に表示されますので、設定を変更したい通知の「出力先プリンタ番号」入力欄に「カーソル」を移動させ、(すでに設定済みの場合は当該項目を消去して、)プリンタ番号を入力します。
- ④ 「送信」操作を行うことで、当該市場にかかる一方送信通知の出力先プリンタの設定が行われます。

 必ずタブごとに「送信」操作を行って下さい。「送信」操作を行わずに異なるタブを選択した場合、入力した通知出力先プリンタの設定は行われません。

通知出力先指定	
債券先物	債券先物OP
指数先物	指数OP
株券OP	
	プリンタ番号
約定状況プリント	(2001)
ストップ値注文リスト	(2001)
大口対当銘柄リスト	(2001)
建玉残高通知	()
建玉残高通知(自社)	(2002)
取引証拠金算定基礎建玉残高通知	()
割当通知	(2003)
	送信 キャンセル
	数値 KB OK

- ⑤ 続いて他の市場の一方送信通知の出力先プリンタの設定を行う場合は、他の市場のタブを選択し、再度同様の操作を行います。



- ◆ 通知出力先プリンタを設定しないと当該通知はプリンタに出力されません。
- ◆ 通知出力先プリンタの設定を行った場合、その時点でプリンタに未出力の通知が存在する場合、未出力分が設定したプリンタに出力されます。
- ◆ ページプリンタの出力タイミングは、「ページプリンタ出力設定」で指定したタイミングで出力されます。
⇒ 「6-9 ページプリンタ出力設定」

6-7-3 通知出力先プリンタ設定の解除

「通知出力先指定指示入力ウィンドウ」の「通知出力先プリンタ番号」入力欄を項目消去にてクリアのうえ「送信」操作を行います。

6-8 注文・約定関係通知の出力先仮想サーバ⁶⁻¹の設定

端末での設定で、端末から入力した注文等にかかる各種通知について、端末に出力するとともに、設定した仮想サーバ（システム間接続）に対しても出力することができます。

6-8-1 通知出力先仮想サーバの設定

入力にかかる各種通知の出力先仮想サーバを「各入力端末単位」、「市場単位」かつ「通知種別単位」に設定できます。

◆ 通知種別¹

- ◇ 注文受付等通知
「注文受付通知」・「エラー通知」
- ◇ 約定成立等通知
「約定成立通知」・「取消結果通知」・「変更結果通知」・「失効注文通知」
- ◇ 転売・買戻／権利行使等通知
「転売・買戻入力結果通知」（訂正・無効通知含む）
「転売・買戻／権利行使入力結果通知」（訂正・無効通知含む）
「転売・買戻（オプション取引権利行使分）入力結果通知」（訂正・無効通知含む）
「委託分取引証拠金算定基礎残入力結果通知」（訂正・無効通知含む）
※証拠金繰入れ日時等の短縮化が実施されるまでの間は出力されません。
⇒ 「第13章 通知について」

◆ 指示操作を行っている端末と同一端末サーバ配下の入力端末についてのみ設定できます。

◆ 通知出力先仮想サーバを設定した場合は、設定後に入力される注文等にかかる通知から設定した仮想サーバへの出力を開始します。




- ◆ 端末システムにおいては、設定時に入力した仮想サーバ番号のチェックは行わず、単に設定した出力仮想サーバ情報を注文等の入力電文に付加するだけです。したがって、誤った仮想サーバ番号を設定した場合には、注文等入力時に中央システムでのチェックでエラーとなりますので、正しい仮想サーバ番号を設定し直してください
- ◆ 通知の出力先仮想サーバ指定は端末サーバ配下の最も若い番号のクライアントのみから指示操作可能とする設定としております。
※設定を変更したい場合には、本所までお申し出下さい。

⁶⁻¹ 仮想サーバは、システム間接続における参加者システムに市場単位に実装される論理的な入出力単位で、システム間接続における注文等の入力元及び中央システムからの通知の出力先となります。

6-8-2 設定方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「5. 通知出力先指定」の順で選択します。
- ② 「通知出力先指定」のサブメニューの中から「2. 注文約定関係通知 (仮想)」を選択すると、「通知出力先指定 (仮想) 指示入力ウィンドウ」が表示されます。
- ③ 「カーソル」が「入力端末番号」入力欄に表示されますので、通知出力先仮想サーバを設定したい入力端末番号を入力することにより、当該入力端末番号の利用可能市場のタブが表示されるとともに、先頭の利用可能市場についての現在の通知出力先仮想サーバの設定状態が表示されます。
- ④ 設定したい市場のタブを選択します。
- ⑤ 選択した市場のタブを表示すると、当該市場の現在の通知出力先仮想サーバの設定状態が表示され、「カーソル」は「注文受付等通知」の「出力先仮想サーバ番号」入力欄に表示されますので、設定を変更したい通知の「出力先仮想サーバ番号」入力欄に「カーソル」を移動させ、(すでに設定済みの場合は当該項目を消去して、) 仮想サーバ番号を入力します。
- ⑥ 「送信」操作を行うことで、当該入力端末にかかる当該市場についての通知出力先仮想サーバの設定が行われます。

 必ずタブごとに「送信」操作を行って下さい。「送信」操作を行わずに異なるタブを選択した場合、入力した通知出力先仮想サーバの設定は行われません。

通知出力先指定 (仮想)	
入力端末番号: (1001)	
債券先物	債券先物 <input type="radio"/>
指数先物	指数 <input type="radio"/>
株券	株券 <input type="radio"/>
仮想サーバ番号	
注文受付等通知	(20199)
約定成立等通知	(20194)
転売・買戻/ 権利行使等通知	(20199)
<input type="button" value="送信"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	
数値 KB OK	

- ⑦ 続いて当該入力端末の他の市場についての通知出力先仮想サーバの設定を行う場合は、他の市場のタブを選択し、再度同様の操作を行います。
- ⑧ さらに続いて他の入力端末について通知出力先仮想サーバの設定を行う場合は、「入力端末番号」入力欄にカーソルを移動後、入力済みの入力端末番号を消去して、新たに入力端末番号を入力し、再度同様の操作を行います。



- ◆ 通知出力先仮想サーバを設定しないと端末からの注文等の入力にかかる通知は仮想サーバ（システム間接続）に出力されません。
- ◆ 通知出力先仮想サーバを設定した場合は、設定後に入力を行う注文等にかかる通知から設定した仮想サーバへの出力を開始します。設定前にすでに入力済みの注文等にかかる通知について設定した仮想サーバへ出力することはできません。

6-8-3 通知出力先仮想サーバ設定の解除

「通知出力先指定（仮想）指示入力カウインドウ」の「通知出力先仮想サーバ番号」入力欄を項目消去にてクリアのうえ「送信」操作を行います。

6-9 ページプリンタの通知出力タイミングの設定

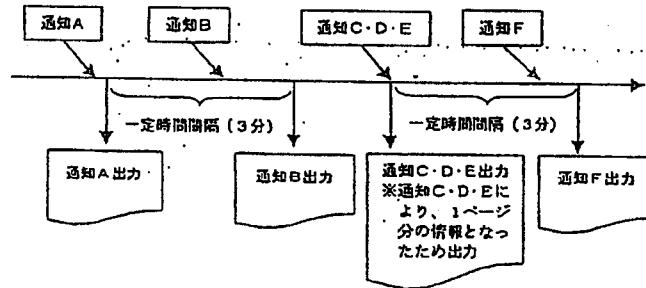
プリンタのうち、「ページプリンタ」については、通知の出力タイミングを選択できます。

6-9-1 ページプリンタの通知出力タイミング

ページプリンタへの通知の出力タイミングは、以下の3つのタイミングから選択できます。

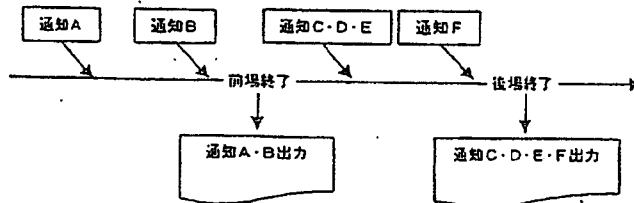
◇ 「指定無」

◆ 一定間隔ごと（3分）及び1ページ分の情報がたまった時点で出力します。



◇ 「各場終了時」

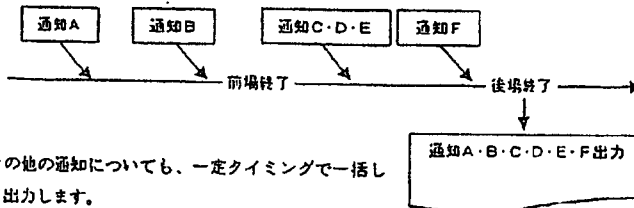
◆ 当該立会中の注文入力にかかる通知を各立会終了後に市場単位に一括出力します。



◆ その他の通知についても、一定タイミングで一括して出力します。

◇ 「大引け後」

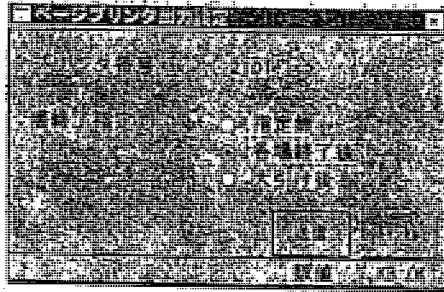
◆ 当日の注文入力にかかる通知を当日立会終了後に、市場単位に一括出力します。



◆ その他の通知についても、一定タイミングで一括して出力します。

6-9-2 設定方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「3 通知・代行運用」の順で選択します。
- ② 「通知・代行運用」のサブメニューリストの中から「6 ページ印刷出力設定」を選択します。
- ③ 「ページ印刷出力設定指示入力ウィンドウ」の「プリンタ番号」入力欄で出力タイミング設定対象のページ印刷のプリンタ番号を入力すると、現在の設定状態が終了指定側のラジオボタンの選択状態により表示されます。
- ④ 「終了指定欄」で指定したい出力タイミングのラジオボタンを選択します。
- ⑤ 「送信」操作を行うことで、指定したページ印刷に通知を出力するタイミングの設定を行います。



◆ ページ印刷を複数端末サーバで共有している場合には、端末サーバごとに当該指示を行って下さい。

◆ 当該指示は、指示を行った端末サーバへの出力通知のページ印刷出力時に適用されます。

◆ 通知出力先のプリンタを指定しない場合、当該設定を行っても通知はプリンタには出力されません。

◆ 「設定」が「指定無」の場合（一定間隔（3分）ごと、又は1ページ分の通知がたまったところでの出力）、前の出力から一定時間が経過していないので、出力待ちとなって溜まっている通知についても、指示により強制的に出力させることができます。

⇒ 「14-6 通知強制印刷」

6-10 通知表示エリアへの通知到着時のブザー音要否の設定

通知表示エリアへ表示する通知のうち、「約定成立通知」、「エラー通知」及び「転売・買戻（/権利行使）入力無効通知」到着時にブザー音（ビーブ音）を鳴動させることの要否を選択することができます。

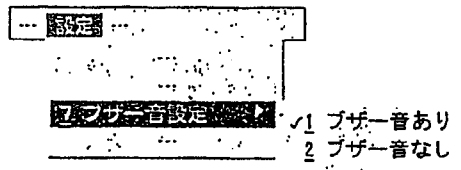
6-10-1 ブザー音要否設定可能な通知種別

通知表示エリアへの通知到着時（新規表示時）のブザー音鳴動の要否が選択できる通知は以下の8つの通知です。

- ◆ 約定成立通知
 - ◆ 新規エラー通知
 - ◆ 取消エラー通知
 - ◆ 変更エラー通知
 - ◆ 一括エラー通知
 - ◆ 転売・買戻入力無効通知
 - ◆ 転売・買戻/権利行使入力無効通知
 - ◆ 委託分取引証拠金算定基礎残入力無効通知
- ※証拠金送入れ日時等の短縮化が実施されるまでの間は出力されません。

6-10-2 設定方法

- ① メインウィンドウのメニューバー項目「設定」→「4 ブザー音設定」の順で選択します。
- ② 「ブザー音設定」のサブメニューリストから「1 ブザー音あり」又は「2 ブザー音なし」のどちらかを選択します。



※ 現在選択されているほうの項目の先頭には、「✓」が付加されて、当該項目が選択状態であることを示します。

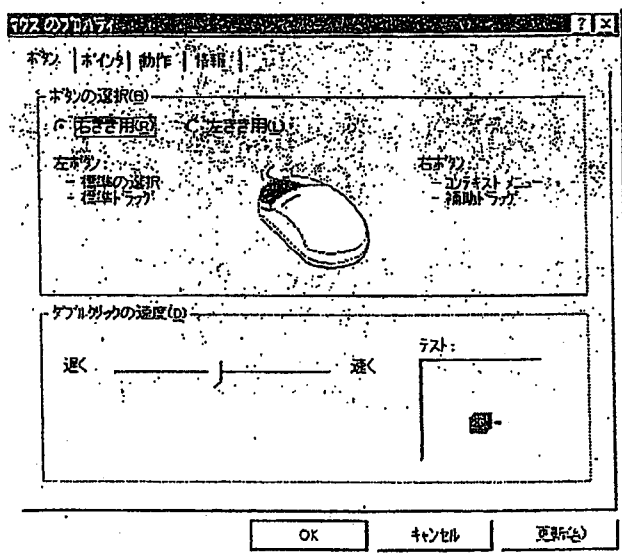
6-11 マウスの動作設定

マウスの動作に関して、ダブルクリックの間隔や右ボタンと左ボタンの機能の入替え等の動作設定を行うことができます。

「マウス設定」を選択すると、OSのマウス設定画面を呼び出しますので、通常のパソコンと同様の方法で設定を行って下さい。

6-11-1 設定方法

- ① メインウィンドウのメニューバー項目「設定」を選択します。
- ② 「設定」のメニューリストの中から「B マウス設定」を選択します。
- ③ OSが表示する「マウスのプロパティ画面」で設定を行います。



- ※ 「マウス設定ウィンドウ」は、フォーカスが他のウィンドウへ移動した場合、「メインウィンドウの後ろに隠れてしまい、「画面切替キー」や「Alt」+「Tab」キーの押下でも再表示できません。再表示させる場合は、もう一度表示操作を行って下さい。

第7章 板/気配情報の問合せについて

板/気配画面は、6種類の形態で表示することができ、板情報については最大6銘柄、気配情報については最大24銘柄の情報を同時に表示することができます。

板/気配情報の表示における、主な特徴は以下のとおりです。

- ◆ 板/気配情報を3秒間隔で自動更新します。
- ◆ 板/気配画面において対当符号を表示します。
- ◆ 板画面において板情報を上下にスクロールした場合でも自動更新を行います。
- ◆ 板画面に引条件付指値注文を常時表示します。
- ◆ 板画面において気配にかかる注文を気配値段に振約表示せず、実際の発注値段に表示します。

また、板/気配情報の問合せは、各登録ページへ銘柄を登録し、当該ページを呼び出すことが基本となります。

7-1 ページ登録

板/気配情報を問い合わせる場合は、当該銘柄を各登録ページに登録情報として設定することが基本となり、各登録ページを呼び出すことで、当該ページに登録済みの銘柄の板/気配情報を問い合わせることができます。

銘柄の登録ページには、「任意設定ページ」と「自動設定ページ」があり、「任意設定ページ」には、クライアントごとにユーザが任意の銘柄を選択して登録することができ、「自動設定ページ」には、あらかじめ本所が設定した銘柄が登録されています。

	ページ番号	内容
任意設定ページ	1～49	クライアントごとに任意に24銘柄を登録
自動設定ページ	50～51	債券先物取引の自動設定ページ
	55～60	債券先物オプション取引の自動設定ページ
	70～71	指数先物取引の自動設定ページ
	75～80	指数オプション取引の自動設定ページ
	各原株コード	株券オプション取引の自動設定ページ <例>「1801」ページ →「大成建オプション取引」の自動設定ページ

第7章 板/気配情報の問合せについて

7-1-1 任意設定ページ

各クライアントごとに1～49ページまでの「任意設定ページ」があり、1ページにつき任意に24銘柄まで登録できます。

また、各ページには、本システムで取引を行っている各銘柄以外に、「各指数先物取引及び指数オプション取引の原商品であるTOPIX等の株価指数」及び「各株券オプション取引の各原株銘柄」が登録できます。

※ ただし、登録可能銘柄は、各クライアントごとの利用可能市場の銘柄に限定されます。また、各株価指数及び各原株銘柄は、指数先物市場、指数オプション市場又は株券オプション市場のいずれかを利用可能としているクライアントでのみ登録可能です。

※ 各株価指数及び各原株銘柄は、気配画面用の情報として登録できます。各株価指数及び各原株銘柄を板画面上に表示させた場合、それぞれの名称のみを表示し、情報は表示しません。



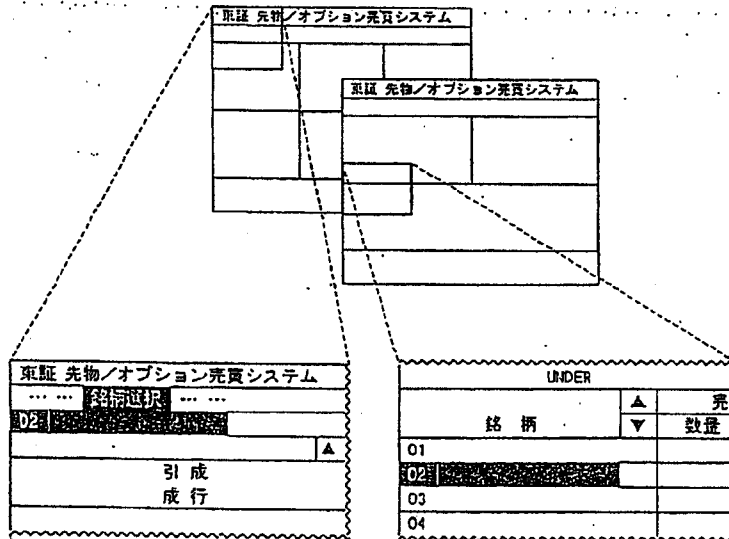
- ◆ 登録ページへの銘柄登録操作は、オフライン状態でも行えます。ただし、翌日に取引が開始される銘柄については、翌日のオンライン開始時に銘柄情報を受信しないと登録できません。
- ◆ 登録ページ情報は、クライアント内に格納されていますので、クライアントのハードディスク障害等の場合には、登録済みのページ情報及び銘柄情報は消失されてしまいます。その場合、障害回復後のオンライン再開時に再度登録作業が必要です。

各ページへの銘柄の登録・登録情報の編集操作には、板以下の2つの方法があります。

7-1-1.1 板/気配画面からの登録（板/気配情報問合せ操作による登録）

板/気配画面で銘柄の問合せ操作（銘柄選択操作）を行うことで、表示中のページの板/気配情報の問合せを行った操作対象エリアに表示されている登録銘柄番号に問合せた銘柄が登録されます。

- ① 板/気配画面の銘柄を登録したいページを表示後、銘柄を登録したい登録銘柄番号を表示しているエリアを操作対象エリアに指定します。（カーソルを表示させます。）



- ② メインウィンドウのメニューバーの「銘柄選択」を選択し、「銘柄選択操作」を行うことにより、当該エリアに選択した銘柄の板/気配情報が表示されるとともに、当該登録ページの当該登録銘柄番号に選択した銘柄が登録されます。

☞ 「7-1-1.3 頁登録時の銘柄選択操作」



◆ 板/気配画面上での登録銘柄の登録銘柄番号の入替え (板/気配情報表示中の銘柄の表示位置の入替え)

板/気配画面上において、銘柄名の表示部分をマウスで「ドラッグ」することにより、ドラッグ元のエリアの銘柄とドラッグ先のエリアの銘柄の表示位置を入れ替えることができます。

また、当該操作で銘柄を入れ替えることにより、入れ替えた2つの銘柄の表示ページにおける登録順序も入れ替わります。

東証 先物/オプション売買システム		1 ページ	
01 TOPIX 012			
	売気配	買気配	現在値
05 長国 012			

銘柄名の表示部分をつかんで
エリア1までドラッグ



東証 先物/オプション売買システム		1 ページ	
01 長国 012			
	売気配		
05 TOPIX 012			

◆ エリア1の表示銘柄が、「TOPIX 012」から「長国 012」に変更されます。
◆ 同時に1ページにおける登録銘柄番号「01」の銘柄が「長国 012」に、「05」の銘柄が「TOPIX 012」へと、登録順序も入れ替わります。

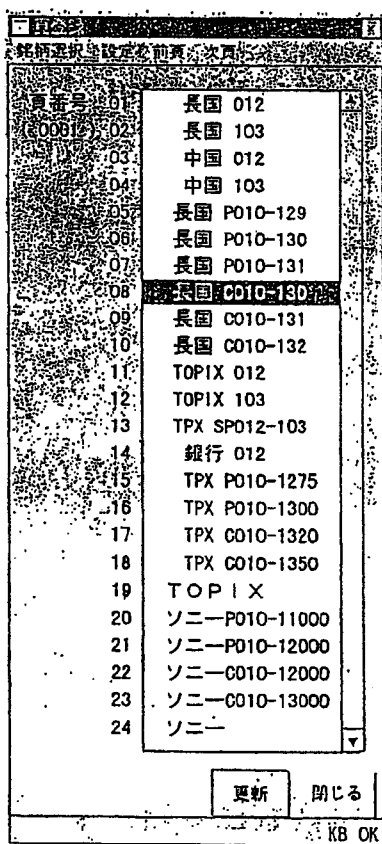
※ 当該機能を利用することにより、気配画面に表示中の銘柄の板情報の問合せを簡単に行うこともできます。

7-1-1.2 頁登録ウィンドウからの登録

「頁登録ウィンドウ」を呼び出して、登録操作を行うことで、各ページに銘柄を登録することができます。

「頁登録ウィンドウ」では、各ページにおける銘柄登録操作以外にも、登録情報の「挿入」、「削除」といった編集操作を行うことができます。

- ① メインウィンドウのメニューバーから「設定」→「1 頁登録」の順で選択することにより、「頁登録ウィンドウ」が表示されます。



- ② カーソルが「頁番号入力欄」に表示されますので、銘柄登録を行いたいページ番号の入力を行うことにより、指定したページの現在の登録情報が右の応答表示欄に表示されます。

※ ページ番号の入力時は、4桁で行う（4桁未満のページ番号は、「0001」のように「0」を先頭に付ける。）か、又は4桁未満のページ番号を入力後、「タブキー」を押下して下さい。いずれかの操作により、「カーソル」が「頁番号入力欄」から離れ、そのタイミングで指定したページの現在の登録情報を検索します。

- ③ 応答表示欄において、登録を行う登録銘柄番号の位置に「カーソル」を移動させ、「頁登録ウィンドウ」のメニューバーの「銘柄選択」から、「銘柄選択操作」を行うことにより、当該登録銘柄番号の位置に選択した銘柄が表示されます。当該登録銘柄番号に他の銘柄が登録済みの場合でも上書きできます。

⇨ 「7-1-1.3 頁登録時の銘柄選択操作」

- ④ 他のページに対して銘柄登録操作を行う場合には、再度、「頁番号入力欄」に入力を行うか、メニューバー項目の「前頁」又は「次頁」の選択により、登録操作を行うページを切り替えた後、同様の操作を行います。

- ⑤ すべての登録操作終了後に、「送信」操作を行うことにより、それまでに登録操作を行った情報が各ページの情報として一括して登録されます。

◇ 「挿入」

メニューバー項目の「設定」→「1 挿入」を選択することにより、応答表示欄のカーソル位置の登録銘柄以下の登録情報を1つずつ繰り下げ、カーソル位置の登録銘柄番号の登録情報をクリアします。



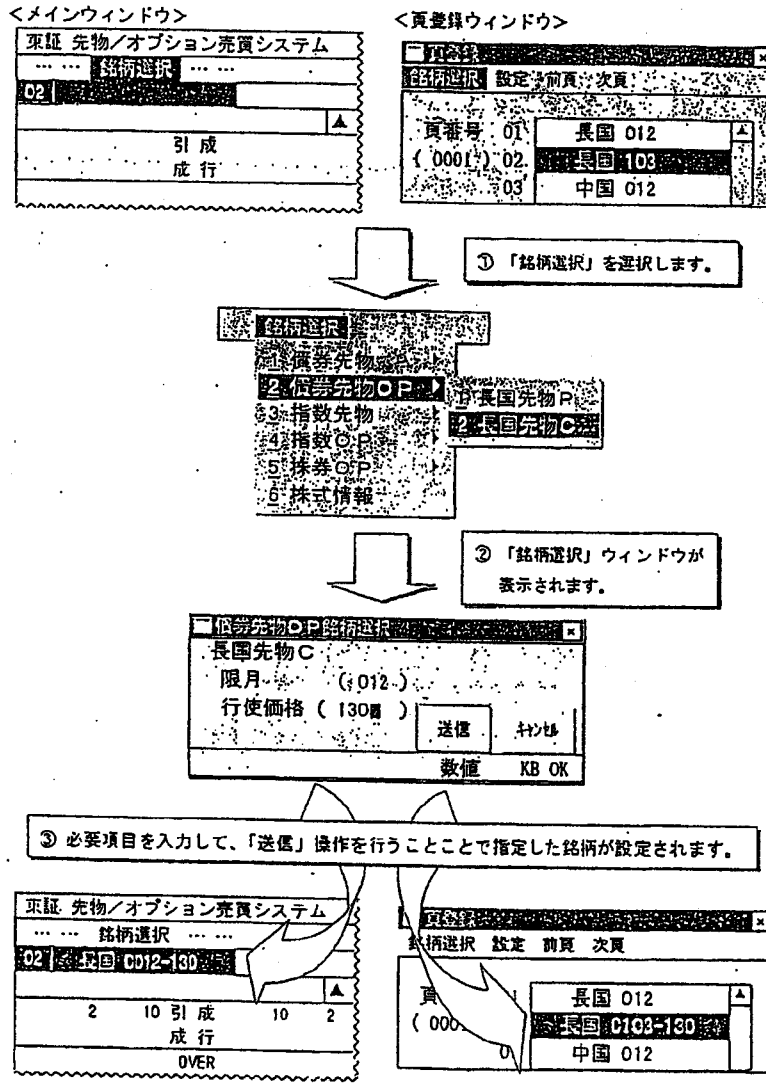
◇ 「削除」

メニューバー項目の「設定」→「2 削除」を選択することにより、応答表示欄のカーソル位置の登録銘柄番号の登録情報を削除し、それ以下の登録情報を繰り上げます。



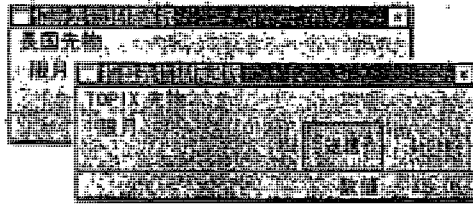
7-1-1.3 頁登録時の銘柄選択操作

頁登録時の銘柄選択操作は、「メインウィンドウ」又は「頁登録ウィンドウ」のメニューバー項目の「銘柄選択」を選択することで行います。



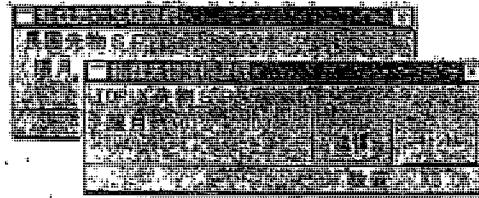
◆ 銘柄選択ウィンドウ

◇ 債券先物取引・指数先物取引銘柄



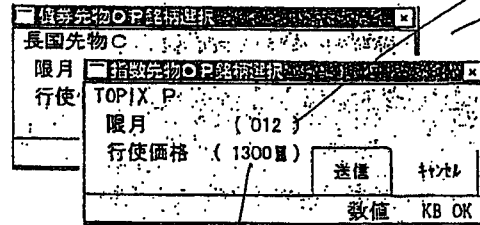
- ① 「銘柄選択」から「市場」→「証券種別」まで選択します。
- ② 「銘柄選択ウィンドウ」で「限月」を入力し、「送信」操作を行います。

◇ 債券先物スプレッド取引銘柄・指数先物スプレッド取引銘柄



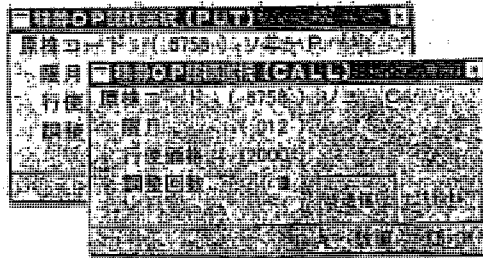
- ① 「銘柄選択」から「市場」→「証券種別」まで選択します。
- ② 「銘柄選択ウィンドウ」で「期先限月」及び「期先限月」を入力し、「送信」操作を行います。

◇ 債券先物オプション取引・指数オプション取引銘柄



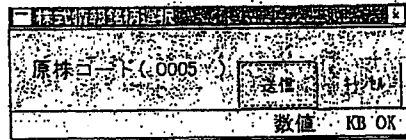
- ① 「銘柄選択」から「市場」→「証券種別 (プット/コール別)」まで選択します。
- ② 「銘柄選択ウィンドウ」で「期先」及び「権利行使価格」を入力し、「送信」操作を行います。

◇ 株券オプション取引銘柄



- ① 「銘柄選択」から「市場」→「プット/コールの別」まで選択します。
- ② 「銘柄選択ウィンドウ」で「原株銘柄コード」、「原月」及び「権利行使価格」を入力し、「送信」操作を行います。
 - ※ 「原株銘柄コード」を入力すると、当該株券オプションの名称が表示されます。
 - ※ 「権利行使価格」は、10万円未満は「全桁」を、10万円以上は「下3桁」で入力します。
 - ※ 「調整回数入力欄」は受渡単位の調整があった銘柄を指定する場合のみ、入力します。

◇ 株式情報（原株銘柄・株価指数）



- ① 「銘柄選択」から「株式情報」を選択します。
- ② 「銘柄選択ウィンドウ」で「銘柄コード」を入力し、「送信」操作を行います。
 - ※ 「株価指数」を指定する場合は、以下のコードを入力します。

株価指数	コード
TOPIX	0005
電気機器	0030
輸送機器	0031
銀行	0032

7-1-2 自動設定ページ

任意設定ページ以外に、あらかじめ本所が設定したパターンの銘柄が登録されている「自動設定ページ」があります。

自動設定ページの銘柄登録情報は、任意設定ページと異なり、各証券種別内での「第1限月」や「第1限月のアト・ザ・マネー+1の権利行使価格」のような形で情報が登録されているため、中央システムから当日の銘柄情報を受信することによって、各自動設定ページの登録情報に合致する銘柄に日々登録銘柄が更新されます。

(例) 自動設定ページの「nnページ」の登録情報

nnページ	
登録銘柄番号	登録情報
01	長国先物プットオプションの第1限月の「アト・ザ・マネー-1」
02	長国先物プットオプションの第1限月の「アト・ザ・マネー」
03	長国先物プットオプションの第1限月の「アト・ザ・マネー+1」


◆ X月X日(長国先物オプション取引の「アト・ザ・マネー」の権利行使価格:130円)

東証 先物/オプション売買システム		nnページ	
MM 運用			
01	長国 P012-129	02	長国 P012-130
	▲H▼		▲H▼
引成		引成	

Y月Y日に、「アト・ザ・マネー」の権利行使価格が「133円」に変化

東証 先物/オプション売買システム		nnページ	
MM 運用			
01	長国 P012-132	02	長国 P012-133
	▲H▼		▲H▼
引成		引成	

⇒ 「付録3 自動設定ページの銘柄登録パターン」



自動設定ページについても、任意設定ページと同じ方法で登録銘柄の変更等が可能です。

ただし、翌日の銘柄情報を受信後には、当初の設定状態に戻ります。

自動設定ページの登録内容を変更した状態を保存したい場合には、「表示銘柄再登録」操作を行います。

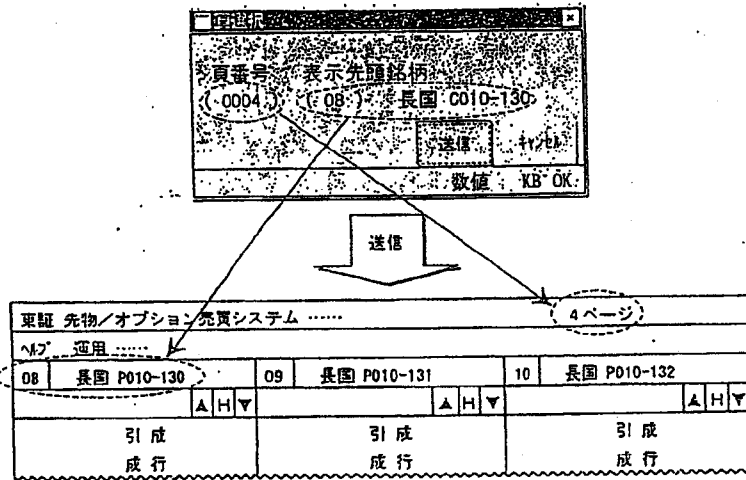
⇒ 「7-1-4 表示銘柄再登録」

7-1-3 登録ページの呼出し

板/気配情報を問合せる場合には、各登録ページを呼び出します。

7-1-3.1 頁選択ウィンドウからの登録ページの呼出し

- ① メインウィンドウのメニューバーから「頁選択」を選択することにより、「頁選択ウィンドウ」が表示されます。
- ② 「頁番号入力欄」に表示させたい登録ページ番号を、「表示先頭銘柄入力欄」に板/気配画面の先頭（エリア1）に表示させたい銘柄の当該登録ページにおける登録登録番号を入力します。
 ※ 「表示先頭銘柄入力欄」に、登録銘柄番号を入力すると、当該登録銘柄番号に登録されている銘柄名が表示されます。
- ③ 「送信」操作を行うことで、板/気配画面に指定した登録ページが指定した登録銘柄番号の銘柄を先頭にして、登録銘柄番号順に表示されます。
 ※ 「表示先頭銘柄入力欄」に、入力を行わないで「送信」操作を行った場合には、常に指定したページの登録銘柄番号「01」の銘柄を先頭に表示します。



7-1-3.2 メニューバー項目の「前頁」・「次頁」の選択による登録ページの呼出し

メインウィンドウのメニューバー項目の「前頁」・「次頁」を選択することにより、現在表示中の登録ページの1ページ前又は1ページ後の登録ページを表示させることができます。

なお、その場合は、現在表示中の登録ページにおける先頭登録銘柄番号を引き継ぎます。

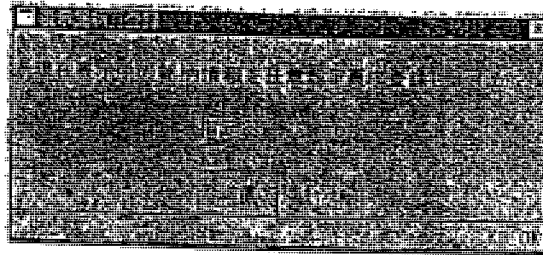
7-1-4 表示銘柄頁登録

自動設定ページ等の登録銘柄の変更操作を行った後、その状態を保存しておく場合には、「表示銘柄頁登録」操作を行います。

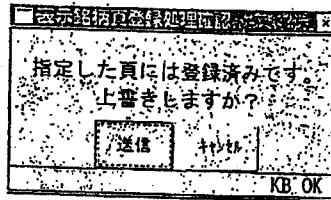
表示銘柄頁登録は、板/気配画面に表示している登録ページの情報を指定した1~49ページの任意設定ページに登録する操作です。

その場合、指定した任意設定ページに既に銘柄が登録されている場合でも、表示中の登録ページの情報に上書きします。

- ① 保存したい情報を登録してある登録ページ（登録銘柄の変更登録操作を行った後の自動設定ページ）を板/気配画面に呼び出します。
- ② メインウィンドウのメニューバーから「設定」→「2 表示銘柄頁登録」の順で選択することにより、「表示銘柄頁登録ウィンドウ」が表示されます。



- ③ 「指定頁入力欄」に保存先の任意設定ページを入力し、「送信」操作を行います。
- ④ 「指定頁入力欄」に入力した保存先の任意設定ページに既に銘柄が登録されている場合は、「表示銘柄頁登録処理確認ウィンドウ」が表示されますので、上書きしてよければ、「送信」操作を行います。



7-2 分割形態

「板/気配画面」については、6種類の表示形態から必要に応じて選択してください。

7-2-1 分割形態の種類

板/気配情報を表示する「板/気配画面」は、以下の6種類の形態で表示することができます。

7-2-1.1 板×2

板/気配画面を2分割して2銘柄の板情報を同時に表示します。

<板>	<板>

7-2-1.2 板×4

板/気配画面を4分割して4銘柄の板情報を同時に表示します。

<板>	<板>
<板>	<板>

7-2-1.3 板×6

板/気配画面を6分割して6銘柄の板情報を同時に表示します。

<板>	<板>	<板>
<板>	<板>	<板>

第7章 板/気配情報の問合せについて

7-2-1.4 板×2+気配

板/気配画面を3分割して2銘柄の板情報と1銘柄の気配情報を同時に表示します。

<板>	<板>
<気配> (1 1銘柄)	

7-2-1.5 板×2+気配

板/気配画面を4分割して3銘柄の板情報と1銘柄の気配情報を同時に表示します。

<板>	<板>	<板>
<気配> (1 1銘柄)		

7-2-1.6 板×2+気配

板/気配画面全体の24銘柄(表示ページの全登録銘柄)の気配情報を同時に表示します。
※表示ページの登録されてある銘柄を一覧表示できます。

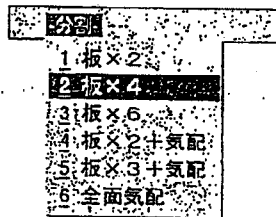
<気配> (24銘柄)

7-2-2 分割形態の選択

板/気配画面の分割形態は、以下の操作で変更できます。

7-2-2.1 メニュー項目の「分割」からの変更

- ① メインウィンドウのメニューバー項目「分割」を選択します。
- ② 「分割」のメニューリストの中から分割形態を選択します。



7-2-2.2 右クリックによるショートカットメニューからの選択

- ① 板/気配画面上で、マウスの右クリックを行います。
- ② 表示されるショートカットメニューの中から分割形態を選択します。

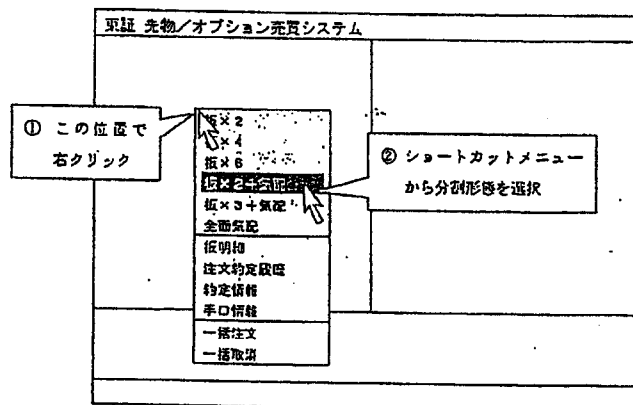
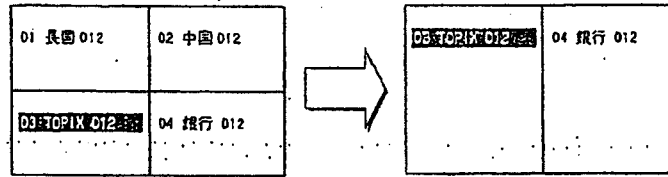


図 13-5 マウスの右クリックによるショートカットメニューの表示

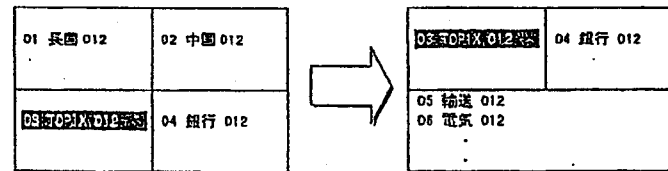
7-2-2.3 分割形態変更時の銘柄の表示順序

分割形態変更時には、変更操作時に板/気配画面中で操作対象となっているエリア（右クリックを行ったエリアを含む）に表示されている登録銘柄番号の銘柄を先頭に表示を行います。

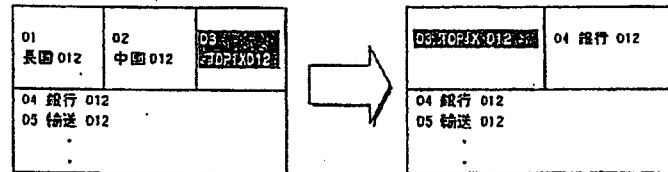
- ◆ 「板×2、4、6」→「板×2、4、6」



- ◆ 「板×2、4、6」→「板×2、3+気配画面」

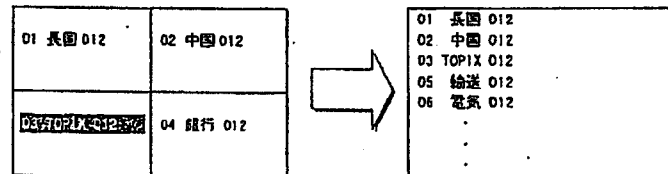


- ◆ 「板×2、3+気配画面」→「板×2、3+気配画面」



※板画面部分のみ表示順序を変更し、気配画面部分は変更しません。

- ◆ 「各分割形態」→「全面気配」



※操作指定エリア等の位置にかかわらず、当該ページの全登録銘柄を表示します。

7-3 板画面

7-3-1 板画面の表示項目

◆ 2分割板画面

分割形態の「板×2」を選択した場合に表示します。

①		②		③		④	
ザラ	01	長国	012	基	13296	⑤	
④ K13320(13:17)(2012)						⑥ ▲ H ▼	
⑧ 10	250	引成	250	⑧ 15	前後場	⑩	
⑨ 注意		成行	10	1	0	13291	
	157	1810	OVER			(9:05)	
2	1	3	13029		H	13320	
2	4	132	13028			(9:46)	
	4	145	13027		L	13274	
	2	70	13026			(9:10)	
5	2	29	13025		P	13310	
	1	20	13024			(13:16)	
	1	5	13023#	⑫	5	(2021)	
		⑬	13022		C	+13	
10			13021				
			13020K	⑭	V	42588	
			13019	17	3	L5 13005	⑮
			13018	47	1	(13:14)	
			13017	5	6	L4 13008	
			13016	36	3	(13:15)	
			13015	44	6	L3 13009	
			13014	46	2	(13:15)	
			13013	123	5	L2 13008	
			13012	141	3	(13:16)	
			13011	2	4	L1 13009	
			13010	817	3	(13:16)	
			UNDER	6084	169	W 5	⑯

◆ 4分割画面

分割形態の「板×4」又は「板×2+気配」を選択した場合に表示します。

①	②	③	④	⑤	⑥
板寄	02 TOPIX 012	基	13295	1276.37	
④	カ 13320 (13:17)	⑤	▲ H ▼	前後場	⑩
⑧	10	引成	⑨	15.0	13290
⑨	注意	成行	10	1	(9:05)
	27 348	OVER			H 13320
	2 1 3	13013#	⑮		(10:46)
	2 4 132	13012			L 13275
	⑭	145 13011			(9:10)
	⑰	13010K	⑯		P 13310
		13009	29 8		(13:16)
		13008	46 12		C +15
		13007		5	
		UNDER	124		V 73358
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱

◆ 6分割画面

分割形態の「板×6」又は「板×3+気配」を選択した場合に表示します。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
ガラ	01 ソニーP012-9500	V	588			
④	U4700 (13:17)	▲	H	▼		⑤
1	2	引成	2	1		
		成行				
7	45	OVER				
1	3	5200				
		⑰				
2	2	4900				
		4800				
	⑱	4700				
1	5	4600#	⑲	10	2	
		4500				
		UNDER	12	3		
⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	

①板ステータス

表示銘柄の現在のステータスを表示します。

- ◆ 「スペース」：オンライン開始～注文受付開始
- ◆ 「注受」：注文受付中～立会開始
- ◆ 「寄前」：立会開始～始値決定
- ◆ 「ザラ」：始値決定～注文受付終了
- ◆ 「注終」：注文受付終了～終値決定
- ◆ 「前終」：前場終了時～後場注文受付開始
- ◆ 「終了」：当日立会終了～オンライン終了
- ◆ 「注停」：注文受付停止中

※処理待ち注文発生時には、「白色」の反転表示を行います。

②登録銘柄番号及び銘柄名

◆ 登録銘柄番号

表示銘柄の表示ページにおける「登録番号」を表示します。

◆ 銘柄名

表示銘柄の「銘柄名」を表示します。

□ 「第4章 取引商品について」

※株券オプション取引の銘柄については、2・4分割板画面において銘柄名の後ろに当該銘柄の「受渡単位」を表示します。

※表示中の銘柄が操作対象となっている場合に、登録銘柄番号及び銘柄名について「黄色」の反転表示を行います。

③当日の基準値段

当日の基準値段を表示します。

※以下の場合に先頭に符号を表示します。

- ◇ 「り」：前日最終売特別気配値段が基準値段の場合
- ◇ 「か」：前日最終買特別気配値段が基準値段の場合
- ◇ 「*」：本所が定めた基準値段の場合

④気配・メッセージ

気配又はメッセージを表示します。

◆ 気配

◇ 債券先物・債券先物OP銘柄

- 振寄せを伴わない特別気配

「U/K」+気配値段+表示時刻（+利回り）

- 振寄せを伴う特別気配

「ウ/カ」+気配値段+表示時刻（+利回り）+差引数量

※「利回り」は2分割板表示時に債券先物取引銘柄（スプレッド銘柄除く）のみ、表示します。

◇ 指致先物・指致OP・株券OP

- 注意気配
「U/K」+気配値段+表示時刻
- 特別気配
「ウ/カ」+気配値段+表示時刻+差引数量

※以下の場合に、気配の先頭に符号を表示します。

- 「G」:表示中の板寄せを伴う特別気配が、引け条件付注文の参加により立会終了時の取引で逆転した値段で約定成立する可能性がある場合
- 「T」:表示中の気配値段に訂正があった場合

◆ 業務関係メッセージ

- ◇ 「板寄 (時:分)」:板寄せ処理の場合
- ◇ 「停止 (時:分)」:取引一時停止の場合
- ◇ 「障害 (時:分)」:中央システム障害による取引停止の場合

◆ エラーメッセージ

- ◇ 「エラー開合せ時間外」:開合せ可能時間以外の板開合せの場合
- ◇ 「エラー銘柄コード」:取引対象でない銘柄の板開合せの場合

※ その他、障害メッセージを表示する場合があります。

- ⇒ 「15-5 端末システムの障害メッセージ」

⑤スクロールボタン
・ホームボタン

- ▲:マウスでクリックすることにより1値段ずつ上にスクロールします。
- ▼:マウスでクリックすることにより1値段ずつ下にスクロールします。
- H:板情報をスクロールした後、マウスでクリックすると板表示中心値段を中心とした基本板画面に戻ります。
※スクロール時は、「H」が「赤色」表示されます。
⇒ 「7-3-3 板情報のスクロール」

⑥原証券値段

2・4分割板表示時に表示銘柄の原証券の現在値（特別気配値段含む）及び前日比較（特別気配値段表示時除く）を表示します。ただし、4分割板画面の場合、前日比は表示しません。

- ◆ 債券先物OP銘柄 : 債券先物の対象年月
- ◆ 指致先物銘柄・指致OP銘柄 : 対象指数
- ◆ 株券OP銘柄 : 対象原株

※株券OP銘柄の対象原株は、その水準に応じて桁落しを行って表示します。

- ◇ 10万円未満の場合：全桁表示します。
- ◇ 10万円以上の場合：下3桁落しで表示します。

※原証券値段については、更新情報の送信タイミングのずれにより、原証券を同一とする銘柄間で異なる値段を表示する場合があります。

- ①当日取引高 6分割画面のみ当日取引高を表示します。
- ②不成注文数量合計 不成注文の数量合計を表示します。
※不成注文は、指値注文として各指値に合算して表示されるとともに、当該表示欄に合計数量が表示されます。
- ③注意情報あり
メッセージ 注意情報が発生した場合に、「注意」を表示します。
※当該メッセージが表示された場合は、「注意情報」を問い合わせ、内容を確認して下さい。
⇒ 「10-11 注意情報問合せ」
- ④板自動更新停止
メッセージ 中央システムの障害等の発生により、板情報の自動更新処理が停止した場合に、「板停」を表示します。
※板情報の自動更新処理が停止し、当該メッセージが表示された場合は、「送信 (Enter)」キーを押下することで、表示中の銘柄の直近状態の板情報を開合せすることができます。
- ⑤注文値段 注文値段（成行・引成・指値）を表示します。
また、指値部分については、2分割画面は「20値段」、4・6分割画面は「7値段」を表示します。
◆ 指値値段については、表示銘柄の値段単位で表示します。
⇒ 「第4章 取引商品について」
◆ 注文値段の表示方法は、
◇ 「非圧縮値段表示方式」(全値段を表示する方式)
◇ 「圧縮値段表示方式」(注文のある値段等の特定の値段のみを表示する方式)
のどちらかを選択できます。
⇒ 「6-2 板画面の値段表示方法の設定」

- ◆ 直前の約定値段（当日の始値決定前は当日の基準値段）が「黄色」で表示されます。
- ◆ 「板表示中心値段」を中心に値段を表示する「基本板画面」とスクロールを行った状態の「スクロール画面」があります。
 ◎ 「7-3-2 板表示中心値段」

⑩注文数量／

各注文値段の注文数量、注文件数及び引指値注文数量を表示します。

⑪注文件数／

- ◆ 不成注文は、指値注文として各指値に合算して表示されるとともに、その合計数量が「不成注文数量合計欄」に表示されます。

⑫引指値注文数量

- ◆ 「引成」欄には、引成注文のみを表示します。
- ◆ 表示値段を超える値段の注文は、「OVER」欄にその合計数量が、表示値段に満たない値段の注文は、「UNDER」欄にその合計数量が表示されます。
- ◆ 「OVER」、「UNDER」欄は、板情報をスクロールした場合には、表示されません。（基本板画面表示時のみ表示します。）
- ◆ 注意気配及び特別気配を表示する場合、当該気配にかかる注文は、気配値段に集約表示を行わずに、実際の発注値段に表示します。

⑬対当符号

対当状態にある場合に、対当値段に以下の符号を表示します。

- ◆ 「#」：付合せ可能な値段の場合
- ◆ 「*」：付合せの可否について本所の判断を要する値段の場合
 ※ ただし、板寄せ時に対当値段が複数存在する場合は、基準値段に最も近い対当値段に「#」を表示し、その他の値段には「*」を表示します。

⑭気配符号

気配表示中は以下の符号を、売気配の場合は値段の左側に、買気配の場合は値段の右側に表示します。

- ◆ 債券先物・債券先物OP銘柄
 - ◇ 板寄せを伴わない特別気配
 - 売特別気配：「U」・買特別気配：「K」
 - ◇ 板寄せを伴う特別気配
 - 売特別気配：「ウ」・買特別気配：「カ」
- ◆ 指値先物・指値OP・株券OP銘柄
 - ◇ 注意気配
 - 売注意気配：「U」・買注意気配：「K」
 - ◇ 特別気配
 - 売特別気配：「ウ」・買特別気配：「カ」

⑩カーソル

当該板画面が操作対象となってる場合に、「注文値段欄」、「注文数量欄」、「注文枚数欄」、「引指値注文数量欄」及び「不成注文数量合計欄」に「カーソル」を表示します。

- ◆ 「カーソル」は、矢印キーの押下により移動できます。
- ◆ 「カーソル」指値注文を表示するエリアから成行・引成注文を表示するエリアにを移動させる場合は、「Shift」+「|」キーを押下します。
- ◆ 「カーソル」の表示位置によって、「新規注文入力ウィンドウ」表示時の当該表示位置の情報の自動設定や「板明細」問合せ時に問合せ入力を省略して問合せることができます。

- ⇒ 「9-2-2 新規注文入力ウィンドウからの発注」
- ⇒ 「10-2 板明細問合せ」

⑪付帯情報

2・4分割板画面において、表示銘柄の「4本値（日通し又は場別）」又は「歩値（5本）」を選択して表示します。

- ⇒ 「6-1 板/気配画面の付帯情報種類の設定」

◆ 2分割板画面

「日通し4本値」又は「場別4本値」の表示を選択できます。

2分割板画面における4本値表示項目は取引の種類により、以下のように若干異なります。

前場	後場	債券先物 取引銘柄	指数先物 取引銘柄	オプション 取引銘柄
O	前後場	① 「前後場」、「前場」又は「後場」		
H	O 13291	② 始値		
H	(9:05)	③ 始通時刻		
L	H 13320	④ 高値		
L	(9:46)	⑤ 高値時刻		
P	L 13274	⑥ 安値		
P	(9:10)	⑦ 安値時刻		
IV	P 13310	⑧ 現在値		
C	(13:16)	⑨ 現在通時刻		
C	(2021)	⑩ 利回り	前日比	I V
V	C +13	⑪ 前日比	—	前日比
V	V 42580	⑫ 最終特別気配		
		⑬ 当日取引高		

※ 債券先物スプレッド取引銘柄は、指数先物取引銘柄と同じ表示項目となります。

◆ 4分割板画面

「日通し4本値」、「場別4本値」又は「歩値(5本)」の表示を選択できます。

※ 場別4本値を表示している場合、前場の4本値は、後場立会開始時に消去され、後場表示に切り替わります。

※ 各値段は取引不成立の場合、「-」を表示します。

※ 前日比は、取引不成立及び前日約定値段がない場合、「-」を表示します。

※ 現在値については、終値の場合は「E」を、気配が逆転して引けた場合は「G」を、値段の先頭に表示します。

※ 2分割板画面の4本値表示における、インプライド・ボラティリティ(IV)は現在値が成立した時点のものを表示します。なお、真正値割れ等の露出不能の場合には、「0.01」を表示します。

⑬ 歩み値

2分割板画面において、常に直近値直前の5値段を表示します。

※前場の歩値は後場立会開始時に消去します。

⑭ 処理待ち注文枚

2分割板画面において、処理待ち注文発生時に、処理待ち注文枚を表示します。

7-3-2 板表示中心値段

- ◆ スクロールを行っていない板画面を「基本板画面」といい、「板表示中心値段」を常に板中央部に表示するように板情報の表示を更新をします。「板表示中心値段」は下表の優先順位にしたがって決定されます。

立会状態	板表示中心値段となる値段の優先順位
始値決定前	① 特別気配値段 ② 基準値段
ザラバ中	① 注意・特別気配値段 ② 直近の約定値段より優先する売注文又は買注文がある場合、当該注文値段 ③ 直近の約定値段
立会終了後	① 最終特別気配値段 ② 終値 ③ 当日約定も最終特別気配値段もない場合は、当日の基準値段

- ◆ 「非圧縮値段表示方式」の「基本板画面」においては、2分割板画面の場合は「上下3値段」、4・6分割板画面の場合は「上下1値段」の「板表示中心値段」の「浮動表示エリア」が設定されていますので、その範囲を超えることとなった場合には、板中央部に値段が自動的に編集表示されます。
- ◆ 「圧縮値段表示方式」においては、常に「板表示中心値段」を板中央部に自動的に編集表示します。
- ◆ また、「スクロール画面」においては、値段の表示位置は自動的に変化しません。

<自動編集表示例：非圧縮値段表示・6分割板画面（浮動表示エリア上下1値段）>

The diagram shows two states of a 6-part board screen for 'ソニーP012-9500 V 588'.
 Left state (OVER): Price is 4700. The center price is 4700. The floating display area is between 4600 and 4800.
 Right state (UNDER): Price is 4500. The center price is 4500. The floating display area is between 4400 and 4600.
 A callout box explains: 「4500」での約定により、板表示中心値段が「4700」から「4500」に変化し、「浮動表示エリア」を超えることとなったため、「4500」を板中央部に自動編集表示


7-3-3 板情報のスクロール

「基本板画面」に表示されている値段の表示範囲より上下の値段の情報を見る場合には、以下の方法で板情報のスクロール操作を行います。

- ◆ 板画面上のスクロールボタン (「▲」又は「▼」) をマウスによりクリックする。
 - 「1値段」づつスクロールします。
- ◆ 板画面上のカーソルをキーボード上の矢印キーの押下により上下に移動させる。
 - 「1値段」づつスクロールします。
- ◆ キーボード上の「上」又は「下」キーを押下する。
 - 2分割板画面の場合は「10値段」づつ、4・6分割板画面の場合は「3値段」づつスクロールします。

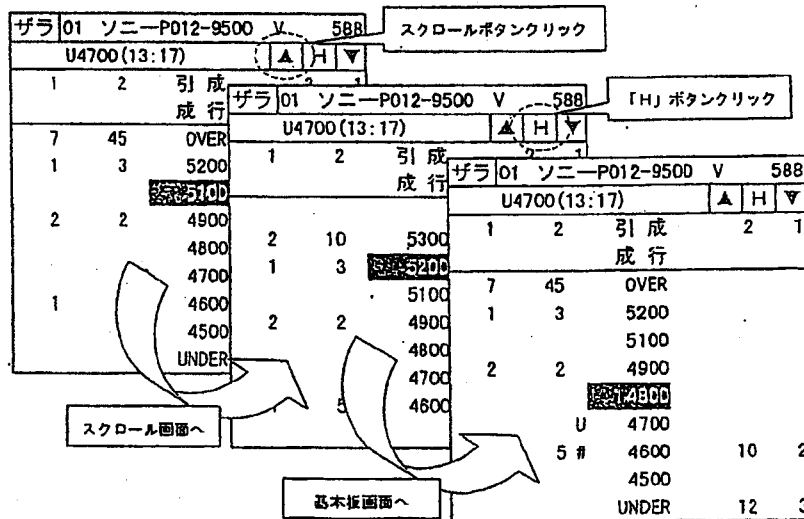
また、以下の方法で「スクロール画面」から「基本板画面」に戻すことができます。

- ◆ 板画面上の「H」(ホーム) ボタンをマウスによりクリックする。
- ◆ キーボード上の「Home」キーを押下する。



- ◆ スクロールした場合でも、板情報は自動更新されます。
- ◆ スクロールした場合、OVER・UNDER欄の情報は表示されません。
- ◆ スクロール画面表示中は、板画面上の「H」ボタンを「赤色」表示します。

<スクロール操作例>



The diagram illustrates the scroll operation between different board views. It shows three overlapping board screens with various data points and callouts:

- Top Screen:** ザラ 01 ソニーP012-9500 V 588. U4700(13:17). Buttons: ▲ H ▼. Callout: スクロールボタンクリック.
- Middle Screen:** ザラ 01 ソニーP012-9500 V 588. U4700(13:17). Buttons: ▲ H ▼. Callout: 「H」ボタンクリック.
- Bottom Screen:** ザラ 01 ソニーP012-9500 V 588. U4700(13:17). Buttons: ▲ H ▼. Callout: スクロール画面へ.

Arrows indicate scroll directions between these screens. A callout '基本板画面へ' points to the bottom screen.

7-4 気配画面

7-4-1 気配画面の表示項目

分割形態の「板×2+気配」、「板×3+気配」又は「全面気配」を選択した場合に表示します。
 「板×2+気配」又は「板×3+気配」選択時は、11銘柄分の気配情報を表示します。
 「全面気配」選択時は、24銘柄分（1ページの最大可能登録銘柄数分）気配情報を表示します。

銘柄	①	売気配(A)		買気配(B)	
		数量	値段	値段	数量
01 ソニーP012-11000 注		10	#1000	K900	5
02 ソニーP012-12000 注		8	3300	3200	10
03 ソニーP012-13000 注	⑤	2	16050	16050	12
04 ソニーC012-11000 注					1
05 ソニーC012-12000 注					
06 ソニーC012-13000 注			U3650		
07 ソニー		21	13000	12500	26
08 TOPIX					

① ② ③ ④ ⑤

現在値(P)			前後場			取引高(V)
値段	時刻	比較	O	H	L	
850	13:21	-	800	850	800	5
3300	13:20	+100	3200	3250	3000	24
16050	12:59	-	16000	16200	15950	12
8550	12:30					
3700	13:19	-250	3900	3950	3650	20
12900	13:22	+900	12000	13200	12000	85600
131278	13:22	+1223	130125	131546	130125	

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- ①登録銘柄番号及び銘柄名
- ◆ 登録銘柄番号
表示銘柄の表示ページにおける「登録番号」を表示します。
 - ◆ 銘柄名
表示銘柄の「銘柄名」を表示します。
⇒ 「第4章 取引商品について」
※表示中の銘柄が操作対象となっている場合に、「登録銘柄番号」及び「銘柄名」について「黄色」の反転表示を行います。
- ②注意情報あり/エラーメッセージ
- ◆ 注意情報ありメッセージ
注意情報が発生した場合に、「注」を表示します。
※当該メッセージが表示された場合は、「注意情報」を問い合わせ、内容を確認して下さい。
⇒ 「10-11 注意情報問合せ」
 - ◆ エラーメッセージ
表示銘柄の気配情報問合せにおいて、エラーが発生した場合に、「ER」を表示します。
- ③気配数量
- 売気配数量又は買気配数量を表示します。(原指数表示時は除く)
- ◆ 「一般気配値段」表示時
最も優先する気配値段の注文数量を表示します。
 - ◆ 「板寄せを伴わない特別気配値段/注意気配値段」表示時
当該気配の基となる注文数量を表示します。
 - ◆ 「板寄せを伴う特別気配値段」表示時
当該気配値段における差引数量を表示します。
 - ◆ 「対当値段」表示時
対当値段における注文数量を表示します。
- ④気配値段
- 売気配値段又は買気配値段を表示します。(原指数表示時は除く)
- ◆ 表示銘柄の値段単位で表示します。(以下、同じ)
⇒ 「第4章 取引商品について」
 - ◆ 原株銘柄については、10万円以上の値段は、下3桁落しを行って表示します。(以下、原株銘柄の値段を表示する場合は同じ)
 - ◆ 注意/特別気配値段表示時は、注意/特別気配符号 (U、K、9、*) を値段の先頭に表示します。
 - ◆ 対当値段表示時 (原株銘柄除く) は、対当符号 (#、*) を値段の先頭に表示します。

- ⑤カーソル 「登録銘柄番号・銘柄名欄」、「気配数量欄」及び「気配値段欄」に「カーソル」を表示します。
- ◆ カーソルは、矢印キーの押下により移動できます。
 - ◆ 「カーソル」の表示位置によって、「新規注文入力ウィンドウ」表示時の当該表示位置の情報の自動設定や「板明細」問合せ時に問合せ入力を省略して問合せることができます。
 - ⇒ 「9-2-2 新規注文入力ウィンドウからの発注」
- ⑥現在値 現在値を表示します。
- ◆ 終値の場合は「E」を、ザラバ板寄せの場合は「板」を、取引停止中の場合は「停」を表示します。
- ⑦現在値段時刻 現在値の約定時刻を表示します。
- ⑧前日比 現在値の前日比を表示します。
- ⑨付帯情報欄 表示銘柄の「日通し4本値」、「銘柄四本値」又は「歩値（3本）」を選択して表示します。
- ◆ 4本値表示の場合、「始値」、「高値」、「安値」の順で表示します。
 - ⇒ 「6-1 板/気配画面の付帯情報選別の設定」
- ⑩当日取引高 当日取引高を表示します。（原指数表示時は除く）
- ⑪スクロールボタン 「板×2+気配」及び「板×3+気配」の分割形態表示時の気配画面にのみ表示します。
- ▲：マウスでクリックすることにより1銘柄ずつ登録銘柄番号順に上にスクロールします。
 - ▼：マウスでクリックすることにより1銘柄ずつ登録銘柄番号順に下にスクロールします。
 - ⇒ 「7-4-2 気配画面のスクロール」

7-4-2 気配画面のスクロール

全面気配以外の分割形態選択時に表示される気配画面は、1ページに登録できる最大銘柄数のうち11銘柄のみの気配情報を表示します。

そこで、気配画面を上下にスクロールすることで、表示されている銘柄以外の当該頁の登録銘柄の気配情報を表示することができます。

気配画面は、以下の方法によりスクロールします。

- ◆ 板画面上のスクロールボタン（「▲」又は「▼」）をマウスによりクリックする。
 - 「1銘柄」づつスクロールします。
- ◆ 板画面上のカーソルをキーボード上の矢印キーの押下により上下に移動させる。
 - 「1銘柄」づつスクロールします。
- ◆ キーボード上の「上」又は「下」キーを押下する。
 - 「6銘柄」づつスクロールします。

<スクロール操作例>

スクロールボタンクリック

銘柄	売気配(A)		買気配(B)	
	数量	値段	値段	数量
01 ソニーP012-11000	0	#1000	K900	5
02 ソニーP012-12000		3300	3200	10
03 ソニー				
04 ソニー				
05 ソニー				

銘柄

銘柄	売気配(A)		買気配(B)	
	数量	値段	値段	数量
01 ソニーP012-11000	10			5
02 ソニー				
03 ソニー				
04 ソニー				

「上」キー押下

銘柄	売気配(A)		買気配(B)	
	数量	値段	値段	数量
19 ソニーP103-13000				
20 ソニーP103-9500				
21 ソニーC103-10000				
22 ソニーC103-11000				

第8章 通知表示エリアについて

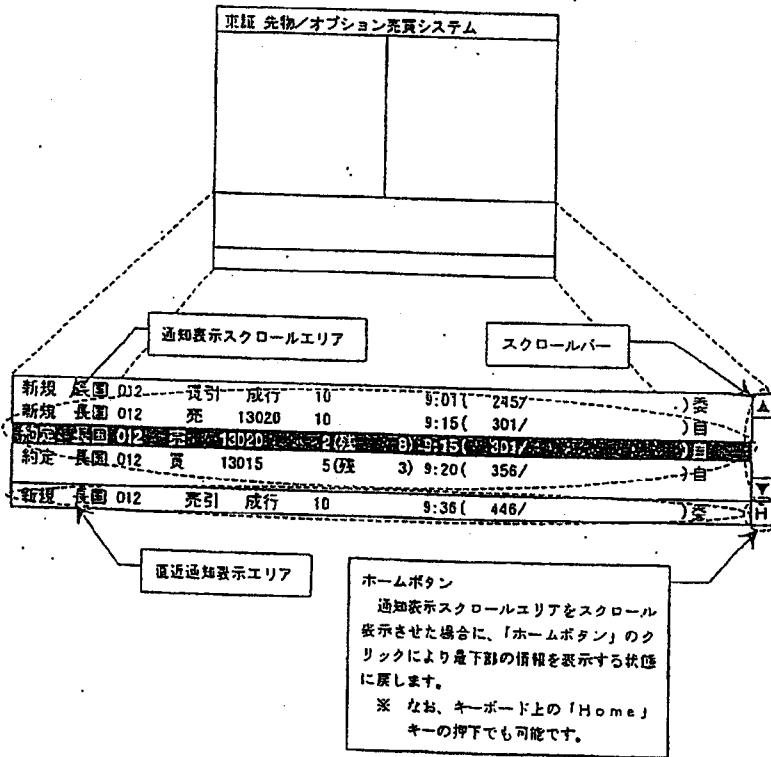
クライアントからの入力にかかる通知等を画面下部の「通知表示エリア」に表示し、画面上で通知の確認を行うことができます。

また、100件前までの過去の通知情報等をさかのぼって表示させることができます。

また、通知表示エリアの通知情報からのマウスのダブルクリック等により訂正注文入力ウィンドウへの被訂正注文の注文番号の自動設定を行うことができます。

B-1 通知表示エリアの構成

通知表示エリアは、直近の1件の通知等を表示する「直近通知表示エリア」と過去の99件分の通知等をスクロール表示する「通知表示スクロールエリア」の2つのエリアで構成されています。



8-1-1 直近通知表示エリア

直近通知表示エリアは、常に直近通知情報等を1件表示します。

なお、通知が到着し、直近通知表示エリアに表示した場合は、通知の到着を知らせるため、一定時間反転表示を行います。

また、当該エリアが操作指定エリアとなっている場合は、当該エリアにカーソルを表示します。

また、「約定成立通知」、「エラー通知」及び「転売・買戻等入力無効通知」が到着し、直近通知表示エリアに表示した場合は、注意を促すためにブザー音（ビーブ音）が鳴動します。

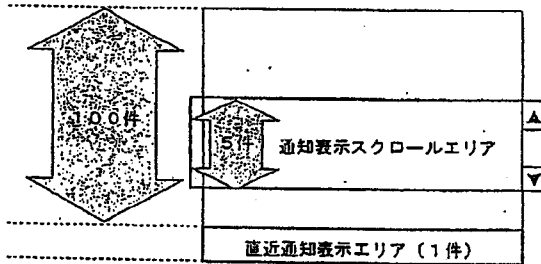
※ なお、当該通知到着時のブザー音を鳴動させないこともできます。

⇒ 「6-10 通知表示エリアへの通知到着時のブザー音可否の設定」

8-1-2 通知表示スクロールエリア

通知表示エリアは、直近通知等より前に到着した「5通知分」を表示することができ、直近の通知等を99件分（直近の通知等除く）スクロール表示ができます。

問合せ応答ウィンドウにおける場合と同様に、マウスによるスクロールバーの操作、マウスによるカーソルのドラッグ、カーソルの矢印キーの押下による上下移動及び「上」・「下」キー押下によりスクロールすることができます。



8-2 通知表示エリアへの表示方法

通知等が到着した場合は、まず直近通知表示エリアに表示され、基本的に次の通知等が到着した時点で直近通知表示エリアから通知表示スクロールエリアの最下部に再表示し、それ以前の通知等を1行繰り上げて表示します。

ただし、通知表示スクロールエリアをスクロールしている場合は、新たな通知が到着しても繰り上げ表示は行わず、表示している状態のままとします。

8-2-1 通知表示スクロールエリアが最下部を表示している場合

通知が到着するごとに自動的に繰り上げ表示します。

① 「通知 15」が到着

→ 「通知 15」を直近通知表示エリアに表示

新規 長国 012 ... (通知 10)	▲
新規 TOPIX 012 ... (通知 11)	
約定 長国 012 ... (通知 12)	
約定 TOPIX 012 ... (通知 13)	
新規 TOPIX 012 ... (通知 14)	
新規 長国 012 ... (通知 15)	▼
	■

② 新たに「通知 16」が到着

→ 「通知 16」を直近通知表示エリアに表示するとともに、「通知 15」を通知表示スクロールエリアに最下部に再表示し、かつ、「通知 11」～「通知 14」を繰り上げ表示し、「通知 10」は画面上消去します。

新規 TOPIX 012 ... (通知 11)	▲
約定 長国 012 ... (通知 12)	
約定 TOPIX 012 ... (通知 13)	
新規 TOPIX 012 ... (通知 14)	
新規 長国 012 ... (通知 15)	
新規 TOPIX 012 ... (通知 16)	▼
	■

8-2-2 通知表示スクロールエリアをスクロールしている場合

- ① 直近の通知が「通知 15」の時に、通知表示スクロールエリアを操作対象エリアとしたうえで、スクロールし、「通知 1」～「通知 5」を表示

新規	長国 012	...	(通知 1)	▲
新規	TOPIX 012	...	(通知 2)	
約定	長国 012	...	(通知 3)	
約定	TOPIX 012	...	(通知 4)	
新規	TOPIX 012	...	(通知 5)	
新規	長国 012	...	(通知 14)	▼
				H

- ② 新たに「通知 16」が到着

→ 「通知 16」を直近通知表示エリアに表示しますが、通知表示スクロールエリアの表示は変更しません。

※ なお、直近通知表示エリアから消去された「通知 15」は、通知表示スクロールエリアの最下部を表示させた場合に、表示します。

新規	TOPIX 012	...	(通知 1)	▲
約定	長国 012	...	(通知 2)	
約定	TOPIX 012	...	(通知 3)	
新規	長国 012	...	(通知 4)	
新規	TOPIX 012	...	(通知 5)	
新規	TOPIX 012	...	(通知 16)	▼
				H

- ③ 通知表示スクロールエリアの最下部を表示する。

→ 「通知 11」～「通知 15」を通知表示スクロールエリアに表示し、新たな通知が到着した場合は、繰り上げ表示を再開します。

※ なお、スクロールした状態から、通知表示スクロールエリアの最下部を表示する状態に戻すためには、以下の方法があります。

8-2-3 通知表示スクロールエリアの最下部の再表示方法

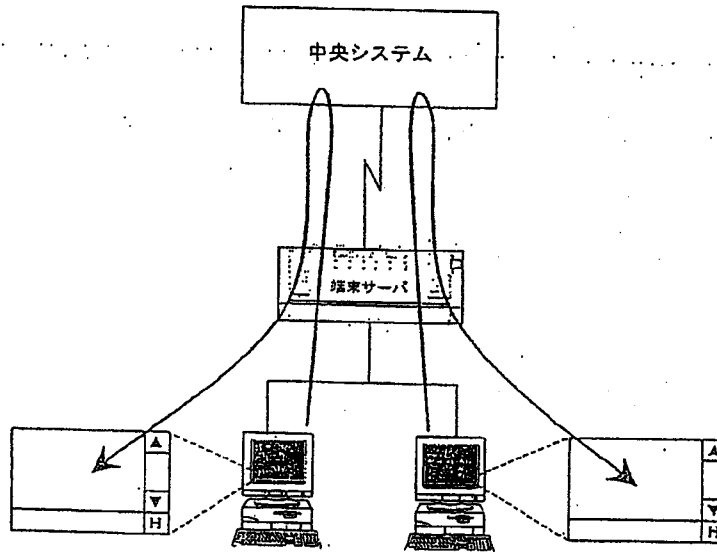
通知表示スクロールエリアは、以下のタイミングで、最下部の情報を表示を再表示するとともに、再び通知到着時に繰り上げ表示を行います。

- ◆ スクロール操作により最下部を表示させた時
- ◆ 通知表示エリアの「H」ボタンをクリックした時
- ◆ 通知表示エリアが操作対象エリアとなっている場合に、キーボード上の「Home」キーを押下した時
- ◆ 操作対象エリアを通知表示エリアから振/気配画面のエリアへ移動させた後に、次の通知を受信した時。

8-3 通知表示エリアへの表示通知

通知表示エリアには、クライアントからの注文等の入力にかかる通知（再送通知含む）のみを表示します。

また、表示する通知にかかる注文等を入力したクライアントの通知表示エリアのみに表示し、他のクライアントから入力した注文等にかかる通知は表示しません。



なお、当該クライアントの属する端末サーバへの通知出力を他の端末サーバへ代行中の場合等、当該端末サーバに通知が送信されていない場合は、通知表示エリアにも通知表示は行いません。

第8章 通知表示エリアについて

8-3-1 通知表示エリアの表示通知等種別

通知表示エリアには、以下の通知及びメッセージを表示します。

◆ 注文受付通知

新規	長国 012	引買	13025	100	10:53(467/	1234567890)	自
①	②	③④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

- ①種別:「新規」
- ②銘柄名
- ③執行条件
- ④売買区分
- ⑤注文値段
- ⑥注文数量
- ⑦注文受付時刻
- ⑧注文番号
- ⑨社内番号
- ⑩管理項目

◆ 約定成立通知

約定	長国 012	買	13025 始	50(残	50)	12:30(897/	1234567890)	自	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪

- ①種別:「約定」
- ②銘柄名
- ③売買区分
- ④約定値段
- ⑤値段符号
- ⑥約定数量
- ⑦残注文数量
- ⑧約定時刻
- ⑨注文番号
- ⑩社内項目

◆ 取消結果通知

取消	長国 012	(267/	1234567890)	自	9:27	全数取消	-20
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

- ①種別:「取消」
- ②銘柄名
- ③注文番号
- ④社内値段
- ⑤管理項目
- ⑥取消時刻
- ⑦取消結果メッセージ
- ⑧取消数量

◇ 取消結果メッセージ

- 「全数取消」: 被取消注文の全数量が取消処理された場合
- 「一部取消」: 被取消注文に内出来数量があるため、一部数量のみ取消処理された場合
- 「一部不能」: 被取消注文の一部数量について、取消処理が行えなかった場合
- 「全数約定」: 被取消注文が既に全数量約定済みの場合
- 「始値決定」: 被取消注文が寄付条件付き注文で、始値決定後に取消入力された場合

◆ 変更結果通知

変更	長国 012	(467/	1234567890)	自	14:53	全数変更	引買	13022	30(-	20)
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧⑨	⑩	⑪	⑫

- ①種別:「変更」
- ②銘柄名
- ③注文番号
- ④残注文の社内番号
- ⑤残注文の管理項目
- ⑥変更時刻
- ⑦変更結果メッセージ
- ⑧残注文の執行条件
- ⑨残注文の売買区分
- ⑩残注文の注文値段
- ⑪残注文数量
- ⑫削減数量

◇ 変更結果メッセージ

- 「全数変更」: (数量削減以外) 被変更注文の全数量が変更処理された場合
(数量削減) 指定された削減数量の全数量が削減処理された場合
- 「一部変更」: 被変更注文に内出来数量があるため、一部数量のみ変更処理された場合
- 「一部不能」: 被変更注文の一部数量について、変更処理が行えなかった場合
- 「全数約定」: 被変更注文が既に全数量約定済みの場合
- 「始値決定」: 被変更注文が需付条件付き注文で、始値決定後に変更入力された場合

◆ 失効注文通知

失効	長国 012	不成立	引買	13025	100	10:53(467/	1234567890)	自
①	②	③	④⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪

- ①種別:「失効」
- ②銘柄名
- ③失効理由メッセージ
- ④失効注文の執行条件
- ⑤失効注文の売買区分
- ⑥失効注文の注文値段
- ⑦失効注文数量
- ⑧失効注文の注文受付時刻
- ⑨失効注文の注文番号
- ⑩失効注文の社内番号
- ⑪失効注文の管理項目

◇ 失効理由メッセージ

- 「不成立」: 執行条件付き注文について、当該執行条件時に約定しなかったため失効した場合

※ 「③失効理由メッセージ」の詳細については、プリンタ出力通知又は通知後票により確認してください。

第8章 通知表示エリアについて

◆ 新規エラー通知・一注エラー通知

エラー (新規 始値決定済)	長国 012	寄頁 13025	100 (/ 1234567890) 自
①	②	③	④
		⑤⑥	⑦
			⑧
			⑨
			⑩

- ①種別:「エラー」 ②エラー種別:「新規」又は「一注」 ③エラー理由
 ④～⑩新規注文又は一括注文入力時の指定内容
 ④銘柄名 ⑤執行条件 ⑥売買区分 ⑦注文値段 ⑧注文数量
 ⑨社内番号 ⑩管理項目

※ 一注エラー通知は、「一括注文入力ウィンドウ」からの入力時に中央システムでの注文受付時にエラーとなった場合（エラーB通知の場合）に、出力されます。
 ※ 「③エラー理由」については、プリンタ出力通知と同じです。

◆ 取消エラー通知・変更エラー通知

エラー (取消 該当注文無効)	長国 012	(407/)
①	②	③
		④
		⑤

- ①種別:「エラー」 ②エラー種別:「取消」又は「変更」 ③エラー理由
 ④～⑤訂正（取消/変更）注文入力時の被訂正注文の指定内容
 ④銘柄名 ⑤注文番号/社内番号

※ 「③エラー理由」については、プリンタ出力通知と同じです。

◆ 一括エラー通知

エラー (一括 該当端末なし)	長国 012	1001
①	②	③
		④
		⑤

- ①種別:「エラー」 ②エラー種別:「一括」 ③エラー理由
 ④～⑤一括取消指示入力時の指定内容
 ④銘柄名 ⑤入力端末番号

※ 「③エラー理由」については、プリンタ出力通知と同じです。

◆ 転売・買戻入力無効通知

無効 転売・買戻入力 [翌日訂正入力] 長国 012 自己 15:28

① ② ③ ④

- ①種別:「無効 転売・買戻入力」
- ②無効理由
- ③入力が無効となった銘柄名及び自己・委託の別
- ④無効時刻

※ 「②無効理由」については、プリンタ出力通知と同じです。

◆ 転売・買戻/権利行使入力無効通知

無効 転売・買戻/権利行使入力 [翌日訂正入力] 長国 012 委託 15:28

① ② ③ ④ ⑤

- ①種別:「無効 転売・買戻/権利行使入力」
- ②無効理由
- ③入力が無効となった銘柄名及び自己・委託の別
- ④無効時刻

※ 「②無効理由」については、プリンタ出力通知と同じです。

◆ 委託分取引証拠金算定基礎建残力無効通知

当分の間、出力しません。

第8章 通知表示エリアについて

◆ 割当通知

割当 長国 012 自己 43

① ② ③

- ①種別：「割当」 ②割当があった銘柄名及び自己・委託の別
③割当数量



割当通知は、データサーバの配下の当該市場を利用可能としている全クライアントに表示します。

◆ SQメッセージ

TOPIX SQ 1346.29 (15:05)

① ② ③

- ①SQが算出された指数名 ②SQ値 ③SQ算出時刻

※ 指数先物市場及び指数オプション市場を利用可能としているクライアントに表示します。

◆ 通知出力完了メッセージ

<債券先物OP>前場注文受付通知出力完了

① ②

- ①市場名 ②通知出力完了メッセージ

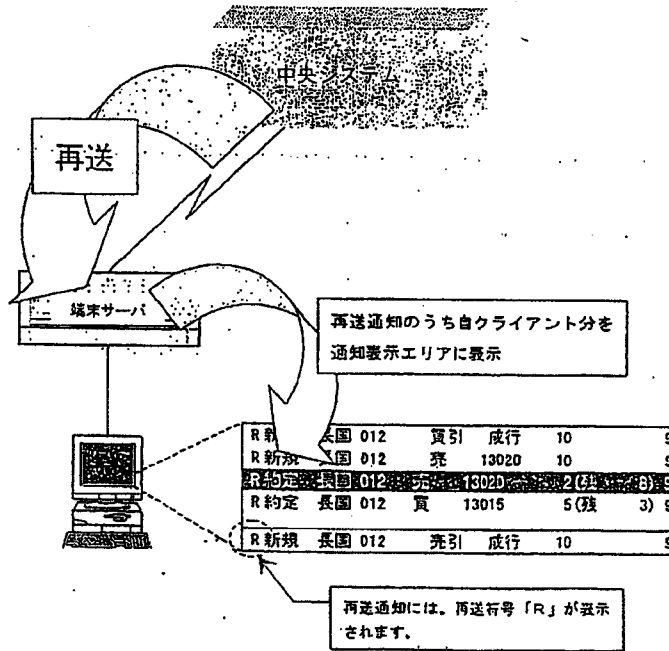
◇ 通知出力完了メッセージ

- 「前場注文受付通知出力完了」：当該市場の前場の注文受付通知出力が完了した場合
- 「前場約定通知出力完了」：当該市場の前場の約定成立通知出力が完了した場合
- 「後場注文受付通知出力完了」：当該市場の後場の注文受付通知出力が完了した場合
- 「後場約定通知出力完了」：当該市場の後場の約定成立通知出力が完了した場合

8-3-2 再送通知の通知表示エリアへの表示

端末サーバに通知情報の再送を行った場合でも、自クライアント分の再送通知について、通知表示エリアに表示を行います。

再送通知を表示する場合には、再送通知であることを示すため、通知の先頭に「R」を表示します。



⇒ 「14-3 再送要求/中止」

8-3-3 ダブリ符号の表示

システム障害等の障害回復後に出力された通知が障害発生前に出力されている可能性がある場合、代行指示及び障害時端末の利用開始・終了により代行元と代行先で重複して通知が出力される可能性がある場合に、通知をダブリ符号付きで出力します。

当該ダブリ符号付きの通知を通知表示エリアに表示する場合は、通知の先頭にダブリ符号「D」を表示します。

8-4 通知表示エリアからの訂正注文の入力

通知表示エリアの通知情報を利用して、以下の方法で訂正注文を簡便に入力することができます。

- ◆ 通知表示エリアの「注文受付」・「約定成立」・「変更結果」通知の表示位置をダブルクリックすることにより、「訂正注文入力ウィンドウ」を表示し、被訂正注文指定欄に当該自社注文の「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。
- ◆ 通知表示エリアが操作対象エリアであり、かつ「注文受付」・「約定成立」・「変更結果」通知が表示している位置にカーソルがある場合に、メニューバー項目の「訂正注文」のクリック又はキーボード上の「訂正注文」キーの押下を行うことにより、「訂正注文入力ウィンドウ」を表示し、被訂正注文指定欄に当該注文の「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。

※ なお、上記以外の通知については、銘柄名を含む通知の場合は、「銘柄名」のみを自動設定し、銘柄名を含まない通知等の場合は、何も自動設定されていない「訂正注文入力ウィンドウ」が表示されます。

新規	長国	012	買引	成行	70	9:01	(245/	
新規	長国	012	売	13020	10	9:15	(301/	
約定	長国	012	買	13020	2(株)	9:15	(301/	
約定	長国	012	買	13015	5(株)	3)	9:20	(356/
新規	長国	012	買引	成行	10	9:01	(245/	
新規	長国	012	売	13020	10	9:15	(301/	
約定	長国	012	買	13020	2(株)	9:15	(301/	
約定	長国	012	買	13015	5(株)	3)	9:20	(356/
新規	長国	012	売引	成行		9:36	(448/	

ダブルクリック

メニューバーの「訂正注文」の選択
又は「訂正注文」キーの押下

カーソルの表示位置等の情報が自動設定されます。

図 9-4-2.1 訂正注文入力ウィンドウの表示

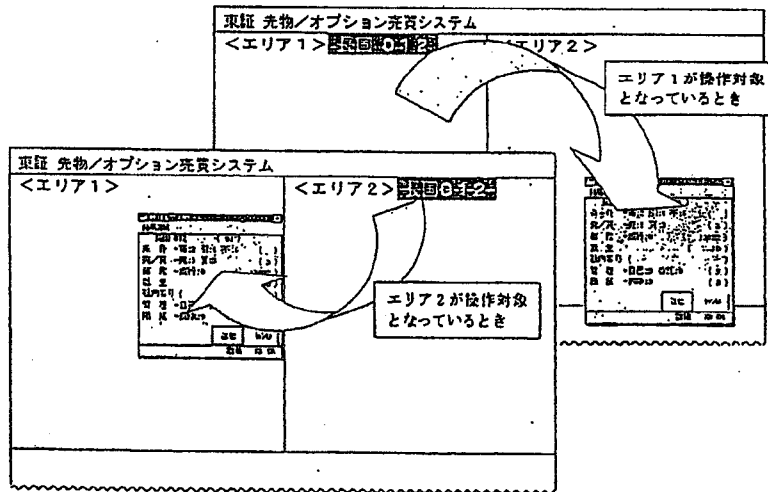
第9章 注文入力について

注文入力は、注文の種類に応じて以下の各注文入力ウィンドウを表示させて行います。

- ◆ 新規注文入力 → 「新規注文入力ウィンドウ」、「複数新規注文入力ウィンドウ」
- ◆ 一括注文入力 → 「一括注文入力ウィンドウ」、「新規注文入力ウィンドウ」
「複数新規注文入力ウィンドウ」
- ◆ 取消注文入力 → 「訂正注文入力ウィンドウ」、「複数訂正注文入力ウィンドウ」
「一括取消指示入力ウィンドウ」
- ◆ 変更注文入力 → 「訂正注文入力ウィンドウ」、「複数新規注文入力ウィンドウ」

9-1 注文入力ウィンドウの表示

各注文入力ウィンドウは、新規に表示する場合には、メインウィンドウ内の操作対象エリアの位置に応じて、操作対象銘柄の情報が隠れないように決まった位置に初期表示されます。



また、注文入力ウィンドウは同時に1つのみ表示できます。したがって、ある注文入力ウィンドウ表示中に、他の種類の注文入力ウィンドウの表示操作を行った場合は、表示中の注文入力ウィンドウを消去して、表示操作を行った注文入力ウィンドウを表示します。

9-2 新規注文入力

新規注文を入力することにより、指定した銘柄の取引に参加することができます。
また、板/気配画面上のマウスのダブルクリック等により新規注文入力ウィンドウへの注文値段等の入力項目の自動設定を行う等、新規注文の発注操作の簡略化を図っています。

9-2-1 新規注文の取扱い

- ◆ 新規注文に付加できる執行条件は次のとおりです。(スプレッド取引除く)。
 - ◇ 寄付条件：入力された立会の始値決定時の取引のみに参加し、約定されない場合は失効します。
 - ◇ 引け条件：入力された立会の終値決定時の取引のみに参加し、約定されない場合は失効します。
 - ◇ 不成条件：ザラバ中はザラバ注文として取引に参加し、ザラバ中に約定されなかった場合に、終値決定時の取引に成行注文として参加します。
- ◆ 入力可能な執行条件と注文値段の組み合わせは、以下のとおりです。

	成行	指値
寄付	○	○
引け	○	○
不成	×	○

※「×」は入力不可

- ◆ 注文の有効期限は次のとおりです。
 - ◇ 執行条件の付加されていない注文の有効期限は、当日限りとします。
 - ◇ 執行条件が付加されている注文の有効期限は、当該注文が入力された立会限りとします。
ただし、寄付条件付注文について、前場において入力した銘柄の取引が成立しなかった場合は、後場における寄付まで有効とします。
- ◆ 執行条件付注文入力時、既に当該執行条件による取引が終了している場合（始値決定後の寄付条件付き注文の入力）は、エラー注文とします。
- ◆ 新規注文入力時、板状態が対当状態となっている又は当該注文を板登録することにより時間優先の原則が崩れる時等には、すぐに板登録されずに処理待ちとなります。したがって、売注文と買注文が対当しているときに入力された注文は、処理待ちとなるため、付合せにより処理待ちが解消された後に取引に参加することとなります。

- ◆ 売（買）気配表示中に、当該売（買）気配よりも高い（安い）値段の買（売）注文を中央システムが受け付けた場合は、当該買（売）注文は、その売（買）気配の値段で対当する注文として扱います。
- ◆ 注意気配
 - ◇ 株価指数先物取引、株価指数オプション取引及び債券オプション取引において、ザラバ中に入力された注文が直前の約定値段からかい離れた値段での注文である場合は、価格の継続性の観点から、当該注文の存在を周知させるため「注意気配」(U・K)を表示します。その場合、当該注文は、当該「注意気配」値段の注文として取り扱います。
 - ◇ 「売（買）注意気配」表示中に入力された売（買）注文が、売（買）注意気配値段より優先する場合は、一旦、処理待ちとし、当該注意気配に係る処理終了後に取引に参加させます。
- ◆ 板寄せを伴わない特別気配
 - ◇ 債券先物取引及び債券先物オプション取引において、ザラバ中に入力された注文が直前の約定値段から10銭以上かい離れた値段での注文である場合は、価格の継続性の観点から、当該注文の存在を周知させるため「板寄せを伴わない特別気配」(U・K)を表示します。その場合、当該注文は、当該「板寄せを伴わない特別気配」値段の注文として取り扱います。
 - ◇ 「板寄せを伴わない特別気配」は、端末における表示上は上記の注意気配と同じ符号を表示しますが、制度上は特別気配として扱われ、当該特別気配値段は、次約定の基準となる値段となります。
 - ◇ 「板寄せを伴わない売（買）特別気配」を表示している場合は、ザラバが継続していますので、当該売（買）特別気配表示中に入力された売（買）注文が、当該売（買）特別気配値段より優先する場合は、一旦、処理待ちとし、当該特別気配に係る処理終了後に取引に参加させます。
- ◆ 板寄せを伴う特別気配
 - ◇ 対当している値段が直前の「次約定の基準となる値段」（株価指数先物取引、株価指数オプション取引及び債券オプション取引においては「直前の約定値段」、債券先物取引及び債券先物オプション取引においては「直前の約定値段又は板寄せを伴わない特別気配値段」）から一定幅以上かい離している場合等には、価格の継続性の観点から、当該注文状況を周知させるため「板寄せを伴う特別気配」を表示します。
 - ◇ 「板寄せを伴う特別気配」表示中は、入力された売（買）注文が当該売（買）特別気配値段より優先する場合は、当該特別気配値段の注文として扱います。
 - ◇ 「板寄せを伴う特別気配」表示中は、板寄せ処理となるため、当該特別気配表示中に入力された注文は当該特別気配値段より優先する注文でも、取引に参加させます。

◆ 同時注文

- ◇ 各立会の始値決定時、取引一時中断・停止後の最初の約定値段決定時までに入力された注文は、同時に入力された注文（同時注文）とみなし、時間優先の例外として扱われます。
- ◇ 債券先物取引以外の取引については、当日立会終了時に執行が制限値段で決定される場合、成行注文は制限値段における注文に読み替えられ、当該注文を含む制限値段における注文は、同時に入力された注文（同時注文）とみなし、時間優先の例外として扱われます。

◆ 入力された新規注文が中央システムに正常に受け付けられると、「注文受付通知」が出力されます。

◆ 入力された新規注文が中央システムでのチェックでエラー注文となった場合には、「新規エラー通知」を出力します。

◆ スプレッド取引についての留意点

◇ 長国先物スプレッド取引（平成10年11月取引開始予定）

- すべての執行条件（寄付「2」、引け「4」、不成「6」）が付加できません。
- 注文値段について、成行指定は行えません。
- 注文値段の指定方法として、実際のスプレッド値段を入力します。したがって、注文値段として「0」を入力した場合は、スプレッド値段「0銭」の注文と扱います。

⇒ 「4-1-2 長国先物スプレッド取引」

◇ TOPIX先物スプレッド取引

- 執行条件のうち不成「6」は付加できません。
- ゼロ・マイナス値段対応時までは、スプレッド値段の指定方法については、「0.0ポイント」を「1000」として入力します。
- 注文値段について、成行指定は行えません。したがって、ゼロ・マイナス値段対応時までは、注文値段として「0」を入力した場合は、成行注文とみなして、エラーとなります。
- ゼロ・マイナス値段対応後は、注文値段の指定方法として、実際のスプレッド値段を入力します。したがって、注文値段として「0」を入力した場合は、スプレッド値段「0.0ポイント」の注文として扱います。

⇒ 「4-3-2 TOPIX先物スプレッド取引」

9-2-2 新規注文入力ウィンドウからの発注

9-2-2.1 新規注文入力ウィンドウの表示

新規注文入力ウィンドウの表示方法には、以下の2つの方法があります。

- ◆ 板/気配画面の特定のエリアをマウスでダブルクリックする。
 - ダブルクリックした箇所に応じて、「銘柄名」、「売/買の別」、「注文値段」、「執行条件」が自動設定されます。
 - ※ 板情報が表示されていない板/気配画面上でダブルクリックした場合には、何も自動設定されていない新規注文入力ウィンドウが表示されます。

<ダブルクリック位置による自動設定例>

ザラ	01	長国	012	委	13290	前後場
K13320 (13:17)						
10		引成		15	0	13291
		成行	10	1		(9:05)
9	171	2209	OVER			H 13320
	1	5	13023		5	(9:40)
			13022			13024
10			13021			
			13020 K			
				17	3	(13:10)
				47	1	C +13

ダブルクリック

新規注文入力用ウィンドウの表示

ダブルクリックした位置の情報が自動設定されます。

新規注文入力ウィンドウを表示させた後でも、再度、板/気配画面の特定のエリアをマウスでダブルクリックを行うことにより、設定内容を更新することができます。

- ◆ メニューバー項目の「新規注文」をマウスによるクリック又はキーボード上の「新規注文キー」の押下により選択する。
 - 板/気配画面上のカーソルの表示位置に応じて、「銘柄名」、「売/買の別」、「注文値段」、「執行条件」が自動設定されます。
 - ※ 板情報が表示されていない板/気配画面上にカーソルがある場合は、何も自動設定されていない新規注文入力ウィンドウが表示されます。


<カーソル位置による自動設定例>

ザラ	01	長国 012	器	13296	前後場
K13320 (13:17)					
10		引成		15	0 13291
		成行	10	1	(9:05)
9	171	2209	OVER		H 13320
	1	5	13023		S (9:46)
			13022		L 13274
10			13021		(9:10)
			13020 K		P 13840
				3	(13:16)
				1	C +13

メニューバー項目の「新規注文」のクリック又は「新規注文キー」の押下

新規注文入力ウィンドウの表示

カーソルの表示位置の情報が自動設定されます。


 新規注文入力ウィンドウを表示させた後でも、板/気配画面のあるメインウィンドウにフォーカスを戻して、カーソル位置を移動後に再度同じ操作を行うことにより、設定内容を更新することができます。

- ◆ ダブルクリック位置又はカーソル位置による自動設定項目
 ダブルクリック位置とカーソル位置が同じであれば、上記のいずれの表示操作を行った場合でも、自動設定項目は同じです。

◇ 振画面

ザラ	01	13286	表	13286					
K13320(13:17)				A	H	Y	前後場		
10			④ 引成 成行	10	1		⑤	⑥ 13291 (9:05)	
9	171	2209	OVER				H	13320 (9:45)	
	1	5	13023				S	13274 (9:10)	
			13022				L	13110	
			② 13021				P	13110	
			13020						

- ① 銘柄登録番号欄、銘柄名欄の自動設定項目
 - 銘柄名及び銘柄登録番号
- ② 値段欄 (OVER・UNDER 除く) の自動設定項目
 - 銘柄名及び銘柄登録番号
- ③ 注文数量欄・注文枚数欄 (OVER・UNDER 除く) の自動設定項目
 - 銘柄名及び銘柄登録番号
 - 売/買の別 (1又は3)
 - 注文値段 (各指値値段又は0)
- ④ 引成注文数量欄・引成注文枚数欄の自動設定項目
 - 銘柄名及び銘柄登録番号
 - 引条件 (4)
 - 売/買の別 (1又は3)
 - 注文値段 (0)
- ⑤ 引指値注文数量欄 (OVER・UNDER、引成除く) の自動設定項目
 - 銘柄名及び銘柄登録番号
 - 引条件 (4)
 - 売/買の別 (1又は3)
 - 注文値段 (各指値値段)
- ⑥ 不成注文数量合計欄の自動設定項目
 - 銘柄名及び銘柄登録番号
 - 不成条件 (6)
 - 売/買の別 (1又は3)

 値段「0」を自動設定する場合、「成行」として扱います。ただし、ゼロ・マイナス値段対応されているスプレッド取引については、指値値段「0」として扱います。

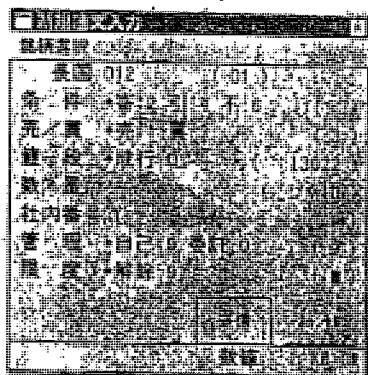
◇ 気配画面

		売気配(A)		買気配(B)	
		数量	値段	値段	数量
01	TOPIX 012	5	13005	13000	10
02	TOPIX 103	6	13100	13085	⑤ 2
03	TOPIX 108 ①	②		④	
04	TOPIX 109		③		

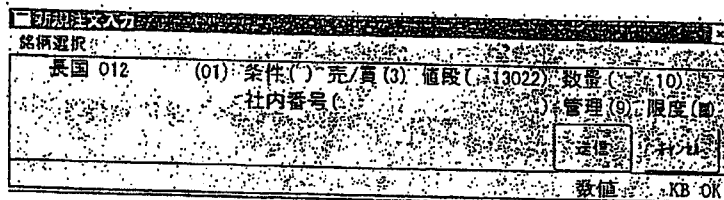
- ① 銘柄登録番号欄、銘柄名欄の自動設定項目
 - 銘柄名及び銘柄登録番号
- ② 売気配数量欄の自動設定項目
 - 銘柄名及び銘柄登録番号
 - 売 (1)
- ③ 売気配値段欄の自動設定項目
 - 銘柄名及び銘柄登録番号
 - 売 (1)
- ④ 買気配値段欄の自動設定項目
 - 銘柄名及び銘柄登録番号
 - 買 (3)
- ⑤ 買気配数量欄の自動設定項目
 - 銘柄名及び銘柄登録番号
 - 買 (3)

9-2-2.2 新規注文入力ウィンドウの入力項目

<縦形新規注文入力ウィンドウ>



<横形新規注文入力ウィンドウ>



- ◆ 条件 実行条件又は一括注文入力方式を入力します。
 - ◇ 寄付:「2」
 - ◇ 引け:「4」
 - ◇ 引成:「6」
 - ◇ 一括注文入力A方式:「7」
 - ◇ 一括注文入力B方式:「9」
 - 「9-3-2 新規注文入力ウィンドウからの売・買一括注文入力」

- ※ 長国先物スプレッド取引
寄付「2」、引け「4」、不成「6」の指定はできません。
- ※ TOP1X先物スプレッド取引
不成「6」の指定はできません。

- ◆ 売/買 売買区分を入力します。(必須入力項目)
 - ◇ 売:「1」
 - ◇ 買:「3」

- ◆ 値段 注文値段を入力します。(必須入力項目)
 - ◇ 成行:「0」
 - ※ ゼロ・マイナス値段対応されているスプレッド取引の場合は、「成行」ではなく指値値段「0」として扱います。
 - ◇ 指値:各銘柄の値段の入力単位の各値段
 - ⇒ 「第4章 取引商品について」

 - ※ 注文値段入力欄は、1桁の「0」を除いて、「05」のような「0」を先頭とする数値の入力は受け付けませんので、板画面等で値段が「0」を先頭に表示している場合でも、「0」を先頭にして入力を行わないでください。(注文値段入力については、すべて同じです。)
 - ・表示:「005」→入力:「5」
 - ・表示:「-05」→入力:「-5」

- ◆ 数量 注文数量を入力します。(必須入力項目)

- ◆ 社内番号 任意の20桁で自社の社内処理用の番号を入力します。
スペース指定 (キーを使用します。)も可能です。
 - ※ 社内番号の取扱いについて
同一銘柄で社内番号が同一の注文が複数存在する場合、中央システムは一定のルールにより被取消・変更注文を特定します。
このとき当該社内番号を使用して注文の取消・変更を行うと、意図しない注文が取り消されることがありますので、社内番号の取扱いについては十分ご注意ください。
なお、このような場合には、注文番号による取消・変更を行って下さい。

- ◆ 管理 自己/委託の別を入力します。(必須入力項目)
 - ◇ 自己:「9」
 - ◇ 委託:「0」
 - ⇒ 「6-4 注文入力時の管理項目(自己・委託の別)の自動設定」

また、一括注文入力時には、発注される2注文の自己・委託の別の組み合わせにより以下の数値を入力します。

- ◇ (売注文) 委託、(買注文) 委託 : 「0」
- ◇ (売注文) 自己、(買注文) 自己 : 「9」
- ◇ (売注文) 委託、(買注文) 自己 : 「1」
- ◇ (売注文) 自己、(買注文) 委託 : 「8」
- 「9-3-2 新規注文入力ウィンドウからの売・買一括注文入力」

◇ 限度 あらかじめ設定した入力限度数値を超えて注文入力するときに入力します。

- ◇ 限度解除 : 「9」
- 「6-5 新規注文入力時の入力限度数値の設定」

○ 新規注文入力ウィンドウの入力内容の送信

新規注文入力ウィンドウに必要項目を入力した後に、マウス又はキーボードを使って「送信」操作を行うことで、入力した注文内容が中央システムに送信されます。

- ◆ 送信時に端末システムでエラーを検出した場合には、新規注文入力ウィンドウの下部のメッセージ表示欄にエラーメッセージを表示します。
- ◆ 中央システムに送信後、中央システムにおいてエラーを検出した場合には、エラー通知を出力します。
- ◆ 新規注文入力ウィンドウについては、入力内容を中央システムに送信した場合、「銘柄名」、「銘柄登録番号」及び自動設定される「管理項目」(自己・委託の別) 以外の入力項目を消去しますが、他の注文入力ウィンドウ (複数新規注文ウィンドウ除く) とは異なり、ウィンドウ自体は消去されません。

9-2-3 複数新規注文入力ウィンドウからの発注

複数新規注文入力ウィンドウからは最大5件の新規注文が同時に入力できます。

9-2-3.1 複数新規注文入力ウィンドウからの注文入力時の留意点

- ◆ 複数新規注文入力ウィンドウからは1回の操作で最大5件の新規注文を入力することができます。ただし、複数の注文は一括して入力されるのではなく、上の入力エリアの注文から連続して入力されます。
- ◆ 複数注文入力ウィンドウから複数の注文を発注する場合、入力された複数の注文のうち1件でも端末システムにおいてエラーが検出された場合には、他の注文についても送信処理を行いません。

9-2-3.2 複数新規注文入力ウィンドウの表示

新規注文入力ウィンドウは、以下の方法で表示させます。

- ① メインウィンドウのメニューバーから「複数注文」→「2 複数新規」の順で選択します。

新規注文入力ウィンドウ			
条件	売/買	値段	数量
<input checked="" type="radio"/> 条件()	売/買()	値段()	数量()
社内番号()			管理() 限度()
<input type="radio"/> 条件()	売/買()	値段()	数量()
社内番号()			管理() 限度()
<input type="radio"/> 条件()	売/買()	値段()	数量()
社内番号()			管理() 限度()
<input type="radio"/> 条件()	売/買()	値段()	数量()
社内番号()			管理() 限度()
			送信 押す
		数値	KB DK

9-2-3.3 複数新規注文入力ウィンドウへの注文データの入力

複数新規注文入力ウィンドウは、銘柄名等の入力項目が何も設定されていない状態で表示されます。したがって、当該ウィンドウを表示後、各エリアに「銘柄名」を設定し、その後、「注文値段」等の項目を入力します。

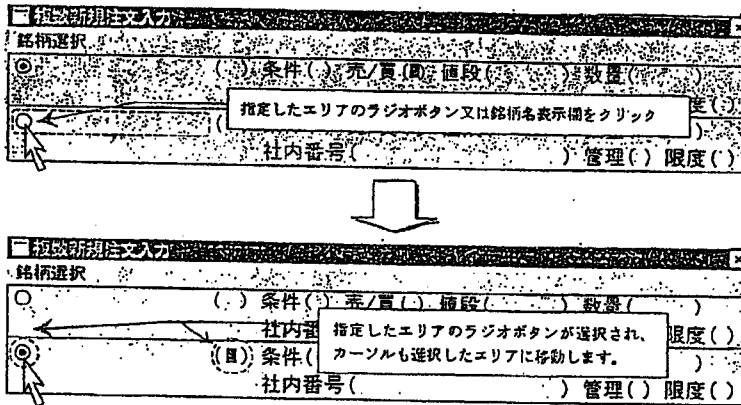
◆ 銘柄名設定対象エリアの指定

銘柄名を設定するにあたっては、5件の注文入力エリアのうち銘柄名を設定するエリアを事前に選択しておく必要があります。その指定は、銘柄名表示欄の先頭にあるラジオボタンの選択により行います。

ラジオボタンの選択はキーボードからでもできますが、マウスのほうが容易です。

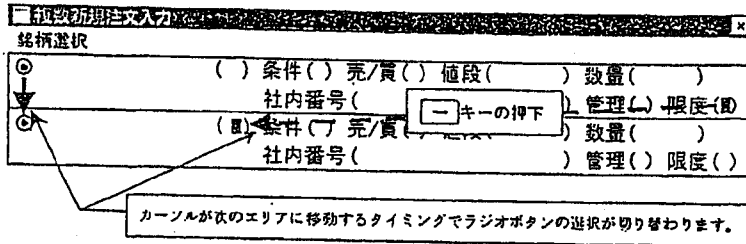
◇ マウスの場合

指定したいエリアのラジオボタン又は銘柄名表示欄をクリックします。



◇ キーボードの場合

前のエリアの最後の入力項目（限度解除入力欄）から次のエリアの先頭の入力項目（銘柄登録番号入力欄）にカーソルを「-」キー（タブキーでは不可）で移動させた場合のみ、そのタイミングでラジオボタンの選択が切り替わります。



◆ 銘柄名等の入力

銘柄名等の入力方法については、以下の3つの方法があります。

なお、1件ごとの注文の入力項目については、新規注文入力ウィンドウと同じです。

◇ 板/気配画面の特定エリアダブルクリック

- ① 板/気配画面の特定エリアをダブルクリックすることにより、ダブルクリックした箇所に応じて、「銘柄名」、「売/買の別」、「注文値段」、「執行条件」が複数新規注文入力ウィンドウ中の設定対象エリアに自動設定されます。

※ 自動設定項目は、新規注文入力ウィンドウと同じです。

⇒ 「9-2-2 a 新規注文入力ウィンドウの表示」

- ② 残りの入力項目に入力を行います。

◇ 登録銘柄番号の入力

- ① 複数新規注文入力ウィンドウ中の銘柄名を設定したいエリアの「銘柄登録番号入力欄」に「01」～「24」の中の銘柄登録番号を入力する。

- ② その時点で表示中の板/気配画面の登録ページ中の入力した銘柄登録番号に対応する銘柄名が設定されます

⇒ 「5-2-3 入力対象銘柄の変更」

- ③ 残りの入力項目に入力を行います。

◇ 複数新規注文入力ウィンドウのメニューバー項目の「銘柄選択」からの選択

- ① 複数新規注文入力ウィンドウのメニューバー項目の「銘柄選択」から設定したい銘柄名を選択すると、複数新規注文入力ウィンドウ中の設定対象エリアに選択した銘柄名が設定されます。

⇒ 「5-2-3 入力対象銘柄の変更」

- ② 残りの入力項目に入力を行います。

9-2-3.4 複数新規注文入力ウィンドウの入力内容の送信

複数新規注文入力ウィンドウに必要項目を入力した後に、マウス又はキーボードを使って「送信」操作を行うことで、入力した注文内容が中央システムに送信されます。

- ◆ 送信時に端末システムでエラーを検出した場合には、複数新規注文入力ウィンドウの下部のメッセージ表示欄にエラーメッセージを表示します。
- ◆ 中央システムに送信後、入力した複数の注文それぞれについて、中央システムにおいてエラーを検出した場合には、該当注文についてエラー通知を出力します。
- ◆ 複数新規注文入力ウィンドウについては、入力内容を中央システムに送信した場合は、設定した銘柄名、銘柄登録番号及び自動設定される管理項目（自己・委託の別）以外の入力項目を消去しますが、他の注文入力ウィンドウ（新規注文入力ウィンドウ除く）とは異なり、ウィンドウ自体は消去しません。

9-3 売・買一括注文入力

売・買一括発注は、1回の入力操作で同一銘柄に対して、同一値段、同一数量の売注文と買注文の2件の注文を同時に入力することが可能な注文入力方法です。

9-3-1 売・買一括注文の取扱い

- ◆ 売・買一括注文は、「新規注文入力ウィンドウ」及び「一括注文入力ウィンドウ」の両方から入力できます。
- ◆ 「新規注文入力ウィンドウ」又は「一括注文入力ウィンドウ」の「売/買」入力欄で指定された側の注文の直後に、反対側の注文が自動的に入力されます。つまり、売（買）注文を指定した場合には、その注文の直後に同一値段、同一数量の買（売）注文が自動的に入力されます。
- ◆ 売・買一括注文入力による2つの注文は、中央システムにおいて他の注文が割り込まれることなく連続して受付処理されます。（したがって、注文番号は連番となります。）

- ◆ 売・買一括注文入力には、次の2方式があります。

◇ 一括注文入力A方式

売・買一括注文入力によって発注された2注文を連続して受け付けるだけで、その後は、通常の注文と同様の処理となります。

したがって、ザラバ注文として発注した場合は、板に他の優先する注文がある場合は、当該注文との付け合せ処理を行い、その後一括注文入力として処理を行いますので、いずれか一方の注文については残数量が板に残る場合があります。つまり、売・買同一値段・同一数量の約定成立を保障するものではありません。

◇ 一括注文入力B方式

入力された一括注文の板登録時に、全量執行ができるかどうかのチェックを行い、以下に示すように、完全な対当取引とならない状態にある場合は、当該一括注文入力による注文（2注文）を失効させ、エラー注文とします。

- ① ザラバ以外するとき
- ② 付け合せ方式が板寄せのとき
- ③ 板に他の優先する注文があるとき
- ④ 板寄せを伴わない特別気配又は注意気配表示中のとき

ただし、一括注文入力B方式で板登録時の上記のチェックでエラーとならない場合でも、結果として完全な対当取引とならない場合がありますので、ご注意ください。

□ 「一括注文入力B方式の事例G・H」

- ◆ 入力された一括注文が中央システムに正常に受け付けられると、発注された2注文それぞれについて、「注文受付通知」が出力されます。
- ◆ 入力された一括注文が中央システムでの受付時のチェックでエラーが検出された場合には、発注された2注文のうち、先頭の注文（売／買入力欄で指定された側の注文）1件分についてのみ、「新規エラー通知」又は「一注エラー通知」（一括注文入力ウィンドウから発注した場合）が出力されます。
- ◆ 入力された一括注文が以下の中央システムでの振替録時のチェックで以下のエラーが検出された場合には、発注された2注文それぞれについて、「新規エラー通知」が出力されます。
 - ◇ 一括注文入力B方式で発注した場合に、発注時の振状態により取引不成立となり、失効した場合
 - ◇ 寄付き条件付き一括注文入力A方式で発注した場合に、発注時に既に抬値決定済みの場合

<一括注文入力B方式の事例>

● : 一括注文入力B方式により注文
○ : その他の注文

<p>A</p> <p>15003 ○ 15002 15001 15000 ○ ● 14999 ● 14998 14997</p> <p>エラー：一括発注による注文より優先する注文があります。</p>	<p>B</p> <p>15003 ○ 15002 15001 15000 ● 14999 ○ ● 14998 14997</p> <p>エラー：一括発注による注文より優先する注文があります。</p>
<p>C</p> <p>15003 ○ 15002 15001 ○ 15000 K ● 14999 ● 14998 14997</p> <p>エラー：一括発注による注文より優先する注文あり、かつ注意気配表示中です。</p>	<p>D</p> <p>15003 15002 ○ 15001 ● 15000 ● 14999 ○ 14998 K 14997</p> <p>エラー：注意気配表示中です。</p>
<p>C</p> <p>15003 ○ 15002 15001 ● 15000 ● 14999 ○ 14998 14997</p> <p>対当取引成立</p>	<p>D</p> <p>15003 15002 ○ 15001 ● 15000 ● 14999 ○ 14998 ○ 14997 ○</p> <p>対当取引成立</p>
<p>G</p> <p>15003 15002 15001 ● 15000 14999 K 14998 ○ 14997</p> <p>H</p> <p>15003 ○ 15002 ● 15001 ● 15000 K 14999 ○ 14998 ○ 14997 ○</p> <p>一括注文入力による2注文のうちの前順の注文に基づいて注意気配又は振寄せを伴わない特別気配が表示される場合には、その注意気配等により一定時間さらされている間に[]部分(成行含む)に注文が登録されると、当該注文と一括注文入力による2注文のうちの前順の注文との間で先に約定が成立するため、結果として完全な対当取引にならない場合があります。</p>	

9-3-2 新規注文入力ウィンドウからの売・買一括注文入力

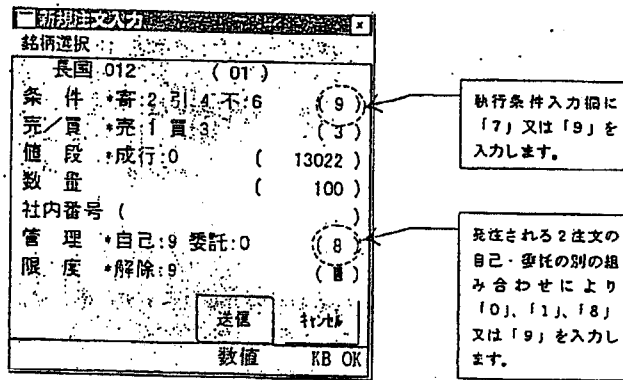
旧端末と同様に（複数）新規注文入力ウィンドウから売・買一括注文入力ができます。

9-3-2.1 （複数）新規注文入力ウィンドウからの売・買一括注文入力時の留意点

- ◆ 「執行条件」入力欄に「7」（一括注文入力A方式）又は「9」（一括注文入力B方式）を入力することで一括注文入力ができます。
- ◆ 入力時に指示された売（買）注文の直後に自動的に入力される反対側の買（売）注文の内容は、売／買の指示内容が逆で、社内番号及び管理項目以外の項目が同一の内容の注文となります。
- ◆ 入力時に社内番号を指定した場合には、指定された社内番号は入力時に指示された売（買）注文に付されることとなり、反対側の買（売）注文には社内番号は付されませんので、注文の取消・変更を行う場合は、注文番号を使用します。
- ◆ 管理項目には、一括注文入力により発注される2注文の自己・委託の別の組み合わせに応じて、以下の数値を入力します。
 - ◇ 「0」：（売注文）委託、（買注文）委託
 - ◇ 「9」：（売注文）自己、（買注文）自己
 - ◇ 「1」：（売注文）委託、（買注文）自己
 - ◇ 「8」：（売注文）自己、（買注文）委託

9-3-2.2 操作方法

- ① （複数）新規注文入力ウィンドウを表示させます。
 - ⇒ 「9-2-2 新規注文入力ウィンドウからの発注」
 - ⇒ 「9-2-3 複数新規注文入力ウィンドウからの発注」
- ② 「執行条件」入力欄に「7」（一括注文入力A方式）又は「9」（一括注文入力B方式）を入力し、その後、「植数」、「数量」等のその他の入力項目を入力します。
- ③ 「送信」操作を行います。



9-3-3 一括注文入力ウィンドウからの売・買一括注文入力

新たに一括注文入力専用の「一括注文入力ウィンドウ」からの売・買一括注文入力ができます。

9-3-3.1 一括注文入力ウィンドウからの売・買一括注文入力時の留意点

- ◆ 「寄付」、「引け」及び「不成」の執行条件を付加した一括注文入力A方式を入力できます。一括注文入力方式については、「一括方式」入力欄に以下のように指定します。
 - 「2」：寄付条件付き一括注文入力A方式
同一値段、同一数量の寄付条件付きの売・買注文を連続して発注します。
 - 「4」：引け条件付き一括注文入力A方式
同一値段、同一数量の引け条件付きの売・買注文を連続して発注します。
 - 「6」：不成条件付き一括注文入力A方式
同一値段、同一数量の不成条件付きの売・買注文を連続して発注します。
 - 「7」：一括注文入力A方式
 - 「9」：一括注文入力B方式
- ◆ 発注される売・買注文それぞれの社内番号を指定することができます。
- ◆ 発注される売・買注文それぞれの管理項目があり、通常の新規注文と同様に、「9」（自己注文）、「0」（委託注文）での指定（「1」・「8」の指定は付加）ができます。

9-3-3.2 一括注文入力ウィンドウの表示

一括注文入力ウィンドウの表示方法には、以下の2つの方法があります。

- ◆ メインウィンドウのメニューバー項目「複数注文」の選択から表示させる。
 - ① メインウィンドウのメニューバーから「複数注文」→「1」一括注文の順で選択します。
 - ② 一括注文入力ウィンドウが表示され、表示操作時点で操作対象となっている銘柄（カーソルが表示されているエリアの銘柄）の「銘柄名」及び「銘柄登録番号」が設定されます。
 - ◆ 板/気配画面上でマウスの右クリックにより表示されるショートカットメニューから表示させる。
 - ① 板/気配画面上でマウスの右クリックを行う。
 - ② 表示されるショートカットメニューの中から「一括注文」を選択します。
 - ③ マウスの右クリックを行った位置の「銘柄名」及び「銘柄登録番号」が設定されます。
- ↳ 「3-5 マウスの右クリックによるショートカットメニューの表示」

※ 一括注文入力ウィンドウを表示させた場合には、新規注文入力ウィンドウと異なり、銘柄名及び銘柄登録番号以外の項目には自動設定されませんので、全項目を入力してください。

9-3-3.3 一括注文入力ウィンドウの入力項目

<縦形一括注文入力ウィンドウ>

<横形一括注文入力ウィンドウ>

- ◆ 方式 一括注文入力方式を入力します。(必須入力項目)
 - ◇ 寄付条件付き一括注文入力A方式:「2」
 - ◇ 引付条件付き一括注文入力A方式:「4」
 - ◇ 不成条件付き一括注文入力A方式:「6」
 - ◇ 一括注文入力一括注文入力A方式:「7」
 - ◇ 一括注文入力一括注文入力B方式:「9」

※ 長国先物スプレッド取引
寄付A「2」、引付A「4」、不成A「6」の指定はできません。

※ TOPIX先物スプレッド取引
不成A「6」の指定はできません。

- ◆ 売/買 売買区分を入力します。(必須入力項目)
 - ◇ 売:「1」
 - ◇ 買:「3」

- ◆ 値段 注文値段を入力します。(必須入力項目)
 - ◇ 成行:「0」
 - ※ ゼロ・マイナス値段対応されているスプレッド取引の場合は、「成行」ではなく指値値段「0」として扱います。
 - ◇ 指値:各銘柄の値段の入力単位の各値段
 - ⇒ 「第4章 取引商品について」

- ◆ 数量 注文数量を入力します。(必須入力項目)

- ◆ 社内 任意の20桁で売注文/買注文別に自社の社内処理用の番号を入力します。スペース指定 (キーを使用します。) も可能です。

- ◆ 管理 自己/委託の別を売注文/買注文別に入力します。(必須入力項目)
 - 自己:「9」、委託:「0」

- ◆ 限度 あらかじめ設定した入力限度数量を超えて注文入力するときに入力します。
 - ◇ 限度解除: 9
 - ⇒ 「6-5 新規注文入力時の入力限度数量の設定」

9-3-3.4 一括注文入力ウィンドウの入力内容の送信

一括注文入力ウィンドウに必要項目を入力した後に、マウス又はキーボードを使って「送信」操作を行うことで、入力した注文内容が中央システムに送信されます。

- ◆ 送信時に端末システムでエラーを検出した場合には、一括注文入力ウィンドウの下部のメッセージ表示欄にエラーメッセージを表示します。
- ◆ 中央システムに送信後、中央システムにおいてエラーを検出した場合には、エラー通知を出力します。
- ◆ 入力内容を中央システムに送信した場合は、ウィンドウは消去されます。

9-4 訂正（取消・変更）注文入力

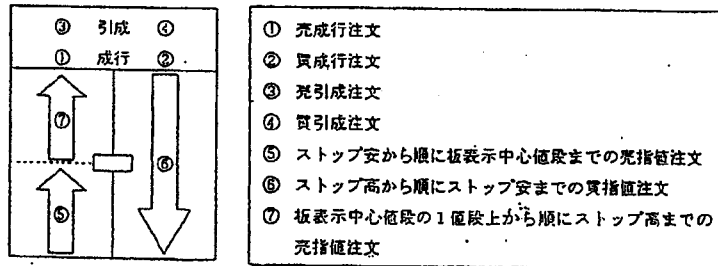
新規注文の発注後に、訂正（取消・変更）注文を発注することにより、当該新規注文の取消又は注文内容の変更を行うことができます。

取消注文と変更注文は同一の「訂正注文入力ウィンドウ」から発注することとなります。

また、通知表示エリアの通知情報や注文関係の問合せ応答情報からのマウスのダブルクリック等による訂正注文入力ウィンドウへの被訂正注文の注文番号の自動設定を可能とする等、訂正（取消・変更）注文の発注操作の簡略化を図っています。

9-4-1 訂正（取消・変更）注文の取扱い

- ◆ 注文番号又は社内番号のみの指定での被訂正（取消・変更）注文の指定を可能とします。
- ◆ 社内番号のみを指定して注文を訂正（取消・変更）する場合、同一銘柄で、社内番号が同一の複数の注文が存在する場合には、以下の①～⑦の順番で被訂正注文1件を決定します。



- ◆ 同一値段、同一売/買の注文は後に入力した注文を訂正（取消・変更）します。
- ◆ 同一の社内番号を付加した複数の注文について、それぞれ売/買・注文値段が異なる場合には、社内番号での被訂正注文指定時に、売/買・注文値段も指定して訂正（取消・変更）して下さい。
- ◆ 同一の社内番号の複数の注文について、売/買・注文値段の指定を行っても、社内番号による被訂正注文の特定が不可能な場合には、注文番号により指定を行って下さい。
- ◆ 訂正（取消・変更）注文の対象は有効注文のみで、全数約定された注文の訂正（取消・変更）は行えません。

第9章 注文入力について

- ◆ 振寄せを伴う特別気配にかかる注文について訂正（取消・変更）が行われた場合には、当該特別気配値段における差引数量と同数量までの訂正（取消・変更）は行えますが、差引数量を超える部分（対当数量）については約定されますので、訂正（取消・変更）は行えません。ただし、この場合でも、社内番号及び管理項目の変更処理については行われます。
- ◆ 本端末から入力した注文を旧先・OP端末及び旧株OP端末から訂正（取消・変更）を行うこともできます。また逆に旧先・OP端末及び旧株OP端末から入力した注文を本端末から訂正（取消・変更）を行うこともできます。
- ◆ 入力された訂正（取消・変更）注文が中央システムに正常に受け付けられると、訂正（取消・変更）処理終了後に、取消注文の場合は「取消結果通知」、変更注文の場合は「変更結果通知」が出力されます。
- ◆ 入力された訂正（取消・変更）注文が中央システムでのチェックでエラー注文となった場合には、取消注文の場合は「取消エラー通知」、変更注文の場合は「変更エラー通知」を出力します。
- ◆ 変更注文についての取扱い
 - ◇ 注文数量を変更するときは、削減する数量を入力し、注文数量を増加させる変更は行えません。
 - ◇ 「注文数量+執行条件」及び「注文数量+注文値段」の組み合わせについては、1件の変更注文で同時に変更は行えません。
 - ◇ 組み合わせられた複数の変更項目のうち、いずれか1項目がエラーとなった場合は、他の項目の変更処理も行いません。
 - ◇ 社内番号の変更は、被変更注文の社内番号全桁を変更社内番号に置き換えることにより行い、社内番号の部分変更は行いません。
 - ◇ 変更内容を指定しない項目については、現在の指定を引き継ぎます。
 - ◇ 注文値段が変更された場合、執行条件を引け条件に変更した場合及び引け条件から変更した場合、注文の優先順位は、変更後の注文値段において最終順位となります。
 - ◇ 新規注文を入力した端末と異なる端末からの注文の優先順位の変更を伴う変更指示の場合、変更後の当該注文の入力端末は変更注文を入力した端末となります。したがって、問合せ時の入力端末の表示や当該変更後に約定・失効された場合の「約定成立通知」及び「失効注文通知」の出力先は、当該変更注文入力端末となります。

変更内容		入力端末
優先順位の変更を伴わない変更	数量削減・執行条件変更 (引け条件が関係しないケース)・社内番号変更・管理項目変更	新規注文入力端末
優先順位の変更を伴う変更	品目変更・執行条件変更 (引け条件への変更及び引け条件からの変更)	変更注文入力端末

9-4-2 訂正注文入力ウィンドウからの発注

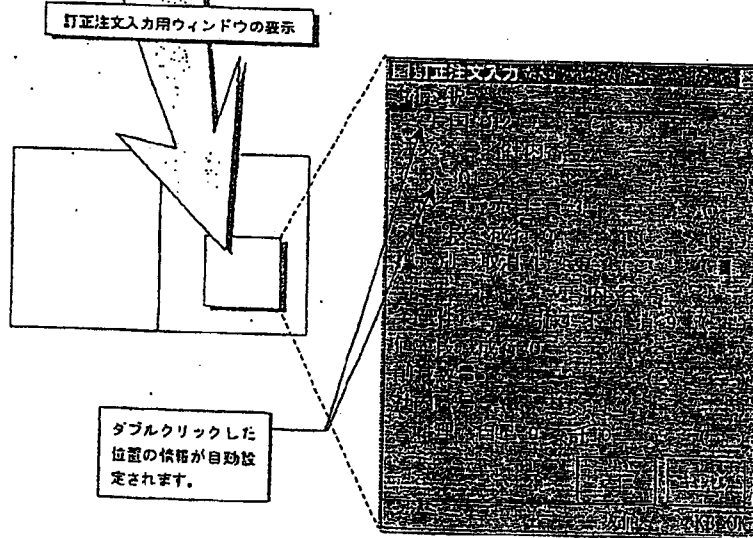
9-4-2.1 訂正注文入力ウィンドウの表示

訂正注文入力ウィンドウの表示方法には、以下の4つの方法があります。

- ◆ 通知表示エリアをマウスでダブルクリックします。
 - 通知表示エリア上のダブルクリックした箇所に「注文受付」・「約定成立」・「変更結果」通知が表示されている場合、「銘柄名」及び「注文番号」が自動設定されます。
 - ※ その他の通知の場合は、「銘柄名」のみを自動設定し、銘柄名を含まない通知等の場合は、何も自動設定されていない「訂正注文入力ウィンドウ」が表示されます。

<通知表示エリアのダブルクリックによる自動設定例>

新規	長国	012	頁	51	成行	10	9:01(245/)委	▲
新規	長国	012	売	13020	10	9:15(301/)自		
約定	長国	012	買	13015	5(残	9:30(301/)自		
新規	長国	012	成行	10					▼	



⚠ 取消注文入力ウィンドウを表示させた後でも、再度、通知表示エリアをマウスでダブルクリックを行うことにより、設定内容を更新することができます。

◆ 通知表示エリアが操作対象エリアとなっている場合に、メニューバー項目の「訂正注文」のマウスによるクリック又はキーボード上の「訂正注文キー」の押下します。

一 通知表示エリア上でのカーソルの表示位置に、「注文受付」・「約定成立」・「変更結果」通知が表示されている場合、「銘柄名」及び「注文番号」が自動設定されます。

※ その他の通知の場合は、「銘柄名」のみを自動設定し、銘柄名を含まない通知等の場合は、何も自動設定されていない「訂正注文入力用ウィンドウ」が表示されます。

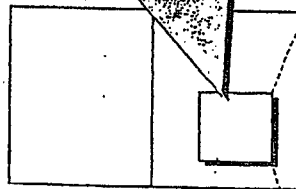
※ なお、板/気配画面が操作対象エリアとなっている場合は、操作対象となっている「銘柄名」及び「銘柄登録番号」のみが自動設定されます。

<通知表示エリア上でのカーソル位置による自動設定例>

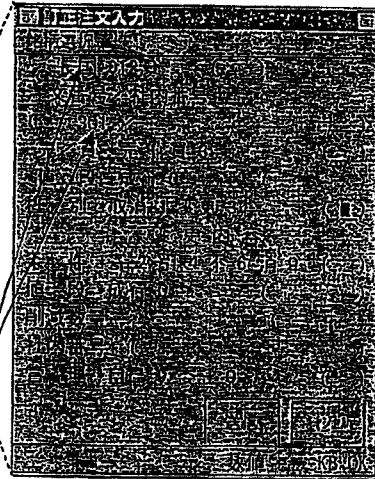
新規	長国 012	買引	成行	10		9:01(245/)	委	A
新規	長国 012	売	13020	10		9:15(301/)	自	
約定	長国 012	売	13020	2(株)	6	9:15(301/)	自	
約定	長国 012	買	5	5(株)	3)	9:20(358/)	自	
新規	長国 012	成行	10			9:36(446/)	委	H

メニューバー項目の「訂正注文」のクリック又は「訂正注文キー」の押下

訂正注文入力用ウィンドウの表示



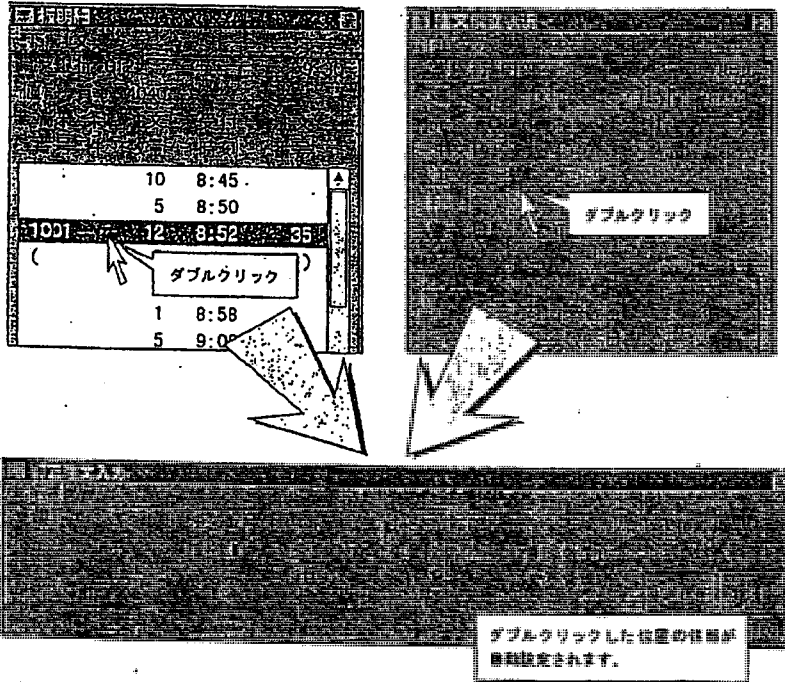
カーソルの表示位置の情報が自動設定されます。



取消注文入力用ウィンドウを表示させた後でも、通知表示エリアのあるメインウィンドウにフォーカスを戻して、カーソル位置を移動後に再度同じ操作を行うことにより、設定内容を更新することができます。

- ◆ 以下の注文関係の問合せ応答ウィンドウ上でマウスでダブルクリックします。
 - 振明細問合せ応答ウィンドウの応答情報表示欄
 - ダブルクリックした位置に自社の注文情報が表示されている場合、当該注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」が自動設定されます。
 - 他社の注文情報の場合は、「銘柄名」のみが自動設定されます。
 - 自社有効注文一覧（受付時刻順）問合せ応答ウィンドウの応答情報表示欄
 - ダブルクリックした位置の注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」が自動設定されます。
 - 注文約定履歴問合せ応答ウィンドウ、注文成立状況問合せ応答ウィンドウ
 - 応答された注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」が自動設定されます。

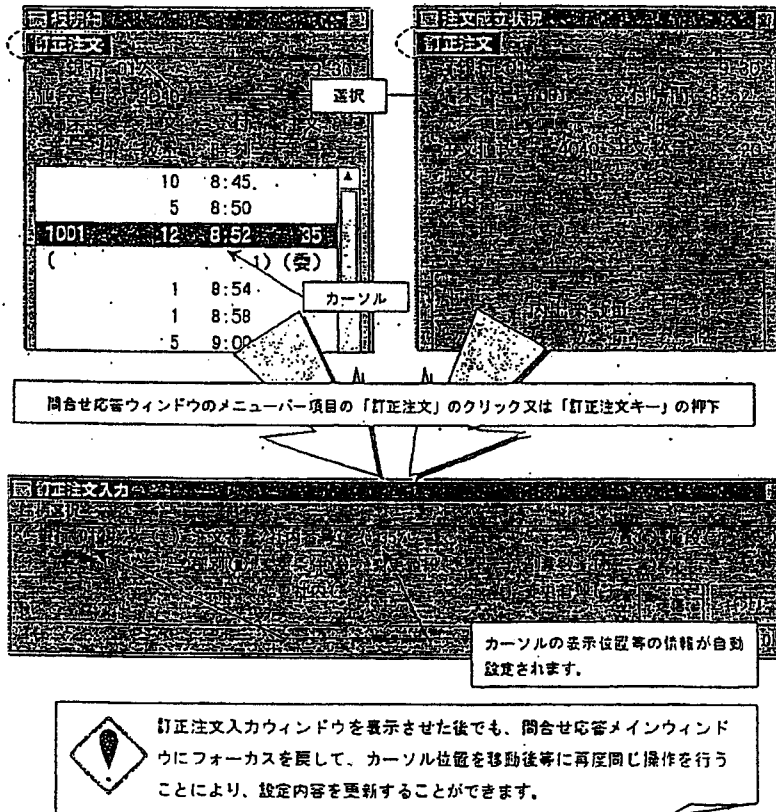
<問合せ応答ウィンドウのダブルクリックによる自動設定例>



訂正注文入力ウィンドウを表示させた後でも、再度、問合せ応答ウィンドウ上でマウスでダブルクリックを行うことにより、設定内容を更新することができます。

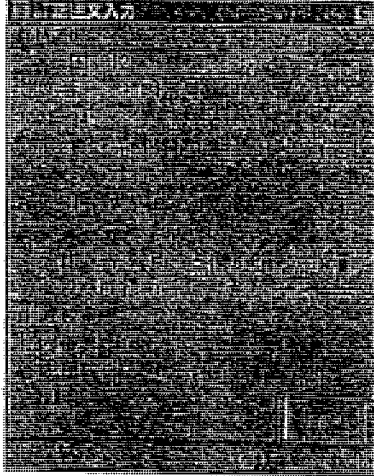
- ◆ 以下の注文関係の問合せ応答ウィンドウのメニューバー項目の「訂正注文」を選択します。
 - ◇ 板明細問合せ応答ウィンドウ
 - 応答情報欄のカーソル表示位置に自社の注文情報が表示されている場合、当該注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」が自動設定されます。
 - 他社の注文情報の場合は、「銘柄名」のみが自動設定されます。
 - ◇ 自社有効注文一覧（受付時刻順）問合せ応答ウィンドウ
 - カーソルの表示されている箇所の注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」が自動設定されます。
 - ◇ 注文約定履歴問合せ応答ウィンドウ、注文成立状況問合せ応答ウィンドウ
 - 応答された注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」が自動設定されます。

<問合せ応答ウィンドウのダブルクリックによる自動設定例>

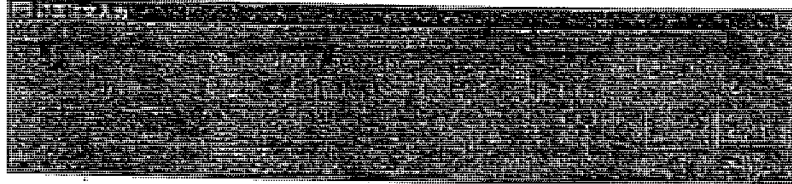


9-4-2.2 訂正注文入力ウィンドウの入力項目

<縦形訂正注文入力ウィンドウ>



<横形訂正注文入力ウィンドウ>



<被訂正注文指定欄>

注文番号又は社内番号のみの指定で、被訂正注文の指定できます。
ただし、売/買及び注文種別を合わせて指定することもできます。

- ◆ 注文番号 被訂正注文の「注文番号」又は「社内番号」を入力します。(必須入力項目)
- /社内番号 ※ 「注文番号」と「社内番号」を同時に指定した場合は、エラーとなります。
- ※ 同一の社内番号を付加した注文を複数入力している場合で、社内番号による被訂正注文の特定が不可能な場合は、注文番号で指定を行ってください。

- ◆ 売/買 被訂正注文の売買区分を入力します。
 - ◇ 売：「1」
 - ◇ 買：「3」
- ◆ 注文極限 被訂正注文の注文極限を入力します。
- ◆ 訂正種別 訂正種別を入力します。(必須入力項目)
 - ◇ 取消：「1」
 - ◇ 変更：「3」

<変更内容入力欄>

変更注文の場合(上記訂正種別に「3」を入力した場合)、以下の変更内容に入力がない場合はエラーとなります。

なお、変更内容を指定しない項目については、現在の指定が引き継がれます。

- ◆ 変更条件 変更後の執行条件を入力します。
 - ◇ 寄付：「2」
 - ◇ 引け：「4」
 - ◇ 引成：「6」
 - ◇ 条件取消：「9」
- ◆ 変更注文極限 変更後の注文極限を入力します。
 - ◇ 成行：「0」
 - ※ ゼロ・マイナス極限対応されているスプレッド取引の場合は、「成行」ではなく指極限「0」として扱います。
 - ◇ 指値：各銘柄の極限の入力単位の各極限
 - 「第4章 取引商品について」
- ◆ 削減数量 削減する注文数量を入力します。
- ◆ 変更社内番号 任意の20桁で変更後の自社の社内処理用の番号を入力します。スペース指定(キーを使用します。)も可能です。
- ◆ 変更管理 変更後の自己/委託の別を入力します。
 - ◇ 自己：「9」
 - ◇ 委託：「0」

○ 訂正注文入力ウィンドウの入力内容の送信

訂正注文入力ウィンドウに必要項目を入力した後に、マウス又はキーボードを使って「送信」操作を行うことで、入力した注文内容が中央システムに送信されます。

- ◆ 送信時に端末システムでエラーを検出した場合には、訂正注文入力ウィンドウの下部のメッセージ表示欄にエラーメッセージを表示します。
- ◆ 中央システムに送信後、中央システムにおいてエラーを検出した場合には、エラー通知を出力します。
- ◆ 入力内容を中央システムに送信した場合は、ウィンドウは消去されます。

9-4-3 複数訂正注文入力ウィンドウからの発注

複数訂正注文入力ウィンドウからは最大4件の訂正（取消・変更）注文が同時に入力できます。

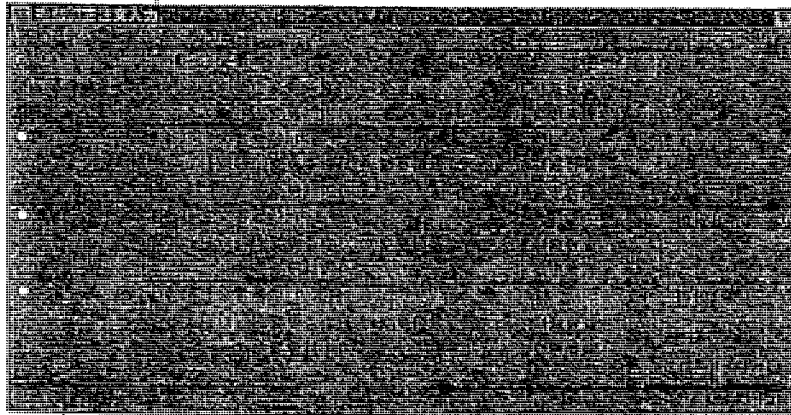
9-4-3.1 複数訂正注文入力ウィンドウからの注文入力時の留意点

- ◆ 複数訂正注文入力ウィンドウからは1回の操作で最大4件の訂正（取消・変更）注文を入力することができます。ただし、複数の注文は一括して入力されるのではなく、上の入力エリアの注文から連続して入力されます。
- ◆ 複数訂正注文入力ウィンドウから複数の注文を発注する場合、入力された複数の注文のうち1件でも端末システムにおいてエラーが検出された場合には、他の注文についても送信処理を行いません。

9-4-3.2 複数訂正注文入力ウィンドウの表示

新規注文入力ウィンドウは、以下の方法で表示させます。

- ①メインウィンドウのメニューバーから「複数注文」→「4 複数訂正」の順で選択します。



9-4-3.3 複数訂正注文入力カウインドウへの注文データの入力

複数訂正注文入力カウインドウは、銘柄名等の入力項目が何も設定されていない状態で表示されます。したがって、当該カウインドウを表示後、各エリアに銘柄名等を入力します。

◆ 銘柄名設定対象エリアの指定

銘柄名を設定するにあたっては、4件の注文入力エリアのうち銘柄名を設定するエリアを事前に選択しておく必要があります。その指定は、複数新規注文入力カウインドウの場合と同様に銘柄名表示欄の先頭にあるラジオボタンの選択により行います。

⇒ 「9-2-3 ○ 複数新規注文入力カウインドウへの注文データの入力」

◆ 銘柄名等の入力

銘柄名等の入力方法については、以下の4つの方法があります。

なお、1件ごとの注文の入力項目については、訂正注文入力カウインドウと同じです。

◆ 通知表示エリアのダブルクリック

① 通知表示エリアの注文関係通知（エラー通知を除く）を表示している行をダブルクリックすることにより、ダブルクリックした行に表示している通知の「銘柄名」及び「注文番号」が複数新規注文入力カウインドウ中の設定対象エリアに自動設定されます。

⇒ 「9-4-2 a 訂正注文入力カウインドウの表示」

② 残りの入力項目に入力を行います。

◆ 特定の間合せ応答カウインドウのダブルクリック

① 特定の注文関係の間合せ応答カウインドウをダブルクリックすることにより、当該注文関係の間合せ応答カウインドウに表示している応答情報の「銘柄名」及び「注文番号」が複数新規注文入力カウインドウ中の設定対象エリアに自動設定されます。

⇒ 「9-4-2 a 訂正注文入力カウインドウの表示」

② 残りの入力項目に入力を行います。

◆ 銘柄登録番号の入力

① 複数新規注文入力カウインドウ中の銘柄名を設定したいエリアの「銘柄登録番号入力欄」に「01」～「24」の中の銘柄登録番号を入力する。

② その時点で表示中の板/気配画面の登録ページ中の入力した銘柄登録番号に対応する「銘柄名」が設定されます

⇒ 「5-2-3 入力対象銘柄の変更」

③ 残りの入力項目に入力を行います。

◆ 複数訂正注文入力ウィンドウのメニューバー項目の「銘柄選択」からの選択

- ① 複数訂正注文入力ウィンドウのメニューバー項目の「銘柄選択」から設定したい銘柄名を選択すると、複数訂正注文入力ウィンドウ中の設定対象エリアに選択した銘柄名が設定されます。

☞ 「5-2-3 入力対象銘柄の変更」

- ② 残りの入力項目に入力を行います。

9-4-3.4 複数訂正注文入力ウィンドウの入力内容の送信

複数訂正注文入力ウィンドウに必要項目を入力した後に、マウス又はキーボードを使って「送信」操作を行うことで、入力した注文内容が中央システムに送信されます。

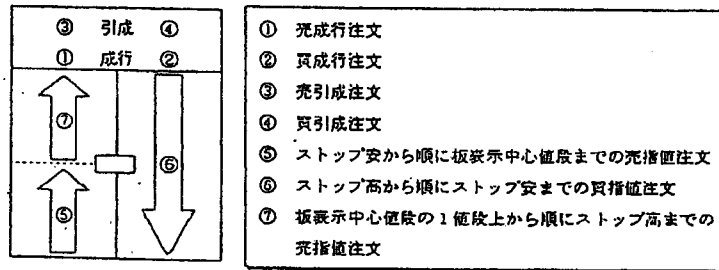
- ◆ 送信時に端末システムでエラーを検出した場合には、複数訂正注文入力ウィンドウの下部のメッセージ表示欄にエラーメッセージを表示します。
- ◆ 中央システムに送信後、入力した複数の注文について、中央システムにおいてエラーを検出した場合には、該当注文についてエラー通知を出力します。
- ◆ 複数新規注文入力ウィンドウについては、入力内容を中央システムに送信した場合は、ウィンドウを消去します。

9-5 一括取消指示

一括取消指示は、指定した銘柄の端末単位での入力注文又は自社の入力注文を「300件」を限度として一括して取り消す指示です。

9-5-1 一括取消指示の取扱い

- ◆ 一括取消により取り消すことができる注文は最大300件までです。したがって、対象注文が300件を超える場合には、再度一括取消指示を行って下さい。
- ◆ 一括取消指示は、一括取消指示が中央システムに受け付けられた時に、板上に登録されている注文が対象となります。つまり、板上に登録されている注文に対して自動的に取消注文を自動的に生成する処理です。したがって、受付時点での処理待ち注文及び処理途上注文は一括取消指示の対象とはなりません。
- ◆ 一括取消指示の取消処理は、下記の順番で行います。



- ◆ 同一売/買、同一値段の注文は、先に入力した注文から取り消します。
- ◆ 一括取消指示受付時に一括取消の対象注文となった場合でも、上記の順番での処理中に対象注文が約定された場合又は値段変更された場合は、当該注文についての取消は行えません。また、当該取消が行えないことに対するエラー通知の出力は行いません。
- ◆ 一括取消指示は、一括取消対象注文に対して、取消注文を自動的に生成する処理ですので、一括取消指示時に対当状態となっている時等には、一括取消指示による取消処理が処理待ちとなる場合もあります。
- ◆ 一括取消指示を行った場合、取消処理は上記の順番で行いますので、特に板寄せ方式の場合、優先順位が先の注文が取り消されることにより、対当状態となり、他の一括取消対象注文が約

定されてしまう場合があります。

- ◆ 指定した銘柄の特定の端末から入力した全注文の一括取消指示を行う場合に、新規注文入力した端末と、変更注文入力した端末が異なる場合には、以下のように対象注文の入力端末を特定します。

変更内容		入力端末
優先順位の変更を伴わない変更	数量削減・執行条件変更（引け条件が関係しないケース）・社内番号変更・管理項目変更。	新規注文入力端末
優先順位の変更を伴う変更	直院変更・執行条件変更（引け条件への変更及び引け条件からの変更）。	変更注文入力端末

- ◆ 自端末だけでなく、自社内の他の端末を指定することもできます。
- ◆ 入力端末番号として、旧先・OP端末を指定しての本端末からの一括取消指示ができます
- ◆ 旧株OP端末を指定しての本端末からの一括取引指示は行えません。ただし、自社全体の一括取消指示を行った場合には、当該注文についても取消処理の対象となります。
- ◆ 入力された一括取消指示が中央システムに正常に受け付けられると、一括取消対象注文に対する取消処理終了後に、それぞれの注文について「取消結果通知」が出力されます。
- ◆ 入力された一括取消指示自体が入力した端末番号の誤り（自社に存在しない端末番号の入力）により、中央システムでのチェックでエラーとなった場合には、「一括エラー通知」を出力します。

9-5-2 一括取消指示入力ウィンドウからの指示

一括取消指示は、「一括取消指示入力ウィンドウ」から行います。

9-5-2.1 一括取消指示入力時の留意点

◆ 一括取消指示は、指定した銘柄に対して端末単位での全入力注文又は自社の全入力注文を「300件」を限度として取り消すことができ、一括取消の対象とする注文を端末単位の入力注文とするか、自社全体の全入力注文とするかは、「端末番号」入力欄に以下のように指定します。

◇ 端末単位に入力注文を取り消す場合

→ 「端末番号」入力欄に取消対象注文を入力した端末（仮想入力端末（システム間接続）含む）の「入力端末番号」を指定します。

⇒ 「2-1-3 端末番号」

◇ 自社全体の入力注文を取り消す場合（全入力端末指定（システム間接続による入力注文を含む）

→ 「端末番号」入力欄に「0000」を指定します。

9-5-2.2 一括取消指示入力ウィンドウの表示

一括取消指示入力ウィンドウの表示方法には、以下の2つの方法があります。

◆ メインウィンドウのメニューバー項目「複数注文」の選択から表示させる。

① メインウィンドウのメニューバーから「複数注文」→「3 一括取消」の順で選択します。

② 一括注文入力ウィンドウが表示され、表示操作時点で操作対象となっている銘柄（カーソルが表示されているエリアの銘柄）の「銘柄名」及び「銘柄登録番号」が設定されます。

◆ 板/気配画面上でマウスの右クリックにより表示されるショートカットメニューから表示させる。

① 板/気配画面上でマウスの右クリックを行う。

② 表示されるショートカットメニューの中から「一括取消」を選択します。

③ マウスの右クリックを行った場所の「銘柄名」及び「銘柄登録番号」が設定されます。

⇒ 「3-5 マウスの右クリックによるショートカットメニューの表示」

9-5-2.3 一括取消指示入力ウィンドウの入力項目

<一括取消指示入力ウィンドウ>



- ◆ 端末番号 一括取消を行う対象端末を指定します。(必須入力項目)
 - ◇ 端末単位の入力注文を取消する場合:「入力端末番号 (仮想端末含む)」
 - ◇ 自社全体の入力注文を取消する場合:「0000」

9-5-2.4 一括取消指示入力ウィンドウの入力内容の送信

一括取消指示入力ウィンドウに必要な項目を入力した後に、マウス又はキーボードを使って「送信」操作を行うことで、入力した注文内容が中央システムに送信されます。

- ◆ 送信時に端末システムでエラーを検出した場合には、一括取消指示入力ウィンドウの下部のメッセージ表示欄にエラーメッセージを表示します。
- ◆ 中央システムに送信後、中央システムにおいてエラーを検出した場合には、エラー通知を出力します。
- ◆ 一括取消指示入力ウィンドウについては、入力内容を中央システムに送信した場合は、ウィンドウは消去します。

第 10 章 問合せについて

10-1 問合せ機能

問合せ機能は、大きく分けて「注文情報に関する問合せ」、「取引状況に関する問合せ」及び「清算情報に関する問合せ」があります。

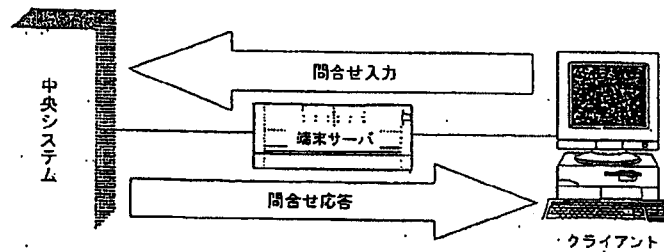
- ◆ 注文情報に関する問合せ
 - ◇ 「板明細」
 - ◇ 「自社有効注文一覧 (時刻順)」
 - ◇ 「注文約定履歴」
 - ◇ 「注文成立状況」
- ◆ 取引状況に関する問合せ
 - ◇ 「約定状況」
 - ◇ 「多量約定情報一覧」
 - ◇ 「約定記録」
 - ◇ 「注意情報」
- ◆ 清算情報に関する問合せ
 - ◇ 「清算値段一覧」
 - ◇ 「証拠金算定基準値段一覧」
 - ◇ 「清算情報」

※証拠金差入れ日時等の短縮化が実施されるまでの間は問合せ応答しません。

上記の注文情報に関する問合せのうち、「自社有効注文一覧 (時刻順)」及び「注文約定履歴」は、他の問合せが中央システムから情報を応答するのに対して、端末サーバが応答情報を生成して問い合わせ応答を行います。

10-1-1 中央システム問合せ

クライアントからの問合せ指示に対して、中央システムが当該問合せの応答情報を生成して応答します。



10-1

TSE000000818

10-1-2 端末サーバ（データサーバ）問合せ

注文情報に関する問合せのうち、以下の問合せについては、クライアントからの問合せ指示に対して、端末サーバ内に格納されている通知情報を検索して応答情報を生成することで、端末サーバから問合せ応答を行います。

◆ 「自社有効注文一覧（時刻順）」問合せ

◆ 「注文約定履歴」問合せ

上記問合せにおいては、複数の端末サーバがあり、かつ複数端末サーバが同一ネットワーク上にある場合は、どの端末サーバの配下のクライアントからの問合せについても、「データサーバ」として定義されている端末サーバ（以下、単に「データサーバ」といいます。）に対して問合せを行います。

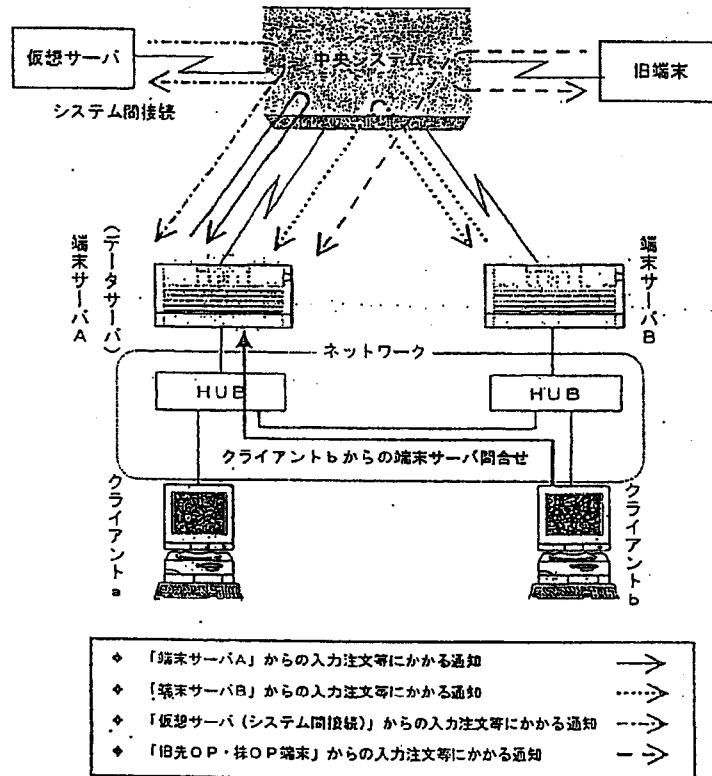
自社の全入力端末（仮想入力端末（システム間接続）及び旧端末含む）から入力された注文等にかかるすべての通知は、各入力元に送信されるとともに、市場ごとの「データサーバ」（当該市場を利用可能としている端末サーバのうち最も若い番号の「端末サーバ」に設定）に対しても送信されます。したがって、「データサーバ」は自社の当該市場のかかる全通知を格納することとなりますので、上記の問合せについて、自社全体の情報を問い合わせることができます。


なお、運用機能の「通知検索」・「通知印刷」も同様の処理方法となります



以下の場合、自社全体の問合せができません。

- ◆ 同一ネットワーク上にデータサーバがない場合（複数地域に取引用端末を設置している場合、複数の端末サーバを接続していない場合等）
 - 同一ネットワーク上にデータサーバがない場合は、上記問合せについて、「自端末サーバ」に問合せを行います。
 - ※ 上記の問合せ応答ウィンドウにおいては、問合せ先が「データサーバ」か「自端末サーバ」かを表示します。
 - その場合、ある端末サーバ配下のクライアントから入力した注文を、他端末サーバ配下のクライアント等から訂正した場合には、自端末サーバには訂正結果通知が送信されませんので、上記問合せにおいて、実際の注文内容とは異なる（訂正結果が反映されていない）情報が応答されますので、ご注意ください。
- ◆ 仮想サーバ（システム間接続）からの入力注文等の通知出力先としてデータサーバが設定されていない場合
 - 当該入力注文にかかる通知については、データサーバに送信されませんので、当該入力注文にかかる上記問合せにおいて、実際の注文内容とは異なる情報が応答されますので、ご注意ください。
 - 仮想サーバ（システム間接続）からの入力注文等にかかる通知をデータサーバに対しても送信するためには、仮想サーバからの入力電文に2ヶ所設定できる通知送信先の1ヶ所に「データサーバ」を設定する必要があります。



◆  なお、データサーバが応答となった場合には、自端末サーバに問合せを行うこととなり、同一ネットワーク上にデータサーバがない場合と同じ状態となりますので、上記問合せにおいて、自社全体の問合せができない等の制約が生じます。

10-1-3 問合せ入力ウィンドウの表示

各問合せ入力ウィンドウは、新規に表示する場合には、注文入力ウィンドウと同様に、メインウィンドウ内の操作対象エリアの位置に応じて、操作対象銘柄の情報が隠れないように決まった位置に初期表示されます。

また、問合せ入力ウィンドウは、連玉関連の問合せ入力ウィンドウと合わせて、同時に1つのみ表示することができます。

10-1-4 問合せ応答ウィンドウの表示

問合せ応答ウィンドウについても、同様にメインウィンドウ内の操作対象エリアの位置及び既に表示している問合せ応答ウィンドウの初期表示位置に応じて、情報が隠れないように決まった位置に初期表示されます。

また、問合せ応答ウィンドウは、連玉関連の問合せ応答ウィンドウと合わせて、同時に2つまで表示することができます。

2つの問合せ応答ウィンドウ表示中に、さらに問合せ入力操作を行った場合は、エラーとなります。

10-1-5 有効注文の入力端末番号の表示

問合せ応答情報のうち「板明細」、「自社有効注文一覧（時刻順）」及び「注文成立状況」問合せについては、注文の現在の入力端末番号を表示しますが、注文内容の変更を行った場合に、「自社有効注文一覧（時刻順）」の応答情報についてのみ、中央システムにおいて当該注文の入力端末番号として取り扱っているものとは異なる入力端末番号が表示される場合がありますので、ご注意ください。

変更内容	中央システムにおける入力端末	「自社有効注文一覧（時刻順）」において表示される入力端末
優先順位の変更 数量削減・執行条件変更（引け条件が関係しないケース） 社内番号変更・管理項目変更	新規注文入力端末	変更注文入力端末
優先順位の変更 直送変更・執行条件変更（引け条件への変更及び引け条件からの変更）	変更注文入力端末	変更注文入力端末

※ 「自社有効注文一覧（時刻順）」においては、注文内容変更時は、優先順位の変更を伴う、伴わないにかかわらず、変更注文を入力した入力端末をそれ以降の入力端末番号として表示します。

※ また、問合せ入力時の端末番号指定にかかる取扱いについても同様とします。

※ 約定成立・失効通知の出力、一括取消時に指定する入力端末は、中央システムにおける入力端末です。

10-2 板明細問合せ

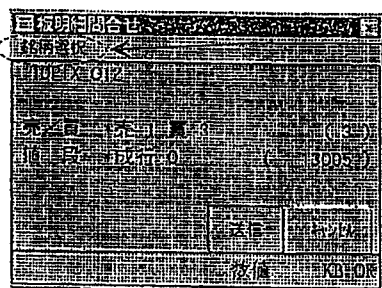
指定された売/買及び値段の板に登録されている有効注文を板登録順に応答表示します。

応答情報のうち、自社注文には、「注文番号」、「社内番号」及び「管理項目（自己・委託の別）」を表示します。

また、応答表示された自社注文の訂正を行う場合に、自社注文情報の応答表示欄のダブルクリック等により、訂正注文入力ウィンドウに当該被訂正注文の銘柄名及び注文番号を自動設定できます。

10-2-1 操作方法

- ① 「板明細」を選択します。「板明細」の選択方法は以下の3つの方法があります。
 - ◆ メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「」板明細」の順で選択します。
 - ◆ キーボード上の「板明細キー」を押下します。
 - ◆ 板/気配画面上でマウスの右クリックにより表示されるショートカットメニューから「板明細」を選択します。
 - ⇒ 「3-5 マウスの右クリックによるショートカットメニューの表示」
- ② 「板明細問合せ入力ウィンドウ」が表示され、板/気配画面上において操作対象の銘柄の「銘柄名」が自動設定されますので、「売/買」及び「値段」を指定して「送信」操作を行います。



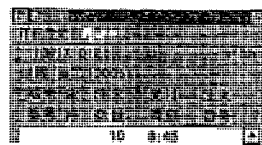
メニューバー
メニューバー項目として「銘柄選択」が選択できます。
入力対象銘柄名を変更する場合に選択します。
⇒ 「5-2-3 入力対象銘柄の変更」

「板明細」の選択時点で、カーソルの位置又は右クリックした位置が「売/買」及び「値段」を特定できる位置の場合、当該位置の「銘柄名」、「売/買の別」及び「値段」を入力内容として、上記の問合せ入力ウィンドウを省略して問合せをします。

13015			
13010			
13005	175	37	12
13000	5		
12995			

買・値段 13005

「板明細」
の選択



※ 入力ウィンドウを省略して問合せ応答します。

10-2-2 「板明細」問合せ応答ウィンドウ

メニューバー
メニューバー項目として「訂正文」が選択できます。
「問合せ」は当初は選択できません。

指定範囲

問合せ応答時刻

他社注文

他社注文については、以下の項目を表示します。

- ◆ 執行条件
- ◆ 現在の有効注文数量
- ◆ 注文受付時刻

※当該注文に訂正を行った場合は、「T」を付加して訂正時刻を表示します。

自社注文

自社注文については、以下の項目を表示します。

<1行目>

- ◆ 入力端番号 (仮想入力端を含む)
- ◆ 執行条件
- ◆ 現在の有効注文数量
- ◆ 注文受付時刻

※当該注文に訂正を行った場合は、「T」を付加して訂正時刻を表示します。

◆ 注文番号

<2行目>

- ◆ 社内番号
- ◆ 管理項目 (自己・委託の別)

「次頁あり」メッセージ

「板明細」問合せにおいては、1回の問合せで「65件」の注文情報を応答表示します。したがって、指定範囲に65件以上の注文がある場合には、「次頁あり」のメッセージを表示し、未表示情報があることを知らせます。

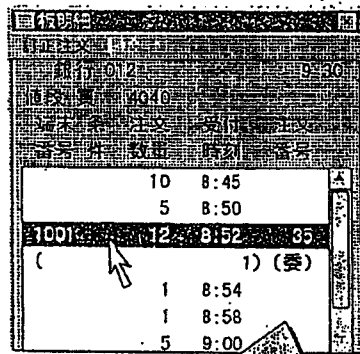
また、更新問合せ操作を行った場合には、その時点で表示中の頁の情報が更新されます。なお、「板明細」問合せには、「前頁」問合せ機能がありませんので、「次頁」情報を表示後、「前頁」情報を表示させる場合は、再度問合せ操作を行って下さい。

□ 「5-3-4 未表示情報の問合せ」

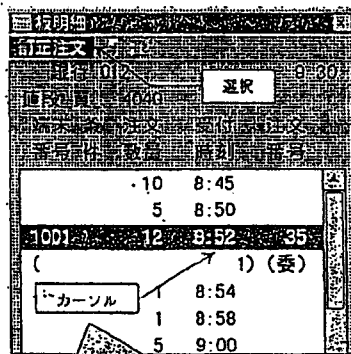
10-2-3 「板明細」 問合せ応答ウィンドウからの訂正注文の入力

「板明細」 問合せ応答ウィンドウから、「板明細」の応答表示情報を利用して、以下の方法で訂正注文を簡便に入力することができます。

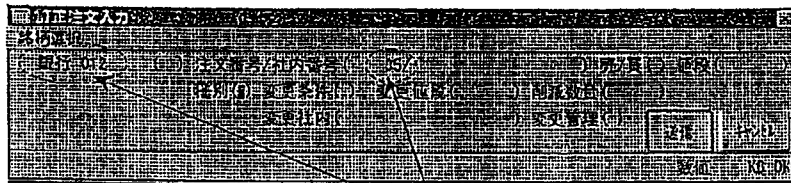
- ◆ 応答表示欄の自社注文情報の表示位置をダブルクリックすることにより、「訂正注文入力ウィンドウ」を表示し、被訂正注文指定欄に当該自社注文の「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。
 - ◆ 応答表示欄の自社注文情報が表示している位置にカーソルがある場合に、「訂正注文」を選択する（当該ウィンドウのメニューバー項目の「訂正注文」の選択又は「訂正注文」キーの押下）ことにより、「訂正注文入力ウィンドウ」を表示し、被訂正注文指定欄に当該自社注文の「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。
- ※なお、上記の方法において、自社注文情報でなく他社注文情報の場合は、訂正注文入力ウィンドウを表示し、銘柄名のみを自動設定します。



ダブルクリック



メニューバーの「訂正注文」の選択
又は「訂正注文」キーの押下



カーソルの表示位置等の情報が自動設定されます。

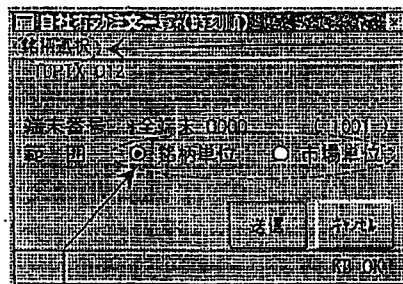
⇒ 「9-4-2.1 訂正注文入力ウィンドウの表示」

10-3 自社有効注文一覧（時刻順）問合せ

自社又は入力端末単位の有効注文を銘柄単位又は市場単位に受付時刻順に表示します。
また、当該問合せは端末サーバ（データサーバ）内の通知情報を検索して応答情報を生成します。
⇒ 「12-1-2 端末サーバ（データサーバ）問合せ」

10-3-1 操作方法

- ① 「自社有効注文一覧（時刻順）」を選択します。「自社有効注文一覧（時刻順）」の選択方法は以下の3つの方法があります。
 - ◆ メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「2 自社有効注文一覧」→「1 受付時刻順」の順で選択します。
 - ◆ キーボード上の「有効注文1」を押下します。
 - ◆ 板／気配画面上でマウスの右クリックにより表示されるショートカットメニューから「自社有効注文一覧1」を選択します。
⇒ 「3-5 マウスの右クリックによるショートカットメニューの表示」
- ② 「自社有効注文一覧（時刻順）問合せ入力ウィンドウ」が表示され、板／気配画面において操作対象の銘柄の「銘柄名」が自動設定されますので、「入力端末番号」（仮想入力端末含む）の入力及び「銘柄単位」か「市場単位」かの選択を行って「送信」操作を行います。
※「端末番号入力欄」を未入力での送信時は、自端末番号が入力されたものとします。



メニューバー
メニューバー項目として「銘柄選択」が選択できます。
入力対象銘柄名を変更する
場合に選択します。
⇒ 「5-2-3 入力対象銘柄の変更」。

情報出力単位選択ラジオボタン
自社有効注文情報の出力単位として「銘柄単位」か「市場単位」かを選択
できます。
◆ 銘柄単位
銘柄単位のラジオボタンを選択した場合には、指定した銘柄の自社の
有効注文情報を受付時刻順に表示します。
◆ 市場単位
市場単位のラジオボタンを選択した場合には、指定した銘柄の属す
る市場の全銘柄の自社の有効注文情報を受付時刻順に表示します。

10-3-2 「自社有効注文一覧（時刻順）」問合せ応答ウィンドウ

メニューバー
メニューバー項目として「訂正注文」が選択できます。
「問合せ」は当初は選択できません。

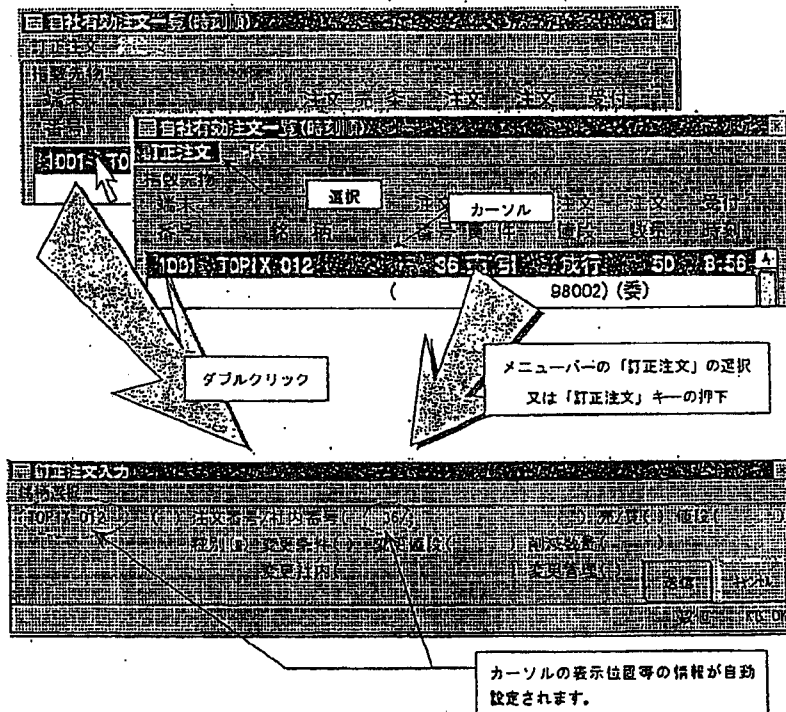
注文番号	注文種別	注文	注文	時刻
数量	種別	数量	数量	時刻
1001 TOPIX 012	36 売 引	成行	50	8:56
	(98002)	(委)	
1001 TOPIX 012	48 買 引	成行	50	8:58
	(98003)	(委)	
1001 TOPIX 012	108 買	12905	30	9:12
	(T212001)	(自)	
1001 TOPIX 012	156 売	13305	20	9:15
	(1212005)	(自)	
1001 TOPIX 012	357 売 不	13220	50	10:11
	(1212015)	(自)	
1001 TOPIX 012	478 売	13085	167	10:15
	(1212056)	(自)	
1001 TOPIX 012	598 売	13050	200	10:19
	(1212065)	(自)	
1001 TOPIX 012	612 売 引	成行	20	10:23

未表示情報ありメッセージ
「自社有効注文一覧（時刻順）」問合せにおいては、1回の問合せで「57件」の注文情報を応答表示します。
したがって、58件以上の有効注文情報がある場合には、未表示情報ありのメッセージとして「次頁あり」・「前頁あり」・「前頁/次頁あり」のメッセージを表示し、未表示情報があることを知らせます。
また、更新問合せ操作を行った場合には、その時点で表示中の頁の情報が更新されます。
□ 「5-3-4 未表示情報の問合せ」

自社有効注文情報
<1行目>
◆ 入力端末番号（仮想入力端末含む）
□ 「10-1-5 有効注文の入力端末番号の表示」
◆ 銘柄名
◆ 有効注文の注文番号
◆ 有効注文の売/買の別
◆ 有効注文の執行条件
◆ 有効注文の注文総数
◆ 有効注文の注文数量
◆ 有効注文の受付時刻
※当該注文に訂正を行った場合は、「T」を付加して訂正時刻を表示します。
<2行目>
◆ 有効注文の社内番号
◆ 有効注文の管理項目（自己・委託の別）

10-3-3 「自社有効注文一覧(時刻順)」問合せ応答ウィンドウからの訂正注文の入力
 「自社有効注文一覧(時刻順)」問合せ応答ウィンドウから、「自社有効注文一覧(時刻順)」の応答表示情報を利用して、以下の方法で訂正注文を簡便に入力することができます。

- ◆ 応答表示欄の各注文情報をダブルクリックすることにより、「訂正注文入力ウィンドウ」を表示し、被訂正注文指定欄に当該注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。
- ◆ 「訂正注文」を選択する(当該ウィンドウのメニューバー項目の「訂正注文」の選択又は「訂正注文」キーの押下)ことにより、「訂正注文入力ウィンドウ」を表示し、被訂正注文指定欄に応答表示欄のカーソルの表示位置の注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。



○ 「9-4-2.1 訂正注文入力ウィンドウの表示」

10-4 注文約定履歴問合せ

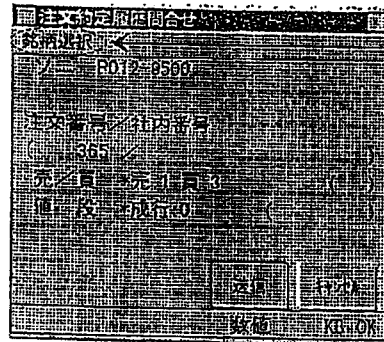
指定した注文の約定・訂正履歴及び残注文状態を表示します。

また、当該問合せは端末サーバ（データサーバ）内の通知情報を検索して応答情報を生成します。


□ 「12-1-2 端末サーバ（データサーバ）問合せ」

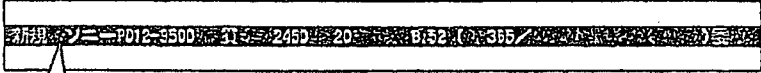
10-4-1 操作方法

- ① 「注文約定履歴」を選択します。「注文約定履歴」の選択方法は以下の3つの方法があります。
 - ◆ メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「2. 自社約定情報」→「1. 注文約定履歴」の順で選択します。
 - ◆ キーボード上の「注文履歴」を押下します。
 - ◆ 板/気配画面上でマウスの右クリックにより表示されるショートカットメニューから「注文約定履歴」を選択します。
 - 「3-5 マウスの右クリックによるショートカットメニューの表示」
- ② 「注文約定履歴問合せ入力ウィンドウ」が表示され、板/気配画面において操作対象の銘柄の「銘柄名」が自動設定されますので、「注文番号」又は「社内番号」を入力して「送信」操作を行います。
 - ※ 「注文番号」と「社内番号」を同時に指定するとエラーとなります。
 - ※ 「売/買の別」及び「注文値段」は必須入力項目ではありません。被訂正文指定時と同様に同一の社内番号の複数の注文がある場合に、「売/買の別」及び注文値段の指定で当該注文を特定できる場合に入力します。



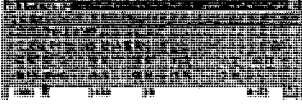
メニューバー
メニューバー項目として「銘柄
選択」が選択できます。
入力対象銘柄名を変更する
場合に選択します。
□ 「5-2-3 入力対象銘柄
の変更」

 なお、「注文約定履歴」の選択時点（右クリックからの選択除く）で、メインウインドウ上の操作対象エリアが「通知表示エリア」で、カーソルが注文にかかる通知を表示している位置にある場合は、当該通知の注文内容の「銘柄名」及び「注文番号」を入力内容として、上記の問合せ入力ウィンドウを省略して問合せをします。



注文番号 365

「注文約定履歴」の選択



※ 入力ウィンドウを省略して問合せ応答します。

10-4-2 「注文約定履歴」問合せ応答ウィンドウ

メニューバー
メニューバー項目として「訂正注文」が選択できます。

注文番号	数量	単位	価格	時刻
1001 買	2450	20		8:52
() (買)				
2450 始	5			9:00
1801 変	2650			9:10
() ()				
2550	1			9:10
2600	3			9:10
1001 変	2650			9:15
2650	5			

問合せ注文情報
問合せた注文の注文番号、直近の社内番号及び管理項目を表示します。

新規注文情報
新規注文入力時の入力内容を表示します。

注文約定情報
注文が約定した場合に当該約定内容（「約定値段」及び「約定数量」）を表示します。
また、スプレッド取引の場合は、約定値段の下に兩限月（期近/期先）の建値を表示します。

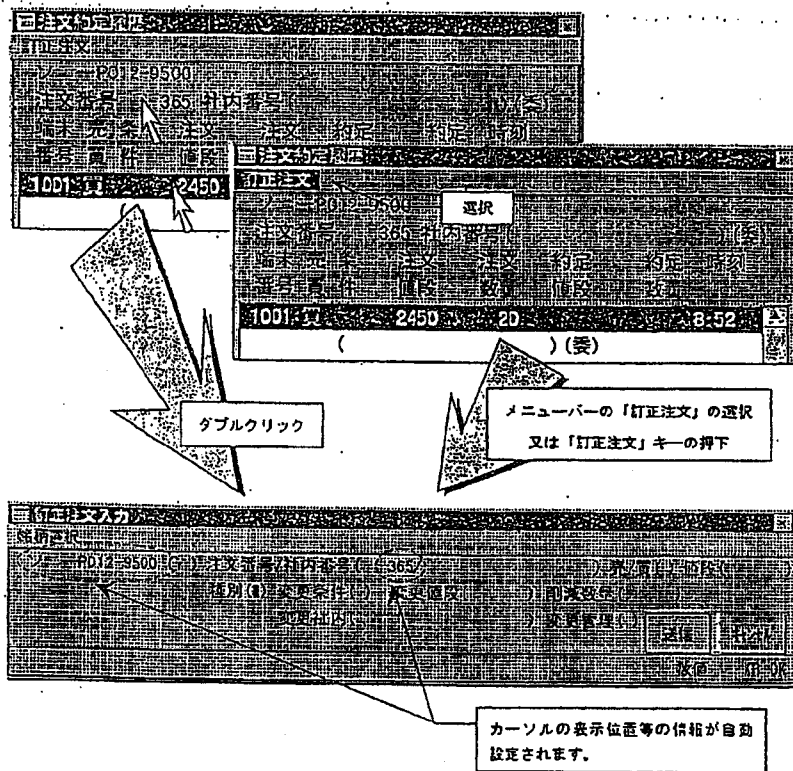
注文訂正情報
注文内容を訂正した場合等に当該訂正内容を表示します。

- ◆ 入力端末番号（仮想入力端末含む）
訂正注文を入力した入力端末番号を「端末番号欄」に表示します。
- ◆ 訂正等種別符号
変更の場合は「変」、取消の場合は「取」、失効の場合は「失」を「売買区分欄」に表示します。
- ◆ 変更後執行条件
変更後の執行条件を「条件欄」に表示します。条件取消の場合「消」を表示します。
- ◆ 変更後注文値段・変更後社内番号・変更後管理項目
変更後の注文値段・社内番号・管理項目を各表示欄に表示します。
- ◆ 削減等数量
削減数量、取消数量又は失効数量を、数量の先頭に「-」（マイナス符号）を付加して「注文数量欄」に表示します。
- ◆ 訂正等時刻
注文の訂正時刻を「時刻欄」に表示します。（失効の場合は、スペース）

10-4-3 「注文約定履歴」問合せ応答ウィンドウからの訂正注文の入力

「注文約定履歴」問合せ応答ウィンドウから、「注文約定履歴」の応答表示情報を利用して、以下の方法で訂正注文を簡便に入力することができます。

- ◆ 当該ウィンドウをダブルクリックすることにより、「訂正注文入力ウィンドウ」を表示し、被訂正注文指定欄に当該注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。
- ◆ 「訂正注文」を選択する（当該ウィンドウのメニューバー項目の「訂正注文」の選択又は「訂正注文」キーの押下）ことにより、「訂正注文入力ウィンドウ」を表示し、当該注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。



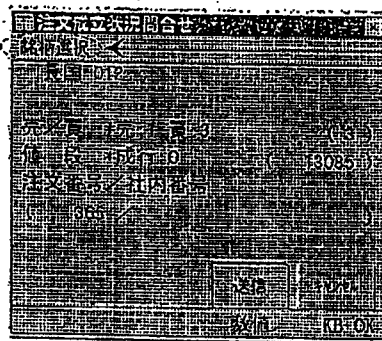
⇒ 「9-4-2.1 訂正注文入力ウィンドウの表示」

10-5 注文成立状況問合せ


指定した注文の成立状況を表示します。

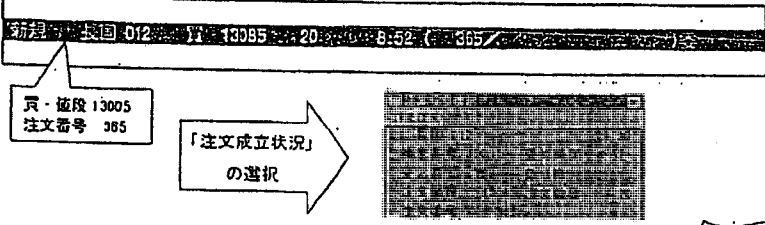
10-5-1 操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「3 自社約定情報」→「2 注文成立状況」の順で選択します。
- ② 「注文成立状況問合せ入力ウィンドウ」が表示され、振/気配画面において操作対象の銘柄の「銘柄名」が自動設定されますので、「売/買」、「値段」及び「注文番号」又は「社内番号」を指定して「送信」操作を行います。
※「注文番号」と「社内番号」を同時に指定するとエラーとなります。



メニューバー
メニューバー項目として「銘柄選択」が選択できます。
入力対象銘柄名を変更する
場合に選択します。
⇒ 「5-2-3 入力対象銘柄の変更」


 なお、「注文成立状況」の選択時点で、メインウィンドウ上の操作対象エリアが「通知表示エリア」で、カーソルが「注文受付通知」、「取消結果通知」又は「変更結果通知」を表示している位置にある場合は、当該通知の注文内容の「銘柄名」、「売/買の別」、「値段」及び「注文番号」を入力内容として、上記の問合せ入力ウィンドウを省略して問合せをします。



※ 入力ウィンドウを省略して問合せ応答します。

10-5-2 「注文成立状況」問合せ応答ウィンドウ

メニューバー
メニューバー項目として「訂正注文」
が選択できます。

問合せ応答時刻

問合せ注文内容
指定した注文の内容を表示します。
◆ 問合せ注文の入力端末番号 (仮想入力端末含む)
◆ 問合せ注文の死蔵区分
◆ 問合せ注文の執行条件
◆ 問合せ注文の注文値段
◆ 問合せ注文の注文数量
◆ 問合せ注文の注文番号
◆ 問合せ注文の社内番号
◆ 問合せ注文の管理項目 (自己委託の別)

注文成立状況
問合せた注文の成立状況を表示します。

- ◆ 内出来数量欄：指定注文の内出来数量を表示します。内出来がないときは、「-」を表示します。
- ◆ 現数量欄：指定注文の残注文数量を表示します。現数量がないときは、「-」を表示します。
- ◆ 応答メッセージ欄：以下のメッセージを表示します。

応答メッセージ	メッセージ内容
優先数量合計	問合せた注文が同時注文以外の場合に表示。 当該値段における問合せた注文より優先する注文の注文数量合計も表示。
成立必要数量	問合せた注文が同時注文であるが、当該値段が最優先気配値段でない場合に 当該注文が全数量約定成立するために必要な対当数量も表示。
同時注文数量合計	問合せた注文が同時注文であるが、当該値段が最優先気配値段でない場合に 当該値段における同時注文数量合計を表示。
振未登録注文	注文受付通知の有無にかかわらず、問合せた注文が振未登録の場合に表示。
全数量約定済	問合せた注文の全注文数量が約定済みの場合に表示。
条件取引終了	問合せた注文が執行条件付き注文で、当該執行条件による取引が既に終了している 場合に表示。
訂正済・現数量無	問合せた注文が既に取消/変更され、当該値段における残注文数量がない場合に 表示
停止前注文無効	問合せた注文が取引の一時停止前に入力された注文で、停止解除後に無効扱いと なった場合に表示

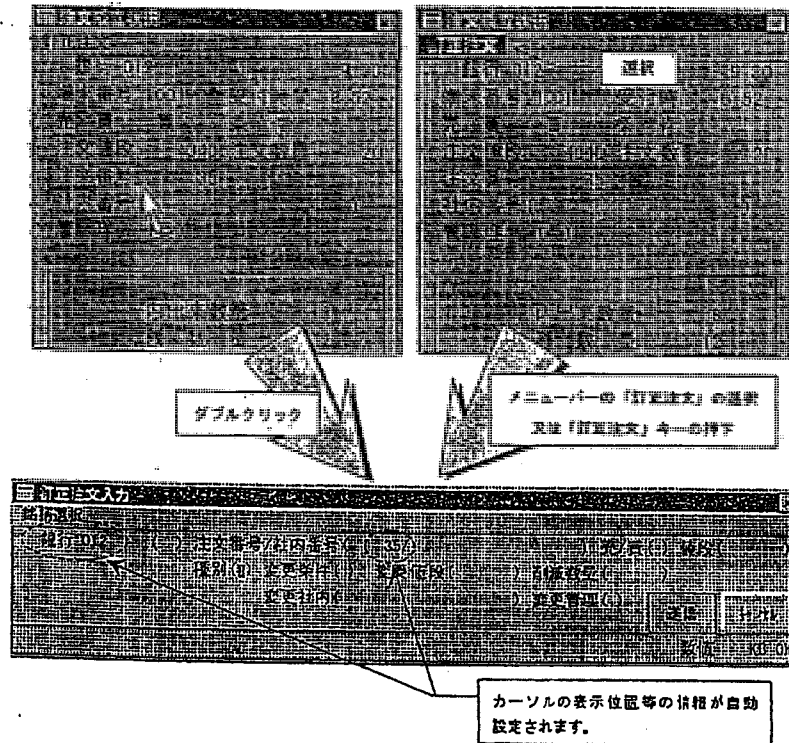
※「優先数量合計」、「成立必要数量」、「同時注文数量合計」のメッセージは以下の場合には表示されません。

- ◆ ギャラ取引中でない場合 (「振寄せ中」、「取引の一時停止中」、又は「立上時間中でない」場合)
- ◆ 問合せた注文値段が、特別気配又は注意気配の表示値段と同値又は優先する値段の場合
- ◆ 問合せた注文が成行注文又は執行条件付き注文 (不成条件付き指値注文除く) の場合

10-5-3 「注文成立状況」問合せ応答ウィンドウからの訂正注文の入力

「注文成立状況」問合せ応答ウィンドウから、「注文成立状況」の応答表示情報を利用して、以下の方法で訂正注文を簡便に入力することができます。

- ◆ 当該ウィンドウをダブルクリックすることにより、「訂正注文入力ウィンドウ」を表示し、被訂正注文指定欄に当該注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。
- ◆ 「訂正注文」を選択する（当該ウィンドウのメニューバー項目の「訂正注文」の選択又は「訂正注文」キーの押下）ことにより、「訂正注文入力ウィンドウ」を表示し、被訂正注文指定欄に当該注文情報の「銘柄名」及び「注文番号」を自動設定します。



○ 「9-4-2.1 訂正注文入力ウィンドウの表示」

10-6 約定状況問合せ

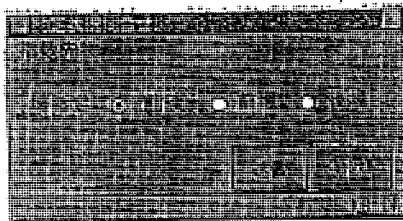
先物取引については、銘柄（限月）別の全体・自社売・自社買それぞれの「約定数量」・「取引契約金額」及び「VWAP」を表示します。

オプション取引については、銘柄（権利行使価格）別の全体の「約定数量」・「約定代金」及び限月（プット・コール別）別の全体・自社売・自社買それぞれの「約定数量」・「約定代金」を表示します。

10-6-1 操作方法

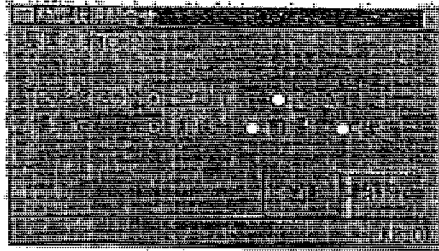
10-6-1.1 先物取引の「約定状況」問合せ

- ① メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「4 約定状況」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから約定状況問合せを行う先物市場（「1 債券先物」又は「3 指数先物」）を選択します。
- ③ 情報の集計単位を選択する「約定状況問合せ入力ウィンドウ」が表示されますので、前後場、前場、後場のラジオボタンのいずれかを選択して、「送信」操作を行うことにより、当該市場にかかる「約定状況問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。



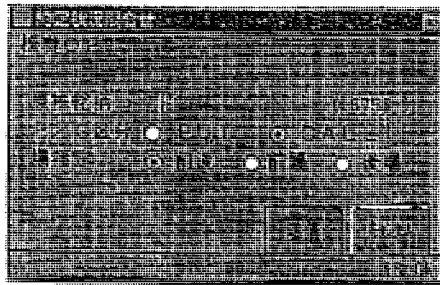
10-6-1.2 株券オプション取引以外のオプション取引の「約定状況一覧」問合せ

- ① メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「4 約定状況」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから約定状況問合せを行うオプション市場（「1 債券先物OP」又は「3 指数OP」）を選択します。
- ③ 証券種別を選択するサブメニューリストから約定状況問合せを行う証券種別（「1 長国先物OP」又は「1 TOPIX OP」）を選択します。
- ④ プット・コールの別及び情報の集計単位を選択する「約定状況問合せ入力ウィンドウ」が表示されますので、プット/コールのラジオボタンのいずれか及び前後場/前場/後場のラジオボタンのいずれかを選択して、「送信」操作を行うことにより、当該証券種別（プット・コール別）の「約定状況問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。



10-6-1.3 株券オプション取引の「約定状況」問合せ

- ① メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「4 約定状況」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから約定状況問合せを行うオプション市場（「5 株券OP」）を選択します。
- ③ 原株コードの入力と、プット・コールの別及び情報の集計単位を選択する「約定状況問合せウィンドウ」が表示されますので、「原株コード」入力欄に当該株券オプションの原株コードを入力し、プット/コールのラジオボタンのいずれか及び前後場/前場/後場のラジオボタンのいずれかを選択して、「送信」操作を行うことにより、当該原株にかかる株券オプションの「約定状況問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。



10-6-2 先物取引の「約定状況」問合せ応答ウィンドウ

証券種別選択タブ
 問合せを行う証券種別のタブの選択します。

問合せ応答時刻

銘柄	約定数	約定金額	VWAP
012(全社)	10689	139,729,865	1307.7198
(自社売)	533	7,044,930	1309.4480
(自社買)	431	5,628,215	1305.8503
103(全社)	1827	23,930,505	1309.8251
(自社売)	300	3,929,500	1309.8333
(自社買)	250	3,274,000	1309.6000
106(全社)	3	39,460	1315.3333
(自社売)	1	13,150	1325.0000
(自社買)	1	13,150	1325.0000
109(全社)	0	0	0.0000
(自社売)	0	0	0.0000
(自社買)	0	0	0.0000
112(全社)	0	0	0.0000
(自社売)	0	0	0.0000
(自社買)	0	0	0.0000
合計(全社)	12519	163,699,806	
(自社売)	839	10,987,480	
(自社買)	682	48,915,365	

情報表示例

- ◆ 年月及び区分 (全体・自社売・自社買)
- ◆ 全社分・自社売・自社買ごとの「約定数量」
問合せ時点の情報を表示します。
- ◆ 全社分・自社売・自社買ごとの「取引契約金額」(スプレッド取引については非表示)
- ◆ 全社分・自社売・自社買ごとの「VWAP」(スプレッド取引については非表示)
全社分のみ問合せ時点の情報を表示し、自社分については各立金終了後に行う算出処理終了後に表示し、それまではスペースとします。
- ◇ 取引契約金額については、債券先物(TB先物除く)及び指数先物については「千円単位」、TB先物については、「1ドル単位」で小数点2位まで(1セント単位)まで表示します。
- ◇ VWAPについては、債券先物(TB先物除く)については、円未満小数点4位まで、指数先物及びTB先物については、1ポイント未満小数点4位まで表示します。

◆ スプレッド取引のある先物取引については、通常の先物取引の各限月の情報として、スプレッド取引での約定分を加えた情報を表示します。

10-6-3 オプション取引の「約定状況問合せ応答ウィンドウ」

問合せ応答時刻

限月選択タブ
問合せを行う限月のタブを選択します。

権利行使価格別情報表示欄

- ◆ 権利行使価格
- ◆ 問合せ時点の全社分の権利行使価格ごとの約定数量
- ◆ 問合せ時点の全社分の権利行使価格ごとの約定代金
 - 債券先物オプション及び指数オプションについては「千円単位」で表示します。
 - 株券オプションについては、「円単位」で表示します。

限月別合計情報表示欄

全社分・自社売・自社買の約定数量・約定代金の限月（プット・コール別）の合計を表示します。
全社分については問合せ時点の情報を表示し、自社分については、各立金終了後の算出処理終了後に表示し、それまではスペースとします。

プット・コール別全限月合計情報表示欄

全社分・自社売・自社買の約定数量・約定代金のプット・コール別の全限月の合計を表示します。
全社分については問合せ時点の情報を表示し、自社分については、各立金終了後の算出処理終了後に表示し、それまではスペースとします。

権利行使価格	約定数量	約定代金 (円)
126	0	0
127	0	0
128	26	37,440
129	10	8,500
130	1254	451,440
131	865	86,500
132	57	1,710
133	2	20
134	0	0

※株券オプションにおいて、表示限月に受渡単位が調整された権利行使がある場合は、通常の受渡単位の権利行使価格の後に、受渡単位が調整された権利行使価格を表示します。

権利行使価格	約定数量	約定代金 (円)
8800	2	300,000
9000	1	395,000
9200	0	0
7273A	0	0
7455A	0	0
7636A	0	0
7818A	0	0

受渡単位が調整された権利行使価格を通常の受渡単位の権利行使価格の後に表示します。

10-7 多量約定情報一覧問合せ (オプション)

オプション取引について、証券種別ごとにブット・コール別に当日取引高の上位 20 位までの銘柄の取引高、現在値等を表示します。

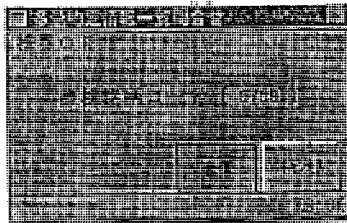
10-7-1 操作方法

10-7-1.1 株券オプション取引以外のオプション取引の「多量約定情報一覧」問合せ

- ① メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「5 その他問合せ」→「1 多量約定情報一覧」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから多量約定情報問合せを行うオプション市場（「1 債券先物OP」又は「3 指数OP」）を選択します。
- ③ 証券種別を選択するサブメニューリストから多量約定情報問合せを行う証券種別（「1 米国先物OP」又は「1 TOPIX OP」）を選択することにより、当該証券種別の「多量約定情報一覧問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。

10-7-1.2 株券オプション取引の「多量約定情報一覧」問合せ

- ① メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「6 その他問合せ」→「1 多量約定情報一覧」を選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから多量約定情報問合せを行うオプション市場（「5 株券OP」）を選択します。
- ③ 原株の銘柄コードを入力する「多量約定情報一覧問合せウィンドウ」が表示されますので、「原株コード」入力欄に当該株券オプションの原株コードを入力し、「送信」操作を行うことにより、当該原株にかかる株券オプションの「多量約定情報一覧問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。



10-7-2 「多量約定情報一覧」問合せ応答ウィンドウ

問合せ応答時刻

銘柄名	引当	約定	約定	銘柄名	引当	約定	約定
012-131	3259	122	-005	012-132	5189	065	010
-012-130	1589	022	-004	012-131	100	011	002
012-132	50	-250	-008	012-130	00	144	009
012-129	40	338	-010	012-133	50	078	012
012-128	10	001	—	101-131	10	015	—
101-128	5	136	—	101-132	5	001	—
101-130	1	244	—				

ブット・コール別に当日取引高の上位 20 位までの銘柄を表示します。

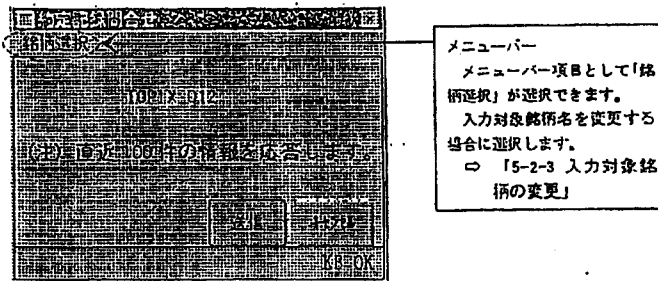
- ◆ 銘柄名
 - 「年月」 + 「権利行使価格」を表示します。
 - ※株券オプション取引において、受渡単位が調整された銘柄の場合は、「年月」 + 「受渡単位調整回数符号」 + 「権利行使価格」表示します。
- ◆ 取引高
 - 当日の取引高を表示します。
- ◆ 現在値
 - 現在値を値単位で表示します。
 - 現在値が終値の場合は、値段の先頭に「E」を表示します。
- ◆ 前日比
 - 現在値の前日比較を表示します。
 - 前日約定値段がない場合等で比較できない場合は、「--」を表示します。

10-8 約定記録問合せ

指定した銘柄の直近の100件の約定記録（約定時刻・約定値段・約定数量）を表示します。

10-8-1 操作方法

- ① 「約定記録」を選択します。「約定記録」の選択方法は以下の2つの方法があります。
 - ◆ メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「5 その他問合せ」→「3 約定記録」の順で選択します。
 - ◆ 板/気配画面上でマウスの右クリックにより表示されるショートカットメニューから「約定記録」を選択します。
 - 「3-5 マウスの右クリックによるショートカットメニューの表示」
- ② 「約定記録問合せ入力ウィンドウ」が表示され、板/気配画面において操作対象の銘柄の「銘柄名」が自動設定されますので、指定銘柄を確認して「送信」操作を行います。
 - ※ なお、板/気配画面上でマウスの右クリックにより表示されるショートカットメニューから「約定記録」を選択した場合は、右クリックした位置に表示されている銘柄について以下の「約定記録問合せ入力ウィンドウ」を省略して問合せ応答します。



10-8-2 「約定記録」問合せ応答ウィンドウ

問合せ応答時刻

利回り
債券先物銘柄については、各約定値段の利回りを表示します。

区切り表示
前場と後場の区切りを示すため、各項目に「-」を表示します。

応答情報
以下の項目を応答表示します。
◆ 各約定ごとの約定時刻
◆ 各約定ごとの約定値段
※始値の場合は、「始」を、終値の場合は、「終」を、ザラバ中の板寄せ後に成立した値段の場合は、「板」を値段の先頭に表示します。
◆ 債券先物銘柄についてのみ各約定値段の利回り
◆ 各約定ごとの約定数量

直近情報
問合せ応答時には、直近の情報を応答表示欄の最下部に応答表示します。

時刻	約定値段	約定数量	約定利回り	
11:57	13065 (2246)	23		
11:57	13055 (2255)	65		
11:59	13050 (2260)	12		
11:59	13055			
10:59	13055			
11:00	終13050			
12:30	始13050			
12:30	13050	11:00 終13050	122	
12:31	13055			
12:31	13055	12:30 始13050	245	
12:32	13055	12:30	13050	24
12:33	13060	12:31	13055	12
12:35	13070	12:31	13055	8
12:35	13075	12:32	13055	1
		12:33	13060	2
		12:35	13070	20
		12:35	13075	2
		12:35	13080	2
		12:35	13075	2
		12:35	13085	2
		12:35	13075	2

10-9 清算値段一覧問合せ（先物）

先物取引の当日の清算値段を表示します。

清算値段は、当日の立会終了後の清算値段算出処理終了後に問合せ応答します。

10-9-1 操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「5 その他問合せ」→「2 清算値段等一覧」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから清算値段問合せを行う先物市場（「1 債券先物」又は「3 指数先物」）を選択することにより、当該市場の「清算値段一覧問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。

10-9-2 「清算値段一覧」問合せ応答ウィンドウ

The screenshot shows a window titled '先物' (Futures) with a menu bar and a list of settlement prices. Callouts provide details for various parts of the window:

- 証券種別選択タブ**: 問合せを行う証券種別のタブの選択します。
- 問合せ応答時刻**: 表示された時刻。
- 清算値段情報**: 「限月」、「銘柄コード」及び「当該限月の当日の清算値段」を表示します。
- スプレッド情報**: スプレッド取引がある証券種別については、参考としてスプレッド取引の「限月」及び「銘柄コード」のみを表示します。
(清算値段情報とは特に関係ありません。)
- SQ (特別清算指数)**: 指数先物について、SQ (特別清算指数) 算出日のSQ算出後にSQを表示します。

銘柄コード	清算値段
103 (164030005)	1310.50
106 (164060005)	1311.00
109 (164090005)	1312.50
112 (164120005)	1313.50
203 (165120005)	1314.00
103-106 (164030105)	-
103-109 (164030205)	-
103-112 (164030305)	-
103-203 (164030405)	-

10-10 証拠金算定基準値段一覧問合せ (オプション)

オプション取引の当日の証拠金算定基準値段を表示します。

証拠金算定基準値段一覧は、当日の立会終了後の証拠金算定基準値段算出処理終了後に応答表示します。

10-10-1 操作方法

10-10-1.1 株券オプション取引以外のオプション取引の「証拠金算定基準値段一覧」問合せ

- ① メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「5 その他問合せ」→「2 清算値段等一覧」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから証拠金算定基準値段問合せを行うオプション市場（「1 債券先物OP」又は「3 指数OP」）を選択します。
- ③ 証券種別を選択するサブメニューリストから証拠金算定基準値段問合せを行う証券種別（「1 長国先物OP」又は「1 TOPIX OP」）を選択することにより、当該証券種別の「証拠金算定基準値段一覧問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。

10-10-1.2 株券オプション取引の「証拠金算定基準値段一覧」問合せ

- ① メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「6 その他問合せ」→「2 清算値段等一覧」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから証拠金算定基準値段問合せを行うオプション市場（「5 株券OP」）を選択します。
- ③ 原株の銘柄コードを入力する「清算値段等値段一覧問合せウィンドウ」が表示されますので、「原株コード」入力欄に当該株券オプションの原株コードを入力し、「送信」操作を行うことにより、当該原株にかかる株券オプションの「証拠金算定基準値段一覧問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。



10-10-2 「証拠金算定基準値段一覧」問合せ応答ウィンドウ

問合せ応答時刻

012-1200 (133122005)		012-1200 (123122005)		
012-1225 (133122205)	---	012-1225 (123122205)	---	
012-1250 (133122505)	---	012-1250 (123122505)	---	
012-1275 (133122705)	05	012-1275 (123122705)	530	
012-1300 (133123005)	05	012-1300 (123123005)	280	
012-1325 (133123205)	05	012-1325 (123123205)	25	
012-1350 (133123505)	220	012-1350 (123123505)	---	
012-1375 (133123705)	470	012-1375 (123123705)	---	
012-1400 (133124005)	---	012-1400 (123124005)	---	
012-1425 (133124205)	---	012-1425 (123124205)	---	
101-1250 (134032505)	---	101-1250 (124032505)	---	
101-1275 (134032705)	---	101-1275 (124032705)	---	
101-1300 (134033005)	---	101-1300 (124033005)	*325	
101-1325 (134033205)	---	101-1325 (124033205)	25	
101-1350 (134033505)	255	101-1350 (124033505)	---	
101-1375 (134033705)	*525	101-1375 (124033705)	---	
101-1400 (134034005)	---	101-1400 (124034005)	---	
101-1425 (134034205)	---	101-1425 (124034205)	---	

SQ (特別清算指数)
 指数オプションについて、SQ (特別清算指数) 算出日のSQ算出後にSQを表示します。

証拠金算定基準値段情報
 当該オプション取引銘柄の証拠金算定基準値段を表示します。

- ◆ 銘柄名
 「限月」 + 「受渡調整回数符号」(株券オプションのみ) + 「権利行使単位」
- ◆ 銘柄コード
- ◆ 証拠金算定基準値段
 - 当日立会終了後、証拠金算定基準値算出処理終了後に表示します。
 - 当該銘柄に証拠金算定基準値段がない場合には、「--」を表示します。
 - 訂正を行った場合には、値段の先頭に訂正符号「*」を表示します。

10-11 注意情報問合せ

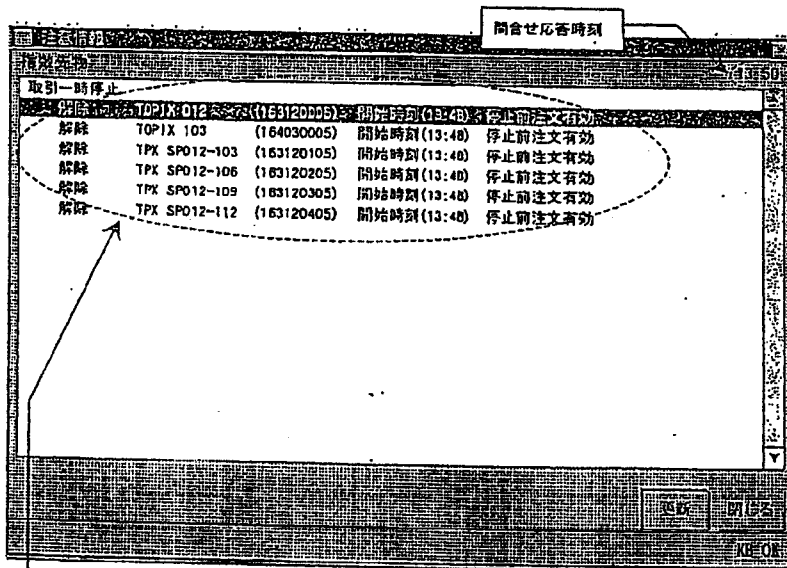
制限幅の変更や取引の停止等の取引注意情報を表示します。

なお、注意情報がある銘柄には、板/気配画面上にその旨のメッセージを表示します。

10-11-1 操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「問合せ」→「5 その他問合せ」→「8 注意情報」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから注意情報問合せを行う市場を選択することにより、当該市場の「注意情報問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。

10-11-2 「注意情報」問合せ応答ウィンドウ



- ◆ 注意情報メッセージ
下記のメッセージを表示します。
①取引一時停止/解除 ②制限幅変更 ③成行注文禁止 ④問合せ応答制限
⑤自動更新停止 ⑥最終決済指数 (指数先物市場・指数オプション市場のみ)
- ◆ 銘柄コード
「銘柄名+銘柄コード」又は「証券種別」を表示します。
- ◆ 注意情報内容
注意情報の詳細を表示します。

10-12 清算情報問合せ

自社の当日発生した「先物取引等の差金」、「オプション取引の約定代金」及び「取引証拠金所要額」を表示します。

※ 証拠金送入れ日時等の短縮化が実施されるまでの間は、問合せ応答しません。

第11章 転売・買戻数量等の入力について

転売・買戻等入力は、入力の種類に応じて以下の各入力ウィンドウを表示させて行います。

- ◆ 先物の転売・買戻入力
→ 「転売・買戻入力ウィンドウ」
- ◆ オプションの転売・買戻/権利行使入力
→ 「転売・買戻/権利行使入力ウィンドウ」
- ◆ 先物の対応オプションの権利行使に伴う転売・買戻入力
→ 「転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力ウィンドウ」

11-1 転売・買戻数量等入力の概要

11-1-1 転売・買戻数量等の「新規入力」

転売・買戻数量等を当日初めて入力を行った場合は、「新規入力」として扱います。
入力項目を未入力のまま送信した場合は、当該項目について入力数量を「0」として扱います。
「新規入力」が正常に受け付けられた場合は、入力内容及び当該入力により算出された当日建玉残高が応答表示欄に応答表示され、「入力結果通知」が出力されます。

11-1-2 転売・買戻数量等の「訂正入力」

既に転売・買戻数量等が入力済みの場合に、再度入力を行うことにより、「訂正入力」ができます。
「訂正入力」の場合は、変更入力項目のみを入力します。入力されなかった項目については、既に入力されている数量を引き継ぎます。
「訂正入力」が正常に受け付けられた場合は、訂正入力内容及び当該訂正入力により算出された当日建玉残高が応答表示欄に応答表示され、「訂正入力結果通知」が出力されます。

11-1-3 転売・買戻数量等入力の終了指示

本所による各参加者の入力業務の進捗状況把握のため、当日必要な転売・買戻数量等の入力が終了した場合には、「入力終了指示」を行ってください。

「入力終了指示」が正常に受け付けられると、入力対象銘柄の未入力項目に一括して入力数量が「0」入力されたものとして扱います。

なお、「入力終了指示」後でも、「訂正入力」を行うことができます。

11-1-4 転売・買戻数量等入力の「入力無効」

当日転売・買戻数量等の入力終了後、前日建玉残高の訂正が行われた場合等には、入力済みの転売・買戻数量等を無効とし、「入力無効通知」を出力します。

「入力無効」となった場合には、「新規入力」時と同じ方法で再度入力を行ってください。

11-2 転売・買戻数量等入力時の留意点

11-2-1 転売・買戻数量等の自己・委託別入力

転売・買戻数量等についても、注文入力と同様に、各銘柄ごとに自己・委託別に入力を行います。

限 月	自:9 委:0	転 売		買 戻	
		当 日	既 存	当 日	既 存
長国 012	9		30		20

自己分について入力する場合は、「9」を、委託分について入力する場合は、「0」を指定します。

11-2-2 転売・買戻数量の当日分・既存分の合算入力

転売・買戻数量入力に際して、「当日分」と「既存分」とに分けて入力する必要はなく、「当日分」と「既存分」を合算した転売数量及び買戻数量を「既存分」の入力欄に入力することにより、当日取引にかかる転売・買戻数量の入力を行うことができます。

なお、今までどおり、「当日分」と「既存分」を分けて転売・買戻数量の入力を行うこともできます。

◆ 転売・買戻数量の入力例

◇ 当日分と既存分の「合算入力」時

当日分と既存分の合算数量を「既存分入力欄」に入力します。

限 月	自:9 委:0	転 売		買 戻	
		当 日	既 存	当 日	既 存
長国 012	9		30		20

※ 合算入力を行う場合、「当日分入力欄」を未入力として、「既存分入力欄」に当該合算値を入力することで可能としますが、その場合、システム上は、「当日分について「0」入力があったものとして処理しますので、入力内容の応答表示には、当日分の入力内容として「0」を表示します。

◇ 当日分と既存分の「分割入力」時

当日分と既存分の数量をそれぞれ「当日分入力欄」及び「既存分入力欄」に入力します。

限 月	自:9 委:0	転 売		買 戻	
		当 日	既 存	当 日	既 存
長国 012	9	10	20	15	5

11-2-3 各オプション取引における権利行使

11-2-3.1 各オプション取引の権利行使にかかる取扱い

各オプション取引については、下表のようにそれぞれ権利行使にかかる取扱いが異なります。

	In The Money	Out of The Money At The Money
英国先物オプション取引 (アメリカン方式)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 権利行使最終日以外 ○ 権利行使可能 (権利行使数量を入力) ◆ 権利行使最終日 ○ 「自動権利行使」 ○ 権利放棄も可能 (権利行使数量を入力することにより、残りの買戻玉残高について権利放棄) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 権利行使最終日以外 ○ 権利行使可能 (権利行使数量を入力) ◆ 権利行使最終日 ○ 権利行使・権利放棄とも可能 (権利行使数量を入力)
TOPIXオプション取引 (ヨーロッパ方式)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 最終清算指数(SQ)より3.0ポイント以上イン・ザ・マネーの権利行使価格については権利行使数量の入力の有無及び入力数量にかかわらず全買戻玉残高について「自動権利行使」 ◆ 最終清算指数(SQ)より3.0ポイント未満イン・ザ・マネーの権利行使価格については権利行使・権利放棄とも可能 (権利行使数量を入力) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全買戻玉残高について権利放棄 ◆ 権利行使入力不可
株券オプション取引 (ヨーロッパ方式)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 権利行使・権利放棄とも可能 (権利行使数量を入力) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 権利行使・権利放棄とも可能 (権利行使数量を入力)

上記のように「英国先物オプション取引」及び「TOPIXオプション取引」については、権利行使最終日に「自動権利行使制度」が適用されています。

「自動権利行使制度」は、基本的には権利行使最終日の最終清算指数(指数)決定後にイン・ザ・マネーとなっている権利行使価格について、権利行使数量の入力がない場合でも、全買戻玉残高について自動的に権利行使があったものとみなすものです。

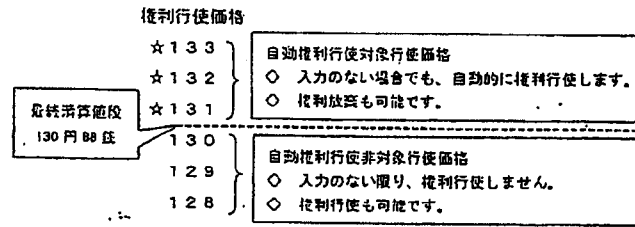
ただし、「英国先物オプション取引」と「TOPIXオプション取引」では、適用される自動権利行使制度の仕組みが以下に示すように異なります。

なお、株券オプション取引については、自動権利行使制度は適用されていません。

11-2-3.2 長国先物オプション取引における権利行使最終日の自動権利行使制度

- ◆ 権利行使最終日に最終清算値段（先物対象月の清算値段）より「1銭」以上イン・ザ・マネーとなっている権利行使価格（自動権利行使対象行使価格）については、入力がない場合（当該権利行使価格について全項目未入力のまま終了指示を行った場合及び1桁の「0」入力時含む）、つまりシステムの仕組みとして1桁の「0」入力扱いとする場合、当該権利行使価格の当日の転売・買戻数量入力後の全買建玉残高について、権利行使があったものとみなします。
- ◆ ただし、自動権利行使対象行使価格についても、当日の転売・買戻数量入力後の全買建玉残高の一部の権利放棄（権利行使数量の入力）又は全部の権利放棄（「0」8桁の入力）を行うことができます。
- ◆ また、自動権利行使対象行使価格以外の権利行使価格については、通常の権利行使日と同様の方法で権利行使・権利放棄を行うことができます。
- ◆ なお、自動権利行使対象行使価格には、各建玉関係の画面において自動権利行使番号「☆」が表示されます。

<長国先物プットオプションの場合>



◆ 自動権利行使対象行使価格の権利行使数量入力方法と実際の権利行使数量の対応

権利行使数量入力方法		実際の権利行使数量
権利行使数量入力欄未入力	送信	当日の転売・買戻数量入力後の全買建玉残高
「0」入力	送信	当日の転売・買戻数量入力後の全買建玉残高
全入力項目未入力での終了指示	送信	当日の転売・買戻数量入力後の全買建玉残高
「0」以外の数量入力	送信	入力数量
オール「0」（「0」8桁）入力	送信	「0」
全項目未入力での入力受付終了時		当日の転売・買戻数量入力後の全買建玉残高

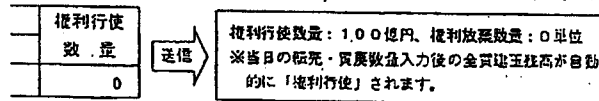
※未入力送信時、全項目未入力のままの終了指示及び全項目未入力のままでの入力受付終了時には、自動的に1桁の「0」入力扱いとすることで、当日の転売・買戻数量入力後の全買戻玉残高を自動的に権利行使します。

※自動権利行使対象外の権利行使価格については、権利行使を行う数量を入力してください。(1桁の「0」及び「0」8桁入力ともに、権利行使数量は「0」となります。)

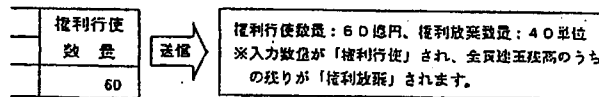
◆ 自動権利行使対象行使価格に対する入力例

(当日の転売・買戻数量入力後の買戻玉残高：100億円)

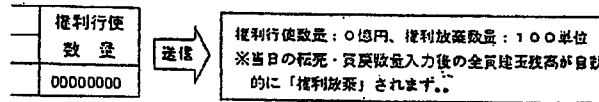
① 「未入力時」および「1桁の「0」」入力時



② 「0」以外の数量入力時



③ オール「0」(「0」8桁)入力時



◆ 自動権利行使対象外の行使価格については、未入力時、1桁の「0」及び「0」8桁入力時のいずれも場合も権利行使数量を「0」として扱います。

◆ なお、権利行使最終日以外の権利行使日には、権利行使数量入力欄に「0」8桁の入力はエラーとします。

11-2-3.3 TOPIXオプション取引における権利行使最終日の自動権利行使制度

- ◆ 権利行使最終日に最終清算指数 (SQ) より「3.0ポイント」以上イン・ザ・マネーとなっている権利行使価格については、権利行使数量の入力の有無及び入力数量にかかわらず、当該権利行使価格の全買戻玉残高について、自動的に権利行使します。
- ◆ したがって、自動権利行使対象行使価格について、権利放棄を行うことはできません。
- ◆ また、アウト・ザ・マネー及びアウト・オブ・ザ・マネーの権利行使価格について権利行使を行うことはできません。
- ◆ また、イン・ザ・マネーの権利行使価格のうち、最終清算指数との差が「3.0ポイント」未満となる権利行使価格については、当該権利行使価格の買戻玉残高について権利行使とするか権利放棄とするかを選択できます。
- ◆ なお、自動権利行使対象行使価格には、各建玉関係の画面において自動権利行使番号「☆」が表示されます。

<TOPIXプットオプションの場合>

権利行使価格	自動権利行使対象行使価格
☆1375	◇ 入力の有無、入力した数量にかかわらず、全買戻玉残高を自動的に権利行使します。 ◇ 権利放棄はできません。
☆1350	
☆1325	
最終清算指数 1298.78	◇ 最終清算指数との差が3.0ポイント未満のため、権利行使/放棄が選択できます。
1275	自動権利行使非対象行使価格
1250	

◆ プットオプション入力例 (買戻玉残高: 100単位、SQ: 1298.00ポイント)

①権利行使価格: 1325ポイント

権利行使 数量	送信	権利行使数量: 100単位、権利放棄数量: 0単位 ※入力自体は受け付けられますが、入力数量にかかわらず全買戻玉残高が自動的に権利行使されます。
20		

②権利行使価格: 1300ポイント

権利行使 数量	送信	権利行使数量: 20単位、権利放棄数量: 80単位 ※入力数量が権利行使数量となり、全買戻玉残高のうちの残りが権利放棄されます。
20		

③権利行使価格: 1275ポイント

権利行使 数量	送信	権利行使数量: 0単位、権利放棄数量: 100単位 ※入力自体を受け付けません。(エラー応答)
20		

11-3 先物取引の転売・買戻入力

先物取引の当日の転売・買戻数量を入力します。

11-3-1 操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「建玉」→「1 転売・買戻/権利行使入力」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから転売・買戻入力を行う銘柄の属する先物市場（「1 債券先物」又は「2 指数先物」）を選択することにより、当該市場の「転売・買戻入力ウィンドウ」が表示されます。
- ③ 最初、選択した市場のうち先頭の証券種別のタブが表示されますので、転売・買戻入力を行う銘柄の属する証券種別のタブを選択します。
- ④ カーソルが、「転売・買戻数量」入力欄の「限月」入力欄に表示されますので、応答表示欄に表示されている入力対象銘柄（※）の限月及び自己・委託の別を入力後、転売・買戻数量を入力します。
- ⑤ 転売・買戻数量を入力後、「送信」操作を行います。
- ⑥ 入力が正常に受け付けられると、応答表示欄に、当該銘柄についての入力内容及び入力の結果算出された当日建玉残高が応答表示されます。また、「転売・買戻入力結果通知」が出力されます。

※ 入力対象銘柄の表示条件

- ◆ 当日、閉合せ時点までに自己・委託別に自社に約定のある限月



当該ウィンドウを表示させることにより、閉合せ時点までの自社の自己・委託別の当日の約定数量を知ることができます。

11-3-2 転売・買戻入力ウィンドウ

証券種別選択タブ
入力を行う銘柄の属する証券種別のタブの選択します。

問合せ応答時刻

012(自己)	253	120	*12239	*864
012(委託)	0	10	0	25
103(自己)	0	24	0	10
	20	15	*126	*354
	0	5	112	335

入力対象銘柄
問合せ時点までに当日自社に約定のある銘柄(自己・委託別)を表示します。

入力内容の応答表示
入力した転売・買戻数量を応答表示します。

入力対象銘柄の約定数量
当日約定のある銘柄(自己・委託別)の問合せ時点までの約定数量を表示します。

前日・当日建玉残高
上段に前日建玉残高を表示します。
(前日建玉に翌日訂正があった場合「*」を表示します。)
下段に転売・買戻数量入力により算出された当日建玉残高を応答表示します。

転売・買戻数量入力欄
入力を行う限月、自己・委託の別及び転売・買戻数量を入力します。

限月及び自己・委託の別については、応答表示欄のダブルクリックにより、自動設定できます。

◆ 新規入力時に転売・買戻数量入力欄を未入力で送信した場合は、「0」入力とみなします。
◆ 訂正入力時に転売・買戻数量入力欄を未入力で送信した場合は、入力項目のみが訂正され、未入力項目は、既に入力されている数量が有効となります。
◆ 転売・買戻数量について当日分と既存分の合算入力を行う場合は、当該合算値を「既存分入力欄」に入力して下さい。
⇒ 「11-1-2 転売・買戻数量の当日分・既存分の合算入力」

11-4 オプション取引の転売・買戻/権利行使入力

オプション取引の当日の転売・買戻/権利行使数量を入力します。

11-4-1 操作方法

11-4-1.1 株券オプション取引以外のオプション取引への入力

- ① メインウィンドウのメニューバーから「進玉」→「1 転売・買戻/権利行使入力」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから転売・買戻/権利行使入力を行う銘柄の属するオプション市場（「2 債券先物OP」又は「4 指数OP」）を選択します。
- ③ 証券種別を選択するサブメニューリストから転売・買戻/権利行使入力を行う銘柄の属する証券種別（「1 長国先物OP」又は「1 TOPIX OP」）を選択することにより、当該証券種別の「転売・買戻/権利行使入力ウィンドウ」が表示されます。
- ④ 最初は、選択した証券種別のうち先頭の限月（ブット）のタブが表示されますので、転売・買戻/権利行使入力を行う銘柄の属する限月（ブット/コール別）のタブを選択します。
- ⑤ カーソルが、「転売・買戻/権利行使数量」入力欄の「行使価格」入力欄に表示されますので、応答表示欄に表示されている入力対象銘柄（※）の権利行使価格及び自己・委託の別を入力後、転売・買戻/権利行使数量を入力します。
- ⑥ 転売・買戻/権利行使数量を入力後、「送信」操作を行います。
- ⑦ 入力が正常に受け付けられると、応答表示欄に、当該銘柄についての入力内容及び入力の結果算出された権利行使及び利益当数量を考慮していない当日進玉残高が応答表示されます。また、「転売・買戻/権利行使入力結果通知」が出力されます。

※ 入力対象銘柄の表示条件

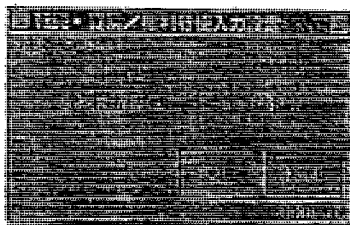
- ◆ 当日、問合せ時点までに自己・委託別に自社に約定のある権利行使価格
- ◆ 前日買戻玉残高のある権利行使価格（権利行使日のみの条件）



当該ウィンドウを表示させることにより、問合せ時点までの自社の自己・委託別の当日の約定数量を知ることができます。

11-4-1.2 株券オプション取引への入力

- ① メインウィンドウのメニューバーから「転売」→「1 転売・買戻/権利行使入力」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから転売・買戻/権利行使入力を行う銘柄の属するオプション市場（「5 株券OP」）を選択します。
- ③ 原株の銘柄コードを入力する「転売・買戻/権利行使入力設定ウィンドウ」が表示されますので、「原株コード」入力欄に当該株券オプションの原株コードを入力し、「送信」操作を行うことにより、当該原株にかかる株券オプションの「転売・買戻/権利行使入力ウィンドウ」が表示されます。



④ 以降の入力操作は、株券オプション以外のオプション取引と同じです。

※ 受渡単位の調整が行われた限月が存在する場合には、通常の受渡単位の限月の後に受渡単位が調整された限月（ブット・コール別）のタブが限月順かつブット・コール順に表示されますので、当該限月のタブを選択して入力を行って下さい。



11-4-2 転売・買戻／権利行使入力ウィンドウ

限月（プット／コール別）選択タブ
入力を行う権利行使価格の属する限月（プット／コール別）のタブを選択します。

問合せ応答時刻

130(自己) 120 67 824 125

★ 131(委託) 0 10 0 17 12 12 27 23 12 0 12

入力対象銘柄
表示条件に合致した権利行使価格（自己・委託）別を表示します。

入力内容の応答表示
入力した転売・買戻数量を応答表示します。

入力対象銘柄の約定数量
当日約定のある限月（自己・委託別）の問合せ時点までの約定数量を表示します。

自動権利行使番号
権利行使最終日に自動権利行使対象行使価格に表示します。

前日・当日建玉残高
上段に前日建玉残高を表示します。
（前日建玉に翌日訂正があった場合「*」を表示します。）
下段に転売・買戻／権利行使数量入力により算出された権利行使・割当前の当日建玉残高を応答表示します。

転売・買戻／権利行使数量入力欄
入力を行う権利行使価格、自己・委託の別及び転売・買戻／権利行使数量を入力します。
限月及び自己・委託の別については、先物の転売・買戻入力ウィンドウと同様に、応答表示欄のダブルクリックにより自動設定できます。

- ◆ 新規入力時に転売・買戻数量入力欄を未入力で送信した場合は、ゼロ入力とみなします。
- ◆ 訂正入力時に転売・買戻数量入力欄を未入力で送信した場合は、入力項目のみが訂正され、未入力項目は、既に入力されている数量が有効となります。
- ◆ 転売・買戻数量について当日分と既存分の各算入力を行う場合は、当該合算欄を「既存分入力欄」に入力して下さい。
 - 「11-1-2 転売・買戻数量の当日分・既存分の各算入力」
- ◆ 権利行使最終日の自動権利行使対象行使価格の権利行使数量の入力は、通常と異なりますので、ご注意ください。
 - 「11-1-3 各オプション取引における権利行使」

◆ 権利行使最終日における自動権利行使対象行使価格についても、権利行使数量入力時には、「実際の権利行使数量」が応答表示されます。

11-5 対応オプション取引の権利行使分に伴う先物の転売・買戻入力

先物取引の対応する先物オプション取引における権利行使・割当にかかる転売・買戻数量を入力します。

11-5-1 操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「連玉」→「2. 権利行使分転売・買戻入力」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから転売・買戻入力を行う銘柄の属する先物市場（「1. 債券先物市場」）を選択することにより、当該市場の「転売・買戻（オプション取引権利行使分）入力ウィンドウ」が表示されます。
- ③ カーソルが、「転売・買戻数量」入力欄の「限月」入力欄に表示されますので、応答表示欄に表示されている入力対象銘柄（※）の限月及び自己・委託の別を入力後、転売・買戻数量を入力します。
- ④ 転売・買戻数量を入力後、「送信」操作を行います。
- ⑤ 入力が正常に受け付けられると、応答表示欄に、当該銘柄についての入力内容及び入力の結果算出された当日理玉残高が応答表示されます。また、「転売・買戻（オプション取引権利行使分）入力結果通知」が出力されます。

※ 入力対象銘柄の表示条件

- ◆ 対応する長国先物オプション取引において自己・委託別に自社の権利行使または自社への割当のあった限月

11-5-2 転売・買戻（オプション取引権利行使分）の入力ウィンドウ

証券種別選択タブ
長国先物取引のタブを表示します。

問合せ応答時刻

012(自己)					389	264
012(委託)	0	10	12	25	139	69
					141	84

入力対象銘柄
長国先物オプション取引において前日、自社に権利行使及び割当のあった限月（自己・委託別）を表示します。

入力内容の応答表示
入力した転売・買戻数量を応答表示します。

入力対象銘柄の権利行使+割当数量
前日権利行使・割当のあった限月（自己・委託別）の権利行使及び割当にかかる売/買数量を表示します。

権利行使前・権利行使後の建玉残高数量
上段に権利行使・割当数量に伴う転売・買戻入力前の前日の建玉残高を表示します。
下段に権利行使・割当に伴う転売・買戻数量入力により算出された前日の建玉残高を表示します。

転売・買戻（オプション取引権利行使分）数量入力欄
入力を行う限月、自己・委託の別及び対応する長国先物オプション取引の権利行使及び割当にかかる長国先物取引における転売・買戻数量を入力します。
限月及び自己・委託の別については、先物の転売・買戻入力ウィンドウと同様に、応答表示欄のダブルクリックにより自動設定できます。

- ◆ 新規入力時に転売・買戻数量入力欄を未入力で送信した場合は、ゼロ入力とみなします。
- ◆ 訂正入力時に転売・買戻数量入力欄を未入力で送信した場合は、入力項目のみが訂正され、未入力項目は、既に入力されている数量が有効となります。

11-6 転売・買戻等入力終了指示

本所による各参加者の転売・買戻数量等の入力業務の進捗状況把握のため、当日必要な転売・買戻数量等の入力終了した場合には、市場ごとに「入力終了指示」を行ってください。

11-6-1 操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「進玉」→「3 転売・買戻/権利行使入力終了指示」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから市場を選択することにより、先物市場の場合は、「転売・買戻入力指示ウィンドウ」が、オプション市場の場合は、「転売・買戻/権利行使入力終了指示ウィンドウ」が表示されます。
- ③ 「送信」操作を行います。



- ④ 終了指示が正常に受け付けられると、メッセージ表示欄に先物市場の場合は「転売・買戻入力終了受付」、オプション市場の場合は「転売・買戻/権利行使入力終了受付」のメッセージを表示されます。



- ◆ 入力終了指示を行うと、入力対象銘柄の未入力箇所一括して「0」入力されたものとして扱います。ただし、当該一括「0」入力にかかる「入力結果通知」は出力されません。
- ◆ 入力終了指示を行った後も、入力受付時間内であれば、転売・買戻等数量の「訂正入力」を行うことが可能です。
- ◆ 入力終了指示を行った後に、再度、同一市場に入力終了指示を行うとエラーとなります。ただし、無効通知が出力された場合は、当該入力無効銘柄に対する再入力終了後、当該銘柄の属する市場に対して再度、入力終了指示を行ってください。

11-7 委託分取引証拠金基礎建残入力

委託分の取引証拠金算定基礎建玉残高¹¹⁾（各参加者の顧客ごとの建玉残高のネットの全顧客分の合計（いわゆるネットのグロス））を入力します。

※証拠金差入れ日時等の短縮化が実施されるまでの間は、使用しません。

11-8 委託分取引証拠金基礎建残入力終了指示

本所による各参加者の委託分の取引証拠金算定基礎建玉残高の入力進捗の進捗状況把握のため、当日必要な委託分の取引証拠金算定基礎建玉残高の入力が終了した場合には、市場ごとに「入力終了指示」を行ってください。

※証拠金差入れ日時等の短縮化が実施されるまでの間は、使用しません。

¹¹⁾ 取引証拠金算定基礎建玉残高は、取引証拠金所要額算出の元となる建玉残高のことです。自己分の取引証拠金算定基礎建玉残高は、転売・買戻数量等の入力の結果算出された自己分の建玉残高からシステムが算出します。委託分の取引証拠金算定基礎建玉残高（各参加者の顧客ごとの建玉残高のネットの全顧客分の合計（いわゆるネットのグロス））を、上記の委託分取引証拠金算定基礎建残入力ウィンドウ又はシステム間接続により入力します。

第12章 建玉残高の問合せについて

12-1 先物取引の「建玉残高表（自社）」

先物取引の自社の建玉残高を表示します。

12-1-1 操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「建玉」→「6 建玉残高表（自社）」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから「建玉残高表（自社）」問合せを行う先物市場（「1 債券先物」又は「3 指数先物」）を選択することにより、当該市場の「建玉残高表（自社）問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。
- ③ 最初は、選択した市場のうち先頭の証券種別のタブが表示されますので、自社の建玉残高を問い合わせたい証券種別のタブを選択します。

12-1-2 先物取引の「建玉残高表 (自社)」

証券種別選択タブ
問合せを行う証券種別のタブの選択します。

問合せ応答時刻

103(自己)	1262	1295	1063	1196
(委託)	336	287	309	169
106(自己)	20	*14	25	*24
(委託)	5	*5	5	*5
109(自己)	1	1	6	5
(委託)	0	0	0	0
112(自己)	0	0	0	0
(委託)	0	0	0	0
203(自己)	0	0	0	0
(委託)	0	0	0	0

限月
すべての限月を限月期に自己・委託別に表示します。

参考欄
参考として、取引終了限月について、最終建玉残高を取引終了日の翌日から、受渡（最終決済）期日の前日まで表示します。

当日建玉残高
建玉残高系計後に自社の当日死・買建玉残高を表示します。

前日建玉残高
自社の前日死・買建玉残高を表示します。

前日建玉に翌日訂正があった場合、先頭に「*」を表示します。

当日取引証拠金算定基礎建玉残高
自社の当日取引証拠金算定基礎建玉残高を表示します。

前日取引証拠金算定基礎建玉残高
自社の前日取引証拠金算定基礎建玉残高を表示します。

前日取引証拠金算定基礎建玉残高に翌日訂正があった場合、先頭に「*」を表示します。

※取引証拠金算定基礎建玉残高は、証拠金入金日時等の短縮化が実施されるまでの間は表示されません。

12-2 オプション取引の「建玉残高表（自社）」

オプション取引の自社の建玉残高等を表示します。

12-2-1 操作方法

12-2-1.1 株券オプション取引以外のオプション取引の「建玉残高表（自社）」問合せ

- ① メインウィンドウのメニューバーから「建玉」→「6 建玉残高表（自社）」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから自社の建玉残高問合せを行うオプション市場（「2 債券先物OP」又は「4 指数OP」）を選択します。
- ③ 証券種別を選択するサブメニューリストから自社の建玉残高問合せを行う証券種別（「1 長国先物OP」又は「1 TOPIX OP」）を選択することにより、当該証券種別の「建玉残高（自社）問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。
- ④ 最初は、選択した証券種別のうち先頭の限月（ブット）のタブが表示されますので、自社の建玉残高問合せを行う限月（ブット/コール別）のタブを選択します。

12-2-1.2 株券オプション取引の「建玉残高表（自社）」問合せ

- ① メインウィンドウのメニューバーから「建玉」→「5 建玉残高表（自社）」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから自社の建玉残高問合せを行うオプション市場（「5 株券OP」）を選択します。
- ③ 原株の銘柄コードを入力する「建玉残高表（自社）問合せウィンドウ」が表示されますので、「原株コード」入力欄に当該株券オプションの原株コードを入力し、「送信」操作を行うことにより、当該原株にかかる株券オプションの「建玉残高表（自社）問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。



- ④ 最初は、選択した証券種別のうち先頭の限月（ブット）のタブが表示されますので、自社の建玉残高問合せを行う限月（ブット/コール別）のタブを選択します。

12-2-2 オプション取引の「建玉残高表（自社）」

参考値
権利行使最終日の建玉残高計算後に「[参考]」
のメッセージを表示します。

限月（ブット／コール別）選択タブ
問合せを行う限月（ブット／コール別）
のタブを選択します。

建玉残高表 (自社)

問合せ応答時刻

126(自己)	0	0	0	0	0	0
(委託)	0	0	0	0	0	0
127(自己)	0	0	0	0	0	0
(委託)	0	0	0	0	0	0
128(自己)	0	0	0	0	0	0
(委託)	0	0	0	0	0	0
129(自己)	0	0	0	0	0	0
(委託)	0	0	0	0	0	0
130(自己)	0	0	24	24	17	17
(委託)	0	0	2	2	4	4
☆ 131(自己)	0	0	52	*57	42	*66
(委託)	0	0	18	*18	10	*10
☆ 132(自己)	159	154	0	159	0	154
(委託)	30	167	0	30	0	167
☆ 133(自己)	5	7	0	5	0	7
(委託)	4	8	0	4	0	8

権利行使価格
すべての権利行使
価格を権利行使価
格順に自己・委託
別に表示します。

自動権利行使号
権利行使最終日に自
動権利行使対象行使価
格に表示します。

割当数量
抽選処理完了後に、当日の割当数量を表示します。
当日が権利行使日でない場合は、「-」を表示します。

権利行使数量
抽選処理完了後に、当日の権利行使数量を表示します。
当日が権利行使日でない場合は、「-」を表示します。

当日建玉残高
抽選処理完了後に、当日の建玉残高を表示します。

前日建玉残高
前日の建玉残高を表示します。
前日建玉に翌日訂正があった場合、先頭に「*」を表示します。

当日取引証拠金算定基礎建玉残高
自社の当日取引証拠金算定基礎建玉残高を表示します。

前日取引証拠金算定基礎建玉残高
自社の前日取引証拠金算定基礎建玉残高を表示します。
前日取引証拠金算定基礎建玉残高に翌日訂正があった場合、先頭に「*」を表示します。

※取引証拠金算定基礎建玉残高は、証拠金入金日時等の短縮化が
実施されるまでの間は表示されません。

12-3 先物取引の「建玉残高表」

先物取引の全社分の建玉残高を表示します。

12-3-1 操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「建玉」→「1 建玉残高表」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから「建玉残高表」問合せを行う先物市場（「1 債券先物」又は「3 指致先物」）を選択することにより、当該市場の「建玉残高表問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。
- ③ 最初は、選択した市場のうち先頭の証券種別のタブが表示されますので、建玉残高を問い合わせたい証券種別のタブを選択します。

12-3-2 先物取引の「建玉残高表」

証券種別選択タブ
問合せを行う証券種別のタブの選択します。

問合せ応答時刻

前日比較
当日と前日の建玉残高の比較を表示します。

限月
すべての限月を限月順に表示します。

103	232065	231926	739
106	3934	*3875	59
109	19	20	-1
112	0	0	0
203	0	0	0

参考欄
参考として、取引終了限月について、最終建玉残高を取引最終日の翌日から、受渡（最終決済）期日の前日まで表示します。

当日建玉残高
建玉残計完了後に、当日の建玉残高を表示します。
前日建玉残高
前日の建玉残高を表示します。
前日建玉に翌日訂正があった場合、先頭に「*」を表示します。

12-4 オプション取引の「建玉残高表」

オプション取引の全社分の建玉残高等を表示します。

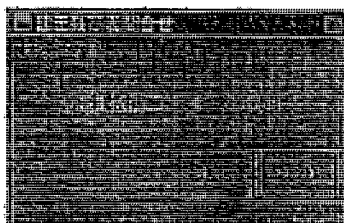
12-4-1 操作方法

12-4-1.1 株券オプション取引以外のオプション取引の「建玉残高表」問合せ

- ① メインウィンドウのメニューバーから「建玉」→「7 建玉残高表」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから建玉残高問合せを行うオプション市場（「2 債券先物OP」又は「4 指数OP」）を選択します。
- ③ 証券種別を選択するサブメニューリストから自社の建玉残高問合せを行う証券種別（「1 長田先物OP」又は「1 TOPIX OP」）を選択することにより、当該証券種別の「建玉残高問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。
- ④ 最初は、選択した証券種別のうち先頭の限月（ブット）のタブが表示されますので、建玉残高を問い合わせたい限月（ブット/コール別）のタブを選択します。

12-4-1.2 株券オプション取引の「連玉残高表」問合せ

- ① メインウィンドウのメニューバーから「連玉」→「2 連玉残高表」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから連玉残高問合せを行うオプション市場（15 株券OP）を選択します。
- ③ 原株の銘柄コードを入力する「連玉残高表問合せウィンドウ」が表示されますので、「原株コード」入力欄に当該株券オプションの原株コードを入力し、「送信」操作を行うことにより、当該原株にかかる株券オプションの「連玉残高表問合せ応答ウィンドウ」が表示されます。



- ④ 最初は、選択した証券種別のうち先頭の限月（ブット）のタブが表示されますので、連玉残高を問い合わせたい限月（ブット/コール別）のタブを選択します。

12-4-2 オプション取引の「建玉残高表」

参考欄
権利行使最終日の建玉集計完了後に「[参考]」のメッセージを表示します。

限月（プット/コール別）選択タブ
閉合せを行う限月（プット/コール別）のタブを選択します。

権利行使価格
すべての権利行使価格を権利行使価格順に表示します。

前日比較
.当日と前日の建玉残高の比較を表示します。

126	0	0	0	0	0
127	0	0	0	0	0
128	0	2	2	2	0
129	0	45	45	45	0
130	0	153	154	154	-1
131	0	220	230	230	-10
132	429	0	*380	380	-380
133	102	0	100	100	-100
30	0	5	0	0	5

自動権利行使行号
権利行使最終日に自動権利行使対象行使価格を表示します。

権利行使数量
建玉集計完了後に、当日の権利行使数量を表示します。
当日が権利行使日でない場合は、「-」を表示します。
当日建玉残高
建玉集計完了後に、当日の建玉残高を表示します。
前日建玉残高
前日の建玉残高を表示します。
前日建玉に翌日訂正があった場合、先頭に「*」表示します。

第13章 通知について

13-1 出力通知の種類について

先物/オプション売買システムにおいては、以下の通知が出力されます。

出力通知		出力タイミング
1	注文受付通知	新規注文入力時
2	取消結果通知	取消注文入力時、取消処理終了後
3	変更結果通知	変更注文入力時、変更処理終了後
4	エラー通知 (新規・取消・変更一括)	各注文が入力時に中央システムでの受付時等にエラーとなった時
5	約定成立通知	約定成立時
6	失効注文通知	執行条件付き注文が当該執行条件時に取引が不成立となり、注文の効力が失効した時
7	ストップ値注文リスト	当日立会終了時の約定値段がストップ値段となった場合に、自社注文がストップ配分の対象となった時
8	大口対当銘柄リスト	当日立会終了時
9	約定状況プリント	各立会終了時
10	転売・買戻入力結果通知 (訂正含む)	転売・買戻数量入力時
11	転売・買戻/権利行使入力結果通知 (訂正含む)	転売・買戻/権利行使数量入力時
12	転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力結果通知 (訂正含む)	対応するオプション取引の権利行使分の転売・買戻数量入力時
13	転売・買戻入力無効通知	入力済みの当該数量が無効となった時
14	転売・買戻/権利行使入力無効通知	入力済みの当該数量が無効となった時
15	転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力無効通知	入力済みの当該数量が無効となった時
16	建玉残高通知 (自社)	建玉累計完了後又は抽選処理完了後
17	建玉残高通知	建玉累計完了後
18	利当通知	抽選処理完了後
19	委託分取引証拠金算定基礎建玉高入力結果通知 (訂正含む)	委託分取引証拠金算定基礎建玉高入力時
20	委託分取引証拠金算定基礎建玉高入力無効通知	入力済みの委託分取引証拠金算定基礎建玉高が無効となった時
21	取引証拠金算定基礎建玉残高通知 (自社)	取引証拠金算定基礎建玉残高累計完了後

※ 「7」～「17」及び「19」～「21」の通知については、旧端末には出力しません。(再送時含む)

※ 「19」～「21」の通知については、証拠金等の控入れ期限の短縮化が実施されるまで出力しません。

13-2 通知出力先について

13-2-1 通知の基本的な出力先

各通知の基本的な出力先は、通知の種別により以下ようになります。

出力通知		通知出力先
1	注文受付通知	当該注文を入力した入力端末の属する端末サーバ
2	取消結果通知	
3	変更結果通知	
4	エラー通知 (新規・取消・変更・一括)	
5	約定成立通知	当該注文を入力した入力端末の属する端末サーバ ◆ 当該注文の注文内容を変更した場合、入力端末は以下の通りとします。 ◇ 注文の優先順位を変更した場合 (値段変更・引条件がからむ執行条件変更) → 変更注文入力端末 ◇ 注文の優先順位を変更しない場合 (上記以外の変更) → 被変更注文入力端末
6	失効注文通知	
7	ストップ直注文リスト	データサーバ
8	大口対当銘柄リスト	
9	約定状況プリント	
10	転売・買戻入力結果通知 (訂正含む)	当該数量を入力した入力端末の属する端末サーバ
11	転売・買戻/権利行使入力結果通知 (訂正含む)	
12	転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力結果通知 (訂正含む)	
13	転売・買戻入力無効通知	
14	転売・買戻/権利行使入力無効通知	
15	転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力無効通知	無効となった数量を入力した入力端末の属する端末サーバ
16	建玉残高通知 (自社)	データサーバ
17	建玉残高通知	
18	割当通知	
19	委託分取引証拠金算定基礎建玉残高入力結果通知 (訂正含む)	当該数量を入力した入力端末の属する端末サーバ
20	委託分取引証拠金算定基礎建玉残高入力無効通知	無効となった数量を入力した入力端末の属する端末サーバ
21	取引証拠金算定基礎建玉残高通知 (自社)	データサーバ

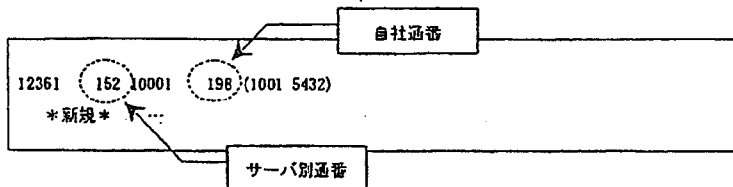
13-2-2 同一通知の複数出力

- ◆ 上記の通知のうち「1」～「6」、「11」～「15」及び「18」～「20」のクライアントからの入力にかかる通知については、上記の出力先の他にデータサーバ（複数の端末サーバがある場合）及び仮想サーバ（通知出力先指定（仮想）において設定した仮想サーバ）の最大3ヶ所に対して同一内容の通知を出力します。
- ◆ また、「7」～「9」、「16」～「17」及び「21」の一方送信通知についても、上記の出力先の他に仮想サーバ（中央システムにおいて設定した仮想サーバ）のに対して同一内容の通知を出力します。
- ◆ また、一方送信通知のうち「18」（割当通知）については、上記の出力先の他に仮想サーバ及び旧端末（PTP設置TCE）の最大3ヶ所に対して同一内容の通知を出力します。

13-3 通知通番について

各通知には、市場単位かつ通知グループごとに通知の出力順番を示す通番が付加されています。

通知通番には、「自社通番」と「サーバ別通番」があり、それぞれ各通知のヘッダー部に出力されます。



◆ 同一通知通番体系となる通知グループ

通知グループ	通知
◆ 注文受付系通知グループ	注文受付通知・エラー通知
◆ 約定成立系通知グループ	約定成立通知・取消結果通知・変更結果通知 失効注文通知・ ストップ権注文リスト・大口対当銘柄リスト
◆ 約定状況プリント通知グループ	約定状況プリント
◆ 転売・買戻系通知グループ	転売・買戻入力結果通知 (訂正・無効含む) 転売・買戻/権利行使入力結果通知 (訂正・無効含む) 転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力結果通知 (訂正・無効含む) 委託分取引証拠金算定基礎建玉残高入力結果通知 (訂正・無効含む)
◆ 建玉残高系通知グループ	建玉残高通知 (自社)・建玉残高通知 取引証拠金算定基礎建玉残高通知
◆ 割当通知グループ	割当通知

13-3-1 自社通番

「市場別」、「通知グループ別」、かつ「参加者別」に付番される通番です。

なお、各通知は、同一内容のものが複数の出力先 (端末サーバ・仮想サーバ・データサーバ) に出力される場合、自社通番は同一の番号が付番されます。

13-3-2 サーバ別通番

「市場別」、「通知グループ別」かつ「出力先サーバ別」に付番される通番です。

なお、各通知は、同一内容のものが複数の出力先 (端末サーバ・仮想サーバ・データサーバ) に出力される場合、自社通番とは異なり、出力するサーバ単位に異なる番号が付番されます。

13-4 注文入力にかかる通知

13-4-1 注文受付通知

新規注文が中央システムに受け付けられた場合に出力されます。

<ページノットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧													
12361	152	10001	198	(1001	5432)															
新規	長	園	012	(163120001)	引	売	13028	10	解	9:35(241/		1234567)	自						
⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳									

<レシートプリンタ>

12361	152	10001	198	(1001	5432)															
新規	長	園	012	(163120001)																

項目	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 出力する端末サーバ番号 ◆ 他のサーバの通知出力を代行している場合は、代行元のサーバ番号
2	ダブリ/再送符号	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 通常はスペース。 ◆ 障害回復時、代行指示及び代行解除時に通知が重複している可能性のある場合に、ダブリ符号「重」 ◆ 再送要求により再出力された通知に再送符号「再」
3	サーバ別通番	市場単位、通知種別単位、出力先サーバ単位に中央システムが付加する番号
4	自社コード	自社コード
5	自社通番	市場単位、通知種別単位、参加者単位に中央システムが付加する番号
6	入力端末番号	当該注文を入力した入力端末番号
7	ユーザID	注文を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	入力通番	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 通常はスペース ◆ 仮想サーバから(システム間接続)から入力した注文にかかる通知を出力する場合に、当該注文の入力通番
9	データ種別	新規注文の受付通知であることを示す「*新規*」
10	銘柄名	銘柄名

第13章 通知について

項目	出力項目	出力内容
11	銘柄コード	証券コード協議会が設定した当該銘柄の9桁の統一識別コード
12	執行条件	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 寄付条件:「寄」 ◆ 引け条件:「引」 ◆ 不成条件:「不」 ◆ 一括注文入力A方式:「7」 ◆ 一括注文入力B方式:「9」 ◆ 寄付条件付き一括注文入力A:「2」 ◆ 引け条件付き一括注文入力A:「4」 ◆ 不成条件付き一括注文入力A:「6」
13	売/買	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 売注文:「売」 ◆ 買注文:「買」
14	注文値段	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 指値:「入力値段」 ◆ 成行:「成行」
15	注文数量	注文数量
16	限戻解除符号	当該新規注文入力時に入力数量限度解除指示を行った場合に、限度解除符号「解」
17	受付時刻	当該新規注文が中央システムに受け付けられた時刻(24時表示)
18	注文番号	市場単位に注文受付順に中央システムで付加される番号
19	社内番号	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 当該新規注文入力時に入力された社内処理用の番号 ◆ 入力されていない場合はスペース
20	管理項目	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自己注文:「自」 ◆ 委託注文:「委」

13-4-2 約定成立通知

スプレッド取引以外の取引において約定が成立した場合に出力されます。

<ページ/ドットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦															
12361	152	10001	198	(1001	5432)																
約定 長国 P012-130 (113123001) 売 112 株 10P(残 10) 9:35 B2(13/																					
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳									

1234567890) 委
② ②

<レシートプリンタ>

12361	152	10001	198	(1001	5432)
約定 長国 P012-130 (113123001)					
売	112	株	10P(残	10)	9:35
B2(13/				1234567890) 委

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	入力増末番号	約定した注文を入力した入力増末番号
7	ユーザID	約定した注文を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	データ種別	約定成立通知であることを示す「*約定*」
9	銘柄名	約定した注文内容
10	銘柄コード	
11	売/買	◆ 売約定:「売」 ◆ 買約定:「買」
12	対当符号	ザラバ中の同一参加者間の対当売買(板寄せ中除く)について、約定数量が売・買同数量の場合は両方、異なる場合は少ない方に対当符号「#」

第13章 通知について

項番	出力項目	出力内容
13	注文値段	約定値段
14	値段符号	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 始値：「始」 ◆ ザラバ振寄せ値段：「振」 ◆ 終値又は終値かつ始値：「終」 ◆ 表示気配逆転（同値段の場合も含む）で成立した終値：「G」 ◆ 債券先物取引以外の取引において当日立会終了時における約定値段がストップ値段となり、ストップ配分される場合、ストップ高のときに買注文に、ストップ安のときに売注文に「S」
15	約定数量	約定数量
16	出来符号	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 内出来：「P」 ◆ 内出来後の残数量が約定完了：「E」
17	残注文数量	約定した注文の当該約定後の残注文数量
18	約定時刻	約定成立した時刻（24時表示）
19	約定番号	市場単位に約定成立順に中央システムで付加される番号
20	注文番号	約定した注文内容
21	社内番号	
22	管理項目	

13-4-3 スプレッド約定成立通知

スプレッド取引において約定が成立した場合に出力されます。

<ページ/ドットプリンタ>

```

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
12362 10 10001 13 (1003 5432)
*約定* TPX SPO12-103 (163120105) 売 -10 100P(残 200) 9:35 82( 13/
⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱
*** TOPIX 012 (163120005) 売 13240 / TOPIX 103 (164030005) 買
⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚
    
```

```

1234567890) 自
⑲ ㉑
13230 ***
㉒ ㉓ ㉔
    
```

<レシートプリンタ>

```

12361 152 10001 198 (1001 5432)
*約定* TPX SPO12-103 (163120105)
売 -10 100P(残 200) 9:35
82( 13/ 1234567890)自
TOPIX 012 (163120005)
売 13240
TOPIX 103 (164030005)
買 13230
    
```

項目	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	入力端末番号	「約定成立通知」に同じ
7	ユーザID	
8	データ種別	
9	銘柄名	
10	銘柄コード	
11	売/買	

第13章 通知について

項目	出力項目	出力内容
12	対当符号	
13	注文値段	
14	値段符号	
15	約定数量	
16	出来符号	
17	注文注文数量	
18	約定時刻	
19	約定番号	
20	注文番号	
21	社内番号	
22	管理項目	
期近限月情報		
23	銘柄名	期近限月の銘柄名
24	銘柄コード	期近限月の銘柄コード
25	売/買	期近限月における売買区分
26	対当符号	<ul style="list-style-type: none"> ◆ TOPIX先物スプレッド取引の場合は、スペース ◆ 長国先物スプレッド取引の場合は、個別限月の板上の注文と約定したときの同一参加者間の対当売買(板寄せ除く)について、約定数量が売・買同数量の場合及び少ない場合に対当符号「#」
27	建値	スプレッド取引が成立した時の期近限月における建値
28	約定番号	<ul style="list-style-type: none"> ◆ TOPIX先物スプレッド取引の場合は、スペース ◆ 長国先物スプレッド取引の場合は、個別限月の板上で約定したときに約定成立番号
期先限月情報		
29	銘柄名	期先限月の銘柄名
30	銘柄コード	期先限月の銘柄コード
31	売/買	期先限月における売買区分
32	対当符号	<ul style="list-style-type: none"> ◆ TOPIX先物スプレッド取引の場合は、スペース ◆ 長国先物スプレッド取引の場合は、個別限月の板上の注文と約定したときの同一参加者間の対当売買(板寄せ除く)について、約定数量が売・買同数量の場合及び少ない場合に対当符号「#」
33	建値	スプレッド取引が成立した時の期先限月における建値
34	約定番号	<ul style="list-style-type: none"> ◆ TOPIX先物スプレッド取引の場合は、スペース ◆ 長国先物スプレッド取引の場合は、個別限月の板上で約定したときに約定成立番号

13-4-4 取消結果通知

取消注文入力後、取消処理終了後出力されます。

<ページ/ドットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦											
12362	3	10001	4	(1005 9999)													
取消	TPX	PO12-1300	(133123005)	不売	05	10	10:43	(13/		1003)	自					
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱							
		(1006 1111)				0	10:58										
		⑲	⑳					㉑	㉒								
									8)	(内出来	2)						

<レシートプリンタ>

12362	3	10001	4	(1005 9999)													
取消	TPX	PO12-1300	(133123005)	不売	05	10	10:43	(13/		1003)	自					
		(1006 1111)				0	10:58										

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
被取消注文内容		
6	入力端末番号	被取消注文を入力した入力端末番号
7	ユーザID	被取消注文を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	データ種別	取消結果通知であることを示す「*取消*」
9	銘柄名	被取消注文内容
10	銘柄コード	
11	執行条件	
12	売/買	
13	注文値段	
14	注文数量	
15	受付時刻	

項番	出力項目	出力内容
16	注文番号	
17	社内番号	
18	管理項目	
取消注文・取消結果内容		
19	入力端末番号	取消注文を入力した入力端末番号
20	ユーザID	取消注文を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
21	残注文数量	「0」
22	取消時刻	中央システムで取消処理が行われた時刻
23	取消メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「全数取消」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 被取消注文の全数量が指定通り取消処理された場合 ◆ 「一部取消」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 被取消注文に内出来数量（約定済み数量）があるため一部数量のみ取消処理された場合 ◆ 「一部取消不能」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 被取消注文の一部数量について取消が認められなかった場合 ◆ 「全数約定済」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 被取消注文が、既に全数量約定済みの場合 ◆ 「始値決定済」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 寄付条件付き注文を始値決定後に取り消そうとした場合
24	取消数量	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 取り消された数量 ◆ 該当数量がない場合はスペース
25	約定済み数量	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 内出来数量（約定済み数量） ◆ 該当数量がない場合はスペース
26	取消不能数量	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 取消不能数量 ◆ 該当数量がない場合はスペース

項番	出力項目	出力内容
16	注文番号	
17	社内番号	
18	管理項目	
変更注文・変更結果内容		
19	入力端末番号	変更注文を入力した入力端末番号
20	ユーザID	変更注文を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
21	変更後執行条件	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 変更後の執行条件 ◆ 条件抹消の場合は、「消」 ◆ 変更しなかった場合及び変更できなかった場合は、スペース
22	変更後注文値段	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 変更後の注文値段 ◆ 変更しなかった場合及び変更できなかった場合は、スペース
23	変更後注文数量	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 変更後の値段における注文数量、又は数量削減後の注文数量 ◆ 該当数量がない場合は、「0」
24	取消時刻	中央システムで変更処理が行われた時刻
25	変更後社内番号	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 変更後の社内番号 ◆ 変更しなかった場合及び変更できなかった場合は、スペース
26	変更後管理項目	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 変更後の管理項目(自己・委託の別) ◆ 変更しなかった場合及び変更できなかった場合は、スペース
27	取消メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「全数変更」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 被変更注文の全数量が指定通り変更処理された場合 ◆ 「一部変更」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 被取消注文に内出来数量(約定済み数量)があるため一部数量のみ変更処理された場合 ◆ 「一部変更不能」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 被変更注文の一部数量について変更が認められなかった場合 ◆ 「全数約定済」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 被変更注文が、既に全数量約定済みの場合 ◆ 「始値決定済」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 寄付条件付き注文を始値決定後に変更しようとした場合
28	削減数量	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 削減数量 ◆ 該当数量がない場合はスペース
29	約定済み数量	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 内出来数量(約定済み数量) ◆ 該当数量がない場合はスペース
30	削減不能数量	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 削減不能数量 ◆ 該当数量がない場合はスペース

13-4-6 失効注文通知

執行条件付き注文が、当該執行条件時に取引が不成立となった場合に出力します。

<ページ/ドットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
12361	54	10001	87	(1001	5432)	不成立	(ザラバ引け)											
失効	兵国	012	(163120001)	引売	成行	250	14:33	(1254/							10076)	自	

<レシートプリンタ>

12361	54	10001	87	(1001	5432)	不成立	(ザラバ引け)
失効	兵国	012	(163120001)	引売	成行	250	14:33
				(1254/		10076)自

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	入力端末番号	失効した注文を入力した入力端末番号
7	ユーザID	失効した注文を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	失効理由メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「不成立」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 取引不成立のため失効した場合 ◇ 仮取立後のため約定不成立となり失効した場合 ◇ 同時注文の順位により約定不成立となり失効した場合 ◆ 「不成立 (内出来数量)」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 同時注文の順位により注文一部が約定不成立となり失効した場合 ◆ 「不成立 (ザラバ引け)」 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 立会終了時の約定価格を定める取引がなく失効した場合
9	データ種別	失効注文通知であることを示す「*失効*」
10	銘柄名	失効注文内容
11	銘柄コード	
12	執行条件	

第13章 通知について

項番	出力項目	出力内容
13	売/買	
14	注文値段	
15	失効注文数量	
16	受付時刻	
17	注文番号	
18	社内番号	
19	管理項目	

※失効注文通知の出力優先順位は、①売>買、②成行>指値、③高い値段>安い値段、④小さい注文番号>大きい注文番号の順です。

13-4-7 エラー通知

入力された注文が中央システムでのチェックによりエラーとなった場合には、エラー通知が出力されます。

エラー通知には、中央システムにおけるエラーの検出段階により、「エラー-B」と「エラー-C」に区分して出力されます。

- ◆ 「エラー-B」: 中央システムの注文受付時にエラーが検出された場合
- ◆ 「エラー-C」: 中央システムのデータ処理時にエラーが検出された場合

※ 「エラー-C」は注文受付後、データ処理時にエラーが検出されますので、新規注文については、「注文受付通知」出力後に当該注文にかかる「新規エラー-C通知」が出力されます。

13-4-7.1 新規エラー通知

入力された新規注文が中央システムのチェックによりエラーとなった場合に出力します。

<ページ/ドットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
12362	51	10001	89	(1009	0000)		
(新規エラー B 制限値オーバー)				TOPIX 012	(163120001)	引売	13028
						100	解
						⑬	⑭

(/	10076)	自
⑮		⑯	⑰

<レシートプリンタ>

12362	51	10001	89	(1009	0000)
(新規エラー B 制限値オーバー)					
				TOPIX 012	(163120005)
				引売	13028
					100
					解
				(/
					10076)
					自

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	

系13章 通知について

項番	出力項目	出力内容
6	入力端末番号	エラーとなった新規注文を入力した入力端末番号
7	ユーザID	エラーとなった新規注文を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	入力通番	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 通常はスペース ◆ 仮想サーバから（システム間接続）から入力した注文にかかるエラー通知を出力する場合に、当該注文の入力通番
9	データ種別	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新規注文のエラー通知であること及びエラー区分を示す「新規エラーB」又は「新規エラーC」 ◆ ただし、「一括注文入力ウィンドウ」から入力した注文がエラーBとなった場合にのみ「一注エラーB」
10	エラーメッセージ	エラー内容を示すエラーメッセージ ※くエラーメッセージ一覧>参照
11	銘柄名	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 新規注文入力時に指定された内容 ◆ 文番号について、 <ul style="list-style-type: none"> ◇ エラーBの場合、スペース ◇ エラーCの場合、注文番号
12	銘柄コード	
13	執行条件	
14	売/買	
15	注文種別	
16	注文数量	
17	履歴解除符号	
18	注文番号	
19	社内番号	
20	管理項目	

13-4-7.2 取消エラー通知

入力された取消注文が中央システムのチェックによりエラーとなった場合に出力します。

<ページ/ドットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
12362	54	10001	97	(1003	0000)	
(取消エラー C 該当注文無効) TPX C012-1325 (143123205) 売 (100						
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭

⑮

<レシートプリンタ>

12362	54	10001	97	(1003	0000)
(取消エラー C 該当注文無効)					
TPX C012-1325 (143122505)					
売					
(100/)					

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	入力端末番号	エラーとなった取消注文を入力した入力端末番号
7	ユーザID	エラーとなった取消注文を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	データ種別	取消注文のエラー通知であること及びエラー区分を示す「取消エラーB」又は「取消エラーC」
9	エラーメッセージ	エラー内容を示すエラーメッセージ ※<エラーメッセージ一覧>参照
10	銘柄名	「注文受付通知」に同じ
11	銘柄コード	
12	売/買	◆ 取消注文入力時に指定された被取消注文の内容
13	注文値段	◆ 「売/買」及び「注文値段」は指定された場合のみ出力
14	注文番号	◆ 「注文番号」・「社内番号」は、いずれか指定された方の番号

第 13 章 通知について

項番	出力項目	出力内容
15	社内番号	

13-4-7.3 変更エラー通知

入力された変更注文が中央システムのチェックによりエラーとなった場合に出力します。

<ページ/ドットプリンタ>

```

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦
12361 39 10001 54 (1002 2359)
(変更エラー B 変更組合せ相違 ) 長国 C012-130 (123123001) 売
⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
寄 成行 10
⑬ ⑭ ⑮
    
```

```

( 10076)
⑬ ⑭
( 12076) 自
⑮ ⑯
    
```

<レシートプリンタ>

```

12361 39 10001 54 (1002 2359)
(変更エラー B 変更組合せ相違 )
長国 P012-130 (113123001)
売
( 10076)
寄 成行 10
( 12076) 自
    
```

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	入力端末番号	エラーとなった変更注文を入力した入力端末番号
7	ユーザID	エラーとなった変更注文を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	データ種別	変更注文のエラー通知であること及びエラー区分を示す「変更エラー-B」又は「変更エラー-C」
9	エラーメッセージ	エラー内容を示すエラーメッセージ ※<エラーメッセージ一覧>参照

第13章 通知について

項番	出力項目	出力内容
10	銘柄名	「注文受付通知」に同じ
11	銘柄コード	
12	売/買	◆ 変更注文入力時に指定された被変更注文の内容
13	注文値段	◆ 「売/買」及び「注文値段」は指定された場合のみ出力
14	注文番号	◆ 「注文番号」・「社内番号」については、いずれか指定された方の番号
15	社内番号	
16	変更後執行条件	変更注文入力時に指定された変更内容
17	変更後注文値段	
18	削減数量	
19	変更後社内番号	
20	変更後管理項目	

13-4-7.4 一括エラー通知

入力された一括取消指示が中央システムのチェックによりエラーとなった場合に出力します。

<ページ/ドットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
12361	56	10001	65	(1002	0000)	
(一括エラー C 該当注文なし)			ソニーP012-9500 (224016758) 0000
⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		

<レシートプリンタ>

12361	56	10001	65	(1002	0000)
(一括エラー C 該当注文無効)		
ソニーP012-9500 (163120005)					0000

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	入力端末番号	エラーとなった一括取消指示を入力した入力端末番号
7	ユーザID	エラーとなった一括取消指示を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	データ種別	一括取消指示のエラー通知であること及びエラー区分を示す「一括エラーB」又は「一括エラーC」
9	エラーメッセージ	エラー内容を示すエラーメッセージ ※<エラーメッセージ一覧>参照
10	銘柄名	「注文受付通知」に同じ
11	銘柄コード	
12	指定端末番号	一括取消指示入力時に指定された入力端末番号

第 13 章 通知について

<エラーメッセージ一覧>

◆ 新規エラー通知

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	受付時間外	注文受付時間外に注文が入力されています。
2	銘柄コード	取引対象でない銘柄名を指定しています。
3	始値決定済	始値決定後の注文に「寄付」の執行条件が指定されています。
4	制限値幅オーバー	注文値段が制限値幅を超えています。
5	注文値段	注文値段の指定に誤りがあります。 ◆ 執行条件に「0」(不成) 指定時に注文値段に「成行」が指定されています。
6	不成立	一括注文入力B方式により入力した注文が不成立のため失効処理されました。
7	出力先仮想サーバなし	通知出力先指定(仮想)で指定した仮想サーバが存在しません。
8	値段単位	注文値段が呼値の単位の整数倍で指定されていません。
9	成行禁止	成行注文禁止銘柄に「成行」の値段又は「不成」の執行条件が指定されています。
10	取引停止中	取引停止中の銘柄に注文が入力されています。
11	障害停止中	障害により取引停止中の銘柄に注文が入力されています。
12	執行条件	執行条件の指定に誤りがあります。
13	売/買	売買区分の指定に誤りがあります。
14	注文数量	注文数量の指定に誤りがあります。
15	社内番号	社内番号の指定に誤りがあります。
16	管理項目	管理項目の指定に誤りがあります。

◆ 取消エラー通知

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	受付時間外	注文受付時間外に注文が入力されています。
2	銘柄コード	取引対象でない銘柄名を指定しています。
3	制限値幅オーバー	注文値段が制限値幅を超えています。
4	該当値段なし	該当注文値段に注文がありません。
5	該当番号なし	指定された注文番号/社内番号の注文がありません。
6	該当注文無効	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 取消済注文に取消指定がされています。 ◇ 変更済み注文の変更前値段を指定して、取消指定がされています。 ◇ 失効注文に取消指定がされています。 ◇ 取引停止前注文無効の扱いとなった注文に取消指定がされています。

項番	エラーメッセージ	発生要因
7	出力先仮想サーバなし	通知出力先指定（仮想）で指定した仮想サーバが存在しません。
8	値段単位	注文値段が呼値の単位の整数倍で指定されていません。
9	成行禁止	成行注文禁止銘柄に「成行」の値段が指定がされています。
10	取引停止中	取引停止中の銘柄に注文が入力されています。
11	障害停止中	障害により取引停止中の銘柄に注文が入力されています。
12	売/買	売買区分の指定に誤りがあります。
13	注文値段	注文値段の指定に誤りがあります。
14	注文番号	注文番号の指定に誤りがあります。
15	社内番号	社内番号の指定に誤りがあります。

◆ 変更エラー通知

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	受付時間外	注文受付時間外に注文が入力されています。
2	銘柄コード	取引対象でない銘柄名を指定しています。
3	制限価格オーバー	注文値段が制限価格を超えています。
4	該当値段なし	該当注文値段に注文がありません。
5	該当番号なし	指定された注文番号/社内番号の注文がありません。
6	該当注文無効	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 取消済注文に変更指定がされています。 ◇ 変更済み注文の変更前値段を指定して、変更指定がされています。 ◇ 失効注文に変更指定がされています。 ◇ 取引停止前注文無効の扱いとなった注文に取消指定がされています。
7	変更実行条件	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 被変更注文の執行条件と同一の変更後執行条件が指定されています。(同時に変更注文値段が指定されている場合を除く) ◇ 変更実行条件の指定がされています。
8	始値決定済	始値決定後の注文に「寄付」の変更後執行条件が指定されています。
9	変更注文値段	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 被変更注文の注文値段と同一の変更後注文値段が指定されています。(同時に変更実行条件が指定されている場合を除く) ◇ 変更注文値段の指定に誤りがあります。
10	原注文数量超	削減数量が原注文数量を超えて指定されています。
11	変更組合せ相違	同時に変更出来ない組合せが指定されています。
12	出力先仮想サーバなし	通知出力先指定（仮想）で指定した仮想サーバが存在しません。
13	値段単位	注文値段が呼値の単位の整数倍で指定されていません。
14	成行禁止	成行注文禁止銘柄に「成行」の値段が指定がされています。
15	取引停止中	取引停止中の銘柄に注文が入力されています。
16	売/買	売買区分の指定に誤りがあります。

第 13 章 通知について

項番	エラーメッセージ	発生要因
17	注文値段	注文値段の指定に誤りがあります。
18	注文番号	注文番号の指定に誤りがあります。
19	社内番号	社内番号の指定に誤りがあります。
20	削減数量	削減数量の指定に誤りがあります。
21	変更社内番号	変更社内番号の指定に誤りがあります。
22	変更管理項目	変更管理項目の指定に誤りがあります。

◆ 一括エラー通知

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	受付時間外	注文受付時間外に注文が入力されています。
2	銘柄コード	取引対象でない銘柄名を指定しています。
3	該当端末なし	存在しない端末番号が指定されています。
4	該当注文なし	該当する注文が取消指示時に板上に存在しません。
5	証券種別	一括取消指示のできない証券種別が指定されています。

13-5 取引状況にかかる通知

13-5-1 ストップ値注文リスト

当日立会終了時の約定値段がストップ値段で決定され、自社の注文がストップ配分の対象となった場合に出力します。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
12361	1	10001	151		*** ストップ値注文リスト ***									
					長閑 P012-130 (112122001)	ストップ値段	001	配分数量	15					
12361	1	10001	152 (1001 5432)	引	売	001	20	14:22	875	10092	委			
12361	1	10001	153 (1001)	引	売	001	20	14:45	987	10101	自			

* PRINT END *

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	プリントタイトル	「*** ストップ値注文リスト ***」
7	銘柄名	ストップは配分となった銘柄名等
8	銘柄コード	
9	ストップ値段	立会終了時の約定値段となったストップ値段
10	配分数量	自社の配分数量
11	タイトル	ストップ配分対象の注文内容のタイトル
12	端末番号	ストップ配分対象の注文を入力した入力端末番号
13	ユーザID	ストップ配分対象の注文を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
14	執行条件	ストップ配分対象の注文内容
15	売/買	
16	注文値段	
17	失効注文数量	
18	受付時刻	
19	注文番号	
20	社内番号	
21	管理項目	

※注文内容の出力優先順位は、①成行注文、②引成注文、③不成注文、④ストップ値段の指値注文、⑤ストップ値段の引指値注文の順とします。同一条件の場合は注文受付順とします。

13-5-2 大口対当銘柄リスト

当日立金終了後に、当日の自社の大口対当取引内容を出力します。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
12361	1	10001	154		*** 大口対当銘柄リスト ***				
12361	1	10001	155	兵団 012	(163120001)	13023 株	250	9:00	
12361	1	10001	156		売(1001 5432)	200 (56/		10062) 委
12361	1	10001	157		(1001)	100 (99/		101) 自
12361	1	10001	158		買(1001 5432)	200 (57/		10063) 委
12361	1	10001	159		(1001 5432)	50 (123/		89) 自
12361	1	10001	160	兵団 012	(163120001)	13033	150	14:23	
12361	1	10001	161		売(1001 5432)	(1456/		10132) 委
12361	1	10001	162		買(1001 5432)	(1457/		10133) 委

* PRINT END *

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	プリントタイトル	
大口対当取引内容		
7	銘柄名	大口対当取引が成立した銘柄等
8	銘柄コード	
9	対当取引成立価額	大口対当取引が成立した約定価額
10	値段符号	「約定成立通知」に同じ
11	対当数量	大口対当取引の約定数量
12	約定時刻	大口対当取引が成立した時刻
大口対当取引構成注文内容		
◆ 板寄せ時の大口対当取引の場合は、当該板寄せ取引で約定した自社のすべての注文内容を売・買順に出力		
◆ ザラバ中の大口対当取引の場合は、当該大口対当取引を構成する売・買1件ずつの注文内容		
13	売買区分	大口対当取引を構成注文の売買区分
14	端末番号	大口対当取引を構成する注文を入力した入力端末番号
15	ユーザID	大口対当取引を構成する注文を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID

項番	出力項目	出力内容
16	約定数量	◆ 板寄せ時の大口対当取引の場合は、当該板寄せ取引で約定した注文の約定数量 ◆ ザラバ中の大口対当取引の場合は、スペース
17	注文番号	大口対当取引構成注文の注文番号
18	社内番号	大口対当取引構成注文の社内番号
19	管理項目	大口対当取引構成注文の管理項目

13-5-3 約定状況プリント

各立会終了後に、証券種別別に約定数量、約定金額等の取引情報を出力します。

13-5-3.1 約定状況プリント (先物)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
12361	10001	1	***約定状況プリント*** (前後場)			(98.10.23)	
④ TOPIX 先物							
① < 注文件数 >							
		総注文	新規	変更	取消		
全社		1,299	857	74	368		
自社		69(5.2%)	48(5.6%)	63(5.6%)	15(5.6%)		
② < 約定件数 >							
		総約定	失効				
全社		1,336	37				
自社		77(5.7%)	2(6.4%)				
③ < 約定数量 >							
		総数量					
全社		12,519					
自社		839(6.7%)	682(5.4%)				
< 取引金額 / VWAP >							
		④ 総取引約定金額 (単位:千円)				⑤ VWAP	
012	全社	139,729,835				1307.7195	
		売金額	買金額			売VWAP	買VWAP
	自社	7,044,830(5.0%)	5,628,215(4.0%)			1308.4480	1305.8503
合計 全社							
		163,699,800					
	自社	10,987,480(6.7%)	8,915,365(5.4%)				
* PRINT END *							

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	プリントタイトル	「*** 約定状況プリント ***」
7	場区分	「前場」又は「前後場」 ◆ 前場終了時は「前場」分の情報 ◆ 後場終了時は「前後場」分の情報
8	出力年月日	出力年月日
9	参加者名	自社の参加者名と自社コード
10	証券種別名	証券種別名

項番	出力項目		出力内容
11	注文 件数	総注文	全社 全社の総注文件数
			自社 自社の総注文件数
			比率 自社の総注文件数/全社の総注文件数 (%)
		新規	全社 全社の新規注文件数
			自社 自社の新規注文件数
			比率 自社の新規注文件数/全社の新規注文件数 (%)
		変更	全社 全社の変更注文件数
			自社 自社の変更注文件数
			比率 自社の変更注文件数/全社の変更注文件数 (%)
		取消	全社 全社の取消注文件数
			自社 自社の取消注文件数
			比率 自社の取消注文件数/全社の取消注文件数 (%)
12	約定 件数	全社 全社の総約定件数	
		自社 自社の総約定件数	
		比率 自社の総約定件数/全社の総約定件数 (%)	
	失効	全社 全社の失効注文件数	
		自社 自社の失効注文件数	
		比率 自社の失効注文件数/全社の失効注文件数 (%)	
13	約定 数量	全社 総数量 全社の総約定数量	
		自社 売数量 自社の売約定数量	
		比率 自社の売約定数量/全社の総約定数量 (%)	
		自社 買数量 自社の買約定数量	
		比率 自社の買約定数量/全社の総約定数量 (%)	
14	取引契約金額 ◆ T B先物以外の取引は「千円単位」、T B先物取引は「1ドル単位」で小数点2位まで表示		
	限月別	全社 総金額 全社の限月別総取引契約金額	
		自社	売金額 自社の限月別売取引契約金額
			比率 自社の限月別売取引契約金額/全社の限月別総取引契約金額 (%)
			買金額 自社の限月別買取引契約金額
			比率 自社の限月別買取引契約金額/全社の限月別総取引契約金額 (%)
	全限月合計	全社 総金額 全社の全限月総取引契約金額	
		自社	売金額 自社の全限月売取引契約金額
			比率 自社の全限月売取引契約金額/全社の全限月総取引契約金額 (%)
			買金額 自社の全限月買取引契約金額
			比率 自社の全限月買取引契約金額/全社の全限月総取引契約金額 (%)

第13章 通知について

項番	出力項目	出力内容
15	VWAP (取引高加重平均価格)	
	◆ 債券先物取引 (TB先物取引除く) は「円未満小数点4位」まで、指数先物取引及びTB先物取引は「1ポイント未満小数点4位まで」表示	
	全社	全社のVWAP
	自社	自社の売VWAP
	買VWAP	自社の買VWAP

※ スプレッド取引のある先物取引の「約定数量」、「取引契約金額」及び「VWAP」については、スプレッド約定分を含めて出力します。

※ スプレッド取引については、「注文件数」、「約定件数」及び「約定数量」のみを出力します。

13-5-3.2 約定状況プリント (オプション)

① ② ③ ④		⑤		⑥		⑦		⑧		
12361	10001	1		*** 約定状況プリント *** (前後場)				(98.10.23)		
				⑨ ABC (10001)						
⑩ 送付先物OP										
⑪ 送付件数										
	会社	ブット	コール	総注文	新規	変更	取消			
	会社	ブット	コール	97 (1.1%)	88 (5.6%)	3 (1.0%)	6 (2.7%)			
	会社	ブット	コール	104 (1.0%)	95 (1.0%)	1 (1.0%)	8 (2.6%)			
⑫ 約定件数										
	会社	ブット	コール	7,993	668					
	会社	ブット	コール	9,062	1,306					
	会社	ブット	コール	53 (1.2%)	1 (0.1%)					
	会社	ブット	コール	104 (0.9%)	20 (1.9%)					
⑬ 約定数量										
	会社	ブット	コール	34,395						
	会社	ブット	コール	48,611						
	会社	ブット	コール	845 (5.7%)	767 (5.4%)					
	会社	ブット	コール	504 (1.0%)	1,005 (2.1%)					
⑭ 取引金額										
⑮ 総取引契約金額 (単位: 百万円)										
	会社	ブット	コール	3,223,196						
	会社	ブット	コール	4,277,750						
	会社	ブット	コール	31,782 (0.8%)	107,050 (1.3%)					
	会社	ブット	コール	51,092 (0.8%)	136,262 (1.2%)					
⑯ 総約定代金 (単位: 千円)										
	会社	ブット	コール	33,535,808						
	会社	ブット	コール	43,848,942						
	会社	ブット	コール	752,010 (2.3%)	1,243,950 (2.8%)					
	会社	ブット	コール	710,640 (1.6%)	1,060,205 (2.4%)					
	会社	ブット	コール	6,465,392						
	会社	ブット	コール	9,722,160						
	会社	ブット	コール	85,680 (1.3%)	168,740 (2.6%)					
	会社	ブット	コール	73,624 (0.8%)	188,940 (1.9%)					
	会社	ブット	コール	67,071,615						
	会社	ブット	コール	99,652,140						
	会社	ブット	コール	1,858,560 (2.8%)	1,840,000 (2.7%)					
	会社	ブット	コール	1,512,000 (1.5%)	1,999,950 (2.9%)					

* PRINT END *

項番	出力項目	出力内容
1	サーブ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーブ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	プリントタイトル	「*** 約定状況プリント ***」
7	場区分	「前場」又は「前後場」 ◆ 前場終了時は「前場」分の情報 ◆ 後場終了時は「前後場」分の情報
8	出力年月日	出力年月日
9	参加者名	自社の参加者名と自社コード

項番	出力項目		出力内容		
10	証券種別名		証券種別名		
11	注文 件数	総 注 文	全社	全社の総注文件数（ブット/コール別、以下同じ）	
			自社	自社の総注文件数	
			比率	自社の総注文件数/全社の総注文件数（%）	
		新 規	全社	全社の新規注文件数	
			自社	自社の新規注文件数	
			比率	自社の新規注文件数/全社の新規注文件数（%）	
		変 更	全社	全社の変更注文件数	
			自社	自社の変更注文件数	
			比率	自社の変更注文件数/全社の変更注文件数（%）	
	取 消	全社	全社の取消注文件数		
		自社	自社の取消注文件数		
		比率	自社の取消注文件数/全社の取消注文件数（%）		
12	約定 件数	全社	全社の総約定件数		
		自社	自社の総約定件数		
		比率	自社の総約定件数/全社の総約定件数（%）		
	失 効	全社	全社の失効注文件数		
		自社	自社の失効注文件数		
		比率	自社の失効注文件数/全社の失効注文件数（%）		
13	約定 数量	全社	全社の総約定数量		
		自 社	売数量	自社の売約定数量	
			比率	自社の売約定数量/全社の総約定数量（%）	
			買数量	自社の買約定数量	
			比率	自社の買約定数量/全社の総約定数量（%）	
14	限月 別	取引契約金額			
		◆ 株券オプション取引以外の取引は「百万円単位」、株券オプション取引は「千円単位」で表示			
		自 社	全社	総金額	全社の限月別総取引契約金額
			売金額	自社の限月別売取引契約金額	
			比率	自社の限月別売取引契約金額/全社の限月別総取引契約金額（%）	
	買金額		自社の限月別買取引契約金額		
	比率	自社の限月別買取引契約金額/全社の限月別総取引契約金額（%）			
	全限 月計	自 社	全社	総金額	全社の全限月総取引契約金額
			売金額	自社の全限月売取引契約金額	
			比率	自社の全限月売取引契約金額/全社の全限月総取引契約金額（%）	
買金額			自社の全限月買取引契約金額		
比率			自社の全限月買取引契約金額/全社の全限月総取引契約金額（%）		

項番	出力項目		出力内容	
14	約定代金			
	◆ 株券オプション取引以外の取引は「千円単位」、株券オプション取引は「1円単位」で表示			
	限月別	全社	総金額	全社の限月別総約定代金
		自社	売金額	自社の限月別売約定代金
			比率	自社の限月別売約定代金/全社の限月別総約定代金 (%)
			買金額	自社の限月別買約定代金
			比率	自社の限月別買約定代金/全社の限月別総約定代金 (%)
		全限月合計	全社	総金額
	自社		売金額	自社の全限月売約定代金
			比率	自社の全限月売約定代金/全社の全限月総約定代金 (%)
			買金額	自社の全限月買約定代金
			比率	自社の全限月買約定代金/全社の全限月総約定代金 (%)

※ 取引契約金額が、権利行使価格ベースで、約定代金がプレミアムベースで算出される。

13-6 転売・買戻／権利行使入力にかかる通知

13-6-1 転売・買戻入力結果通知

先物取引の転売・買戻数量の入力が受け付けられた場合に出力します。

<ページ/ドットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
12361	5	10001	7	(1001	5432)		転売・買戻入力結果通知		
							[転 売] [買 戻] [当日建玉残高]	(16:02)	98.11.17
							(当日) (既存) (当日) (既存) (売) (買)		
		TOPIX 012	(自己)	0	15	0	3	1549	1382
		⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱

<レシートプリンタ>

12361	5	10001	7	(1001	5432)
転売・買戻入力結果通知					
(16:02) 98.11.17					
TOPIX 012 (自己)					
[転 売] (当日)	0	(既存)	15		
[買 戻] (当日)	0	(既存)	3		
[当日建玉残高] (売)	1549	(買)	1382		

項目	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	入力端末番号	当該数量を入力した入力端末番号
7	ユーザID	当該数量を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	タイトル	◆ 新規入力の場合は「転売・買戻入力結果通知」 ◆ 訂正入力の場合は「*訂正*転売・買戻入力結果通知」
9	受付時刻	当該入力が入力システムに受け付けられた時刻 (24 時表示)
10	出力年月日	出力年月日
11	銘柄名	当該入力を行った銘柄名
12	自己/委託の別	当該入力を行った自己/委託区分
13	当日転売数量	入力された転売・買戻数量
14	既存転売数量	◆ 新規入力の場合、未入力箇所には「0」
15	当日買戻数量	◆ 訂正入力の場合、未入力箇所には、入力済みの数量を引き継ぐ

項目	出力項目	出力内容
16	既存買戻数量	◆
17	当日売建玉残高	当該入力に基づく当日の売建玉残高
18	当日買建玉残高	当該入力に基づく当日の買建玉残高

13-6-2 転売・買戻/権利行使入力結果通知

オプション取引の転売・買戻/権利行使数量の入力が受け付けられた場合に出力します。

<ページ/ドットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
12361	5	10001	7	(1001 5432)	転売・買戻/権利行使入力結果通知			(16:02)	98.11.17
		[転売]	[買戻]	[行使前当日建玉]	行使				
		(当日)	(既存)	(当日)	(既存)	(売)	(買)	致量	
ソニーP012-9500(自己)		0	22	0	7	50	105	0	
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	

<レシートプリンタ>

12361	5	10001	7	(1001 5432)
転売・買戻/権利行使入力結果通知				
(16:02) 98.11.17				
ソニーP012-9500(自己)				
[転売]	(当日)	0	(既存)	22
[買戻]	(当日)	0	(既存)	7
[行使前当日建玉]	(売)	50	(買)	105
(行使致量)		0		

項目	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	入力端末番号	当該数量を入力した入力端末番号
7	ユーザID	当該数量を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	タイトル	◆ 新規入力の場合は「転売・買戻/権利行使入力結果通知」 ◆ 訂正入力の場合は「*訂正*転売・買戻/権利行使入力結果通知」
9	受付時刻	当該入力中央システムに受け付けられた時刻(24時表示)
10	出力年月日	出力年月日
11	銘柄名	当該入力を行った銘柄名
12	自己/委託の別	当該入力を行った自己/委託区分
13	当日転売数量	入力された当日分の転売・買戻数量
14	既存転売数量	◆ 新規入力の場合、未入力箇所には「0」
15	当日買戻数量	◆ 訂正入力の場合、未入力箇所には、入力済みの数量を引き継ぐ

項目	出力項目	出力内容
16	既存買戻数量	◆
17	行使前当日売建玉	当該入力に基づく当日の売建玉残高（ただし、権利行使・割当数量は含まない）
18	行使前当日買建玉	当該入力に基づく当日の買建玉残高（ただし、権利行使・割当数量は含まない）
19	権利行使数量	入力された権利行使数量 ◆ 新規入力の場合、未入力箇所には「0」 ◆ 訂正入力の場合、未入力箇所には、入力済みの数量を引き継いで出力 ◆ 自動権利行使対象権利行使価格については、入力数値にかかわらず実際に権利行使数量として扱われる数量

第13章 通知について

13-6-3 転売・買戻 (オプション取引権利行使対応分) 入力結果通知

先物取引の対応するオプション取引における権利行使・割当にかかる転売・買戻数量の入力が受け付けられた場合に出力します。

<ページ/ドットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
12361	1	10001	1	(1001	5432)	転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力結果通知		
							[権利行使後建残] (8:16) 98.11.24	
							[転 売] [買 戻] (売) (買)	⑨ ⑩
						長岡 012 (自己)	1 0 1549 1382	
								⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯

<レシートプリンタ>

12361	1	10001	1	(1001	5432)	転売・買戻 (オプション取引権利行使分)	
						入力結果通知	(8:16) 98.11.17
						長岡 012 (自己)	
						[転 売]	1
						[買 戻]	0
						[当日建玉残高] (売)	1549 (買) 1382

項目	出力項目	出力内容
1.	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2.	ダブリ/再送行号	
3.	サーバ別通番	
4.	自社コード	
5.	自社通番	
6.	入力端末番号	当該転売・買戻数量を入力した入力端末番号
7.	ユーザID	当該転売・買戻数量を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8.	タイトル	◆ 新規入力の場合は「転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力結果通知」 ◆ 訂正入力の場合は「*訂正*転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力結果通知」
9.	受付時刻	当該入力中央システムに受け付けられた時刻 (24時表示)
10.	出力年月日	出力年月日
11.	銘柄名	当該入力を行った銘柄名
12.	自己/委託の別	当該入力を行った自己/委託区分

項目	出力項目	出力内容
13	転売数量	入力された転売・買戻数量 ◆ 新規入力の場合、未入力箇所には「0」
14	買戻数量	◆ 訂正入力の場合、未入力箇所には、入力済みの数量を引き継ぐ
15	権利行使後売建残	当該入力に基づく当日の売建玉残高
16	権利行使後買建残高	当該入力に基づく当日の買建玉残高

13-6-4 転売・買戻等入力終了受付通知

各市場に対して転売・買戻数量等の入力終了指示を行った場合に出力されます。

※ 転売・買戻数量等の入力終了指示を行った場合、当該入力終了受付通知を出力するとともに、未入力箇所一括して「0」入力されます。

※ ただし、当該一括「0」入力にかかる入力結果通知は出力されません。

<ページ/ドットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
12361	5	10001	7	(1001	5432)	***	<指致先物	>	転売・買戻入力終了 受付*** (16:22)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
12361	5	10001	7	(1001-	5432)	***	<株券OP	>	転売・買戻/権利行使入力終了 受付*** (16:22)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
12361	5	10001	7	(1001	5432)	***	<債券先物	>	転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力終了 受付*** (8:22)

<レシートプリンタ>

12361	5	10001	7	(1001	5432)
<指致先物 >					
転売・買戻入力終了 受付(16:22)					

12361	5	10001	7	(1001	5432)
<株券OP >					
転売・買戻/権利行使入力終了 受付(16:22)					

12361	5	10001	7	(1001	5432)
<債券先物 >					
転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力終了 受付(8:22)					

項目	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送番号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	入力端末番号	入力終了指示を行った入力端末番号
7	ユーザID	入力終了指示を行ったクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	市場名	入力終了指示を行った市場名
9	タイトル	「***転売・買戻入力終了指示 受付***」 「***転売・買戻/権利行使入力終了 受付***」 「***転売・買戻 (オプション取引権利行使分) 入力終了 受付***」
10	受付時刻	入力終了指示が中央システムに受け付けられた時刻 (24時表示)

13-6-5 転売・買戻入力無効通知

入力済みの転売・買戻数量等が無効となった場合に出力されます。

<ページノットプリンタ>

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧												
12361	5	10001	7	(1001	5432)		*無効*転売・買戻入力結果通知												
							[翌日訂正入力]	[転	売]	[買	戻]	[当日建玉残高]	(16:02)	98.11.17					
							⑨	(当日)	(既存)	(当日)	(既存)	(売)	(買)	⑩					⑪
							TOPIX 012	(自己)	0	15	0	3	1549	1382					
							⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲					⑳

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧												
12361	5	10001	7	(1001	5432)		*無効*転売・買戻/権利行使入力結果通知												
							[翌日訂正入力]	[転	売]	[買	戻]	[行使前当日建玉]	行使	(16:02)	98.11.24				
							⑨	(当日)	(既存)	(当日)	(既存)	(売)	(買)	数量	⑩				⑪
							ソニーP012-9500(委託)	0	22	0	7	50	105	0					
							⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲					⑳

<レシートプリンタ>

12361	5	10001	7	(1001	5432)		*無効*転売・買戻入力結果通知												
							(16:02)	98.11.17											
							[翌日訂正入力]												
							TOPIX 012	(自己)											
							[転	売]	(当日)	0	(既存)	15							
							[買	戻]	(当日)	0	(既存)	3							
							[当日建玉残高]	(売)	1549	(買)	1382								

12361	5	10001	7	(1001	5432)		*無効*転売・買戻/権利行使入力結果通知												
							(16:02)	98.11.17											
							[翌日訂正入力]												
							ソニーP012-9500(自己)												
							[転	売]	(当日)	0	(既存)	22							
							[買	戻]	(当日)	0	(既存)	7							
							[行使前当日建玉]												
							(売)	50	(買)	105									
							(行使数量)	0											

項目	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	入力端末番号	無効となった教量を入力した入力端末番号
7	ユーザID	無効となった教量を入力したクライアントがパスワード機能を利用している場合に、入力資格要求時に入力したユーザID
8	タイトル	「*無効*転売・買戻入力結果通知」 「*無効*転売・買戻/権利行使入力無効通知」
9	無効理由	[翌日訂正入力] 転売・買戻教量等を入力後に、前日売玉残高訂正を行った場合
10	受付時刻	当該通知の出力時刻(24時表示)
11	出力年月日	出力年月日
12	銘柄名	当該入力を行った銘柄名
13	自己/委託の別	当該入力を行った自己/委託区分
14	無効当日転売教量	無効となった転売・買戻教量
15	無効既存転売教量	
16	無効当日買戻教量	
17	無効既存買戻教量	
18	当日売進至残高	当該入力に基づく当日の売進至残高
	当日買進至残高	当該入力に基づく当日の買進至残高
	権利行使教量	無効となった権利行使教量

13-7 割当通知

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
12361	1	10001	J	*割当*	長国 C012-130	(123123001)	(自己)		10	(16:36)	
12361	2	10001	2	*割当*	長国 C012-130	(123123001)	(委託)		8	(16:36)	
12361	3	10001	3	*割当*	長国 C012-129	(123122901)	(自己)		5	(16:36)	
12361	2	10001	3	----	<債券先物OP>割当通知出力完了					----	

12361	1	10001	1	----	<債券先物OP>割当数量なし					----	
-------	---	-------	---	------	----------------	--	--	--	--	------	--

項目	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	通知種別	割当通知であることを示す「*割当*」
7	銘柄名	割当のあった銘柄名
8	銘柄コード	割当のあった銘柄の銘柄コード
9	自己/委託の別	割当のあった自己/委託区分
10	割当数量	割当数量
11	出力年月日	出力年月日
12	出力完了メッセージ	市場単位に割当通知の出力が完了した場合に、当該市場名と出力完了メッセージ
13	割当数量なしメッセージ	当日割当がない場合に、市場単位に割当数量なしメッセージ

13-8 建玉残高にかかる通知

13-8-1 建玉残高通知 (自社)

13-8-1.1 建玉残高通知 (自社) (先物)

当日の建玉集計 (対応するオプション取引がある場合にオプション取引権利行使分にかかる対応建玉残高集計含む) 完了後に自社の建玉残高情報を出力します。

※ 対応建玉集計完了後に出力される場合は、前日建玉残高のみ出力されます。

① ② ③ ④ ⑤		⑥				⑦	⑧	
12361	2	10001	2	建玉残高通知 (自社)				(16:47) 98.12.11
		⑥		[売建玉残高]		[買建玉残高]		
				(当日)	(前日)	(当日)	(前日)	
TOPIX 103 (自己)				1262	1295	1063	1196	
(委託)				336	267	309	169	
TOPIX 106 (自己)				20	*14	25	*24	
(委託)				5	*5	5	*5	
TOPIX 109 (自己)				1	1	6	5	
(委託)				0	0	0	0	
TOPIX 112 (自己)				0	0	0	0	
(委託)				0	0	0	0	
TOPIX 203 (自己)				0	0	0	0	
(委託)				0	0	0	0	
合計 (自己)				1283	1310	1094	1225	
(委託)				341	292	314	174	
参考: TOPIX 012 (自己)					*243		*135	
(委託)					*125		*74	
				⑥		[売建玉残高]		
				(当日)	(前日)	(当日)	(前日)	
輸送 103 (自己)				5	5	8	6	
(委託)				10	10	2	2	
PRINT END								

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	

第13章 通知について

項番	出力項目		出力内容	
6	プリントタイトル		「建玉残高通知(自社)」	
7	出力時刻		当該通知の出力時刻(24時表示)	
8	出力年月日		出力年月日	
9	限月別連玉残高	売建玉	当日	各限月の自社の自己/委託別の当日売建玉残高
			前日	各限月の自社の自己/委託別の前日売建玉残高 ※ 前日連玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」
		買建玉	当日	各限月の自社の自己/委託別の当日買建玉残高
			前日	各限月の自社の自己/委託別の前日買建玉残高 ※ 前日連玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」
	全限月合計	売建玉	当日	全限月合計の自社の自己/委託別の当日売建玉残高
			前日	全限月合計の自社の自己/委託別の前日売建玉残高
		買建玉	当日	全限月合計の自社の自己/委託別の当日買建玉残高
			前日	全限月合計の自社の自己/委託別の前日買建玉残高
	参考欄	最終売建玉残高	取引終了限月の自社の自己/委託別の最終売建玉残高 ※ 最終連玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」	
		最終買建玉残高	取引終了限月の自社の自己/委託別の最終買建玉残高 ※ 最終連玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」	

13-8-1.2 建玉残高通知(自社)(オプション)

当日の抽選処理完了後に、自社の建玉残高情報を出力します。

①②	③	④	⑤	⑥ 建玉残高通知(自社)				⑦	⑧
12361	2	10001	2					(16:47)	98.12.11
⑨ [参考]	行使 価格	⑩ 割当 数	行使 数	[売建玉残高]		[買建玉残高]			
兵団 P012	126(自己)	0	0	当日	前日	当日	前日		
	(委託)	0	0	0	0	0	0		
	127(自己)	0	0	0	0	0	0		
	(委託)	0	0	0	0	0	0		
	128(自己)	0	0	0	0	0	0		
	(委託)	0	0	0	0	0	0		
	129(自己)	0	0	0	0	0	0		
	(委託)	0	0	0	0	0	0		
	130(自己)	0	0	24	24	17	17		
	(委託)	0	0	2	2	4	4		
⑪☆	131(自己)	0	0	52	*57	42	*66		
	(委託)	0	0	18	*18	10	*10		
☆	132(自己)	159	154	0	159	0	154		
	(委託)	30	167	0	30	0	167		
☆	133(自己)	5	7	0	5	0	7		
	(委託)	4	8	0	4	0	8		
	合計(自己)	164	161	76	245	59	244		
	(委託)	34	175	20	54	14	189		
⑨ [参考]	行使 価格	⑩ 割当 数	行使 数	[売建玉残高]		[買建玉残高]			
兵団 C012 ☆	126(自己)	0	0	0	0	0	0		
	(委託)	0	0	0	0	0	0		

PRINT END

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	プリントタイトル	「建玉残高通知(自社)」
7	出力時刻	当該通知の出力時刻(24時表示)
8	出力年月日	出力年月日


項番	出力項目	出力内容		
9	【参考】表示	権利行使最終日の限月について抽選処理終了後に出力		
10	権利行使価格別建玉残高	当日割当数量	◆ 各権利行使価格の自社の自己・委託別の当日の割当数量 ◆ 当日が権利行使でない場合は、「-」	
		当日権利行使数量	◆ 各権利行使価格の自社の自己・委託別の当日の権利行使数量 ◆ 当日が権利行使日でない場合は、「-」	
		売建玉	当日	各権利行使価格の自社の自己・委託別の当日売建玉残高
			前日	各権利行使価格の自社の自己・委託別の前日売建玉残高 ※ 前日建玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」
		買建玉	当日	各権利行使価格の自社の自己・委託別の当日買建玉残高
			前日	各権利行使価格の自社の自己・委託別の前日買建玉残高 ※ 前日建玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」
	当該限月の建玉残高	割当数量	当該限月（プット/コール別）合計の当日の自社の自己・委託別の割当数量	
		権利行使数量	当該限月（プット/コール別）合計の当日の自社の自己・委託別の権利行使数量	
		売建玉	当日	当該限月（プット/コール別）合計の自社の自己・委託別の当日売建玉残高
			前日	当該限月（プット/コール別）合計の自社の自己・委託別の前日売建玉残高
買建玉	当日	当該限月（プット/コール別）合計の自社の自己・委託別の当日買建玉残高		
	前日	当該限月（プット/コール別）合計の自社の自己・委託別の前日買建玉残高		
11	自動権利行使符号	自動権利行使制度が適用されているオプション取引の権利行使最終日において自動権利行使対象権利行使価格に自動権利行使符号「☆」		

13-8-2 建玉残高通知

13-8-2.1 建玉残高通知 (先物)

当日の建玉集計 (対応するオプション取引がある場合にオプション取引権利行使分にかかる対応建玉残高集計含む) 完了後に全社分の建玉残高情報を出力します。

※ 対応建玉集計完了後に出力される場合は、前日建玉残高のみ出力されます。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧																																									
12361	2	10001	2		建玉残高通知	(16:47)	98.12.11																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>⑨ [建玉残高]</th> <th>前日</th> <th>清算</th> </tr> <tr> <th>(当日)</th> <th>(前日)</th> <th>値段</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>兵団 103</td> <td>132065</td> <td>131326</td> <td>739</td> <td>13126</td> </tr> <tr> <td>兵団 106</td> <td>3934</td> <td>*3875</td> <td>59</td> <td>13087</td> </tr> <tr> <td>兵団 109</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>-1</td> <td>13002</td> </tr> <tr> <td>兵団 112</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12977</td> </tr> <tr> <td>兵団 203</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>12920</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>136018</td> <td>135221</td> <td>797</td> <td></td> </tr> <tr> <td>参考: 兵団 012</td> <td></td> <td>20347</td> <td></td> <td>13154</td> </tr> </tbody> </table>								⑨ [建玉残高]	前日	清算	(当日)	(前日)	値段	兵団 103	132065	131326	739	13126	兵団 106	3934	*3875	59	13087	兵団 109	19	20	-1	13002	兵団 112	0	0	0	12977	兵団 203	0	0	0	12920	合計	136018	135221	797		参考: 兵団 012		20347		13154
⑨ [建玉残高]	前日	清算																																														
(当日)	(前日)	値段																																														
兵団 103	132065	131326	739	13126																																												
兵団 106	3934	*3875	59	13087																																												
兵団 109	19	20	-1	13002																																												
兵団 112	0	0	0	12977																																												
兵団 203	0	0	0	12920																																												
合計	136018	135221	797																																													
参考: 兵団 012		20347		13154																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>[建玉残高]</th> <th>前日</th> <th>清算</th> </tr> <tr> <th>(当日)</th> <th>(前日)</th> <th>値段</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>超兵 103</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>15342</td> </tr> <tr> <td>超兵 106</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>超兵 109</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>超兵 112</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>超兵 203</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>参考: 超兵 012</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td>15182</td> </tr> </tbody> </table>								[建玉残高]	前日	清算	(当日)	(前日)	値段	超兵 103	1	1	0	15342	超兵 106	0	0	0	-	超兵 109	0	0	0	-	超兵 112	0	0	0	-	超兵 203	0	0	0	-	合計	1	1	0	-	参考: 超兵 012		0		15182
[建玉残高]	前日	清算																																														
(当日)	(前日)	値段																																														
超兵 103	1	1	0	15342																																												
超兵 106	0	0	0	-																																												
超兵 109	0	0	0	-																																												
超兵 112	0	0	0	-																																												
超兵 203	0	0	0	-																																												
合計	1	1	0	-																																												
参考: 超兵 012		0		15182																																												
																																																
PRINT END																																																

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	プリントタイトル	「建玉残高通知」
7	出力時刻	当該通知の出力時刻 (24時表示)
8	出力年月日	出力年月日

項番	出力項目		出力内容	
9	限月別 売建玉残高等	売建玉	当日	各限月の全社分の当日売建玉残高
			前日	各限月の全社分の前日売建玉残高 ※ 前日建玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」
		買建玉	当日	各限月の全社分の当日買建玉残高
			前日	各限月の全社分の前日買建玉残高 ※ 前日建玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」
		当日清算値段		各限月の当日清算値段
		全限月合計	売建玉	当日
	前日			全限月合計の全社分の前日売建玉残高
	買建玉		当日	全限月合計の全社分の当日買建玉残高
			前日	全限月合計の全社分の前日買建玉残高
	参考値	最終売建玉残高	取引終了限月の全社分の最終売建玉残高 ※ 最終建玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」	
		最終買建玉残高	取引終了限月の全社分の最終買建玉残高 ※ 最終建玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」	
		最終清算値段	取引終了限月について、最終清算値段	

13-8-2.2 達玉残高通知 (オプション)

当日の達玉集計完了後に、全社の達玉残高情報を出力します。

①②	③	④	⑤	⑥			⑦	⑧
12361	2	10001	2	達玉残高通知 (自社)			(16:47)	98.12.11
	⑨	行使 [参考] 価格	行使 ⑩ 数量	[達玉残高] (当日) (前日)		前日 比較	証拠金 基準値段	最終 清算値段
		TPX P012	1175	0	0	0	-	-
			1200	0	0	0	-	-
			1225	0	0	0	-	-
			1250	0	0	0	-	-
			1275	0	24	24	17	05
			1300	0	0	0	0	05
		☆	1325	0	0	0	0	40
		☆	1350	0	24	24	17	295
		⑪☆	1375	0	52	*57	42	690
		☆	1400	0	52	*57	42	875
		☆	1425	154	0	159	0	-
		☆	1450	7	0	5	0	-
			合計	161	76	245	59	1323.89
		行使 [参考] 価格	行使 数量	[達玉残高] (当日) (前日)		前日 比較	証拠金 基準値段	最終 清算値段
		TPX C012 ☆	1175	0	0	0	-	-
		☆	1200	0	0	0	-	-
		☆	1225	0	24	24	17	-
		☆	1250	0	52	*57	42	805
		☆	1275	154	0	159	0	520

↙

PRINT END

項番	出力項目	出力内容
1	サーバ番号	「注文受付通知」に同じ
2	ダブリ/再送符号	
3	サーバ別通番	
4	自社コード	
5	自社通番	
6	プリントタイトル	「達玉残高通知 (自社)」
7	出力時刻	当該通知の出力時刻 (24時表示)
8	出力年月日	出力年月日
9	[参考]表示	権利行使最終日の限月について抽選処理終了後に出力

項番	出力項目	出力内容	
10	当日権利行使数量	◆ 各権利行使価格の当日の権利行使数量 ◆ 当日が権利行使日でない場合は、「-」	
	売建玉	当日	各権利行使価格の全社分の当日売建玉残高
		前日	各権利行使価格の全社分の前日売建玉残高 ※ 前日建玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」
	買建玉	当日	各権利行使価格の全社分の当日買建玉残高
		前日	各権利行使価格の全社分の前日買建玉残高 ※ 前日建玉に訂正があった場合には、訂正符号「*」
	証拠金基準値段	各権利行使価格の当日の証拠金算定基準値段	
	権利行使数量	当該限月（プット／コール別）の全社分の当日の権利行使数量	
	売建玉	当日	当該限月（プット／コール別）の全社分の当日売建玉残高
		前日	当該限月（プット／コール別）の全社分の前日売建玉残高
	買建玉	当日	当該限月（プット／コール別）の全社分の当日買建玉残高
前日		当該限月（プット／コール別）の全社分の前日買建玉残高	
最終清算値段	差金決済のオプション取引の権利行使最終日についてのみ最終清算値段		
11	自動権利行使符号	自動権利行使制度が適用されているオプション取引の権利行使最終日において自動権利行使対象権利行使価格に自動権利行使符号「☆」	

13-9 取引証拠金算定基礎建玉残高にかかる通知

13-9-1 委託分取引証拠金算定基礎建残入力結果通知

委託分取引証拠金算定基礎建玉残高の入力が受け付けられた場合に出力します。

13-9-2 委託分取引証拠金算定基礎建残入力終了受付通知

各市場に対して委託分取引証拠金算定基礎建玉残高の入力終了指示を行った場合に出力されます。

13-9-3 委託分取引証拠金算定基礎建残入力無効通知

入力済みの委託分取引証拠金算定基礎建玉残高が無効となった場合に出力されます。

13-9-4 取引証拠金算定基礎建玉残高通知 (自社)

当日の委託分取引証拠金算定基礎建残集計完了後に自社の取引証拠金算定基礎建玉残高情報を出力します。

※ 上記の取引証拠金算定基礎建玉残高にかかる通知は、証拠金入れ日時等の短縮化が実施されるまでは出力されません。

13-10 最終清算指数 (SQ) メッセージ

各指数の最終清算指数 (SQ) を出力します。

<ページ/ドットプリンタ>

① ② ③
*** TOPIX SQ 1346.29 (15:05) ***

<レシートプリンタ>

TOPIX SQ 1346.29 (15:05)

項目	出力項目	出力内容
1	SQが算出された指数名	SQが算出された指数名
2	SQ	SQ
3	算出時刻	SQ算出時刻

第14章 運用機能について

運用機能には、「最終通番照会」、「再送要求/中止」、「代行指定/解除」、「通知検索」、「通知印刷」及び「通知クリア」があります。

上記の運用機能中、「再送要求/中止」及び「代行指定/解除」については、旧端末とは機能の概念が若干異なっておりますので、ご注意ください。

14-1 最終通番照会

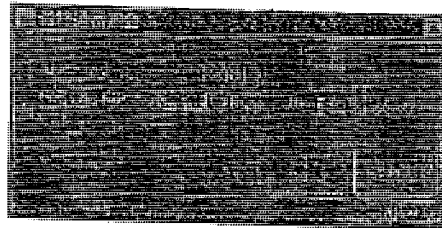
14-1-1 最終通番照会の概要

「最終通番照会」は、入力端末別（仮想サーバ含む）かつ市場別に中央システムが受信している最終の注文内容を問合わせる操作です。

検索回復時等には、必ず最終通番照会により最終注文内容を確認のうえ、業務を再開してください。

14-1-2 操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「3 通知/代行運用」→「1 最終通番照会」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから最終通番照会を行う市場を選択することにより、当該市場の「最終通番照会指示ウィンドウ」が表示されます。



- ③ 最終通番照会を行う「サーバ番号」（仮想サーバ含む）を入力後、「送信」操作行います。
- ④ 「最終通番照会結果ウィンドウ」が表示され、指定した市場のタブが表に表示され、指定した端末サーバ等の配下の入力端末の最終注文内容が応答表示欄に表示されます。
- ⑤ 指定した市場の他に、指示クライアントが利用可能な市場のタブが表示されますので、当該タブを選択することで、指定した端末サーバ等の配下の入力端末の他の市場の最終注文内容が応答表示されます。



なお、最終通番照会においては、再送・代行と異なり、旧端末を指定することができます。旧端末のTCE番号を入力してください。

14-1-3 最終通番照会結果ウィンドウ（端末サーバ指定時）

市場選択タブ
 最終通番照会を行う市場のタブの選択します。
 問合せ指示当初は、問合せ時に指定した市場のタブを表
 にして表示します。
 なお、指示クライアントの利用可能市場タブのみを表
 示します。

最終通番照会結果			
問合せ応答時刻			
(入力端末) 1001 新規	長国 012	(163120001)	
	引 買 (注文値段)	成行	
(自社コード) 10001	(注文値段)	(ID) (管理項目) 自	
	(注文番号)		
	(社内番号)	1234567890	
(入力端末) 1002 取消	中国 012	(163120004)	
	エラー買 (取消注文値段)		
(自社コード) 10001	(注文番号)	1238	
	(社内番号)		
(入力端末) 1003 変更	長国 012	(163120001)	
	買 1365/		
(自社コード) 10001	(変更条件)		
	(変更値段)		
	(削減数量)	20	
	(変更社内)		
	(変更管理)	自	

最終注文内容
 指定した端末サーバ配下のクライアントの市場ごとの最終注文の指示内容を表示します。
 入力した注文に応じて、「新規」(新規注文入力)、「取消」(取消注文入力)、「変更」(変更注
 文入力)、「一括」(一括取消指示)及び「一括」(一括注文入力ウィンドウから入力した一括
 注文がエラー注文となった場合のみ)の種別を表示します。
 また、最終注文がエラー注文である場合には、「エラー」を表示します。

14-1-4 最終通番照会結果ウィンドウ（仮想サーバ指定時）

市場選択タブ
 最終通番照会を行う市場のタブの選択します。
 問合せ指示当初は、問合せ時に指定した市場のタブを表にして表示します。
 なお、指示クライアントの利用可能市場のタブのみを表示します。

問合せ応答時刻

(仮想サーバ) 12399 新規 9999999999999999 (999999999)

(入力通番) 56 引 買 (注文値段) 13025

(自社ID) 1000 (注文数量) 10 (管理項目)

(注文番号)

(社内番号) 1000000056

最終注文内容
 指定した仮想サーバの市場ごとの最終注文の指示内容を表示します。
 入力した注文に応じて、「新規」(新規注文入力)、「取消」(取消注文入力)、「変更」(変更注文入力)の種別を表示します。
 また、最終注文がエラー注文であり場合には、「エラー」を表示します。

14-1-5 自動最終通番照会

オンライン中に、中央システム、端末システム又は回線の障害により、オフライン状態となった場合に、オンライン回復時に自動的に「自端末サーバ」の「最終通番照会」を行うことができます。

オンライン回復時に、「自動最終通番確認ウィンドウ」がクライアントの画面に表示されますので、「最終通番照会」が必要な場合は、「はい」を選択する（「送信」操作を行う）ことにより、「最終通番照会結果ウィンドウ」が表示されます。



「最終通番照会」が必要ない場合は、「いいえ」を選択して下さい。「自動最終通番照会確認ウィンドウ」を閉じます。



なお、「自動最終通番照会確認ウィンドウ」は、市場単位で表示します。中央システムの市場単位の障害でない限り、「自動最終通番照会確認ウィンドウ」は、当該クライアントのすべての利用可能市場について表示します。その場合、1つの市場に対して自動最終通番照会を要求すると、「最終通番照会結果ウィンドウ」は、その市場のタブを表にして表示し、他の市場については、タブの選択を切り替えることにより、問合せできますので、他の市場についての「自動最終通番照会確認ウィンドウ」は閉じて構いません。

14-2 再送要求/中止

14-2-1 再送機能の概要

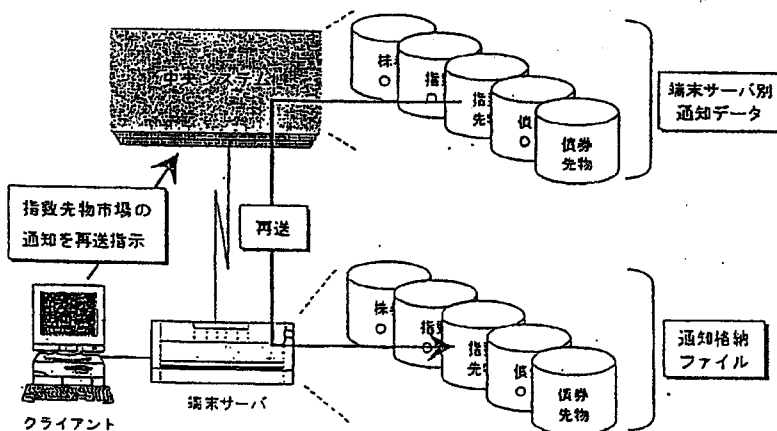
「再送要求」は再送要求指示時点までに中央システムが当日中に端末サーバ及び仮想サーバに出力した市場単位の「全通知情報」を、再送要求指示を行ったクライアントの属する端末サーバに再出力させる操作です。

また、「再送中止」は、再送中の通知出力を中止させる操作です。

本端末における「再送要求」は、基本的には、端末サーバ自体や通知格納ファイルの障害時の回復時に、「通知格納ファイル」の格納データの回復を図る手段として用います。

旧端末における「再送要求機能」（通番を指定しての通知のプリンタへの再出力）は、「通知印刷」により可能です。

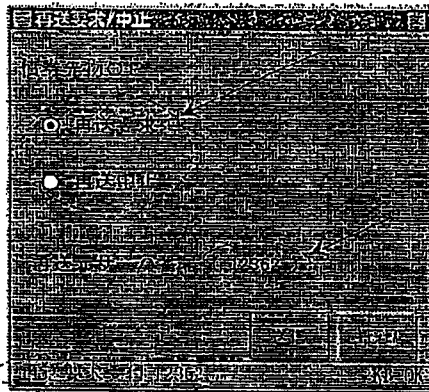
ただし、再送通知はプリンタ等にも出力しますので、通番を指定しない形での「端末サーバ単位」での通知の再出力用として利用できます。



- ◆ 再送情報元として自端末サーバを指定した場合には、再送要求により再出力された通知（再送通知）は、通常の通知と同様に「通知出力先指定」で設定された各プリンタ及び通知表示エリアに出力します。
- ◆ 再送情報元として他端末サーバを指定した場合には、再送通知は「通知出力先指定」での入力端末「0000」で設定したプリンタに出力します。
- ◆ 自端末サーバの再送通知は端末サーバ内の通知格納ファイルに格納されますので、通知検索・通知印刷により画面表示・印刷出力を行わせることができます。

14-2-2 再送要求の操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「3 通知/代行運用」→「2 再送要求/中止」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから通知の再出力を行う市場を選択することにより、当該市場の「再送要求/中止指示ウィンドウ」が表示されます。
- ③ 再送情報元の端末サーバまたは仮想サーバ番号を入力して、「送信」操作を行います。
- ④ 指示が正常に受け付けられると、メッセージ表示欄に「再送要求受付」のメッセージが表示され、再送情報元として指定した端末サーバ等への出力通知の自端末サーバへの再出力が開始されます。



再送要求/中止選択ラジオボタン
再送要求/再送中止を選択します。
初期表示時は、再送要求が選択されています。

再送情報元サーバ番号入力欄
再送要求指示時に再送情報元のサーバ番号を入力します。
未入力の場合は、自端末サーバ指定とします。
再送中止指示時には、入力不要です。

再送要求/中止受付メッセージ
再送要求/中止が正常に受け付けられた場合は、受付メッセージ及び指示したサーバ番号を表示します。
◆ 再送要求時：「再送要求受付 12362」
◆ 再送中止時：「再送中止受付 12362」

14-2-3 再送中止の操作方法

「再送要求/中止指示ウィンドウ」において、「再送中止」のラジオボタンを選択して、「送信」操作を行い、指示が正常に受け付けられると、メッセージ表示欄に「再送中止受付」のメッセージが表示され、中央システムから自端末サーバへの通知の再出力が中止されます。

※ 「再送中止」指示時には、「再送中止」のラジオボタンの選択のみが必要です。「再送元サーバ番号」の入力は不要です。

⚠ なお、再送情報元としてデータサーバを指定した場合には、自社の「全通知」が再出力されますので、ご注意ください。

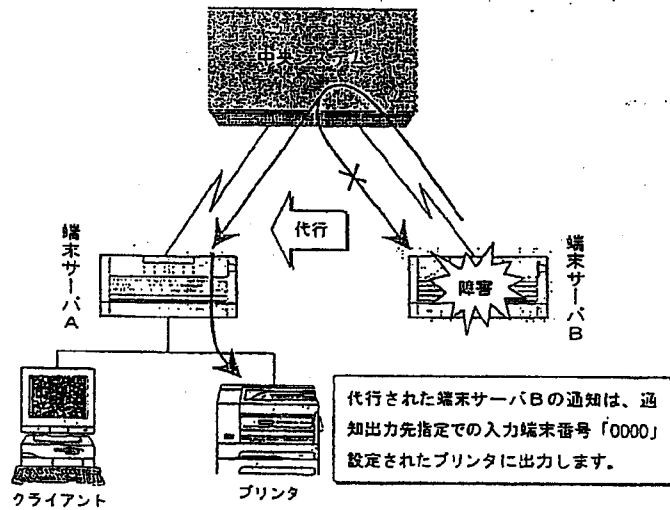
14-3 代行指示／解除

14-3-1 代行機能の概要

「代行指示」は、端末サーバ等が障害となった場合に、当該障害中の端末サーバを出力先としている通知を、市場単位に他の正常な端末サーバに出力を代行させる操作です。

また、「代行解除」は、代行元の端末サーバ等の障害回復に伴い、通知の出力の代行を解除する操作です。

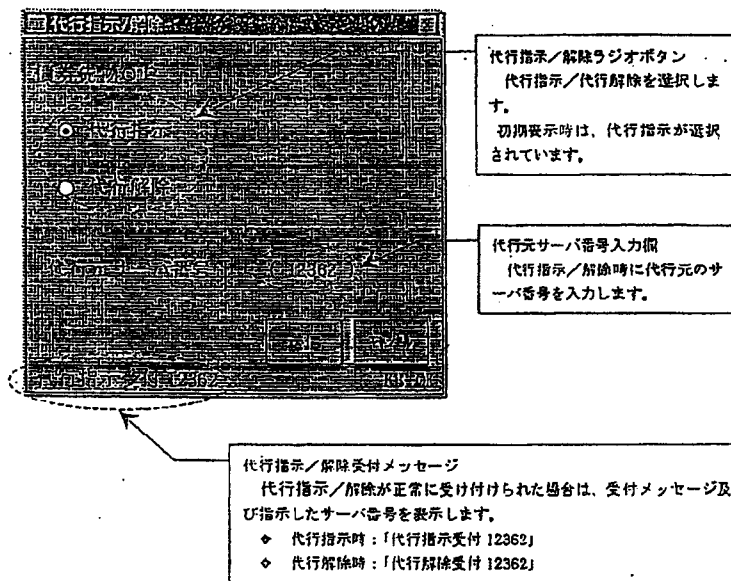
旧端末における代行指示機能は、プリンタ間の通知出力の代行であるのに対して、本端末における代行指示機能は、端末サーバ間の通知出力を代行するものです。



- ◆ 代行指示は市場単位の指示となっていますので、端末サーバ障害等で代行元の端末サーバが全く使用できない場合は、当該端末サーバの利用可能市場すべてに対して代行指示を行って下さい。
- ◆ 逆に障害回復に伴い代行解除する場合も、代行指示を行っているすべての市場に対して代行解除を行って下さい。
- ◆ 自端末サーバに代行出力された他の端末サーバ宛での通知は、「通知出力先指定」での入力端末として「0000」で設定したプリンタに出力します。

14-3-2 操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「3 通知/代行運用」→「3 代行指示/解除」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから通知の代行出力を行う市場を選択することにより、当該市場の「代行指示/解除指示ウィンドウ」が表示されます。
- ③ 代行元の端末サーバまたは仮想サーバ番号を入力して、「送信」操作を行います。
- ④ 指示が正常に受け付けられると、メッセージ表示欄に「代行指示受付」のメッセージが表示され、代行元の端末サーバ宛ての通知の自端末サーバへの代行出力が開始されます。



14-3-3 代行解除の操作方法

「代行指示/解除指示ウィンドウ」において、「代行解除」のラジオボタンを選択、「代行元サーバ番号」を入力して、「送信」操作を行い、指示が正常に受け付けられると、メッセージ表示欄に「代行解除受付」のメッセージが表示され、代行元の端末サーバ宛て通知の自端末サーバへの代行出力が中止されます。

14-4 通知検索

14-4-1 通知検索の概要

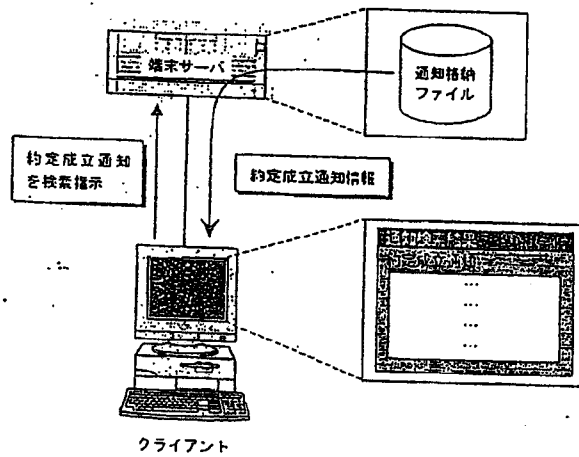
「通知検索」は、端末サーバ内の通知格納ファイルに保持している当日の通知情報をクライアントの画面上に表示させる操作です。

端末サーバは、当日中央システムから送信されてきたすべての通知を、通知格納ファイルに保持しています。

「通知検索」指示は、クライアントからの指示により、端末サーバ内の通知検索ファイルを検索し、指示した条件（通知種別、市場単位/銘柄単位、端末単位/全端末）に合致する通知情報を画面上に応答表示させる操作です。

また、通知検索についても一部の問合せと同様に、通知種別及び検索端末番号の指定によっては、データサーバに対して検索を行い、応答情報を表示します。

⇒ 「10-1-2 端末サーバ（データサーバ）問合せ」



◆ 通知検索時に指定可能な通知種別は以下のとおりです。

- | | |
|--------------|------------------------|
| ◇ 注文受付通知 | ◇ 転売・買戻入力結果通知 |
| ◇ 約定成立通知 | ◇ 転売・買戻/権利行使入力結果通知 |
| ◇ 取消/変更結果通知 | ◇ 委託分取引証拠金算定基礎建玉残高通知 |
| ◇ 失効注文通知 | ◇ 割当通知 |
| ◇ エラー通知 | ◇ 建玉残高通知 |
| ◇ ストップ建注文リスト | ◇ 建玉残高通知 (自社) |
| ◇ 約定状況プリント | ◇ 取引証拠金算定基礎建玉残高通知 (自社) |
| ◇ 大口対当銘柄リスト | ◇ 運用指示メッセージ |

14-4-2 操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「3 通知/代行運用」→「4 通知検索」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから通知印刷を行う市場を選択することにより、当該市場の「通知検索指示ウィンドウ」が表示されます。
- ③ 必要項目を選択・入力後、「送信」操作を行います。
- ④ 「通知検索結果ウィンドウ」が表示され、指定した通知情報が応答表示欄に表示されます。

メニューバー
メニューバー項目として「銘柄選択」が選択できます。
銘柄単位に検索を行う場合に選択します。
ただし、指定した市場の銘柄のみ選択可能です。
⇒ 「5-2-4 入力対象銘柄の変更」

通知種別選択欄
検索を行う通知種別を選択します。
「↑」「↓」キーの押下により通知の選択が変更できます。
また、「▼」ボタンのクリックにより選択可能な通知の一覧がドロップダウンリスト形式で表示されるので、その中から選択もできます。

銘柄名表示欄
銘柄単位に検索を行う場合に、メニューバー項目の「銘柄選択」から選択した銘柄名を表示します。
銘柄を指定しない場合は、市場単位に検索します。

検索端末番号入力欄
注文受付通知や約定成立通知等の「注文等の入力にかかる通知」及び「運用指示メッセージ」を通知種別に指定して検索を行う場合にキーとなる端末番号を入力します。
◆ 未入力時 : 「自端末指定」
◆ 端末番号入力時 : 「指定した端末 (仮想入力端末含む) 指定」
◆ 「0000」入力時 : 操作を行ったクライアントと同一ネットワーク上にデータサーバがある場合は、「自社全端末指定」
同一ネットワーク上にデータサーバがない場合は、「自端末サーバ配下の全端末指定」

14-4-3 検索条件の組み合わせと応答情報

検索条件 (指定内容)			検索先 サーバ	応答内容
検索通知種別	検索銘柄	検索端末番号		
① 注文受付通知	なし	未入力又は自 端末番号	自端末サーバ	自端末の市場単位の通知
② 約定成立通知				
③ 取消/変更結果通知	なし	他端末番号	データサーバ	指定端末の市場単位の通知
④ 失効注文通知				
⑤ エラー通知	なし	0000	データサーバ	自社全端末の市場単位の通知
⑥ 転売・買戻入力結果通知	あり	未入力又は自 端末番号	自端末サーバ	自端末の指定銘柄の通知
⑦ 転売・買戻/権利行使 入力結果通知	あり	他端末番号	データサーバ	指定端末の指定銘柄の通知
⑧ 委託分取引証拠金算定 基礎建替入力結果通知	あり	0000	データサーバ	自社全端末の指定銘柄の通知
⑨ ストップ値注文リスト	なし	—	データサーバ	市場単位の通知
⑩ 大口対当銘柄リスト				
⑪ 割当通知	あり	—	データサーバ	市場単位の通知
⑫ 約定状況プリント				
⑬ 建玉残高通知 (自社)				
⑭ 建玉残高通知	—	—	データサーバ	市場単位の指定通知
⑮ 取引証拠金算定基礎建 玉残高通知 (自社)				
⑯ 運用メッセージ	—	未入力又は自 端末番号	自端末サーバ	自端末からの運用指示による運用メッセージ
	—	自端末サーバ 配下の他端末 番号	自端末サーバ	自端末サーバ配下の他端末指示からの運用指示による運用メッセージ
	—	0000	自端末サーバ	自端末サーバ配下の全端末からの運用指示による運用メッセージ

- ※ 検索条件が「—」となっている項目は、入力不要項目で、入力を行っても無視されます。
- ※ ⑯の「運用メッセージ」については、自端末サーバ配下のクライアントからの運用指示によるメッセージのみを応答表示します。
- ※ 同一ネットワーク上にデータサーバがない場合は、常に自端末サーバに検索を行います。
- ※ 同一ネットワーク上にデータサーバがある場合は、旧先OP端末を指定することもできます。
(旧株OP端末の指定はできません。)

14-4-4 通知検索結果ウィンドウ

指定した通知種別を表示します。

銘柄単位での検索の場合には、「銘柄名」を、市場単位での検索の場合には、「市場名」を表示します。

1	1 (1001 1234)	長国 012					
売	13025 始	10 (株)	0)	9:00	537	1000000001	自
3	5 (1001 1234)	長国 012					
7	12 (1001 1234)	長国 012					
買	13025 始	10 (株)	0)	9:00	76		
9	16 (1001 1234)	長国 012					
買	13025 始	7P(株)	3)	9:00	77	1000000004	自
21	30 (1001 1234)	長国 012					
買	13025	3E(株)	0)	9:01			
22	31 (1001 1234)	長国 012					
売	13025	5 (株)	0)	9:01	223	1000000007	自
23	32 (1001 1234)	長国 012					
売	13028	1P(株)	4)	10:22	879	1000000008	自
45	59 (1001 1234)	長国 012					
売	13028	2P(株)	2)	10:25	879	1000000009	自
56	77 (1001 1234)	長国 012					
買	13028	10 (株)	0)	10:27	890	1000000010	自
67	97 (1001 1234)	長国 012					
買	13027	1 (株)	1)	10:30	879	1000000011	自
68	98 (1001 1234)	長国 012					
売	13028	1P(株)	1)	12:39	1232	1000000012	自
70	100 (1001 1234)	長国 012					
売	13028	1E(株)	0)	12:40	1232	1000000013	自
07	145 (1001 1234)	長国 012					

指定した検索端末番号を表示します。

検索先の端末サーバ番号を表示します。

応答表示欄
指定された通知情報を応答表示します。
通知情報の出力項目は、プリント出力通知と同じです。
☐ 「第 13 章 通知について」

未表示情報ありメッセージ
「通知検索」指示においては、1回の指示で「40行」分の通知情報を応答表示します。
したがって、41行分以上の通知情報がある場合には、未表示情報ありのメッセージとして「次頁あり」・「前頁あり」・「前頁/次頁あり」のメッセージを表示し、未表示情報があることを知らせます。
また、更新問合せ操作を行った場合には、その時点で表示中の頁の情報が更新されます。
☐ 「5-3-4 未表示情報の問合せ」

14-5 通知印刷

14-5-1 通知印刷の概要

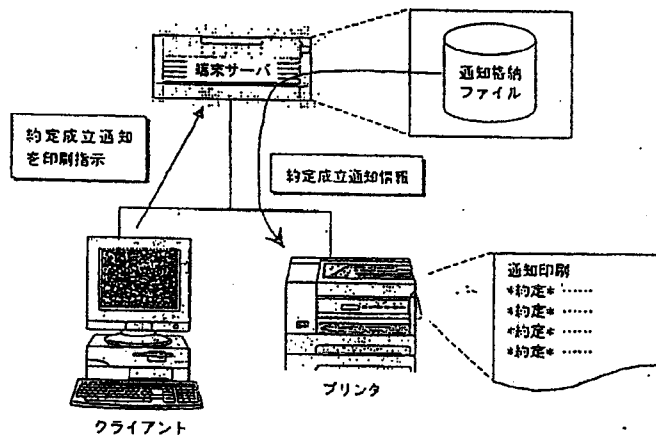
通知印刷は、端末サーバ内の通知格納ファイルに保持している当日の通知情報をプリンタに印刷出力させる操作です。

端末サーバは、当日中央システムから送信されてきたすべての通知を、通知格納ファイルに保持しています。

「通知印刷」指示は、クライアントからの指示により、端末サーバ内の通知検索ファイルを検索し、指示した条件（通知種別、端末単位/全端末、通知の通番範囲）に合致する通知情報を指定したプリンタに印刷出力させる操作です。

また、通知印刷についても一部の問合せと同様に、通知種別及び検索端末番号の指定によっては、データサーバに対して検索を行い、印刷出力を行います。

○ 「10-1-2 端末サーバ（データサーバ）問合せ」



◆ 通知印刷指示時に指定可能な通知種別は以下の通りです。

- | | |
|--------------|-------------------------|
| ○ 注文受付通知 | ○ 伝票・買戻入力結果通知 |
| ○ 約定成立通知 | ○ 伝票・買戻/権利行使入力結果通知 |
| ○ 取消/変更結果通知 | ○ 委託分取引証拠金算定基礎建玉残入力結果通知 |
| ○ 失効注文通知 | ○ 割当通知 |
| ○ エラー通知 | ○ 建玉残高通知 |
| ○ ストップ伝注文リスト | ○ 建玉残高通知（自社） |
| ○ 約定状況プリント | ○ 取引証拠金算定基礎建玉残高通知（自社） |
| ○ 大口対当銘柄リスト | ○ 運用指示メッセージ |

14-5-2 通知印刷の操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「3 通知/代行運用」→「5 通知印刷」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから通知印刷を行う市場を選択することにより、当該市場の「通知印刷指示ウィンドウ」が表示されます。
- ③ 必要項目を選択、選択・入力後、「送信」操作を行います。
- ④ 指示が正常に受け付けられると、メッセージ表示窓に「通知印刷受付」のメッセージが表示され、指定したプリンタに指定した通知が印刷出力されます。

通知印刷/打切選択ラジオボタン
通知印刷/通知印刷の打切りを選択します。
初期表示時は「通知印刷」が選択されています。

通知種別選択欄
印刷を行う通知種別を選択します。
「1」「1」キーの押下により通知の選択が可能です。
また、「マ」ボタンのクリックにより選択可能な通知の一覧がドロップダウンリスト形式で表示されるので、その中から選択もできます。

出力先プリンタ番号入力欄
通知情報の印刷出力先プリンタ番号を入力します。

通知通番選択・入力欄
自社通番か顧客サーバル別通番の別をラジオボタンで選択して、印刷出力を行いたい通知の選択した通番種別における先頭通番と後尾通番を指定します。
それぞれ未入力の場合は、先頭通番は「1」を、最終通番は指示時の「直近の通番」とします。

検索端末番号入力欄
注文受付通知や約定成立通知等の「注文等の入力にかかる通知」及び「運用指示メッセージ」を通知種別に指定して検索・印刷出力を行う場合にキーとなる端末番号を入力します。

- ◆ 未入力時 : 「自端末指定」
- ◆ 端末番号入力時 : 「指定した端末 (仮想入力端末含む) 指定」
- ◆ 「0000」入力時 : 操作を行ったクライアントと同一ネットワーク上にデータサーバがある場合は、「自社全端末指定」
同一ネットワーク上にデータサーバがない場合は、「自端末サーバ配下の全端末指定」


14-5-3 検索条件の組み合わせと応答情報

検索条件 (指定内容)		検索先 サーバ	出力内容
通知種別	端末番号		
① 注文受付通知 ② 約定成立通知 ③ 取消/変更結果通知 ④ 失効注文通知 ⑤ エラー通知 ⑥ 転売・買戻入力結果通知 ⑦ 転売・買戻/権利行使入力結果通知 ⑧ 委託分散引証拠金算定基礎残 入力結果通知	未入力又は 自端末番号 他端末番号 0000	自端末サーバ データサーバ データサーバ	自端末の市場単位の指定通 番範囲の指定通知 指定端末の市場単位の指定 通番範囲の通知 自社全端末の市場単位の指 定通番範囲の通知
⑨ ストップ値注文リスト ⑩ 大口対当銘柄リスト ⑪ 割当通知	—	データサーバ	市場単位の指定通番範囲の 通知
⑫ 約定状況プリント ⑬ 連玉残高通知 (自社) ⑭ 連玉残高通知 ⑮ 取引証拠金算定基礎連玉残高通 知 (自社)	—	データサーバ	市場単位の指定通番範囲の 通知
⑯ 運用メッセージ ※ 運用メッセージについて は、通番指定を入力不要項 目としているため、入力し た場合でも無視します。	未入力又は 自端末番号	自端末サーバ	自端末からの運用指示によ る運用メッセージ
	自端末サー バ配下の他 端末番号	自端末サーバ	自端末サーバ配下の他端末 指示からの運用指示による 運用メッセージ
	0000	自端末サーバ	自端末サーバ配下の全端末 からの運用指示による運用 メッセージ

※ ⑯の「運用メッセージ」については、自端末サーバ配下のクライアントからの運用指示による
メッセージのみを印刷出力します。

※ 同一ネットワーク上にデータサーバがない場合は、常に自端末サーバに検索を行います。

※ 同一ネットワーク上にデータサーバがある場合は、旧端末を指定することもできます。

 検索先が「データサーバ」となる場合には、出力先プリンタとして当該データ
サーバが利用可能なプリンタしか指定できません。

14-5-4 通知印刷打切の操作方法

「通知印刷指示指示ウィンドウ」において、「印刷打切」のラジオボタンを選択して、「出力プリンタ番号入力欄」に通知印刷中のプリンタ番号を入力して、「送信」操作を行い、指示が正常に受け付けられると、メッセージ表示欄に「通知印刷打切受付」のメッセージが表示され、プリンタへの通知印刷が打ち切られます。

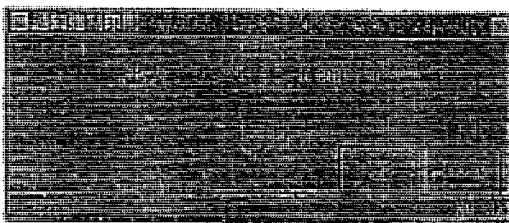
※ 「通知印刷打切」指示時には、「印刷打切」のラジオボタンの選択と「出力プリンタ番号」の入力のみ必要で、その他の項目の選択・入力は不要です。

14-6 通知強制印刷

「通知強制印刷」は、一定時間間隔（3分）又は1ページ分の通知がたまった時点での出力の設定となっている「ページプリンタ」に対して、前の出力時点から一定時間が経過していないので、出力待ちとなって溜まっている通知について、強制的に印刷出力させる操作です。

14-6-1 通知強制印刷の操作方法

- ① メインウィンドウのメニューバーから「**適用**」→「**3 通知/代行運用**」→「**8 通知強制印刷**」の順で選択します。
- ② 「通知強制印刷指示ウィンドウ」が表示されますので、出力させたいページプリンタの端末番号を入力後、「**送信**」操作を行います。
- ③ 指示が正常に受け付けられると、指定したページプリンタに出力待ちの通知がある場合は、出力を開始します。



- ◆ ページプリンタを複数端末サーバで共有している場合には、端末サーバごとに当該指示を行って下さい。
- ◆ 当該指示は、指示を行った端末サーバへの出力通知のページプリンタ出力時にのみ適用されます。

14-7 通知クリア

「通知クリア」は端末サーバの通知格納ファイル内の通知情報を市場単位にすべて削除する操作です。

「通知クリア」は、「通知格納ファイルに障害が発生した場合」のみ行うことができ、それ以外の時点での指示はエラーとなります。

通知格納ファイルは、市場単位に存在し、当該市場の通知格納ファイルの「障害の発生」を端末サーバが検知すると、配下の当該市場を利用可能としている全クライアントの画面上に「通知格納ファイル障害メッセージ」が表示されますので、当該市場を指定して「通知クリア指示」を行って下さい。

クライアントの画面上に「通知格納ファイル障害メッセージ」が表示されます。



メッセージが表示された市場の通知格納ファイルに対して「通知クリア指示」を行います。

<操作方法>

- ① メインウィンドウのメニューバー項目の「運用」→「3 通知・代行運用」→「7 通知クリア」の順で選択します。
- ② 市場選択を行うサブメニューリストから通知クリアを行う市場を選択することにより、当該市場の「通知クリア指示ウィンドウ」が表示されます。



- ③ 送信操作を行います
- ④ 通知クリア指示が正常に受け付けられると、メッセージ表示欄に「通知クリア受付」のメッセージが表示されます。



「通知格納ファイルが障害となった場合」には、通知クリアを行わないと、それ以降の通知を受信することができませんので、必ず通知クリアを行って下さい。

14-8 画面印刷

画面印刷指示を行った場合には、クライアントに表示中の画面情報をハードコピーイメージでプリンタ（レシートプリンタ除く）に印刷出力を行います。

14-8-1 操作方法

- ① キーボード上の「画面印刷」キーを押下します。
- ② 指示が正常に受け付けられた場合は、「画面印字受付」のメッセージを表示し、印刷出力を開始します。

14-8-2 画面印刷出力先プリンタ

画面印刷指示時の印刷出力先のプリンタは、指示したクライアントの属性により、以下のようになります。

指示クライアント	画面印刷出力先プリンタ	
	通常出力先プリンタ	通常出力先プリンタが 障害中の出力先プリンタ
プリンタ制御クライアント ⇒ 「2-4 プリンタ」	当該制御先プリンタ	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 指示クライアントの属する端末サーバ配下の端末番号が一番小さいプリンタ ◆ 端末番号が一番小さいプリンタが制御先プリンタの場合は、端末番号が2番目に小さいプリンタ
制御しているプリンタがないクライアント	指示クライアントの属する端末サーバ配下の端末番号が一番小さいプリンタ	—

第15章 障害時の対応について

15-1 取引用端末装置の障害

取引用端末装置（端末サーバ・クライアント）に障害が発生した場合には、障害メッセージが表示されますので、メッセージの内容を確認後、再度、電源投入から操作手順を繰り返します。再操作によって障害が回復しない場合は、その旨を、「東証業務システム部」に連絡し、保守員の派遣を要請します。

保守員が行う修復作業完了までの間は、他の正常な装置を利用して業務を続行します。

他に利用できる取引用端末装置がなく、業務続行が不可能な場合には、「東証業務システム部」の指示に従い、本所に設置されている「障害時端末」を臨時に利用して業務を続行します。

15-1-1 クライアント障害の場合

15-1-1.1 再操作により正常に回復したとき

- ① 中央システムで受け付けられた最終入力注文を確認するため、「最終通番照会」を行います。
- ② 最終入力注文が確認できたところで、次の注文から入力を開始します。

15-1-1.2 再操作により正常に回復しないとき

- ◆ 他に利用可能なクライアントがある場合
 - ① 端末障害の状況を「東証業務システム部」に連絡し、保守会社に保守員派遣を要請します。
 - ② 他の利用可能なクライアントから、障害が発生したクライアントの中央システムで受け付けられた最終入力注文を確認するため、「最終通番照会」を行います。
 - ③ 最終入力注文が確認できたところで、他の利用可能なクライアントで次の注文から入力を開始します。
- ◆ 他に利用可能なクライアントがない場合
 - ① 端末障害の状況を「東証業務システム部」に連絡し、保守会社に保守員派遣を要請します。
 - ② 入力を行う必要のある注文がある場合等、必要に応じて「障害時端末」の利用を申し出ます。
 - ③ 「障害時端末」を利用して、障害が発生したクライアントの中央システムで受け付けられた最終入力注文を確認するため、「最終通番照会」を行います。
 - ④ 最終入力注文が確認できたところで、他の利用可能なクライアントで次の注文から入力を開始します。

15-1-2 プリンタ障害の場合

15-1-2.1 再操作により正常に回復したとき

- ① 出力通知の内容を確認します。
- ② 用紙ジャム等により出力内容が判読できない場合又は通知の抜けがある場合等は、通知の再出力の必要がある場合には、「通知検索」により通知内容を確認し、「通知印刷」により通知を再出力を行います。
※「レシートプリンタ」には「通知印刷」指示はできません。

15-1-2.2 再操作により正常に回復しないとき

- ◆ 他に利用可能なプリンタがある場合
 - ① 端末障害の状況を「東証業務システム部」に連絡し、保守会社に保守員派遣を要請します。
 - ② 他の利用可能なプリンタがある場合には、「通知出力先指定（端末）」により、通知の出力先の設定を他の利用可能なプリンタに変更します。
 - ③ 通知の抜け等、通知の再出力が必要な場合には、「通知検索」で通知内容を確認し、「通知印刷」で再出力を行います。
- ◆ 他に利用可能なプリンタがない場合
 - ① 端末障害の状況を「東証業務システム部」に連絡し、保守会社に保守員派遣を要請します。
 - ② 障害以降に発生した通知について、「通知検索」により通知内容を確認し、業務の続行が必要な場合には、「障害時端末」の利用を申し出ます。

15-1-3 端末サーバ障害の場合

端末サーバ障害により、端末サーバがダウンした場合には、画面下部のステータス表示エリアに「オフライン」を表示し、クライアントに表示中の板/気配情報が消去されます。

15-1-3.1 再操作により正常に回復したとき

- ① 配下のクライアントの中央システムで受け付けられた最終入力注文を確認するため、「最終通番照会」を行います。
- ② 最終入力注文が確認できたところで、次の注文から入力を開始します。

15-1-3.2 再操作により正常に回復しないとき

- ◆ 他に利用可能な端末サーバがある場合
 - ① 端末障害の状況を「東証業務システム部」に連絡し、保守会社に保守員派遣を要請します。
 - ② 他の利用可能な端末サーバ配下のクライアントから、障害が発生した端末サーバ配下のクライアントの中央システムで受け付けられた最終入力注文を確認するた

め、「最終通番照会」を行います。

- ③ 最終入力注文が確認できたところで、他の利用可能な端末サーバ配下のクライアントで次の注文から入力を開始します。
- ④ また、他に利用可能な端末サーバに、「通知出力先指定（端末）」において、入力端末番号「0000」での出力先プリンタを指定し、通知出力の「代行指示」を行います。
- ⑤ データサーバではない端末サーバが障害となり、障害中の端末サーバに出力済みの通知を再出力する必要がある場合には、同一ネットワーク上に「データサーバ」がある場合は、利用可能なクライアントから、同一ネットワーク上にデータサーバがない場合は、「データサーバ」配下のクライアントから、「通知検索」により通知の内容を確認し、「通知印刷」により通知の再出力を行います。
- ⑥ データサーバの端末サーバが障害となり、当該端末サーバ（データサーバ）に出力済みの通知を再出力する必要がある場合には、「通知出力先指定（端末）」において、入力端末番号「0000」での出力先プリンタを指定し、他に利用可能な端末サーバに「再送要求」を行い、プリンタに再出力させます。

※ ただし、データサーバを指定して「再送要求」を行った場合には、自社の「全通知」が再出力されますので、ご注意下さい。

◆ 他に利用可能な端末サーバがない場合

- ① 端末障害の状況を「東証業務システム部」に連絡し、保守会社に保守員派遣を要請します。
- ② 入力を行う必要のある注文がある場合等、必要に応じて「障害時端末」の利用を申し出ます。
- ③ 「障害時端末」を利用して、障害が発生したクライアントの中央システムで受け付けられた最終入力注文を確認するため、「最終通番照会」を行います。
- ④ 最終入力注文が確認できたところで、他の利用可能なクライアントで次の注文から入力を開始します。



端末サーバの障害を中央システム側で発見した場合には、「東証業務システム部」又は「保守会社」から障害の旨連絡します。

15-2 通信回線の障害

回線障害が発生すると、回線終端装置 (DSU) の「DNRランプ」が点灯します。また、クライアントの画面下部のステータス表示エリアに「オフライン」を表示し、クライアントに表示中の板/気配情報が消去されます。

NTTへの障害申告は、本所が行いますので、修復作業完了までの間は、他の回線に接続する正常な端末を利用して業務を続行します。

NTTが行う修復作業完了までの間は、他の正常な装置を利用して業務を続行します。

他に利用できる取引用端末装置がなく、業務続行が不可能な場合には、「東証業務システム部」の指示に従い、本所に設置されている「障害時端末」を臨時に利用して業務を続行します。

通信回線障害の場合の対応は、端末サーバ障害の場合と同じです。

なお、端末サーバは正常に稼働しているため、通信回線障害以前の通知情報について、「通知検索」や「通知印刷」は行えます。

15-3 中央システム障害

中央システム等に障害が発生すると、「東証業務システム部」からその連絡があります。また、クライアントの画面下部のステータス表示エリアに「オフライン」を表示し、クライアントに表示中の板/気配情報が消去されます。

中央システムの障害が回復するまで、取引業務を停止して待機します。

なお、端末サーバは正常に稼働しているため、中央システム障害以前の通知情報について、「通知検索」や「通知印刷」は行えます。



通信回線又は中央システム障害の場合、障害状況及び回復状況により、本所は以下の措置を講じます。

- ◆ 注文受付開始時刻の遅刻・前倒し
- ◆ 注文受付の停止・再開
- ◆ 立会開始時刻の遅刻
- ◆ 売買取引の停止・再開
- ◆ 立会終了時刻の遅刻

上記の措置を講じることを決定した場合には、その旨を連絡しますので、一斉電話末サーバの障害を中央システム側で発見した場合には、「東証業務システム部」又は「一斉同胞FAX」による連絡内容が取引担当者間で速やかに伝達されるよう社内体制を整えておいて下さい。

15-4 障害回復時の運用

端末障害/回線障害から回復した場合には、クライアント下部のステータス表示エリアが回復時のステータスとなるとともに、板/気配情報が自動又は「送信」キーの押下により再開合せされます。

障害時端末を利用していた場合には、「東証業務システム部」の指示に従い同端末の利用を終了し、自社の正常に回復した端末からの業務に復帰します。

中央システムが正常に回復した場合には、プリンタに「注文受付再開」メッセージ等が出力され、本所から正常回復及びその後の取扱いについて連絡がありますので、その指示に従って下さい。

15-4-1 端末及び回線障害からの回復の場合

- ◆ 注文入力について
最終通番照会により、最終入力注文を確認し、入力を再開します。
- ◆ 通知出力について
代行先の端末サーバから、正常に回復した端末サーバへ「代行解除」します。
また、代行中の通知情報の通知格納ファイルへの回復を図るため、「再送要求」を行います。
- ◆ 障害時端末を利用しているとき
「東証業務システム部」から自社端末の正常回復の旨の連絡がありますので、「障害時端末」の利用を終了し、正常に回復した自社端末により業務を再開します。

15-4-2 中央システム障害からの回復の場合

障害回復及びその後の業務の取扱いについて、本所は「一斉電話」及び「一斉回線FAX」を通じて連絡しますので、その指示に従って下さい。

また、その後の業務の取扱いに応じて、メッセージをプリンタに出力します。

- ◆ 注文受付を再開する場合

---注文受付再開(時:分)---

- ◆ 障害回復後、取引再開後、最初の約定値段について板寄せで約定成立させる場合

---注文受付再開 板寄せ(時:分)---

- ◆ 終値決定時において障害が発生した後、回復して終値の決定を再開した場合

---終値付合再開(時:分)---

- ◆ 障害回復しても立会を再開することが不相当と本所が決定した場合

---立会打切(時:分)---

15-5 障害時端末の利用

自社の端末に障害が発生し、本所が「障害時端末」の利用を認めた場合には、本所の指示に従って同端末を臨時の代替端末として業務を続行できます。

本所は以下の場合に「障害時端末」の利用を認めることとなっています。

- ◆ 自社の全端末サーバ又は全通信回線が障害となった場合
- ◆ 注文/伝票・買戻数量等の入力可能な全端末が障害となった場合
- ◆ 通知出力可能な全プリンタが障害となった場合
- ◆ その他、上記相当の障害と認められる場合

15-5-1 障害時端末の利用についての取扱い

「障害時端末」の利用時は、原則として、自社の担当者を本所の障害時端末設置場所へ派遣し、自社の担当者の操作により、注文等の入力を行うものとします。

15-6 端末システムの障害メッセージ

端末システムに障害等が発生した場合及び電文不正が発生した場合には、板画面等のメッセージ表示欄又はポップアップ形式で以下のメッセージを表示します。障害保守が必要なメッセージの場合はもちろん、業務は続行できる場合にも表示されるメッセージが表示された場合についても、念のため、東証業務システム部にご連絡下さい。

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー オフライン (オンライン中に表示)	中央システムとの通信に障害が発生しました。 →業務の続行の可否は中央システム障害の状況により変わります。
2	エラー 問合せタイムアウト	中央システムからの問合せ応答待ち時間をオーバーしました。 →当該問合せは控下さい。業務の続行の可否は中央システムの状況により変わります。
3	エラー クライアント電文	クライアントから不正電文が発生しました。 →障害保守が必要です。
4	エラー 中央システム電文	中央システムからの応答電文が不正です。 →障害保守が必要です。
5	エラー 端末サーバ電文	端末サーバからの応答電文が不正です。 →障害保守が必要です。
6	エラー 端末サーバ障害	端末サーバの障害により応答できません。 →障害保守が必要です。
7	エラー 市場区分不正	クライアントからの電文の市場区分が不正です。 →障害保守が必要です。
8	エラー メッセージファイル障害	メッセージファイル障害が発生しています。 →障害保守が必要です。
9	エラー P/C	オプション銘柄選択時に銘柄ファイル内のブット/コール情報が不正です。 →障害保守が必要です。
10	エラー 画面印字不能	(プリンクの電源が投入されている場合) 構成定義ファイル不良です。 →画面印刷は控えて下さい。業務は続行できます。
11	メッセージファイル障害	メッセージファイルに障害が発生しました。 →障害保守が必要です。
12	通知ファイル障害	通知格納ファイルに障害が発生しました。 →通知クリアを行うことにより業務は続行できます。

項番	エラーメッセージ	発生要因
13	通知ファイル80%オーバー	通知格納ファイルの格納容量の80%をオーバーしました。 →業務は続行できます。
14	通知ファイルオーバーフロー	通知格納ファイルの格納容量をオーバーしました。 →通知クリアを行うことにより、業務は続行できます。
15	端末リセットを実行してください	不正電文を受信しました。 →端末リセット操作 (Ctrl+項目消去) を行って下さい。業務は続行できます。
16	プリンタ障害発生	印刷出力処理時にプリンタに障害が発生しました。 →印刷指示は控えて下さい。障害保守が必要です。

15-7 自社調達端末の障害時の取扱い

自社調達端末については、メンテナンスを参加者の責任において行っていただきます。(本所では、一切の障害時保守、定期保守及び保守部品の供給を行いません。)

端末機器のうち自社調達端末について障害が発生した場合には、当該障害の発生原因としてハード障害によるものかソフト障害によるものか、またソフト障害についても本所提供のソフトによるものか自社で調達した汎用ソフトによるものかの切り分けは、参加者の責任において行っていただき、原因が本所提供のソフト障害(プログラム不良)による場合のみ本所を通じた対応を行います。

なお、自社調達したハードについてのみ発生する現象については、当該端末固有の問題として参加者側で対処していただき、性能面でのトラブルについてもいかなる対応も行いません。

《付録1》 エラーメッセージ一覧

各機能におけるエラーメッセージの一覧を以下に示します。

エラーメッセージは、基本的には、各入力ウィンドウのメッセージ表示欄に表示されますが、問合せにかかると一部のエラーメッセージについては、板/画面又はメインウィンドウのメッセージ表示欄に表示されるものもあります。

<設定>

◆ 注文入力設定

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー 限度数量設定数値	限度数量に「0」が指定されています。

◆ 通知出力先設定

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー 指定端末なし	指示クライアントの属する端末サーバ配下に存在していないクライアントが指定されています。
2	エラー 指定出力先プリンタなし	指示クライアントの属する端末サーバが利用可能でないプリンタが指定されています。
3	エラー 指定出力先レシートプリンタなし	指示クライアントの属する端末サーバが利用可能でないレシートプリンタが指定されています。
4	エラー プリンタ種別	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 出力先プリンタにレシートプリンタが指定されています。 ◆ 出力先レシートプリンタにページ/ドットプリンタが指定されています。
5	エラー フォーマット	入力端末番号が指定されていません。

◆ ページプリンタ出力設定

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー 指定プリンタなし	指示クライアントの属する端末サーバが利用可能でないプリンタが指定されています。
2	エラー プリンタ種別	ページプリンタ以外を指定しています。

<頁登録>

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー 頁番号	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 存在しないページ番号が指定されています。 ◆ 「表示銘柄頁登録」時に、任意設定ページ（1～49）以外のページ番号が指定されています。

<付録1> エラーメッセージ一覧

項番	エラーメッセージ	発生要因
2	エラー 問合せ中	他に応答待ちの問合せがある時に入力されています。

<頁選択>

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー 頁番号	存在しないページ番号が指定されています。
2	エラー 登録銘柄番号	頁選択時の表示先頭登録番号に存在しない登録銘柄番号(「1」～「24」以外)が指定されています。
3	エラー 問合せ中	他に応答待ちの問合せがある時に入力されています。

<銘柄選択>

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー 限月	存在しない限月が指定されています。
2	エラー 行使価格	存在しない権利行使価格が指定されています。
3	エラー 原株コード	株券オプション取引の銘柄選択において、存在しない原株コードが指定されています。
4	エラー 調整回数	株券オプション取引の銘柄選択において、存在しない受渡単位の調整回数が指定されています。
5	エラー 銘柄なし	選択した証券種別に銘柄が存在しません。
6	エラー フォーマット	入力必須項目が未入力です。

<板/気配問合せ>

板画面内のメッセージ表示欄に表示されます。

※気配画面においては、銘柄名の右側に「ER」で示されます。

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー 問合せ時間外	問合せ時間外に問合せが行われています。
2	エラー 銘柄コード	取引対象でない銘柄が問合せられています。

メインウィンドウのメッセージ表示欄に表示されます。

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー 問合せ中	他に応答待ちの問合せがある時に問合せされています。

<注文入力>

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー 受付時間外	注文受付時間外に注文入力しています。
2	エラー 銘柄名	銘柄が指定されていません。
3	エラー 銘柄登録番号	銘柄登録番号の指定に誤りがあります。 ◆ 「1」～「24」以外を指定しています。

項番	エラーメッセージ	発生要因
		<ul style="list-style-type: none"> ◆ 表示中のページにおいて未登録の銘柄登録番号が指定されています。 ◆ 原株式及び指数が登録されている銘柄登録番号が指定されています。
4	エラー 実行条件	<p>実行条件の指定に誤りがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「2」(需付)、「4」(引け)、「6」(不成)、「7」(一括方式A)又は「9」(一括方式B)以外が指定されています。 ◆ 長围先物スプレッド取引において、「2」、「4」又は「6」が指定されています。 ◆ TOPIX先物スプレッドにおいて、「6」が指定されています。
5	エラー 売/買	<p>売買区分の指定に誤りがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「1」(売)又は「3」(買)以外が指定されています。
6	エラー 注文値段	<p>注文値段の指定に誤りがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 指値の注文値段の先頭に「0」が指定されています。(スプレッド取引における「-」(マイナス)付加時含む) ◆ ゼロ・マイナス対応後のスプレッド取引以外の銘柄の注文値段に「-」(マイナス)が入力されています。 ◆ ゼロ・マイナス対応後のスプレッド取引において、「0」に「-」(マイナス)が付加されています。
7	エラー 注文数量	注文数量の指定に誤りがあります。
8	エラー 限度数量	注文数量が設定した注文入力限度数量を超えています。
9	エラー 管理項目	<p>管理項目の指定に誤りがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 新規注文・複数新規注文入力ウィンドウ <ul style="list-style-type: none"> ◇ 一括注文入力時以外に「0」(委託)又は「9」(自己)以外が指定されています。 ◇ 一括注文入力時に「0」(委託-委託)、「9」(自己-自己)、「1」(委託-自己)又は「8」(自己-委託)以外が入力されています。 ◆ 一括注文入力ウィンドウ <ul style="list-style-type: none"> ◇ 「0」(委託)又は「9」(自己)以外を指定しています。
10	エラー 限度解除	限度解除の指定に誤りがあります。

<付録1> エラーメッセージ一覧

項番	エラーメッセージ	発生要因
		◆ 「9」(限度解除)以外が指定されています。
11	エラー 一括方式	一括方式の指定に誤りがあります。 ◆ 「2」(寄付A)、「4」(引けA)、「6」(不成A)、「7」(A)又は「9」(B)以外が指定されています。 ◆ 長国先物スプレッド取引において、「2」、「4」又は「6」が指定されています。 ◆ TOPIX先物スプレッドにおいて、「6」が指定されています。
12	エラー 注文番号	注文番号の指定に誤りがあります。
13	エラー 訂正種別	訂正種別の指定に誤りがあります。 ◆ 「1」(取消)又は「3」(訂正)以外が指定されています。
14	エラー 変更執行条件	変更執行条件の指定に誤りがあります。 ◆ 「2」(寄付)、「4」(引け)、「6」(不成)、「9」(条件抹消)以外が指定されています。 ◆ 長国先物スプレッド取引において、「2」、「4」又は「6」が指定されています。 ◆ TOPIX先物スプレッドにおいて、「6」が指定されています。
15	エラー 変更注文値段	変更注文値段の指定に誤りがあります。 ※ 「エラー 注文値段」と同じ。
16	エラー 削減数量	削減数量の指定に誤りがあります。
17	エラー 変更管理項目	変更管理項目の指定に誤りがあります。 ◆ 「0」(委託)又は「9」(自己)以外が指定されています。
18	エラー 端末番号	端末番号の指定に誤りがあります。
19	エラー オフライン	◆ オフライン時に注文が入力されています。 ◆ 複数注文入力において、入力した複数の注文のうち、一部の注文の送信に失敗しました。
20	エラー フォーマット	◆ 入力必須項目が指定されていません。 ○ 訂正注文・複数訂正注文入力ウィンドウにおいて、注文番号と社内番号がともに指定されていません。 ◆ 入力不要項目が指定されています。 ○ 訂正注文・複数訂正注文入力ウィンドウにおいて、注文番号と社内番号が同時に指定されてい

付録1-4

TSE000000958

項番	エラーメッセージ	発生要因
		<p>ます。</p> <p>◇ 訂正注文入力・複数訂正注文入力カウインドウにおいて、訂正種別が「3」（変更）のとき、変更内容が指定されていません。</p>

<問合せ>

問合せのうち入力カウインドウを省略した場合は、メインカウインドウのメッセージ表示欄に表示されます。

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー オフライン	問合せ時間外に問合せが行われています。
2	エラー 銘柄名	銘柄が指定されていません。
3	エラー 売/買	<p>売買区分の指定に誤りがあります。</p> <p>◆ 「1」（売）又は「3」（買）以外が指定されています。</p>
4	エラー 注文値段	<p>注文値段の指定に誤りがあります。</p> <p>◆ 指値の注文値段の先頭に「0」が指定されています。（スプレッド取引における「-」（マイナス）付加時含む）</p> <p>◆ ゼロ・マイナス対応後のスプレッド取引以外の銘柄の注文値段に「-」（マイナス）が入力されています。</p> <p>◆ ゼロ・マイナス対応後のスプレッド取引において、「0」に「-」（マイナス）が付加されています。</p> <p>◆ 制限値段を超える注文値段が指定されています。</p>
5	エラー 注文番号	注文番号の指定に誤りがあります。
6	エラー 該当注文なし	指定した条件に合致する注文がありません。
7	エラー 原株コード	存在しない原株コードが入力されています。
8	エラー 問合せ中	他に応答待ちの問合せがある時に問合せされています。
9	エラー 問合せ画面数	既に2つの問合せ応答カウインドウ表示中にさらに別の問合せ入力操作が行われています。
10	エラー 銘柄コード	取引対象ではない銘柄が指定されています。
11	エラー フォーマット	<p>◆ 入力不要項目が指定されています。</p> <p>◇ 注文約定履歴・注文成立状況問合せ入力カウインドウにおいて、注文番号と社内番号が同時に指定されています。</p> <p>◆ 入力必須項目が指定されていません。</p> <p>◇ 注文約定履歴・注文成立状況問合せ入力カウイン</p>

<付録1> エラーメッセージ一覧

項番	エラーメッセージ	発生要因
		ドウにおいて、注文番号と社内番号がともに指定されていません。
12	エラー ファイル障害中	通知格納ファイル障害中の端末サーバ（データサーバ）に問合せが行われています。
13	エラー データサーバ障害	端末サーバ（データサーバ）問合せ時にデータサーバの問合せ応答処理に障害が発生しました。
14	エラー 障害停止中	障害停止中の銘柄に問合せが行われています。
15	新規注文情報未受信	注文約定履歴問合せにおいて、注文受付通知が未受信の注文についての情報を応答しています。
16	該当注文なし（自端末）	注文約定履歴問合せにおいて、問合せ先の自端末サーバには、指定した条件に合致する注文がありません。

<転売・買戻数量等入力>

◆ 転売・買戻入力

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー オフライン	問合せ時間外に問合せが行われています。
2	エラー 問合せ中	他に問合せ応答待ちの問合せがある時に入力されています。
3	エラー 一括終了処理中	中央システムが一括終了指示処理中に入力されています。
4	エラー 受付時間外	転売・買戻入力受付時間外に入力されています。
5	エラー 障害停止中	障害停止中の銘柄に入力されています。
6	エラー 限月コード	限月の指定に誤りがあります。 ◆ 存在しない限月が指定されています。 ◆ 限月が指定されていません。
7	エラー 自己/委託区分	自己・委託区分の指定に誤りがあります。 ◆ 「0」（委託）又は「9」（自己）以外が指定されています。
8	エラー 転売数量（当日）入力数字 エラー 転売数量（既存）入力数字 エラー 買戻数量（当日）入力数字 エラー 買戻数量（既存）入力数字 エラー 入力数字	入力項目が1桁の「0」以外で「0」が先頭に指定されています。 エラー項目が複数ある場合
9	エラー 売買約定なし	売・買とも当日約定数量「0」の場合に、転売・買戻数量が入力されています。
10	エラー 売約定なし	売約定数量「0」の場合に、転売（当日・既存）又は買戻（当日）の数量が入力されています。

項番	エラーメッセージ	発生要因
i 1	エラー 買約定なし	買約定数量「0」の場合に、転売（当日）又は買戻（当日・既存）の数量が入力されています。
1 2	エラー 転売・買戻数量	転売・買戻数量の指定に誤りがあります。 ◆ 売約定数量 - (転売数量 (当日+既存) + 買戻数量 (当日)) < 0 ◆ 買約定数量 - (転売数量 (当日) + 買戻数量 (当日+既存)) < 0 ◆ 前日売建玉残高 + 当日売約定数量 - (転売数量 + 買戻数量) < 0 ◆ 前日買建玉残高 + 当日買約定数量 - (転売数量 + 買戻数量) < 0

◆ 転売・買戻/権利行使入力

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー オフライン	問合せ時間外に問合せが行われています。
2	エラー 問合せ中	他に問合せ応答待ちの問合せがある時に入力されています。
3	エラー 一括終了処理中	中央システムが一括終了指示処理中に入力されています。
4	エラー 受付時間外	転売・買戻/権利行使入力受付時間外に入力されています。
5	エラー 障害停止中	障害停止中の銘柄に入力されています。
6	エラー 行使価格	権利行使価格の指定に誤りがあります。 ◆ 存在しない権利行使価格が指定されています。 ◆ 権利行使価格が指定されていません。
7	エラー 自己/委託区分	自己・委託区分の指定に誤りがあります。 ◆ 「0」(委託) 又は「9」(自己) 以外が指定されています。
8	エラー 行使価格入力数字 エラー 転売数量(当日)入力数字 エラー 転売数量(既存)入力数字 エラー 買戻数量(当日)入力数字 エラー 買戻数量(既存)入力数字 エラー 行使数量入力数字 エラー 入力数字	入力項目が1桁の「0」以外で「0」が先頭に指定されています。 ※ 「エラー 行使数量入力数字」について、長国先物オプション取引の権利行使最終日の自動権利行使対急行使価格に対する「00000000」(ゼロ8コ)の入力はエラーとしません。
9	エラー 売買約定なし	売・買とも当日約定数量「0」の場合に、転売・買戻数量が入力されています。

《付録1》 エラーメッセージ一覧

項番	エラーメッセージ	発生要因
10	エラー 売約定なし	売約定数量「0」の場合に、転売(当日・既存)又は買戻(当日)の数量が入力されています。
11	エラー 買約定なし	買約定数量「0」の場合に、転売(当日)又は買戻(当日・既存)の数量が入力されています。
12	エラー 転売・買戻/行使数量	<p>転売・買戻/権利行使数量の指定に誤りがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 売約定数量 - (転売数量(当日+既存) + 買戻数量(当日)) < 0 ◆ 買約定数量 - (転売数量(当日) + 買戻数量(当日+既存)) < 0 ◆ 前日売進玉残高 + 当日売約定数量 - (転売数量 + 買戻数量) < 0 ◆ 前日買進玉残高 + 当日買約定数量 - (転売数量 + 買戻数量 + 権利行使数量) < 0
13	エラー 行使数量	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 権利行使期間外に権利行使数量が入力されています。 ◆ TOPIXオプション取引において、利益の要付けない(In The Money以外の)権利行使価格に権利行使数量が入力されています。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ コールの場合 清算値段 - 権利行使価格 ≤ 0 ◇ プットの場合 権利行使価格 - 清算値段 ≤ 0

◆ 転売・買戻(オプション取引権利行使分)入力

項番	エラーメッセージ	発生要因
1	エラー オフライン	間合せ時間外に間合せが行われています。
2	エラー 間合せ中	他に間合せ応答待ちの間合せがある時に入力されています。
3	エラー 一括終了処理中	中央システムが一括終了指示処理中に入力されています。
4	エラー 受付時間外	転売・買戻(オプション取引権利行使分)入力受付時間外に入力されています。
5	エラー 障害停止中	障害停止中の銘柄に入力されています。
6	エラー 限月コード	<p>限月の指定に誤りがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 存在しない限月が指定されています。 ◆ 限月が指定されていません。
7	エラー 自己/委託区分	自己・委託区分の指定に誤りがあります。

《付録2》 自動設定ページの銘柄登録パターン

登録 番号	50ページ		51ページ	
	証券種別	限月	証券種別	限月
1	長国先物	第1限月	中国先物	第1限月
2	長国先物	第2限月	中国先物	第2限月
3	長国先物	第3限月	中国先物	第3限月
4	長国先物	第4限月	中国先物	第4限月
5	長国先物	第5限月	中国先物	第5限月
6	長国先物	第1限月	超長先物	第1限月
7	長国先物	第2限月	超長先物	第2限月
8	長国先物SP	第1限月-第2限月	超長先物	第3限月
9	長国先物	第1限月	超長先物	第4限月
10	長国先物	第3限月	超長先物	第5限月
11	長国先物SP	第1限月-第3限月	TB先物	第1限月
12	長国先物	第2限月	TB先物	第2限月
13	長国先物	第3限月	TB先物	第3限月
14	長国先物SP	第2限月-第3限月	TB先物	第4限月
15	長国先物	第2限月	TB先物	第5限月
16	長国先物	第4限月	-	-
17	長国先物SP	第2限月-第4限月	-	-
18	-	-	-	-
19	-	-	-	-
20	-	-	-	-
21	-	-	-	-
22	-	-	-	-
23	-	-	-	-
24	-	-	-	-

登録 番号	55ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	長国先物OP	第1限月	P	At The Money - 3
2	長国先物OP	第1限月	P	At The Money - 2
3	長国先物OP	第1限月	P	At The Money - 1
4	長国先物OP	第1限月	P	At The Money
5	長国先物OP	第1限月	P	At The Money + 1
6	長国先物OP	第1限月	P	At The Money + 2
7	長国先物OP	第1限月	C	At The Money - 2
8	長国先物OP	第1限月	C	At The Money - 1
9	長国先物OP	第1限月	C	At The Money
10	長国先物OP	第1限月	C	At The Money + 1
11	長国先物OP	第1限月	C	At The Money + 2
12	長国先物OP	第1限月	C	At The Money + 3
13	長国先物OP	第2限月	P	At The Money - 3
14	長国先物OP	第2限月	P	At The Money - 2
15	長国先物OP	第2限月	P	At The Money - 1
16	長国先物OP	第2限月	P	At The Money
17	長国先物OP	第2限月	P	At The Money + 1
18	長国先物OP	第2限月	P	At The Money + 2
19	長国先物OP	第2限月	C	At The Money - 2
20	長国先物OP	第2限月	C	At The Money - 1
21	長国先物OP	第2限月	C	At The Money
22	長国先物OP	第2限月	C	At The Money + 1
23	長国先物OP	第2限月	C	At The Money + 2
24	長国先物OP	第2限月	C	At The Money + 3

登録 番号	56ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	長国先物OP	第3限月	P	At The Money - 3
2	長国先物OP	第3限月	P	At The Money - 2
3	長国先物OP	第3限月	P	At The Money - 1
4	長国先物OP	第3限月	P	At The Money
5	長国先物OP	第3限月	P	At The Money + 1
6	長国先物OP	第3限月	P	At The Money + 2
7	長国先物OP	第3限月	C	At The Money - 2
8	長国先物OP	第3限月	C	At The Money - 1
9	長国先物OP	第3限月	C	At The Money
10	長国先物OP	第3限月	C	At The Money + 1
11	長国先物OP	第3限月	C	At The Money + 2
12	長国先物OP	第3限月	C	At The Money + 3
13	長国先物OP	第4限月	P	At The Money - 3
14	長国先物OP	第4限月	P	At The Money - 2
15	長国先物OP	第4限月	P	At The Money - 1
16	長国先物OP	第4限月	P	At The Money
17	長国先物OP	第4限月	P	At The Money + 1
18	長国先物OP	第4限月	P	At The Money + 2
19	長国先物OP	第4限月	C	At The Money - 2
20	長国先物OP	第4限月	C	At The Money - 1
21	長国先物OP	第4限月	C	At The Money
22	長国先物OP	第4限月	C	At The Money + 1
23	長国先物OP	第4限月	C	At The Money + 2
24	長国先物OP	第4限月	C	At The Money + 3

<付録2> 自動設定ページの銘柄登録パターン

登録 番号	57ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	長国先物OP	第1限月	P	At The Money-5
2	長国先物OP	第1限月	P	At The Money-4
3	長国先物OP	第1限月	P	At The Money-3
4	長国先物OP	第1限月	P	At The Money-2
5	長国先物OP	第1限月	P	At The Money-1
6	長国先物OP	第1限月	P	At The Money
7	長国先物OP	第1限月	P	At The Money+1
8	長国先物OP	第1限月	P	At The Money+2
9	長国先物OP	第1限月	C	At The Money-2
10	長国先物OP	第1限月	C	At The Money-1
11	長国先物OP	第1限月	C	At The Money
12	長国先物OP	第1限月	C	At The Money+1
13	長国先物OP	第1限月	C	At The Money+2
14	長国先物OP	第1限月	C	At The Money+3
15	長国先物OP	第1限月	C	At The Money+4
16	長国先物OP	第1限月	C	At The Money+5
17	長国先物OP	第1限月	P	At The Money+2
18	長国先物OP	第1限月	P	At The Money+3
19	長国先物OP	第1限月	P	At The Money+4
20	長国先物OP	第1限月	P	At The Money+5
21	長国先物OP	第1限月	C	At The Money-5
22	長国先物OP	第1限月	C	At The Money-4
23	長国先物OP	第1限月	C	At The Money-3
24	長国先物OP	第1限月	C	At The Money-2

付録2-4

TSE0000000966

登録 番号	58ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	長国先物OP	第2限月	P	At The Money-5
2	長国先物OP	第2限月	P	At The Money-4
3	長国先物OP	第2限月	P	At The Money-3
4	長国先物OP	第2限月	P	At The Money-2
5	長国先物OP	第2限月	P	At The Money-1
6	長国先物OP	第2限月	P	At The Money
7	長国先物OP	第2限月	P	At The Money+1
8	長国先物OP	第2限月	P	At The Money+2
9	長国先物OP	第2限月	C	At The Money-2
10	長国先物OP	第2限月	C	At The Money-1
11	長国先物OP	第2限月	C	At The Money
12	長国先物OP	第2限月	C	At The Money+1
13	長国先物OP	第2限月	C	At The Money+2
14	長国先物OP	第2限月	C	At The Money+3
15	長国先物OP	第2限月	C	At The Money+4
16	長国先物OP	第2限月	C	At The Money+5
17	長国先物OP	第2限月	P	At The Money+2
18	長国先物OP	第2限月	P	At The Money+3
19	長国先物OP	第2限月	P	At The Money+4
20	長国先物OP	第2限月	P	At The Money+5
21	長国先物OP	第2限月	C	At The Money-5
22	長国先物OP	第2限月	C	At The Money-4
23	長国先物OP	第2限月	C	At The Money-3
24	長国先物OP	第2限月	C	At The Money-2

登録 番号	59ページ			
	証券種別	年月	P/C	権利行使価格
1	長国先物OP	第3限月	P	At The Money - 5
2	長国先物OP	第3限月	P	At The Money - 4
3	長国先物OP	第3限月	P	At The Money - 3
4	長国先物OP	第3限月	P	At The Money - 2
5	長国先物OP	第3限月	P	At The Money - 1
6	長国先物OP	第3限月	P	At The Money
7	長国先物OP	第3限月	P	At The Money + 1
8	長国先物OP	第3限月	P	At The Money + 2
9	長国先物OP	第3限月	C	At The Money - 2
10	長国先物OP	第3限月	C	At The Money - 1
11	長国先物OP	第3限月	C	At The Money
12	長国先物OP	第3限月	C	At The Money + 1
13	長国先物OP	第3限月	C	At The Money + 2
14	長国先物OP	第3限月	C	At The Money + 3
15	長国先物OP	第3限月	C	At The Money + 4
16	長国先物OP	第3限月	C	At The Money + 5
17	長国先物OP	第3限月	P	At The Money + 2
18	長国先物OP	第3限月	P	At The Money + 3
19	長国先物OP	第3限月	P	At The Money + 4
20	長国先物OP	第3限月	P	At The Money + 5
21	長国先物OP	第3限月	C	At The Money - 5
22	長国先物OP	第3限月	C	At The Money - 4
23	長国先物OP	第3限月	C	At The Money - 3
24	長国先物OP	第3限月	C	At The Money - 2

登録 番号	60ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	長国先物OP	第4限月	P	At The Money - 5
2	長国先物OP	第4限月	P	At The Money - 4
3	長国先物OP	第4限月	P	At The Money - 3
4	長国先物OP	第4限月	P	At The Money - 2
5	長国先物OP	第4限月	P	At The Money - 1
6	長国先物OP	第4限月	P	At The Money
7	長国先物OP	第4限月	P	At The Money + 1
8	長国先物OP	第4限月	P	At The Money + 2
9	長国先物OP	第4限月	C	At The Money - 2
10	長国先物OP	第4限月	C	At The Money - 1
11	長国先物OP	第4限月	C	At The Money
12	長国先物OP	第4限月	C	At The Money + 1
13	長国先物OP	第4限月	C	At The Money + 2
14	長国先物OP	第4限月	C	At The Money + 3
15	長国先物OP	第4限月	C	At The Money + 4
16	長国先物OP	第4限月	C	At The Money + 5
17	長国先物OP	第4限月	P	At The Money + 2
18	長国先物OP	第4限月	P	At The Money + 3
19	長国先物OP	第4限月	P	At The Money + 4
20	長国先物OP	第4限月	P	At The Money + 5
21	長国先物OP	第4限月	C	At The Money - 5
22	長国先物OP	第4限月	C	At The Money - 4
23	長国先物OP	第4限月	C	At The Money - 3
24	長国先物OP	第4限月	C	At The Money - 2

＜付録2＞ 自動設定ページの銘柄登録パターン

登録 番号	70ページ		71ページ	
	証券種別	限月	証券種別	限月
1	TOPIX 先物	第1限月	電気先物	第1限月
2	TOPIX 先物	第2限月	電気先物	第2限月
3	TOPIX 先物	第3限月	電気先物	第3限月
4	TOPIX 先物	第4限月	電気先物	第4限月
5	TOPIX 先物	第5限月	電気先物	第5限月
6	TOPIX	-	電気株価指数	-
7	TOPIX 先物	第1限月	輸送先物	第1限月
8	TOPIX 先物	第2限月	輸送先物	第2限月
9	TOPIX 先物SP	第1限月-第2限月	輸送先物	第3限月
10	TOPIX 先物	第1限月	輸送先物	第4限月
11	TOPIX 先物	第3限月	輸送先物	第5限月
12	TOPIX 先物SP	第1限月-第3限月	輸送株価指数	-
13	TOPIX 先物	第1限月	銀行先物	第1限月
14	TOPIX 先物	第4限月	銀行先物	第2限月
15	TOPIX 先物SP	第1限月-第4限月	銀行先物	第3限月
16	TOPIX 先物	第1限月	銀行先物	第4限月
17	TOPIX 先物	第5限月	銀行先物	第5限月
18	TOPIX 先物SP	第1限月-第5限月	銀行株価指数	-
19	-	-	-	-
20	-	-	-	-
21	-	-	-	-
22	-	-	-	-
23	-	-	-	-
24	-	-	-	-

登録 番号	75ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money - 3
2	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money - 2
3	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money - 1
4	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money
5	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money + 1
6	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money + 2
7	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money - 2
8	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money - 1
9	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money
10	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money + 1
11	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money + 2
12	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money + 3
13	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money - 3
14	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money - 2
15	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money - 1
16	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money
17	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money + 1
18	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money + 2
19	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money - 2
20	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money - 1
21	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money
22	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money + 1
23	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money + 2
24	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money + 3

<付録2> 自動設定ページの銘柄登録パターン

登録 番号	76ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money - 3
2	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money - 2
3	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money - 1
4	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money
5	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money + 1
6	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money + 2
7	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money - 2
8	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money - 1
9	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money
10	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money + 1
11	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money + 2
12	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money + 3
13	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money - 3
14	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money - 2
15	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money - 1
16	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money
17	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money + 1
18	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money + 2
19	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money - 2
20	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money - 1
21	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money
22	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money + 1
23	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money + 2
24	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money + 3

付録2-10

TSE0000000972

登録 番号	77ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money - 5
2	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money - 4
3	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money - 3
4	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money - 2
5	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money - 1
6	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money
7	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money + 1
8	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money + 2
9	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money - 2
10	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money - 1
11	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money
12	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money + 1
13	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money + 2
14	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money + 3
15	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money + 4
16	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money + 5
17	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money + 2
18	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money + 3
19	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money + 4
20	TOPIX OP	第1限月	P	At The Money + 5
21	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money - 5
22	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money - 4
23	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money - 3
24	TOPIX OP	第1限月	C	At The Money - 2

<付録2> 自動設定ページの銘柄登録パターン

登録 番号	78ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money - 5
2	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money - 4
3	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money - 3
4	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money - 2
5	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money - 1
6	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money
7	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money + 1
8	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money + 2
9	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money - 2
10	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money - 1
11	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money
12	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money + 1
13	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money + 2
14	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money + 3
15	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money + 4
16	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money + 5
17	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money + 2
18	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money + 3
19	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money + 4
20	TOPIX OP	第2限月	P	At The Money + 5
21	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money - 5
22	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money - 4
23	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money - 3
24	TOPIX OP	第2限月	C	At The Money - 2

登録 番号	79ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money - 5
2	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money - 4
3	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money - 3
4	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money - 2
5	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money - 1
6	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money
7	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money + 1
8	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money + 2
9	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money - 2
10	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money - 1
11	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money
12	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money + 1
13	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money + 2
14	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money + 3
15	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money + 4
16	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money + 5
17	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money + 2
18	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money + 3
19	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money + 4
20	TOPIX OP	第3限月	P	At The Money + 5
21	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money - 5
22	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money - 4
23	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money - 3
24	TOPIX OP	第3限月	C	At The Money - 2

<付録2> 自動設定ページの銘柄登録パターン

登録 番号	80ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money - 5
2	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money - 4
3	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money - 3
4	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money - 2
5	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money - 1
6	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money
7	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money + 1
8	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money + 2
9	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money - 2
10	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money - 1
11	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money
12	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money + 1
13	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money + 2
14	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money + 3
15	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money + 4
16	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money + 5
17	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money + 2
18	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money + 3
19	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money + 4
20	TOPIX OP	第4限月	P	At The Money + 5
21	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money - 5
22	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money - 4
23	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money - 3
24	TOPIX OP	第4限月	C	At The Money - 2

登録 番号	＜原株の銘柄コード＞ページ			
	証券種別	限月	P/C	権利行使価格
1	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	P	At The Money - 3
2	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	P	At The Money - 2
3	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	P	At The Money - 1
4	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	P	At The Money
5	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	P	At The Money + 1
6	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	C	At The Money + 2
7	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	C	At The Money - 2
8	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	C	At The Money - 1
9	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	C	At The Money
10	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	C	At The Money + 1
11	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	C	At The Money + 2
12	ページ番号の株券OP	第1限月(調整なし)	C	At The Money + 3
13				
14	ページ番号の原株銘柄	-	-	-
15	ページ番号の株券OP	第2限月(調整なし)	P	At The Money - 3
16	ページ番号の株券OP	第2限月(調整なし)	P	At The Money - 2
17	ページ番号の株券OP	第2限月(調整なし)	P	At The Money - 1
18	ページ番号の株券OP	第2限月(調整なし)	P	At The Money
19	ページ番号の株券OP	第2限月(調整なし)	P	At The Money + 1
20	ページ番号の株券OP	第2限月(調整なし)	C	At The Money - 1
21	ページ番号の株券OP	第2限月(調整なし)	C	At The Money
22	ページ番号の株券OP	第2限月(調整なし)	C	At The Money + 1
23	ページ番号の株券OP	第2限月(調整なし)	C	At The Money + 2
24	ページ番号の株券OP	第2限月(調整なし)	C	At The Money + 3

《付録3》 パスワード機能について (選択機能)

参加者の希望により、「パスワード機能」が利用できます。

「パスワード機能」の利用を設定しているクライアントは、クライアントごとに「4桁の数字」で構成されるパスワードを設定し、当該パスワード未入力時は、注文入力、転売・買戻等入力及び通知にかかる運用指示入力等の機能の選択を抑制し、当該入力が必要な状態（入力資格解除状態）とし、パスワード入力を行うことにより当該機能の選択が選択可能となり、当該入力が可能な状態（入力資格取得済み状態）となります。

また、パスワード入力画面（「入力資格要求ウィンドウ」）においては、パスワードとともに4桁の数字の「ユーザID」を入力する必要があります。入力された「ユーザID」は注文等の入力にかかる通知に端末番号とともに出力されます。

※ パスワード入力時には、「ユーザID」と「パスワード」の整合性のチェックは行っていませんので、「パスワード」が正しければ、注文等の入力可能な状態へ移行し、入力された「ユーザID」がそのまま通知に出力されます。

付録3-1 パスワード機能により抑制される機能

パスワード機能においては、パスワード未入力時（入力資格解除状態）には、以下のメニューバー項目又はメニューリスト項目を選択不可とすることで各種機能の選択の抑制を行います。

- ◆ パスワード未入力時（入力資格解除状態時）の選択不可項目
 - ◇ 通知・代行運用（運用）
 - ◇ 通知出力先指定（運用）
 - ◇ 注文入力設定（設定）
 - ◇ 注文入力画面形状（設定）
 - ◇ 転売・買戻/権利行使入力（進玉）
 - ◇ 権利行使対応分転売・買戻入力（進玉）
 - ◇ 転売・買戻/権利行使入力終了指示（進玉）
 - ◇ 委託分取引証拠金算定基礎残入力（進玉）
 - ◇ 委託分取引証拠金算定基礎残入力終了指示（進玉）
 - ◇ 新規注文
 - ◇ 訂正注文
 - ◇ 一括注文（複数注文）
 - ◇ 複数注文（複数注文）
 - ◇ 一括取消（複数注文）
 - ◇ 複数訂正（複数注文）

《付録3》 パスワード機能について（選択機能）

- ※ 上記のメニューバー・メニューリスト項目については、「マウスのクリックによる選択」、「対応するキーの押下による選択」及び「ショートカットメニューからの選択」のいずれの場合も選択ができません。
- ※ また、「振／気配画面の特定エリアのダブルクリックによる新規注文入力ウィンドウの表示」及び「通知表示エリアのダブルクリックによる訂正注文入力ウィンドウの表示」のいずれの操作もできません。

付録3-2 入力资格要求

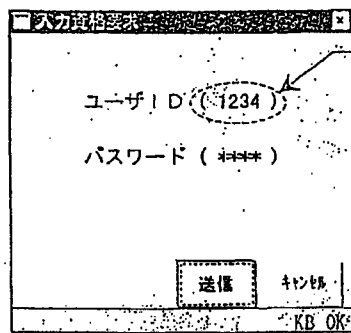
パスワード機能の利用を設定しているクライアントは、立上げ時には、上記の項目の選択が抑止されている状態（入力資格解除状態）で立ち上がります。

注文等の入力可能な状態（上記項目の選択可能な状態（入力資格取得済み状態））とするためには、以下の方法で「入力资格要求」により、パスワードを入力する必要があります。

付録3-2-1 「入力資格解除状態」からの入力资格要求

「入力資格解除状態」から入力资格要求を行う場合には、以下の方法で行います

- ① メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「1」入力资格要求の順で選択することにより、「入力资格要求指示ウィンドウ」が表示されます。
- ② 「ユーザID」（必須入力項目）及び「パスワード」（必須入力項目）を入力後、送信操作を行います。
- ③ パスワードが正しければ、注文等の入力可能な状態（上記項目の選択可能な状態（入力資格要求済状態））に移行します。

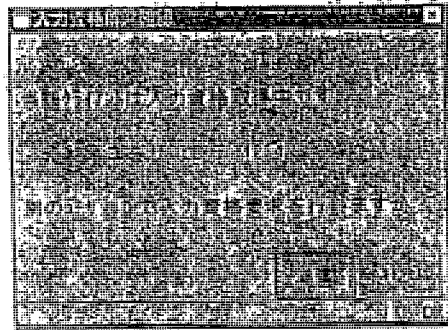


ユーザID
入力资格要求時に、任意の4桁の数字により、ユーザIDを入力します。
入力された「ユーザID」は注文等の入力にかかる通知に出力されます。
ただし、パスワード入力時には、「ユーザID」と「パスワード」の整合性のチェックは行っていないので、「パスワード」が正しければ、注文等の入力可能な状態へ移行し、入力された「ユーザID」がそのまま通知に出力されます。
また、ユーザIDは入力必須項目となっていますので、ユーザIDが必要ない場合でも、任意の数字を指定してください。

付録3-2-2 「入力資格取得済み状態」からの入力資格要求

入力資格要求時に、当該クライアントが既に別のユーザID入力により「入力資格取得済み状態」の場合は、既に入力資格要求を行っているユーザIDを確認後、当該ユーザIDによる入力資格を解除し、新たなユーザIDで入力資格要求を行います。

- ① 既に入力資格取得済み状態の場合に、メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「1」入力資格要求」の順で選択することにより、「入力資格解除確認ウィンドウ」が表示されます。



- ② 入力資格取得済みのユーザIDを確認後、当該ユーザIDによる入力資格を解除してよければ、送信操作を行います。
- ③ いったん入力資格が解除されるとともに、「入力資格要求ウィンドウ」が表示されるので、入力資格要求操作を行います。

付録3-3 入力資格解除

端末利用者が離席等で、当該クライアントを注文等の入力が不可能な状態（上記項目の選択が抑止されている状態（入力資格解除状態））とするためには、「入力資格解除」を行います。

- ① メインウィンドウのメニューバーから「運用」→「2 入力資格解除」の順で選択します。
- ② 注文等の入力が不可能な状態（上記項目の選択が抑止されている状態（入力資格解除状態））に移行します。



- ◆ パスワード機能を利用する場合及びパスワードを変更する場合には、本所に届出をいただくことが必要となります。
- ◆ パスワードの失念等の場合には、本所に対して書面にて問合せた場合のみお応えします。（電話等、口頭での問合せには応じません。）

《付録4》 システム関連電話番号

1998年8月現在

◆ 取引用端末の修理・保守に関するお問合せ

(日立電子サービス) 直 通 3271-2701
共同電話 658

※自社調達端末については、保守サービスは行っておりませんので、参加者側で対応して下さい。

◆ 消耗品の購入に関するお問合せ

(日立情報システムズ) 直 通 3464-7119

※消耗品については、購入先として上記の「日立情報システムズ」をご紹介しておりますが、使用にあたって特に支障なければ他社から購入されても構いません。

◆ 取引用端末の増設・移設に関するお問合せ

(東証業務システム部) 直 通 3665-1363

◆ その他問合せ

(東証業務システム部) 直 通 3808-2571, 2
共同電話 187, 8

◆ 緊急～障害時端末の利用等

(東証業務システム部) 直 通 3808-2571～5
共同電話 187～9

付録4-1

TSE0000000981